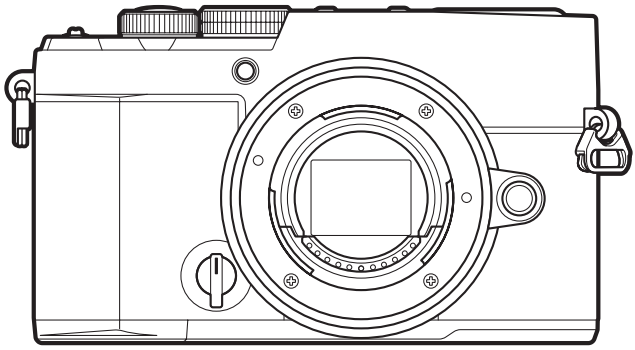
デジタルカメラ

OM SYSTEM PEN

取扱説明書



トラブルで困ったときや
最新情報はこちら

JP

Model No. : IM042

- デジタルカメラのお買い上げ、ありがとうございます。カメラを操作しながらこの説明書をお読みいただき、安全に正しくお使いください。
- **「安全にお使いいただくために」は、製品をご使用になる前によくお読みください。またお読みになったあとも、必ず保管してください。**
- ご使用前に付属の取扱説明書 基本編とこの取扱説明書をよくお読みになり、大切な撮影の前には試し撮りをしてカメラが正常に機能することをお確かめください。
- 取扱説明書で使用している画面やカメラのイラストは、実際の製品とは異なる場合があります。
- カメラのファームアップにより機能の追加・変更があった場合、記載内容が異なります。最新情報は当社ホームページをご確認ください。

もくじ

はじめに. 18
はじめにご確認ください. 18
ユーザー登録について. 18
カメラで表示する言語について. 18
ソフトウェア／アプリケーションのインストール. 19
本取扱説明書について. 20
知りたいことの検索方法. 20
本書の表記について. 21
各部の名称. 23
準備する. 25
カメラと付属品を確認する. 25
ストラップを取り付ける. 26
電池を入れる／取り出す. 27
電池を入れる. 27
電池を取り出す. 28
電池を充電する. 29
別売の USB-AC アダプター（F-5AC）で電池を充電する. 29
USB 機器で充電する. 30
充電時のご注意. 30
別売の充電器（BCS-7）を使う. 32
カードを入れる／取り出す. 33
カードを入れる. 33
カードを取り出す. 34
カードについて. 34
レンズを取り付ける／取り外す. 35
レンズを取り付ける. 35
レンズを取り外す. 36
モニターを操作する. 37
電源を入れる. 38
カメラのスリープ動作について. 39

初期設定をする. 40
撮影する. 41
撮影時の情報表示. 41
表示の切り換え. 44
情報表示を切り換える. 46
/ /S&Q を切り換える. 48
撮影モードを使う. 49
撮影モードの種類. 49
撮影モードを選ぶ. 50
静止画を撮る. 50
タッチパネルを使って撮る. 52
撮影直後に画像を表示する時間を設定する（撮影画像の確認時間）. 54
絞り値とシャッター速度を自動で設定して撮影する（**P** プログラム撮影）. 56
プログラムシフトについて. 58
絞りを決めて撮影する（**A** 絞り優先撮影）. 59
シャッター速度を決めて撮影する（**S** シャッター優先撮影）. 61
絞りとシャッター速度を自分で決めて撮影する（**M** マニュアル撮影）. 63
M モード時の露出補正について. 65
長秒時撮影を行う（**B** BULB/TIME 撮影）. 66
比較明合成撮影を行う（**B** ライブコンポジット撮影）. 69
カメラまかせで撮影する（AUTO モード）. 71
シーンモードを使う（**SCN** モード）. 74
シーンモードの種類. 75
星景・星空を撮影する. 78
パノラマ写真を撮影する. 79
アートフィルターを使う（**ART** モード）. 81
アートフィルターの種類. 82
アートフィルターのかかり具合を調整する（ファインチューン）. 84
［パートカラー］で撮影する. 85
動画を撮る. 86
モード／S&Q モードで撮る. 86

静止画撮影時に動画を撮る. 88
タッチ操作で設定する（静音操作）. 89
任意の設定をモードダイヤルに登録する（**C1**／**C2** カスタムモード）. 90
残しておきたい設定内容を登録する（カスタム登録）. 90
カスタムモードを使う（**C1**／**C2**）. 92
カスタムモードの名称を設定する（カスタム名設定）. 95
撮影機能を設定する. 97
撮影機能の設定操作方法. 97
ダイレクトボタンで設定する. 98
ダイレクトボタンで設定できる機能. 98
ダイレクトボタンでの設定方法. 100
LV スーパーコンパネ／スーパーコンパネで設定する. 101
LV スーパーコンパネ／スーパーコンパネについて. 101
LV スーパーコンパネ／スーパーコンパネでの設定方法. 103
LV スーパーコンパネ／スーパーコンパネで設定できる機能. 105
メニューで設定する. 107
メニューでできること. 107
メニューの操作方法. 108
メニュー項目の説明を表示する. 110
グレーで表示されている項目. 110
ピント合わせの基本機能. 111
ピントの合わせ方を設定する（AF 方式／AF 方式）. 111
星空 AF で撮影する. 113
プリセット MF にピント位置を設定する. 113
オートフォーカス時にマニュアルフォーカスでピントを調整して撮影する. 114
ピント合わせの位置を自分で決める（AF ターゲット位置）. 116
ピント合わせの範囲を選ぶ（AF ターゲットモード）. 117
AF ターゲットモードの種類. 117
AF ターゲットモードの選択肢を設定する（AF ターゲットモード設定）. 120
拡大枠 AF／拡大 AF を使う（スーパースポット AF）. 122
ピント合わせの操作方法を設定する機能. 124
AF と MF を併用する（AF+MF）. 124

シャッターボタンでのオートフォーカス動作を設定する（ 半押し時の AF）..... 125
AF-ON ボタンでオートフォーカスする..... 126
マニュアルフォーカス中にオートフォーカスを使う（MF 時の AF-ON 動作）..... 127
非合焦時の動作を設定する（レリーズ優先）..... 128
星空 AF の設定を変更する（星空 AF 設定）..... 129
被写体に合わせた AF 動作をカスタマイズする機能..... 130
特定の被写体を検出してピント合わせをする（ 被写体検出）..... 130
［ 被写体検出］を使って撮影する..... 130
ボタンごとのピント合わせの対象を設定する（ 被写体検出 AF のボタン設定）..... 132
被写体の顔や瞳を検出してピント合わせをする（ 顔・瞳検出）..... 133
［ 顔・瞳検出］を使って撮影する..... 133
顔非検出時の C-AF の動作を設定する（ 顔非検出時の C-AF）..... 135
瞳を検出したときの枠の表示を設定する（瞳検出枠表示）..... 136
C-AF 動作時に中央優先でピント合わせをする（C-AF 中央優先）..... 137
C-AF 動作時のピント合わせの感度を設定する（C-AF 追従感度／C-AF 追従感度）..... 138
C-AF 動作時のピント合わせの速さを設定する（C-AF 動作速度）..... 139
ピント合わせに関するカメラの動作を設定する機能..... 140
オートフォーカス時のレンズの動作範囲を設定する（AF リミッター）..... 140
AF リミッターで登録した距離設定を使用する..... 140
AF リミッターの各項目を設定する..... 141
C-AF 動作時のレンズのスキャン動作を設定する（AF スキャン）..... 142
AF によるピント位置を微調整する（AF 微調節）..... 143
登録されているピント位置の調整値を使用する..... 143
AF 微調節の項目を設定する..... 144
オートフォーカス動作時に補助光を使う（AF 補助光）..... 145
AF ターゲットの表示方法を選択する（AF ターゲット表示）..... 146
ピントを合わせる位置を設定する機能..... 147
AF ターゲットの設定を横位置/縦位置で変える（[⋯] 縦位置/横位置切換）..... 147
AF ターゲットのホームポジションを設定する（[⋯]HOME 登録）..... 149
［[⋯]Home］機能を使う..... 150
AF ターゲット選択設定時の操作方法を設定する（[⋯] 選択画面設定）..... 151
AF ターゲットの循環方法を設定する（[⋯] 循環設定）..... 152

ファインダー撮影時にタッチ操作で AF ターゲットを操作する（AF ターゲットパッド）..... 154
その他のピントを合わせるときに便利な機能..... 155
マニュアルフォーカス時にピント合わせを補助する（MF アシスト）..... 155
輪郭の強調表示についての設定をする（ピーキング表示設定）..... 157
ピーキング表示を使う..... 158
プリセット MF の距離を設定する（プリセット MF 距離）..... 159
MF クラッチを無効にする（MF クラッチ）..... 160
レンズのフォーカスリングの回転方向を設定する（フォーカスリング）..... 161
電源オフ時のレンズの動作を設定する（レンズリセット）..... 162
露出・測光の機能..... 163
画像の明るさを変えて撮影する（露出補正）..... 163
露出補正を設定する..... 164
露出補正をリセットする..... 164
露出設定時の変更ステップを設定する（露出ステップ）..... 166
露出の基準を微調整する（露出基準調整）..... 167
LED 照明による明るさのちらつきを抑えて撮影する（ フリッカースキャン／ フリッカースキャン）..... 168
シャッター速度を設定する..... 169
明るさを測る方法を選ぶ（測光）..... 170
露出を固定する（AE ロック）..... 171
AE ロック動作時の測光方式を設定する（ 時の測光モード）..... 172
撮影後に露出の固定を自動で解除する（ の撮影後解除）..... 173
シャッターボタンの半押しで露出を固定する（ 半押し時の AE ロック）..... 174
連写中の測光動作を設定する（連写中の測光）..... 175
スポット測光時の測光位置を AF ターゲットに合わせる（ 連動スポット測光）..... 176
感度を変更する（ISO 感度／ISO 感度）..... 177
ISO 感度設定時の変更ステップを設定する（ISO 感度ステップ）..... 179
ISO 感度の［Auto］の範囲を設定する（ISO オート上限/基準値／ISO オート上限/基準値）180
自動で ISO 感度を上げるシャッター速度を設定する（ISO オート低速限界）..... 181
ISO 感度の［Auto］を有効にする撮影モードを設定する（ISO オート有効／ISO オート有効）..... 182
ISO 感度が高感度時のノイズ低減を設定する（ 高感度ノイズ低減／ 高感度ノイズ低減）183
撮影時の画像処理の方法を設定する（低感度画像処理）..... 184

長秒時撮影時のノイズ低減の設定をする（長秒時ノイズ低減）... 185
フラッシュ撮影機能... 186
フラッシュを使って撮影する（フラッシュ撮影）... 186
専用外部フラッシュについて... 186
外部フラッシュを取り付ける... 186
フラッシュ発光モードを設定する... 187
フラッシュ発光モード... 187
フラッシュ発光モードと各設定の組み合わせ... 188
発光モードを設定する（フラッシュモード設定）... 191
フラッシュの発光量を調節する（フラッシュ補正）... 192
ワイヤレス RC フラッシュ撮影をする（ RC モード撮影）... 193
フラッシュ使用時のシャッター速度の上限を設定する（ 同調速度）... 194
フラッシュ使用時のシャッター速度の下限を設定する（ 低速制限）... 195
フラッシュ発光量補正に露出補正値を加算する（ + 連動）... 196
連写／セルフタイマー機能... 197
連写する／セルフタイマーを使う... 197
連写モードを設定する（連写設定）... 200
セルフタイマーを設定する（セルフタイマー設定）... 202
シャッター動作時の振動を防いで撮影する（低振動 [♦] 撮影設定）... 203
シャッター音を立てずに撮影する（静音 [♥] 撮影設定）... 204
レリーズタイムラグを防いで撮影する（プロキャプチャー撮影）... 206
シャッターが切れるタイミングを設定する（フリッカーレス撮影）... 208
手ぶれ補正機能... 209
手ぶれを抑えて撮影する（ 手ぶれ補正／ 手ぶれ補正）... 209
手ぶれ補正の詳細項目を設定する... 210
シャッターボタン半押し中の手ぶれ補正動作を設定する（半押し中手ぶれ補正）... 211
手ぶれ補正機能搭載レンズ使用時の手ぶれ補正設定（レンズ手ぶれ補正優先）... 212
色・画質の機能... 213
静止画と動画の画質を設定する（ 画質モード／ 画質モード／S&Q 画質モード）... 213
画質モードを設定する... 213
画質モードを設定する... 214
S&Q 画質モードを設定する... 215

JPEG の画像サイズと圧縮率の組み合わせ（ 画質モード詳細設定）..... 218
アスペクト比を設定する（アスペクト比設定）..... 219
レンズの周辺減光を補正する（シェーディング補正）..... 220
画像の仕上がりを設定する（ ピクチャーモード／ ピクチャーモード）..... 221
プロファイルコントロールスイッチでモードを切り換える..... 221
スーパーコンパネ／メニューで設定する..... 222
ピクチャーモードを設定する..... 222
カラープロファイルコントロールを設定する..... 224
モノクロプロファイルコントロールを設定する..... 226
各モードの詳細項目を設定する..... 227
動画専用のピクチャーモードの項目を設定する..... 231
ピクチャーモード選択の表示設定をする（ ピクチャーモード表示）..... 232
画像の色合いを調整する（ホワイトバランス）..... 233
ホワイトバランスを設定する..... 233
各 WB モードのホワイトバランスを微調整する..... 235
ワンタッチホワイトバランスの設定..... 236
ホワイトバランスを微調整する（全 WB モード補正）..... 238
WB オート設定で電球の色合いを残して撮影する（WB オート 電球色残し）..... 239
フラッシュ発光時のホワイトバランスを設定する（ +WB 連動）..... 240
色の再現方式を設定する（色空間）..... 241
［ ピクチャーモード］時のモニター表示を設定する（ ビューアシスト）..... 242
特殊撮影機能（コンピュテーショナル撮影）..... 243
より解像度の高い静止画を撮影する（ハイレゾショット）..... 243
ハイレゾショット撮影を行う..... 243
ハイレゾショット撮影の各項目を設定する..... 244
撮影する..... 244
CP ボタンで設定する..... 246
明るい環境下でスローシャッター撮影をする（ライブ ND 撮影）..... 247
ライブ ND 撮影を行う..... 247
ライブ ND 撮影の各項目を設定する..... 247
撮影する..... 248
CP ボタンで設定する..... 250

被写界深度の深い写真を撮影する（深度合成撮影）. 251
深度合成撮影を行う. 251
深度合成撮影の各項目を設定する. 252
撮影する. 252
CP ボタンで設定する. 253
HDR（ハイダイナミックレンジ）撮影をする（HDR 撮影）. 254
CP ボタンで設定する. 255
複数の画像を重ね合わせて撮影する（多重露出撮影）. 256
多重露出撮影を行う. 256
多重露出撮影の各項目を設定する. 257
撮影する. 257
CP ボタンで設定する. 258
［再生画+多重］を設定したときは. 258
被写体を拡大して記録する（📷 デジタルテレコン／🎞 デジタルテレコン）. 260
一定時間ごとに自動的に撮影する（インターバル撮影）. 261
インターバル撮影を行う. 261
インターバル撮影の各項目を設定する. 261
撮影する. 263
台形補正をする／遠近感を強調する（デジタルシフト撮影）. 265
フィッシュアイレンズ使用時の画像の歪みを補正する（フィッシュアイ補正撮影）. 267
フィッシュアイ補正撮影を行う. 267
フィッシュアイ補正撮影の各項目を設定する. 268
撮影する. 268
バルブ/タイム/コンポジット撮影時の設定をする（BULB/TIME/COMP の設定）. 270
露出を変えた画像を複数枚記録する（AE BKT）. 272
ホワイトバランスを変えた画像を複数枚記録する（WB BKT）. 274
フラッシュの発光量を変えた画像を複数枚記録する（FL BKT）. 275
ISO 感度の変更により露出を変えた画像を複数枚記録する（ISO BKT）. 276
複数のアートフィルターの設定を適用した画像を同時に記録する（ART BKT）. 277
アートフィルターブラケット撮影を行う. 277
アートフィルターブラケット撮影の項目を設定する. 278
撮影する. 278

ピント位置を変えた画像を複数枚記録する（Focus BKT）. 279
フォーカスブラケット撮影を行う. 279
フォーカスブラケット撮影の各項目を設定する. 279
撮影する. 280
動画専用の機能. 282
録音の設定をする（録音の設定）. 282
記録するタイムコードを設定する（タイムコード設定）. 284
HDMI 機器への出力設定をする（HDMI 出力）. 285
動画撮影中に画面に赤枠を表示する（動画撮影中の赤枠表示）. 286
動画撮影中にランプを点灯する（録画ランプ）. 287
再生する. 288
再生時の情報表示. 288
再生画像情報. 288
情報表示を切り換える. 290
撮った画像／動画を見る. 291
静止画を見る. 291
動画を見る. 292
画像をすばやく探す（インデックス再生／カレンダー再生）. 294
画像を拡大して見る（拡大再生）. 295
タッチパネルを使って見る. 296
1 コマ再生で使う. 296
インデックス再生／カレンダー再生で使う. 297
その他の機能. 298
再生機能を設定する. 299
画像を回転する（回転）. 299
画像を保護する（プロテクト）. 300
画像を消去する（1 コマ消去）. 301
全画像を消去する（全コマ消去）. 302
画像消去のときに確認をしない（ワンプッシュ消去）. 303
RAW+JPEG で記録した画像の消去方法を設定する（RAW+JPEG 消去）. 304
画像の転送予約をする（シェア予約）. 305
RAW+JPEG で記録した画像をシェア予約する（RAW+JPEG シェア予約）. 306

画像にレーティングを設定する（レーティング）. 307
レーティングで使用するレートを設定する（レーティング設定）. 308
複数の画像を一括で処理する（選択コマシェア予約・選択コマレーティング・プロテクト・選択コマ消去）. 309
プリント予約. 310
プリント予約の詳細項目を設定する. 310
プリント予約を行う. 310
プロテクト・シェア予約・プリント予約・レーティングを一括解除する（全コマ一括解除）. . 311
記録した画像に音声をつける（録音）. 312
音声を再生する. 313
撮影した画像を加工する（編集）. 314
RAW 画像を編集する（RAW 編集）. 314
JPEG 画像を加工する（JPEG 編集）. 316
画像を合成する（画像合成）. 318
動画をトリミングする（トリミング）. 319
動画から静止画を作る（静止画切り出し）. 320
再生時の ◉（☑ ボタン）ボタンの機能を変える（▶◉ ボタン機能）. 321
再生時のダイヤルの機能を変える（▶ ダイヤル機能）. 322
画像再生時の拡大倍率を設定する（再生拡大倍率設定）. 323
縦位置で撮影した画像を自動で回転表示する（回転再生）. 324
再生時の情報画面の設定をする（▶Info 表示）. 325
拡大再生時の表示を設定する（▶🔍Info 表示）. 326
インデックス表示の設定をする（▪▪▪ 表示）. 327
操作方法を設定する機能. 328
ボタンの機能を変える（ボタンの設定）. 328
カスタマイズできるボタンと初期設定. 328
ボタンに割り当てられる機能と働き. 329
マルチファンクションを使う（マルチ Fn）. 336
CP ボタンを使う（コンピュテーショナル撮影）. 337
シャッターボタンで動画を録画する（🎥 シャッターボタン機能）. 339
OK ボタンを押したときに表示する画面を設定する（OK で開く機能）. 340
フロント／リアダイヤルの機能を変える（📷 ダイヤル機能／🎥 ダイヤル機能）. 341
フロント／リアダイヤルの操作方向を変える（ダイヤル方向）. 343

電動ズームレンズを使って撮影する（電動ズームの設定）. 344
拡大ライブビュー中にシャッターボタンを押したときの動作を設定する（LV 拡大モード）. . . 345
プレビューボタンの動作を設定する（ロック）. 346
ボタン長押し操作のときの操作時間を設定する（ボタン長押し時間調整）. 347
ライブビューの設定に関する機能. 348
暗いところで画面を見やすくする（ナイトビュー）. 348
アートフィルター撮影時のライブビュー表示の設定をする（アート LV モード）. 349
撮影時の画面表示のちらつきを抑える（フリッカーレス LV）. 350
自分撮りに合わせた表示をする（自分撮りアシスト）. 351
情報表示を設定する機能. 352
ファインダー内表示のスタイルを選ぶ（EVF 表示スタイル）. 352
ファインダー撮影時のファインダー内表示（スタイル 1／スタイル 2）. 352
機能設定アイコンの表示内容を変える（Info 表示／Info 表示）. 354
Info 表示を設定する. 354
Info 表示を設定する. 355
表示を切り換える. 355
シャッターボタン半押し中の情報表示を設定する（半押し中の表示）. 356
ファインダーの情報表示を設定する（Info 表示）. 357
シャッターボタン半押し中に水準器を表示する（半押し中水準器表示）. 358
撮影時に表示するガイド線を設定する（ガイド線表示設定／ガイド線表示設定）. 359
ファインダーにガイド線を表示する（ガイド線表示設定）. 360
CP ボタンで選べる機能を選択する（ボタン表示設定）. 361
マルチ Fn で選べる機能を選択する（マルチ Fn 表示設定）. 362
ヒストグラム表示の警告レベルを設定する（ヒストグラム警告設定）. 363
メニューに関する操作／表示の設定. 364
メニュー画面のカーソルに関する設定をする（メニューカーソル設定）. 364
リアダイヤルによるページの循環方法を設定する（メニュータブ内循環）. 365
［実行/中止］画面のカーソルの初期位置を設定する（実行優先設定）. 366
マイメニューの設定. 367
マイメニューについて. 367
マイメニューの登録方法. 367
マイメニューの内容を整理する. 369

カード/フォルダ/ファイルの設定. 370
カードを初期化する（カード初期化）. 370
ファイル名の付け方を設定する（ファイルネーム）. 371
ファイル名を変える（ファイルネーム編集）. 372
ユーザー情報記録の設定. 373
レンズ情報を登録する（レンズ情報登録）. 373
プリント出力時の解像度を設定する（dpi 設定）. 375
著作権情報を設定する（著作権情報記録）. 376
著作権情報記録を設定する. 376
著作権情報記録の各項目を設定する. 376
モニター/音/接続の設定. 378
タッチパネル機能を無効にする（タッチパネル設定）. 378
モニターの色合い・明るさを調整する（モニター調整）. 379
ファインダーの明るさや色合いを調整する（EVF 調整）. 380
アイセンサーの機能を設定する（アイセンサーの設定）. 381
合焦音を消す（電子音）. 382
外部モニターへの出力設定をする（HDMI 接続設定）. 383
USB ケーブル接続時の動作を設定する（USB の設定）. 384
電池/スリープの設定. 385
モニターのバックライトを減光する（バックライト時間）. 385
スリープ（省電力）モードを設定する（スリープ時間）. 386
自動的に電源を切る設定をする（自動電源 Off）. 387
カメラの電力を抑えて使う設定をする（低消費電力撮影）. 388
低消費電力撮影を設定する. 388
低消費電力撮影の各項目を設定する. 389
リセット/日時/その他の設定. 390
カメラの設定を初期状態に戻す（リセット/カメラ初期化）. 390
日付・時刻を設定する（日時設定）. 391
水準器の調整をする（水準器調整）. 392
画像処理機能をチェックする（ピクセルマッピング）. 393
ファームウェアのバージョンを確認する（ファームウェアバージョン）. 394
各種認証マークを表示する（認証マーク表示）. 395

外部機器と接続する 396
外部機器との接続について 396
Wi-Fi、**Bluetooth**®機能をお使いのときのご注意 397
カメラの無線通信を停止する（機内モード） 398
スマートフォンと接続する 399
スマートフォンとの接続について 399
スマートフォンとの接続設定をする（スマートフォン接続） 400
スマートフォン接続のセキュリティを設定する（スマートフォン接続セキュリティ） 402
無線接続常時受け付けを設定する（Bluetooth） 403
電源オフ時の無線接続設定をする（バックグラウンド通信） 404
［毎回確認］について 404
スマートフォンに画像を転送する 406
カメラの電源オフ時に自動で画像を転送する 407
スマートフォンからリモート撮影する（ライブビューリモコン） 408
スマートフォンからリモート撮影する（ワイヤレスレリーズリモコン） 409
画像に位置情報をつける 410
スマートフォン接続設定を初期化する（スマートフォン接続設定リセット） 411
パスワードを変更する（スマートフォン接続パスワード） 412
パソコンと接続する（USB） 413
ソフトウェアのインストール 413
パソコンに画像を取り込んで保存する（ストレージ／MTP） 414
カメラを Web カメラとして使用する（WEB カメラ） 416
USB 機器から給電する（給電） 418
リモコンを使う 419
各部の名称 419
接続する 420
無線で接続する 420
ペアリングを解除する 421
リモコンからリモート撮影する 422
リモコンの通信ランプの表示 423
リモコンの MAC アドレスについて 424
リモコンの使用上のご注意 425

外部モニター（テレビ）と接続する（HDMI）. 426
カメラと外部モニター（テレビ）との接続について. 426
カメラの画像や動画をテレビで見る（HDMI）. 427
カメラをテレビに接続する. 427
ご注意. 428
本製品の防滴性能について. 428
使用上のご注意. 428
お手入れ. 428
電池についてのご注意. 429
海外での使用について. 430
資料. 431
交換レンズについて. 431
レンズとカメラの組み合わせ. 431
MF クラッチを搭載したレンズについて. 432
SET 機能/CALL 機能を搭載しているレンズ装着時のモニター表示. 433
別売品を使う. 434
専用外部フラッシュ. 434
ワイヤレス RC フラッシュ撮影. 434
市販のフラッシュについて. 437
別売品について. 438
カメラのお手入れと保管. 441
カメラのお手入れ. 441
カメラの保管. 441
撮像素子のクリーニングとチェック. 442
画像処理機能をチェックする — ピクセルマッピング. 442
アフターサービス. 443
こんなときは?. 444
電池を入れてもカメラが動かない. 444
電池が充電されない. 444
シャッターボタンを押しても撮影ができない. 444
AF ターゲットの数が少なくなった. 445
日時設定がされていない. 446

設定した機能が元に戻ってしまう. 446
撮影した画像が全体的に白っぽい. 446
被写体にない明るい点が写り込む. 446
ボタンを押しても望んだ機能が動作せず、違う機能が動作する. 447
メニューで選べない機能がある. 447
スーパーコンパネで設定できない機能がある. 447
被写体が歪んで写る. 447
画像にすじが写る. 447
モニターに被写体のみが表示され、撮影情報が何も表示されない. 448
MF（マニュアルフォーカス）から変更できない. 448
モニターに何も表示されない. 448
エラーコード. 449
仕様. 452
カメラ. 452
リチウムイオン電池. 456
機能と初期設定一覧. 457
機能と初期設定一覧. 457
スーパーコンパネ／LV スーパーコンパネ. 458
1 タブ. 464
2 タブ. 471
AF タブ. 475
タブ. 481
タブ. 485
タブ. 487
タブ. 494
画質設定と記録枚数／記録時間. 498
静止画撮影枚数. 498
動画総記録時間. 500
安全にお使いいただくために. 504
安全にお使いいただくために. 504
⚠ 危険. 504
⚠ 警告. 505

⚠ 注意 507
使用上のご注意 509
その他のご注意 511
機器認定について 511
無線 LAN 機能 512
Bluetooth®機能 512
無線 LAN/Bluetooth®機能の使用について 512
電波障害自主規制について 512
商標について 512
カメラファイルシステム規格について 513

はじめに

はじめにご確認ください

「安全にお使いいただくために」をお読みください

誤った使い方をしたときに生じる人への危害や火災などの財産への損害を未然に防ぐために、製品をご使用になる前に「安全にお使いいただくために」（P.504）をよくお読みください。
カメラを操作しながらこの説明書をお読みいただき、安全に正しくお使いください。お読みになったあとも必ず保管してください。
このカメラを購入した国・地域以外での使用については、その国・地域の規則に違反する恐れがありますので、当社では一切の責任は負えません。

このカメラの無線 LAN、Bluetooth®機能について

このカメラは、無線 LAN および **Bluetooth**®機能を搭載しています。カメラを購入された地域以外での使用については、その国の電波管理規定に違反する恐れがありますので、あらかじめご確認ください。当社では一切の責任は負えません。
使用が禁止されている場所では、無線 LAN および **Bluetooth**®機能を停止させてください。☞ 「カメラの無線通信を停止する（機内モード）」（P.398）

ユーザー登録について

お買い求めいただいた製品のユーザー登録をお願いします。ユーザー登録の方法は、当社ホームページをご確認ください。

カメラで表示する言語について

機能設定時に表示されるガイドやメニューは日本語に固定され、変更できません。🔧 タブの **[🗣]**（言語切り換え）はグレーで表示されます。

ソフトウェア／アプリケーションのインストール

OM Workspace

カメラで撮影した静止画や動画をパソコンに取り込んで、閲覧や編集を行うためのアプリケーションソフトウェアです。カメラのファームウェアのアップデートもできます。ソフトウェアのダウンロードについては当社ホームページをご覧ください。ソフトウェアのダウンロードにはご利用の製品のシリアル No を入力する必要があります。

OM Image Share

カメラでシェア予約した画像をスマートフォンに取り込むことができます。またスマートフォンでカメラをリモート操作し、撮影することができます。アプリケーションについては当社ホームページをご覧ください。

本取扱説明書について

知りたいことの検索方法

本書では、知りたいことを以下の方法で検索することができます。

探しかた	場所
やりたいことから探す	☞ 「もくじ」
カメラのボタンや部位から探す	☞ 「各部の名称」（P.23）
画面に表示されるメニューや用語から探す	☞ 「機能と初期設定一覧」（P.457）

本書の表記について

機能を使用できる撮影モードについて

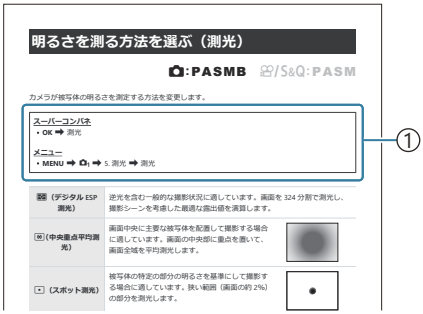
本書では、撮影機能の説明の冒頭で、その機能を使用できる撮影モードを記載しています。黒は使用可能なモード、グレーは使用不可能なモードを表します。

①使用できる撮影モード

AUTO／SCN／ART は被写体や撮影シーンに合わせて最適な設定や効果、エフェクトがあらかじめ登録されています。 使用できる撮影機能は撮影モードによって異なります。

機能の設定方法について

本書では、カメラの各機能の設定方法について、各機能の説明のはじめに記載しています。詳しくは「メニューの操作方法」（P.108）、「撮影機能の設定操作方法」（P.97）をお読みください。

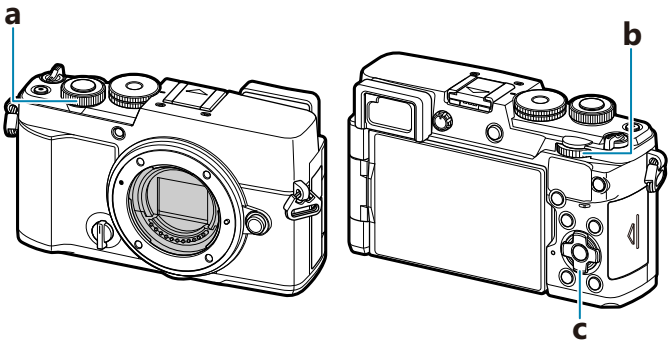


①設定方法

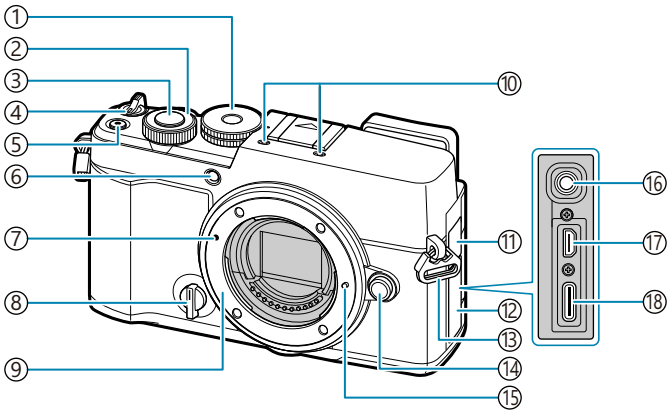
本文中の記号について

本文中、以下の表記を使っています。

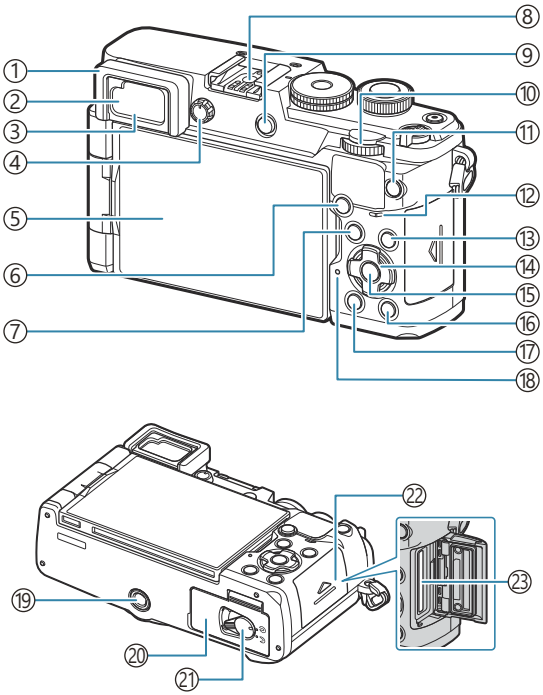
△▽◁▷	十字ボタン（**c**）をそれぞれ上下左右に押す操作を示しています。
	フロントダイヤル（**a**）の操作を示しています。
	リアダイヤル（**b**）の操作を示しています。
	注意事項や制約事項を記載しています。
	知っておくと便利なことや役に立つ情報を記載しています。
☞	関連する情報の参照ページを記載しています。



各部の名称



①モードダイヤル（P.49）
②フロントダイヤル（P.56、P.59、P.61、P.63、P.108、P.291、P.322、P.341、P.343）
③シャッターボタン（P.50）
④電源レバー（📷/🎬/S&Q）（P.38、P.48）
⑤◉（動画）ボタン（P.86）
☑（選択）ボタン（P.309）
⑥セルフタイマーランプ（P.197）
AF 補助光（P.145）
動画録画ランプ（P.287）
⑦レンズ合わせマーク（P.35）
⑧プロファイルコントロールスイッチ（P.221）
⑨マウント（ボディキャップを外してからレンズを取り付けます。）
⑩ステレオマイク（P.282、P.312）
⑪マイク端子カバー
⑫コネクタカバー
⑬ストラップ取り付け部（P.26）
⑭レンズ取り外しボタン（P.36）
⑮レンズロックピン
⑯マイク端子（市販のマイクを接続できます。φ3.5 ステレオミニジャック）（P.282）
⑰HDMI 端子（タイプ D）（P.285、P.427）
⑱USB 端子（タイプ C）（P.29、P.30、P.414、P.416、P.418）

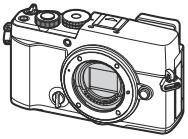


①アイカップ
②アイセンサー（P.44）
③ファインダー（P.44、P.352）
④視度調整ダイヤル（P.44）
⑤モニター（タッチパネル）（P.41、P.44、P.52、P.154、P.296）
⑥**AF-ON** ボタン（P.126、P.127）
　（プロテクト）ボタン（P.300）
⑦**MENU** ボタン（P.108）
⑧ホットシュー（P.186、P.437）
⑨（**LV**）ボタン（P.44）
⑩リアダイヤル（P.56、P.59、P.61、P.63、P.108、P.291、P.322、P.341、P.343）
⑪**CP** ボタン（P.337）
　★（レーティング）ボタン（P.307）
⑫スピーカー
⑬**INFO** ボタン（P.46、P.110、P.290）
⑭十字ボタン（P.98、P.291）
⑮**OK** ボタン（P.108、P.101、P.291）
⑯（再生）ボタン（P.291）
⑰（消去）ボタン（P.301）
⑱バッテリーチャージランプ（P.29）
⑲三脚穴
⑳電池カバー（P.27）
㉑電池カバーロック（P.27）
㉒カードカバー（P.33）
㉓カードスロット（P.33）

準備する

カメラと付属品を確認する

お買い上げの商品には、カメラ本体と次の付属品が入っています。
万一、不足していたり、破損していた場合には、お買い上げ販売店までご連絡ください。



カメラ

ボディキャップ [1]

ホットシューカバー [1]

ストラップ

リチウムイオン電池 BLS-7

取扱説明書 基本編

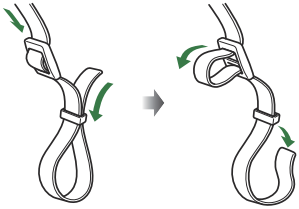
保証書

1 ボディキャップ、ホットシューカバーは、あらかじめカメラ本体に取り付けられています。

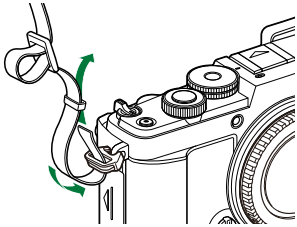
ご購入の際、充電池は十分に充電されていません。ご使用の前に充電を行ってください（P.29）。

ストラップを取り付ける

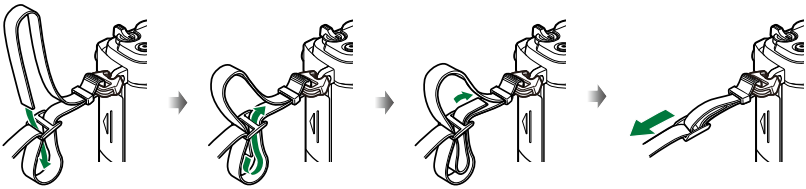
1. カメラに取り付けるために、一度リングから外してほどきます。



2. ストラップの端をカメラのストラップ取り付け部に通してから、再度リングに通します。



3. ストラップの端を留め具に通して固定します。

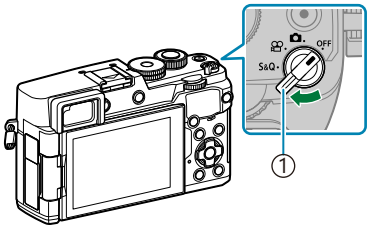


- 同様に逆側も取り付けます。
- 最後にストラップを少し強めに引っ張り、抜けないことを確認してください。

電池を入れる／取り出す

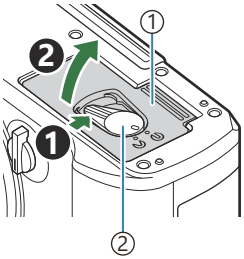
電池を入れる

1. 電源レバーが **OFF** の位置になっていることを確認します。



①電源レバー

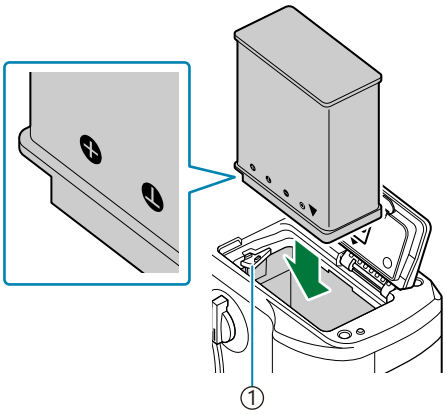
2. 電池カバーを開けます。



①電池カバー
②電池カバーロック

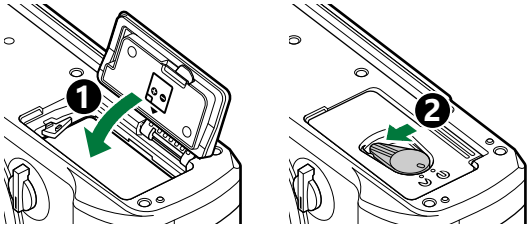
3. 電池を入れます。

- 電池は必ず BLS-7（P.25、P.456）をお使いください。
- 電池は ⊕ を電池ロックノブ側にして図のように入れてください。



①電池ロックノブ

4. 電池カバーを閉めます。

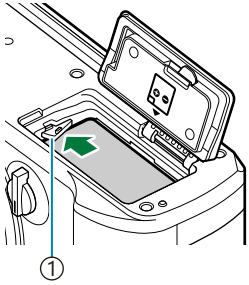


カメラをご使用の際は、必ず電池カバーを閉じてください。

長時間の撮影には、電池の消耗に備えて予備の電池を用意されることをおすすめします。
「電池についてのご注意」（P.429）も併せてお読みください。

電池を取り出す

電池カバーを開け閉めする際は、カメラの電源をオフにしてください。電池を取り出すには、電池ロックノブを矢印の向きに押してロックを外してから取り出します。



①電池ロックノブ

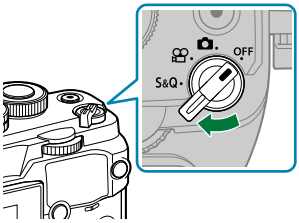
カメラから電池を取り出せなくなった場合は無理に取り出さず、お買い上げ販売店、当社カスタマーサポートセンターにご相談ください。
カード書き込み中のマーク（P.41）が表示されている間は、絶対に電池やカードを抜かないでください。
長期間（1 ヶ月以上）カメラを使わない場合、カメラから電池を取り出して保管してください。

電池を充電する

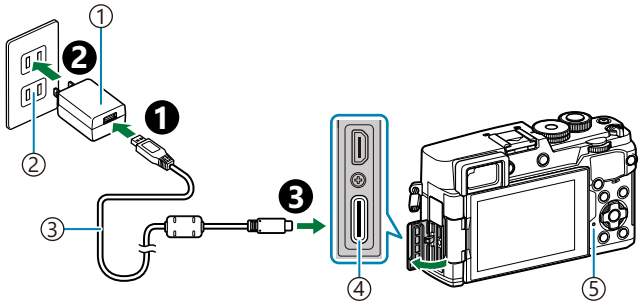
ⓘご購入の際、充電池は十分に充電されていません。ご使用の前に充電を行ってください。
ⓘ充電するときは必ず電池を入れた後に USB ケーブルを接続してください。
ⓘ本機では次の方法で充電ができます。
- USB-AC アダプター F-5AC（別売）を使用した充電（P.29）
- 市販の USB 機器を使用した充電（P.30）
- 別売の充電器（BCS-7）を使用した充電（P.32）

別売の USB-AC アダプター（F-5AC）で電池を充電する

1. 電源レバーが **OFF** の位置になっていることを確認します。

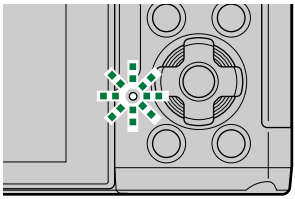


2. USB ケーブル、USB-AC アダプター、電源コンセントを接続します。
ⓘ別売の USB ケーブル（CB-USB11）以外の使用はお控えください。



①USB-AC アダプター F-5AC（別売）
②電源コンセント
③USB ケーブル CB-USB11（別売）
④USB 端子
⑤バッテリーチャージランプ

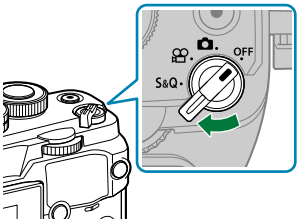
- 充電中はバッテリーチャージランプが点灯します。カメラの電源がオフでの充電時間は約 3 時間です。充電が完了するとランプが消灯しますので、カメラから USB ケーブルを抜いてください。



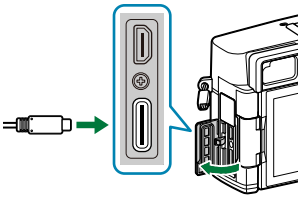
USB 機器で充電する

市販の USB 機器と USB ケーブルで接続しているときは、カメラ本体内の電池を充電することができます。

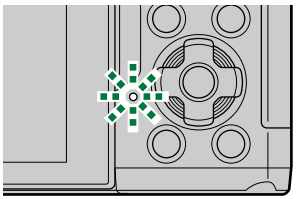
1. 電源レバーが **OFF** の位置になっていることを確認します。



2. カメラと USB 機器を USB ケーブルで接続します。



- 充電中はバッテリーチャージランプが点灯します。接続している USB 機器の出力の仕様によって、充電の時間は変わります。充電が完了するとランプが消灯します。



充電が完了すると電源供給も終了します。再度充電するときは、USB ケーブルを接続しなおしてください。

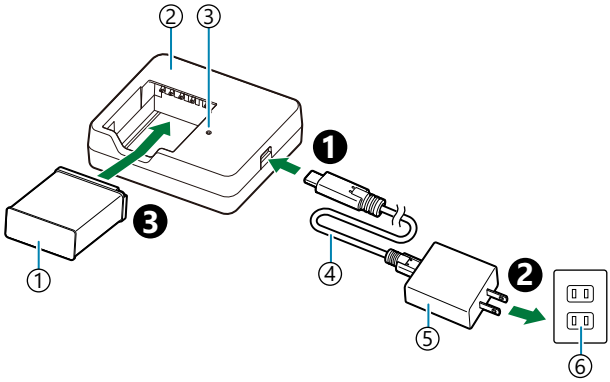
モバイルバッテリーなどの USB 接続した機器から給電して、カメラを動作させることができます。詳しくは「USB 機器から給電する（給電）」（P.418）をお読みください。

充電時のご注意

- バッテリーチャージランプが点滅しているときは充電エラーです。USB ケーブルを外して接続しなおしてください。
- カメラに USB-AC アダプターや市販の USB 機器を接続してもバッテリーチャージランプが点灯しない場合は、充電が開始されていません。以下の手順を行うことで充電が開始される場合があります。
  1. カメラから電池を取り出す
  2. USB-AC アダプターや市販の USB 機器を接続している場合は USB ケーブルを抜く
  3. 電源レバーが **OFF** の位置になっていることを確認する
  4. 電池をしばらく放置してから再度カメラに電池を入れる
  5. USB-AC アダプターや市販の USB 機器を接続する
- お手入れの際は、USB-AC アダプター本体をコンセントから抜いて行ってください。USB-AC アダプター本体を抜かないで行うと、感電・けがの原因となることがあります。
- 周辺の環境温度によっては充電が開始されないことがあります。その場合、バッテリーチャージランプが点滅します。
- 充電中の電池の温度が高くなると、充電は停止します。しばらくして電池の温度が下がると充電を再開します。
- 安全に充電を行うため、高温環境下では、充電時間が長くなる、または充電される容量が少なくなることがあります。

別売の充電器（BCS-7）を使う

1. 電池を充電します。



①リチウムイオン電池（BLS-7）
②リチウムイオン充電器
③充電表示ランプ
④USB ケーブル（CB-USB13：別売）
⑤USB-AC アダプター（F-7AC：別売）
⑥コンセント

- F-7AC を使用した時の充電時間は約 1 時間 30 分です。充電時間は、接続する USB 機器によって異なります。
- 充電表示ランプの状態と充電状況は以下の通りです。

充電表示ランプの状態	充電状況
橙点灯	充電中
消灯	充電完了
橙点滅	充電エラー

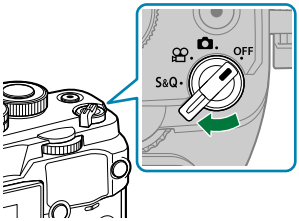
- 詳しくは BCS-7 の取扱説明書をお読みください。

カードを入れる／取り出す

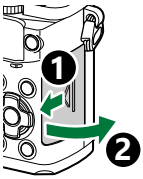
カードを入れる

本書では、記録メディアを「カード」と呼びます。このカメラで使用できるカードは、SD 規格に準拠した SD/SDHC/SDXC カード（市販）です。
新しく購入したカード、他のカメラで使用したカード、パソコンなどで他の用途で使用したカードは、必ずこのカメラで初期化してからお使いください。☞「カードを初期化する（カード初期化）」（P.370）

1. 電源レバーが **OFF** の位置になっていることを確認します。



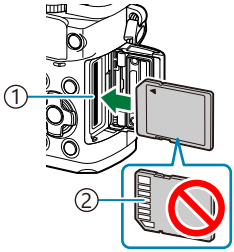
2. カードカバーを開けます。



3. カードを入れます。

- カードがロックされるまで差し込みます。

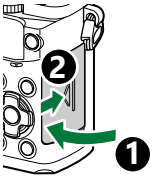
⑦破損、変形したカードを無理に入れないでください。カードスロットを破損させる場合があります。



①カードスロット
②端子部

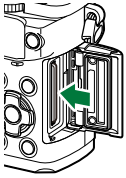
4. カードカバーを閉めます。

- カチッと音がするまでしっかりと閉めます。



カードを取り出す

差し込まれているカードを押し込むと、カードが出てきます。カードをつまんで取り出します。



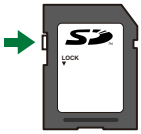
⚠カード書き込み中のマーク（P.41）が表示されている間は、絶対に電池やカードを抜かないでください。

カードについて

本書では、記録メディアを「カード」と呼びます。このカメラで使用できるカードは、SD 規格に準拠した SD/SDHC/SDXC カード（市販）です。使用できるカードの最新情報は当社ホームページをご確認ください。

SD カードの書き込み禁止スイッチについて

SD カード本体は書き込み禁止スイッチを備えています。スイッチを「LOCK」側にしておくと、カードへの書き込みができなくなります。スイッチを戻すと書き込み可能になります。



⚠動画撮影の場合は、SD スピードクラス 10 以上に対応したカードをご使用ください。

⚠次の場合は、UHS-I の UHS スピードクラス 3 以上をご使用ください。

- ムービーサイズ【**4K**】または【**C4K**】で撮影するとき
- フレーム間圧縮【**A-I**】（ALL-Intra）で撮影するとき
- S&Q 時に撮影フレームレート【**120fps**】で撮影するとき

初期化や消去してもカード内のデータは完全には消去されません。廃棄する際は、カードを破壊するなどして個人情報の流出を防いでください。

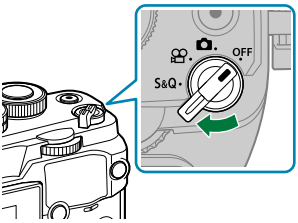
SD カードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっている場合は、再生の一部の機能などで制限があります。

レンズを取り付ける／取り外す

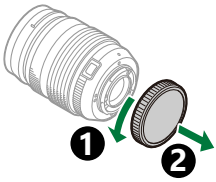
レンズを取り付ける

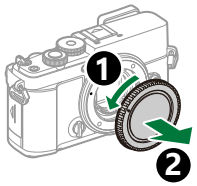
交換レンズについては、「交換レンズについて」（P.431）をお読みください。

1. 電源レバーが **OFF** の位置になっていることを確認します。

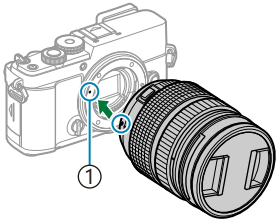


2. レンズのリアキャップ、カメラのボディキャップを外します。



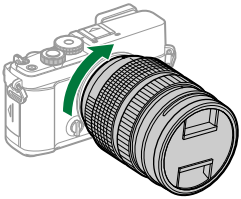


3. カメラのレンズ合わせマーク（赤印）にレンズの取り付け指標（赤印）を合わせ、レンズをボディに差し込みます。



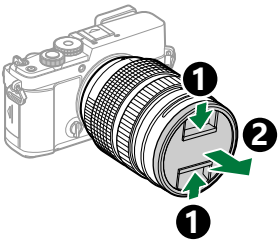
①レンズ合わせマーク

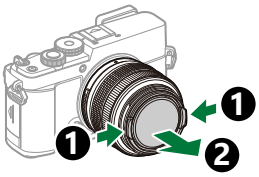
4. レンズの根元を持って、カチッと音がするまで回します。



ⓘレンズ取り外しボタンは押さないでください。
ⓘカメラ内部には触らないでください。

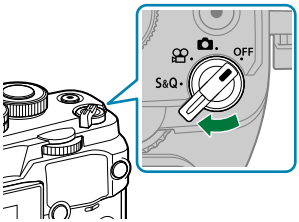
5. レンズキャップを取り外します。



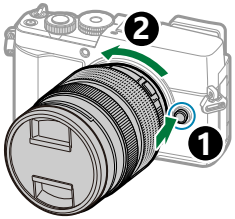


レンズを取り外す

1. 電源レバーが **OFF** の位置になっていることを確認します。

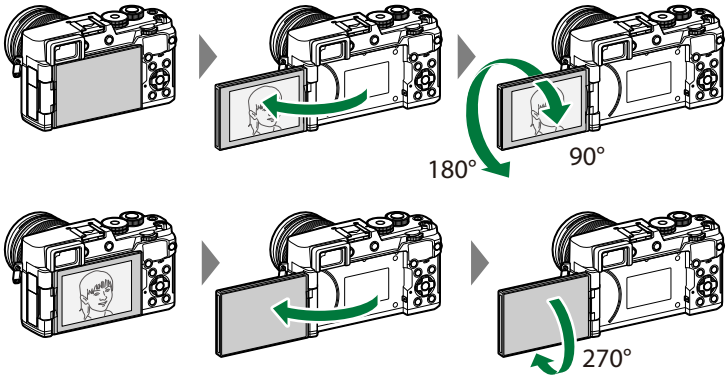


2. レンズ取り外しボタンを押しながら、矢印の方向に回します。

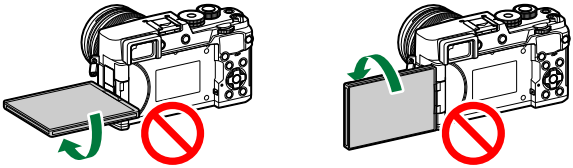


モニターを操作する

モニターの画面を見えるように回転します。モニターは、撮影時の状況に合わせて向きと角度を変えることができます。



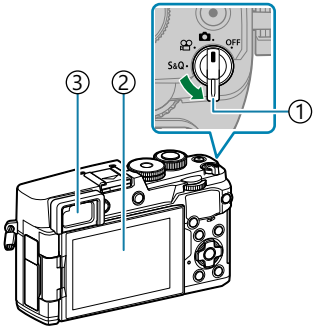
- モニターを回転させるときは、可動範囲内でゆっくりと回してください。次のように可動範囲を超えて、無理な力がかかると接続部の破損の原因となります。



- モニターを自分撮り位置にすると、画面の左右を反転して表示したり、電動ズームレンズのズーム位置を自動的に広角側に移動します。☞「自分撮りに合わせた表示をする（自分撮りアシスト）」（P.351）

電源を入れる

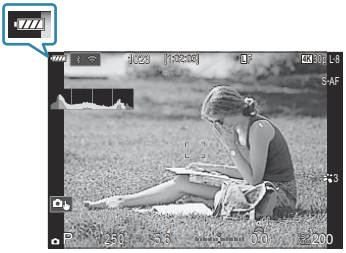
1. 電源レバーを 📷/🎞/S&Q のいずれかに合わせます。
- 電源が入るとモニターが点灯します。



①電源レバー
②モニター
③ファインダー

電池残量表示

電池アイコンと電池残量が表示されます。
- 点灯（白）：撮影できます。
- 点灯（白）：電池が減っています。
- 点灯（白）：残量が少なくなっています。
- 点滅（赤）：充電してください。



- 電源をオフにするには、電源レバーを **OFF** の位置に戻します。

カメラのスリープ動作について

カメラを一定時間操作しないと、電池消耗を抑えるためにカメラが自動的に待機状態になります。この状態をスリープモードといいます。

- スリープモードになるとモニターが消灯し、カメラは動作を停止します。シャッターボタンなどを操作するとカメラは動作を再開します。
- スリープモードに入ってから操作を行わずにさらに一定時間経過すると、電源がオフになります。お使いになるときは、電源を入れなおしてください。

［スマートフォン接続の設定］で**［バックグラウンド通信］**が**［On］**（有効）に設定されていると、電源を入れなおしたときの動作に時間が掛かることがあります。☞「電源オフ時の無線接続設定をする（バックグラウンド通信）」（P.404）

スリープモードまでの時間と電源オフまでの時間はメニューで変更できます。☞「スリープ（省電力）モードを設定する（スリープ時間）」（P.386）、「自動的に電源を切る設定をする（自動電源Off）」（P.387）

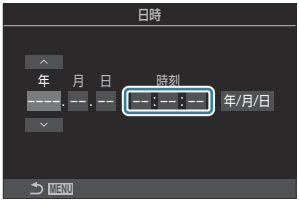
初期設定をする

初めて電源を入れたときは、初期設定として日時の設定を行います。

ファイル名は日付の情報をもとに付けられます。お使いになる前に必ず正しい日時を設定してください。設定されていないと使用できない機能もあります。

1. 電源レバーを 📷/🎞/S&Q のいずれかに合わせて日付／時刻／日付表示順序を設定します。

- ◁▷ ボタンで項目を選びます。
- △▽ ボタンで内容を選びます。
- 時刻は 24 時間表示です。
- タッチ操作でも項目や内容の選択ができます。



日時設定画面

日時の設定は、メニューで後から変更できます。☞「日付・時刻を設定する（日時設定）」（P.391）

2. **OK** ボタンを押します。

3. △▽ ボタンで地域を選択し、**OK** ボタンを押します。

- **INFO** ボタンでサマータイムの設定ができます。

4. **OK** ボタンを押して、設定を終了します。

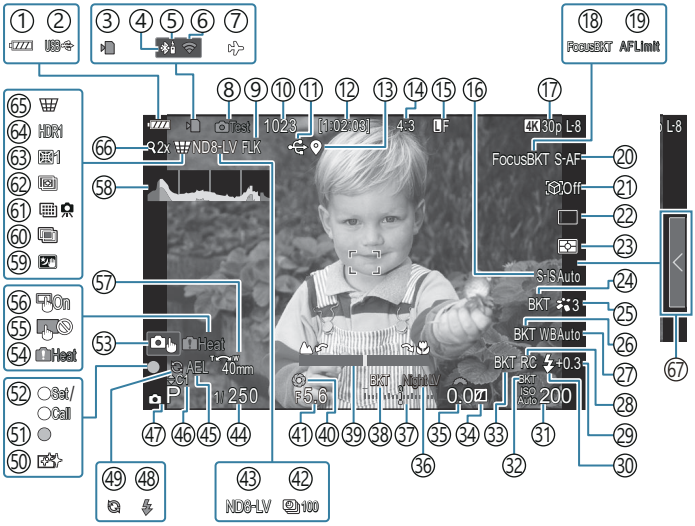
日時の情報は画像とともにカードに記録されます。

カメラから電池を取り外してしばらく放置すると、日時がリセットされる場合があります。リセットされたときは、メニューから設定してください。☞「日付・時刻を設定する（日時設定）」（P.391）

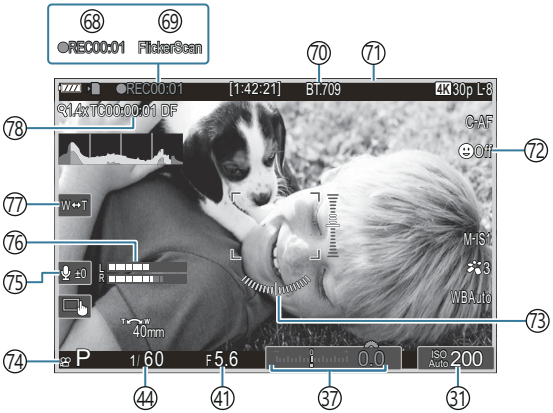
撮影する

撮影時の情報表示

静止画撮影時のモニター表示



動画撮影時のモニター表示



①電池残量（P.38）
②給電（P.418）
③カード書き込み中（P.28、P.34）
④**Bluetooth**®接続中（P.403、P.420）
⑤リモコン（P.420）
⑥無線 LAN 接続（P.400）
⑦機内モード（P.398）
⑧試し撮り撮影（P.329）
⑨フリッカーレス撮影（P.208）
⑩撮影可能枚数（P.498）
⑪USB 接続中（P.416）
⑫録画可能時間（P.500）
⑬**Bluetooth**®位置情報付与（P.410）
⑭アスペクト比（P.219）
⑮ 画質モード（P.213）
⑯手ぶれ補正（P.209）
⑰ 画質モード／S&Q 画質モード（P.214、P.215）
⑱Focus BKT（P.279）
⑲AF リミッター（P.140）
⑳AF 方式（P.111）
㉑被写体検出（P.130）
㉒ドライブ（単写／連写／セルフタイマー／低振動撮影／静音撮影／プロキャプチャー撮影）（P.197／P.203／P.204／P.206）
㉓測光方式（P.170）
㉔ART BKT（P.277）
㉕ピクチャーモード（P.221）
㉖WB BKT（P.274）
㉗WB モード（P.233）
㉘RC モード（P.193）
㉙フラッシュ補正（P.192）
㉚フラッシュモード（P.187）
㉛ISO 感度（P.177）
㉜ISO BKT（P.276）
㉝FL BKT（P.275）
㉞ハイライト&シャドウコントロール（P.336）
㉟露出補正値（P.163）
㊱ ナイトビュー（P.348）
㊲露出補正（P.163）
㊳AE BKT（P.272）
㊴フォーカス距離指標（P.155）
㊵プレビュー（P.346）
㊶絞り値（P.56、P.59）
㊷インターバル撮影（P.261）
㊸ライブ ND 撮影（P.247）
㊹シャッター速度（P.56、P.61）
㊺AE ロック（P.171）
㊻カスタムモード（P.90）
㊼ 撮影モード（P.56）
㊽フラッシュ（点滅：充電中、点灯：充電完了）（P.186）
㊾プロキャプチャー画像取り込み中（P.206）
㊿ダストリダクション（P.442）
(51)合焦マーク（P.50）
(52)SET 機能/CALL 機能（P.433）
(53)タッチ操作（P.52）
(54)内部温度上昇警告（P.449）
(55)タッチパネルロック（P.329）
(56)AF ターゲットパッド（P.154）
(57)ズーム操作方向／焦点距離

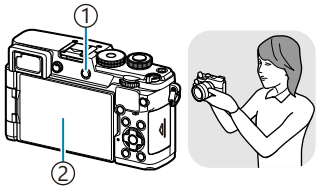
㊽ヒストグラム（P.47）
㊾手持ち夜景（P.75）
㊿多重露出撮影（P.256）
(61)ハイレゾショット（P.243）
(62)深度合成撮影（P.251）
(63)フィッシュアイ補正撮影（P.267）
(64)HDR 撮影（P.254）
(65)デジタルシフト撮影（P.265）
(66)デジタルテレコン（P.260）
(67)ライブガイド呼び出し（P.71）
(68)録画時間（録画中）（P.86）
(69)フリッカースキャン（P.168）
(70) ビューアシスト（P.242）
(71)動画撮影中の赤枠（P.286）
(72) 顔・瞳検出（P.133）
(73)水準器（P.47）
(74) /S&Q 撮影モード（P.86）
(75)録音レベル（P.89）
(76)録音レベルメーター（P.89）
(77)電動ズーム（P.89）
(78)タイムコード（P.284）

表示の切り換え

このカメラは、アイセンサーの働きによってファインダーとモニターの画面を自動的に切り換えます。また、ファインダーやモニターの画面（ライブビュー表示／スーパーコンパネ）には、撮影機能の設定状態を示す情報が表示されます。画面の切り換えや情報表示の状態は設定により選択ができます。

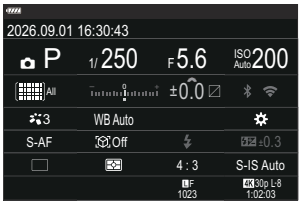
モニターを使って撮影する

モニターの撮影画面がライブビュー表示されます。
モニターがライブビュー表示中に |◯| (**LV**) ボタンを押すと、ライブビュー表示からスーパーコンパネに切り換わります。



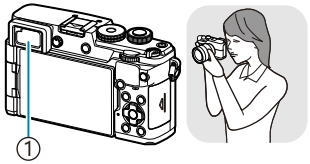
①|◯| (**LV**) ボタン
②モニター

|◯| (**LV**)



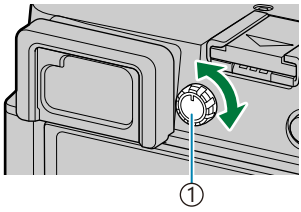
ファインダーを使って撮影する

目を近づけると自動的にファインダーが点灯します。ファインダー点灯中は、モニターは消灯します。



①ファインダー

- ファインダー内の表示がぼやけて見えるときは、ファインダーをのぞきながらファインダー内の表示がはっきり見えるまで視度調整ダイヤルを回します。



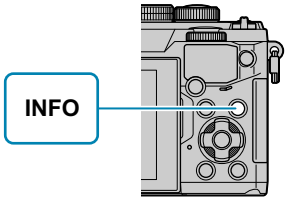
①視度調整ダイヤル

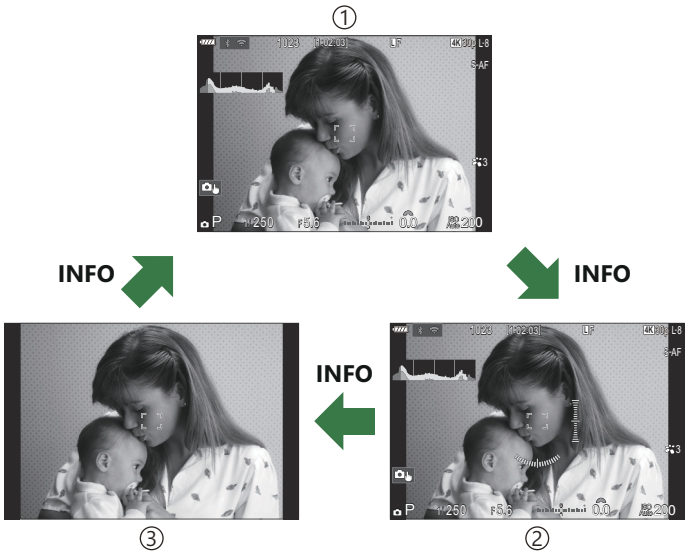
モニターとファインダーの自動切り換えを手動にしたり、ファインダーの表示スタイルを変更したりできます。☞「ファインダー内表示のスタイルを選ぶ（EVF 表示スタイル）」（P.352）、「アイセンサーの機能を設定する（アイセンサーの設定）」（P.381）

情報表示を切り換える

:PASMB　/S&Q:PASM

INFO ボタンで撮影時の情報表示の切り換えができます。





①情報表示 1
②情報表示 2（ モードのみ）
③情報表示無し

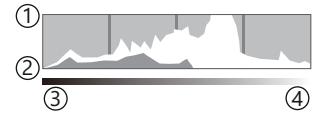
INFO ボタンを押しながらダイヤルを回して撮影時の情報表示を双方向に変更することもできます。

表示する内容を、静止画（ モード）と動画（ モード／S&Q モード）で個別に設定できます。「機能設定アイコンの表示内容を変える（Info 表示／Info 表示）」（P.354）

シャッターボタンを半押ししたときの情報表示のオンオフを設定できます。「シャッターボタン半押し中の情報表示を設定する（ 半押し中の表示）」（P.356）

ヒストグラム表示

画像の明るさの分布をヒストグラムで表示します。横軸は明るさ、縦軸は明るさごとの画素数を表しています。撮影時は上限値以上の部分を赤、下限値以下の部分を青、スポット測光のエリア内を緑で表示します。上限値や下限値の設定は変更できます。☞「ヒストグラム表示の警告レベルを設定する（ヒストグラム警告設定）」（P.363）



①多い　③暗い
②少ない　④明るい

ハイライト&シャドウ

ヒストグラム表示の上限値および下限値の設定に従って、ハイライトやシャドウ部を赤色や青色で表示します。上限値や下限値の設定は変更できます。☞「ヒストグラム表示の警告レベルを設定する（ヒストグラム警告設定）」（P.363）

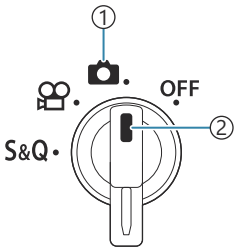
水準器表示

カメラの傾きを表示します。「あおり」方向は縦のバー、「水平」方向は横のバーで表示します。

- 水準器の表示は目安としてお使いください。
- 表示にずれがあるときは、調整することができます。☞「水準器の調整をする（水準器調整）」（P.392）

/S&Q を切り換える

電源レバー（/S&Q）を使ってモードを切り換えます。



①使用するモードのアイコン
②指標

	静止画撮影を行います（P.50）。
	通常の再生スピードの動画撮影を行います（P.86）。
S&Q	再生フレームレートと異なる撮影フレームレートで撮影することで、スローモーション動画やクイックモーション動画が撮影できます（P.86）。

S&Q モードで撮影した動画には、音声は記録されません。

撮影モードを使う

撮影モードの種類

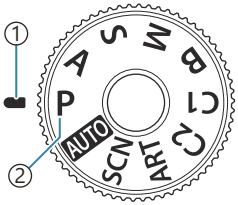
各撮影モードの詳細はそれぞれのページをご覧ください。

P	プログラム AE（P.56）
A	絞り優先 AE（P.59）
S	シャッター優先 AE（P.61）
M	マニュアル（P.63）
B	バルブ撮影／タイム撮影（P.66）
	ライブコンポジット撮影（P.69）
AUTO	オート（P.71）
SCN	シーン（P.74）
ART	アートフィルター（P.81）
C1／C2	カスタム（P.92）

- 電源レバーが 🎞 または S&Q に設定されているときは、モードダイヤルを **B** に設定してもバルブ撮影／タイム撮影／ライブコンポジット撮影は使用できません。
- 電源レバーが S&Q に設定されているときは、モードダイヤルを **ART** に設定してもアートフィルター撮影は使用できません。

撮影モードを選ぶ

モードダイヤルを回して使用するモードに合わせます。



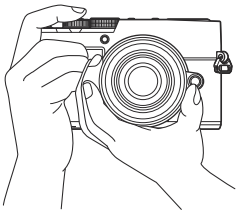
①指標
②使用するモードのアイコン

静止画を撮る

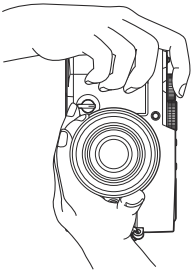
1. 電源レバーを 📷 に合わせます。

2. モードダイヤルを回して使用するモードに合わせます。

3. カメラを構えて構図を決めます。
ⓘレンズや AF 補助光に指やストラップがかからないよう、ご注意ください。



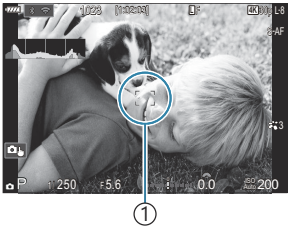
横位置



縦位置

4. ピントを合わせます。

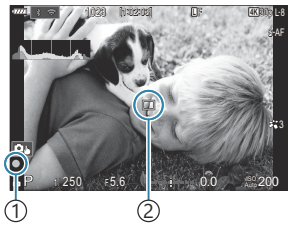
- 撮りたい被写体に AF フレームを合わせます。



①AF フレーム

- シャッターボタンを 1 段目まで浅く押し込みます（半押し）。

- 合焦マーク（●）が表示され、ピントの合ったところに緑の枠（AF ターゲット）が表示されます。



①合焦マーク
②AF ターゲット

AF-ON ボタンを押してもピントを合わせることができます（P.126）。
合焦マークが点滅しているときは、被写体にピントが合っていません（P.445）。
AF フレームの形状は AF ターゲットモードの設定により変わります。AF ターゲットの範囲（P.117）や AF ターゲット位置（P.116）を変更、設定して使用してください。
AF ターゲットの設定（P.117）が [▦]All（オールターゲット）のときは AF フレームは表示されません。

5. 撮影します。

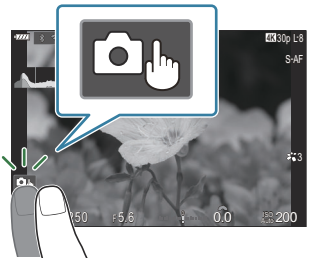
- 半押しの状態から、さらにシャッターボタンを押し込みます（全押し）。
- シャッターが切れ、撮影されます。

タッチ操作でもピント合わせや静止画の撮影ができます。☞「タッチパネルを使って撮る」（P.52）

タッチパネルを使って撮る

:PASMB　/S&Q:PASM

ピントを合わせたい位置にタッチして撮影することができます。



	タッチした箇所にピントを合わせて自動的に撮影します。 ⚠次の場合は使用できません。 - 電源レバーが で、モードダイヤルが **B**（バルブ）のとき - 電源レバーが または **S&Q** のとき
	タッチ操作での撮影を禁止します。
	タッチした箇所に AF ターゲットを表示してピントを合わせます。AF フレームの大きさや位置は指で操作できます。撮影はシャッターボタンを押します。
/	カメラが被写体を検出したときに被写体にタッチすると、ピントを合わせるメインの被写体になります。 モードの場合、 は［ **被写体検出**］を［**Off**］以外に設定したときに表示されます（P.130）。 モード／**S&Q** モードの場合、 は［ **顔・瞳検出**］を［**On**］に設定したときに表示されます（P.133）。 ⚠電源レバーが **S&Q** で、［**S&Q 画質モード**］の［**撮影フレームレート**］が［**120fps**］のときは使えません（P.215）。

- アイコンをタッチすると、設定が切り換わります。

⚠先のとがったものや爪で操作しないでください。
⚠モニター保護シートや手袋を使っていると、うまく操作できない場合があります。

ピントを合わせる被写体を確認する（ ）

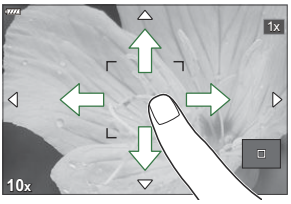
1. ピントを合わせたい被写体にタッチします。

- AF ターゲットが表示されます。
- レベルバーを指で上下させると枠の大きさを変えられます。

- Off にタッチすると AF ターゲット表示を終了します。

2. レベルバーで AF ターゲットの大きさを調節してから にタッチすると、枠の位置を拡大表示します。

- 拡大中に、タッチした状態で指を動かすとスクロールできます。



- 1x にタッチすると拡大表示を終了します。

次の場合はタッチ操作できません。

- ボタンまたはダイヤル操作中など

タッチパネルの操作を禁止することができます。☞「タッチパネル機能を無効にする（タッチパネル設定）」（P.378）

撮影直後に画像を表示する時間を設定する（撮影画像の確認時間）

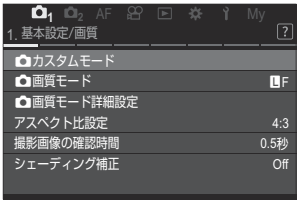
:PASMB **/S&Q:PASM**

撮影直後に自動的に撮影した画像を表示します。撮影した画像の簡単なチェックができます。画像を表示する時間を変更したり、画像の表示をやめることができます。
撮影画像を表示中でもシャッターボタンを半押しするとすぐに次の撮影に入れます。

Auto ▶	撮影後、画像の再生状態に移ります。画像の消去などの再生時の操作ができます。
Off	確認用の画像を表示しません。被写体を表示し続けます。
0.3〜20 秒	画像を表示する時間を指定します。

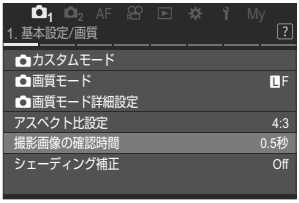
1. **MENU** ボタンを押して、メニューを表示します。

2. フロントダイヤルで 1（静止画 1）タブを選びます。

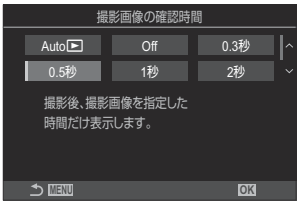


3. ◁▷ またはリアダイヤルで［**1. 基本設定/画質**］を選びます。

4. △▽ ボタンで［**撮影画像の確認時間**］を選び、**OK** ボタンを押します。



5. △▽◁▷ ボタンで設定を変更して、**OK** ボタンを押します。



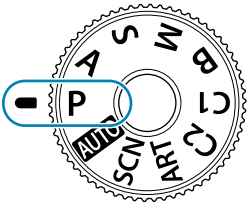
6. **MENU** ボタンを押して、メニューを終了します。

絞り値とシャッター速度を自動で設定して撮影する（Pプログラム撮影）

被写体の明るさに応じて、最適な絞り値とシャッター速度をカメラが自動的に設定します。

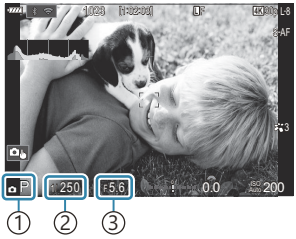
1. 電源レバーを 📷 に合わせます。

2. モードダイヤルを **P** に合わせます。



3. 被写体にピントを合わせて表示を確認します。

- フロントおよびリアダイヤルで次の機能を設定できます。
  フロントダイヤル：露出補正（P.163）
  リアダイヤル：プログラムシフト（P.58）
- カメラが設定したシャッター速度と絞り値が表示されます。



①撮影モード
②シャッター速度
③絞り値

4. 撮影します。

フロント／リアダイヤルで設定できる機能を変更することができます。☞「フロント／リアダイヤルの機能を変える（📷 ダイヤル機能／🎥 ダイヤル機能）」（P.341）

🎥 または S&Q の場合は、「🎥 モード／S&Q モードで撮る」（P.86）を参照してください。

適正露出が得られないときは

シャッター速度と絞り値が次のように点滅しているときは、適正露出が得られません。

警告表示例	状態と対処方法
絞り値が小さい値でシャッター速度が遅い場合 	被写体が暗すぎます。 • フラッシュを使ってください。
絞り値が大きい値でシャッター速度が速い場合 	被写体が明るすぎます。 • カメラの測光範囲を超えています。市販の ND フィルター（光量調節用）が必要です。 • **[♥]**（静音撮影）に設定すると、シャッター速度を 1/32000 まで上げることができます。☞ 「シャッター音を立てずに撮影する（静音 **[♥]** 撮影設定）」（P.204）、「連写する／セルフタイマーを使う」（P.197）

- **[ISO 感度]** を **[Auto]** 以外に設定しているときは、設定を変更することで適正露出が得られる場合があります。☞ 「感度を変更する（ISO 感度／ISO 感度）」（P.177）
- 点滅時の絞り値は、使用するレンズおよび焦点距離によって変わります。

プログラムシフトについて

自動的に設定された絞り値とシャッター速度の組み合わせを、露出を変えずに変更することができます。これをプログラムシフトといいます。

1. 使いたい絞り値、またはシャッター速度が表示されるまでリアダイヤルを回します。

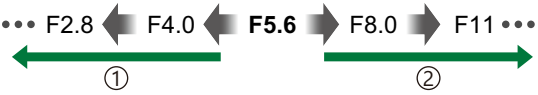
- プログラムシフトをすると、画面の撮影モードの **P** が **Ps** と表示されます。プログラムシフトを解除するには、表示が **P** になるまで、リアダイヤルを逆に回します。

①

①プログラムシフト

絞りを決めて撮影する（A 絞り優先撮影）

絞り値（F 値）を設定すると、被写体の明るさに応じてカメラが適正なシャッター速度を自動的に設定します。絞り値の数値を小さくする（絞りを開く）ほど、ピントの合う範囲（被写界深度）が狭くなり、背景のボケが強くなります。絞り値の数値を大きくする（絞りを絞る）ほど、ピントの合う範囲が前後に広くなります。

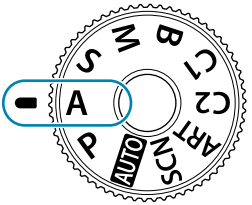


①絞り値を小さくする
ピントの合う範囲が狭くなり、ボケが強くなる

②絞り値を大きくする
ピントの合う範囲が広くなる

1. 電源レバーを 📷 に合わせます。

2. モードダイヤルを **A** に合わせます。



3. 絞り値を設定します。

- フロントおよびリアダイヤルで次の機能を設定できます。
  フロントダイヤル：露出補正（P.163）
  リアダイヤル：絞り値

①絞り値

- 適正なシャッター速度が自動的に設定され画面に表示されます。

4. 撮影します。

フロント／リアダイヤルで設定できる機能を変更することができます。☞「フロント／リアダイヤルの機能を変える（📷 ダイヤル機能／ダイヤル機能）」（P.341）

設定した値まで実際に絞りを動作させて、ピントの合う範囲を確認できます（プレビュー）。
☞「ボタンの機能を変える（ボタンの設定）」（P.328）
または S&Q の場合は、「 モード／S&Q モードで撮る」（P.86）を参照してください。

適正露出が得られないときは

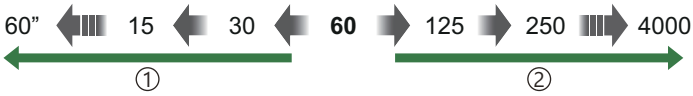
シャッター速度が次のように点滅しているときは、適正露出が得られません。

警告表示例	状態と対処方法
シャッター速度が遅い場合 	露出アンダー（露出不足）です。 • 絞り値を小さくしてください。
シャッター速度が速い場合 	露出オーバー（露出過度）です。 • 絞り値を大きくしてください。 • 絞り値を大きくしても解消されないときは、カメラの測光範囲を超えています。市販の ND フィルター（光量調節用）が必要です。 • [♥]（静音撮影）に設定すると、シャッター速度を 1/32000 まで上げることができます。☞「シャッター音を立てずに撮影する（静音[♥] 撮影設定）」（P.204）、「連写する／セルフタイマーを使う」（P.197）

[ISO 感度] を［Auto］以外に設定しているときは、設定を変更することで適正露出が得られる場合があります。☞「感度を変更する（ ISO 感度／ ISO 感度）」（P.177）

シャッター速度を決めて撮影する（S シャッター優先撮影）

シャッター速度を設定すると、被写体の明るさに応じてカメラが適正な絞り値を自動的に設定します。シャッター速度を速くすると、動きの速い被写体でも止まっているように撮影できます。シャッター速度を遅くすると、動いているものはぶれて撮影されますが、躍動感や動きのある仕上がりになります。

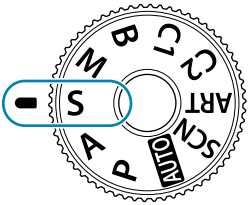


①シャッター速度を遅くする
躍動感や動きのある仕上がりになる

②シャッター速度を速くする
動きの速い被写体を止まったように撮影する

1. 電源レバーを 📷 に合わせます。

2. モードダイヤルを **S** に合わせます。



3. シャッター速度を設定します。

- フロントおよびリアダイヤルで次の機能を設定できます。
  フロントダイヤル：露出補正（P.163）
  リアダイヤル：シャッター速度
- シャッター速度は、1/4000 ～ 60 秒に設定できます。
- 静音撮影に設定時は、1/32000 秒まで設定できます。
  ☞「シャッター音を立てずに撮影する（静音 [♥] 撮影設定）」（P.204）、「連写する／セルフタイマーを使う」（P.197）

①シャッター速度

- 絞り値が自動的に設定され画面に表示されます。

4. 撮影します。

フロント／リアダイヤルで設定できる機能を変更することができます。☞「フロント／リアダイヤルの機能を変える（📷 ダイヤル機能／🎥 ダイヤル機能）」（P.341）

低速のシャッター速度が使えない明るい環境でも、長秒時シャッターで撮影したような効果を得ることができます。☞「明るい環境下でスローシャッター撮影をする（ライブ ND 撮影）」（P.247）

蛍光灯や LED 光源の環境では、設定したシャッター速度によっては、光源のちらつき（フリッカー）の影響で、モニターに縞模様やちらつきが発生する場合があります。撮影時のちらつきを抑えたり、記録する画像に写るのを防ぐことができます。☞「シャッターが切れるタイミングを設定する（フリッカーレス撮影）」（P.208）、「LED 照明による明るさのちらつきを抑えて撮影する（📷 フリッカースキャン／🎥 フリッカースキャン）」（P.168）

🎥 または S&Q の場合は、「🎥 モード／S&Q モードで撮る」（P.86）を参照してください。

適正露出が得られないときは

絞り値が次のように点滅しているときは、適正露出が得られません。

警告表示例	状態と対処方法
絞り値が小さい場合 1/2000 F2.8	露出アンダー（露出不足）です。 • シャッター速度を遅くしてください。
絞り値が大きい場合 1/125 F22	露出オーバー（露出過度）です。 • シャッター速度を速くしてください。静音撮影に設定すると、シャッター速度の上限が 1/32000 になります。 • シャッター速度を速くしても解消されないときは、カメラの測光範囲を超えています。市販の ND フィルター（光量調節用）が必要です。

［📷ISO 感度］を［Auto］以外に設定しているときは、設定を変更することで適正露出が得られる場合があります。☞「感度を変更する（📷ISO 感度／🎥ISO 感度）」（P.177）

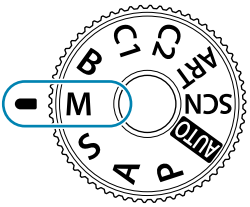
点滅時の絞り値は、使用するレンズおよび焦点距離によって変わります。

絞りとシャッター速度を自分で決めて撮影する（M マニュアル撮影）

絞り値とシャッター速度を自分で設定します。被写体に合わせて速いシャッター速度にしつつ、絞り込んで被写界深度を確保するといった、狙いに合わせた撮影ができます。

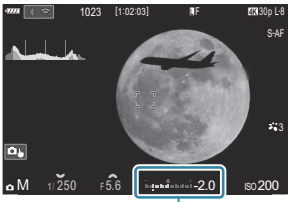
1. 電源レバーを 📷 に合わせます。

2. モードダイヤルを **M** に合わせます。



3. 絞り値とシャッター速度を設定します。

- フロントおよびリアダイヤルで次の機能を設定できます。
  フロントダイヤル：絞り値
  リアダイヤル：シャッター速度
- シャッター速度は、1/4000 ～ 60 秒に設定できます。
- 静音撮影に設定時は、シャッター速度を 1/32000 秒まで上げることができます。☞「シャッター音を立てずに撮影する（静音 [♥] 撮影設定）」（P.204）
- 設定されている絞り値とシャッター速度による露出と、カメラが測った適正露出との差が画面に表示されます。差が±3以上になると表示が点滅します。



①適正露出との差

- **[📷ISO 感度]** が **[Auto]**（オート）のときは、設定した露出で適正露出になるように ISO 感度が設定されます。**[📷ISO 感度]** は初期設定では **[Auto]** です。☞「感度を変更する（📷ISO 感度／🎥ISO 感度）」（P.177）

4. 撮影します。

フロント／リアダイヤルで設定できる機能を変更することができます。☞「フロント／リアダイヤルの機能を変える（ダイヤル機能／ダイヤル機能）」（P.341）

蛍光灯や LED 光源の環境では、設定したシャッター速度によっては、光源のちらつき（フリッカー）の影響で、モニターに縞模様やちらつきが発生する場合があります。撮影時のちらつきを抑えたり、記録する画像に写るのを防ぐことができます。☞「シャッターが切れるタイミングを設定する（フリッカーレス撮影）」（P.208）、「LED 照明による明るさのちらつきを抑えて撮影する（フリッカースキャン／フリッカースキャン）」（P.168）

または S&Q の場合は、「モード／S&Q モードで撮る」（P.86）を参照してください。

適正露出が得られないときは

［ISO 感度］が**［Auto］**で、適正露出が得られないときは、ISO 感度表示が次のように点滅します。

警告表示例	状態と対処方法
	露出オーバー（露出過度）です。 • 絞り値を大きくするか、シャッター速度を速くしてください。
	露出アンダー（露出不足）です。 • 絞り値を小さくするか、シャッター速度を遅くしてください。 • それでも解消されないときは、ISO 感度を上げてください。☞「感度を変更する（ISO 感度／ISO 感度）」（P.177）、「ISO 感度の［Auto］の範囲を設定する（ISO オート上限/基準値／ISO オート上限/基準値）」（P.180）

M モード時の露出補正について

M モード時に［**ISO 感度**］が［**Auto**］（オート）のときは露出補正の設定ができます。ISO 感度の変更によって露出補正を行うため、絞り値やシャッター速度の設定は変更されません。☞「感度を変更する（ISO 感度／ISO 感度）」（P.177）、「ISO 感度の［Auto］の範囲を設定する（ISO オート上限/基準値／ISO オート上限/基準値）」（P.180）

M モード時に露出補正の設定を行うときは、いずれかのボタンに［**±**］を割り当てておく必要があります。☞「ボタンの機能を変える（ボタンの設定）」（P.328）

1. ［**±**］を割り当てたボタンを押しながらフロント／リアダイヤルを回します。

- 露出補正を行うと、設定値と適正露出との差に、設定した補正値が加味されて画面に表示されます。

①補正値を加味した露出設定値との差
②露出補正値

長秒時撮影を行う（B BULB/TIME 撮影）

シャッターを長時間開いて露光をします。ライブビューの画面で仕上がりを確認しながら任意のタイミングで撮影を終了することもできます。夜景や打ち上げ花火のような長時間の露光が必要なときに設定します。

長秒時撮影の際は、カメラを三脚にしっかりと固定することをお勧めします。

バルブ撮影（Bulb）、ライブバルブ撮影（Live Bulb）
シャッターボタンを押している間、露光を続けます。シャッターボタンを離すと露光が終了します。

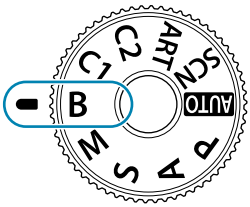
- 露光中の明るさは加算されます。
- ライブバルブ撮影のときは、露光中の画像をライブビュー表示で仕上がりを確認しながら、任意のタイミングで撮影を終了することができます。

タイム撮影（Time）、ライブタイム撮影（Live Time）
シャッターボタンを全押しすると露光を始めます。露光を終了するときは、もう一度シャッターボタンを全押しします。

- 露光中の明るさは加算されます。
- ライブタイム撮影のときは、露光中の画像をライブビュー表示で仕上がりを確認しながら、任意のタイミングで撮影を終了することができます。

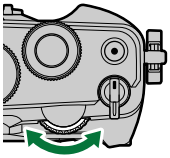
1. 電源レバーを 📷 に合わせます。

2. モードダイヤルを **B** に合わせます。



3. **[Bulb]**（バルブ撮影）または **[Time]**（タイム撮影）に設定します。

- 初期設定では、リアダイヤルで設定します。



①バルブ撮影、タイム撮影

4. **MENU** ボタンを押します。

- 撮影中のライブビュー表示の間隔を設定するメニューが表示されます。

5. △▽ で表示更新間隔を設定します。

6. **OK** ボタンを押して設定を確定します。

- メニュー画面が表示されます。

7. **MENU** ボタンを繰り返し押して、メニューを終了します。

- **[Off]** 以外に設定したときは、画面に **[Live Bulb]** または **[Live Time]** と表示されます。

8. 絞り値を設定します。

- 初期設定では、フロントダイヤルで設定します。

①絞り値

9. 撮影します。

- バルブまたはライブバルブ撮影の場合はシャッターボタンを押し続けます。シャッターボタンを離すと撮影は終了します。
- タイムまたはライブタイム撮影の場合はシャッターボタンを全押しして撮影を開始し、撮影を終えるときにもう一度シャッターボタンを全押しします。
- ライブタイムで撮影中にシャッターボタンを半押しすると、表示を更新できます。
- **［BULB/TIME リミッター］**で設定されている時間に達すると自動的に撮影を終了します。☞「バルブ/タイム/コンポジット撮影時の設定をする（BULB/TIME/COMP の設定）」(P.270)
- 撮影後に**［長秒時ノイズ低減］**が働きます。ノイズ低減処理中は、画面に処理が終了するまでの時間が表示されます。**［長秒時ノイズ低減］**の動作は選択できます。☞「長秒時撮影時のノイズ低減の設定をする（長秒時ノイズ低減）」(P.185)

Ⓘ設定できる ISO 感度に制限があります。
Ⓘライブバルブ撮影では、多重露出撮影／デジタルシフト撮影／フィッシュアイ補正撮影に設定するとバルブ撮影になります。
Ⓘライブタイム撮影では、多重露出撮影／デジタルシフト撮影／フィッシュアイ補正撮影に設定するとタイム撮影になります。
Ⓘ撮影中は、次の撮影機能の設定に制限があります。
- 連写／セルフタイマー撮影／インターバル撮影／ AE ブラケット撮影／フラッシュブラケット撮影／フォーカスブラケット撮影／深度合成撮影など

Ⓘ**［📷 手ぶれ補正］**(P.209) は自動的にオフになります。
Ⓘカメラの設定や温度や環境条件によっては、モニターに表示される画像にノイズや輝点が目立つ場合があります。また、これらは**［長秒時ノイズ低減］**が設定されていても撮影画像に写る場合があります。☞「長秒時撮影時のノイズ低減の設定をする（長秒時ノイズ低減）」(P.185)
星空を撮影する場合は、星空 AF も便利です。☞「ピントの合わせ方を設定する（📷AF 方式／🎥AF 方式）」(P.111)、「星空 AF の設定を変更する（星空 AF 設定）」(P.129)
バルブ／タイム撮影中の画面の明るさは変更できます。☞「バルブ/タイム/コンポジット撮影時の設定をする（BULB/TIME/COMP の設定）」(P.270)
撮影モードが **B**（バルブ）のとき、露光中にマニュアルでピント位置を変更することができます。露光中にピントを外したり、露光終わりのタイミングでピントを合わせるなどの技法を使った撮影ができます。☞「バルブ/タイム/コンポジット撮影時の設定をする（BULB/TIME/COMP の設定）」(P.270)

画像のノイズについて
長秒時の撮影では、画面にノイズが多く発生する場合があります。これは撮像素子の温度上昇や、撮像素子内部の駆動回路が熱源となり、本来撮像素子に光のあたっていない部分にも電流を発生させてしまうためです。この現象は、高温の環境で ISO 感度を上げたり、長秒時の露出で顕著に表れます。これらのノイズを軽減するために、このカメラでは長秒時ノイズ低減が働きます。
☞「長秒時撮影時のノイズ低減の設定をする（長秒時ノイズ低減）」(P.185)

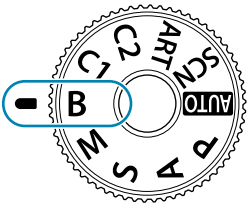
比較明合成撮影を行う（B ライブコンポジット撮影）

シャッターを長時間開いて露光をします。背景の明るさを変えずに、花火や星などの明るい光跡の変化を観察しながら撮影できます。複数枚を合成し、1 枚の画像として記録します。

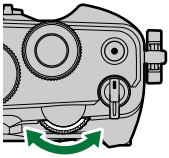
比較明合成撮影の際は、カメラを三脚にしっかりと固定することをお勧めします。

1. 電源レバーを 📷 に合わせます。

2. モードダイヤルを **B** に合わせます。

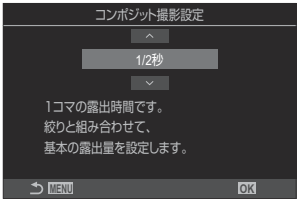


3. **［Live Comp］**に設定します。
   - 初期設定ではリアダイヤルを回して設定します。



①ライブコンポジット撮影

4. **MENU** ボタンを押します。
   - **［コンポジット撮影設定］**の設定画面が表示されます。



5. △▽ で 1 コマの露出時間を設定します。
   - 露出時間は、1/2 秒～ 60 秒の間で設定できます。

6. **OK** ボタンを押して設定を確定します。
   - メニュー画面が表示されます。

7. **MENU** ボタンを繰り返し押して、メニューを終了します。

8. 絞り値を設定します。

- 初期設定では、フロントダイヤルで設定します。

9. 撮影準備のためにシャッターボタンを全押しします。

- モニターに**［コンポジット撮影できます］**の表示が出たら撮影できます。

10. シャッターボタンを押して撮影を開始します。

- ライブコンポジット撮影が始まります。設定した露出時間ごとにモニターの画像が更新されます。

11. もう一度シャッターボタンを押して撮影を終了します。

- **［COMP リミッター］**で設定されている時間に達すると自動的に撮影を終了します。設定は変更できます。☞「バルブ/タイム/コンポジット撮影時の設定をする（BULB/TIME/COMP の設定）」（P.270）
- 撮影可能時間は、撮影環境や充電状態などによって変わります。

設定できる ISO 感度に制限があります。

次の機能とは併用できません。

- 連写／セルフタイマー撮影／インターバル撮影／AE ブラケット撮影／フラッシュブラケット撮影／フォーカスブラケット撮影／HDR 撮影／ハイレゾショット／深度合成撮影／多重露出撮影／デジタルシフト撮影／ライブ ND 撮影／フィッシュアイ補正撮影

［手ぶれ補正］（P.209）は自動的にオフになります。

星空を撮影する場合は、星空 AF も便利です。☞「ピントの合わせ方を設定する（AF 方式／AF 方式）」（P.111）、「星空 AF の設定を変更する（星空 AF 設定）」（P.129）

ライブコンポジット撮影中の画面の明るさは変更できます。☞「バルブ/タイム/コンポジット撮影時の設定をする（BULB/TIME/COMP の設定）」（P.270）

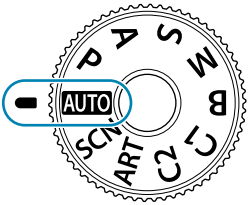
ライブコンポジット撮影の 1 コマの露出時間は、あらかじめメニューで設定しておくことができます。☞「バルブ/タイム/コンポジット撮影時の設定をする（BULB/TIME/COMP の設定）」（P.270）

カメラまかせで撮影する（AUTO モード）

撮影シーンに適した撮影ができます。ライブガイドを使って、色合いや明るさ、ぼかし等の効果を簡単に設定できます。

1. 電源レバーを 📷/🎞/S&Q のいずれかに合わせます。

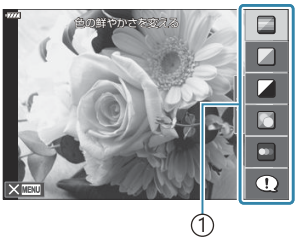
2. モードダイヤルを AUTO に合わせます。



- 撮影に適したシーンをカメラが自動的に判別します。シーンを判別すると画面左下の AUTO アイコンが判別したシーンモードのアイコンに変わります。📷 モードのときはシャッターボタンを半押ししてシーンを判別します。

3. 撮影の設定を変更したい場合は、**OK** ボタンを押してライブガイドを表示します。

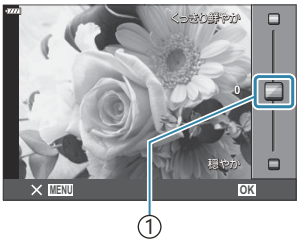
Ⓘ電源レバーが 🎞 または S&Q の場合は、**［動きを表現する］**、**［撮影のヒント］**は表示されません。



①ガイド項目

- △▽ ボタンを押してガイド項目を選択し、**OK** ボタンを押すと、スライダーが表示されます。

4. △▽ ボタンでスライダーを動かしてレベルを調整します。



①スライダー

- **OK** ボタンを押して設定を確定します。
- ライブガイドの設定を解除するときは、**MENU** ボタンを押します。
- **［撮影のヒント］**を選んだときは、△▽ ボタンで項目を選択し、**OK** ボタンを押すと説明が表示されます。
- レベルを選択すると画面で効果を確認できます。
  ［背景をぼかす］、**［動きを表現する］**では設定を確定すると元の表示に戻りますが、撮影した画像に効果は反映されます。

5. 複数のライブガイドを設定する場合は、手順 2 と 3 を繰り返します。

- 設定済みのライブガイドには、ガイド項目にチェックが表示されます。
- **MENU** ボタンを押すとライブガイドは終了します。

［背景をぼかす］、**［動きを表現する］**は同時に設定できません。

6. 撮影します。

- 📷 モードの場合はシャッターボタンを押します。
- 🎥 モード／S&Q モードの場合は、◉ ボタンを押します。

ライブガイドの設定はタッチで操作することもできます。
ライブガイドでは画質モードが**［RAW］**のときは、自動的に RAW+JPEG に設定されます。
ライブガイド設定は RAW 画像には適用されません。
ライブガイドの設定レベルによっては、画像の粗さが強調される場合があります。
ライブガイドの設定レベルを変えても、効果をライブビューであまり確認できない場合があります。
ライブガイドではフラッシュは無効です。
ライブガイドの設定がカメラの連動範囲外になると、白くとんだり暗い画像になる場合があります。

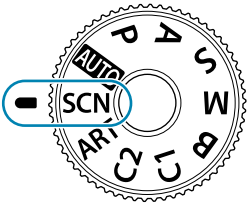
- **［動きを表現する］**でスライダーを**［動きを流す］**の方向へ動かすと、表示のフレームレートが遅くなります。
- **［動きを表現する］**の設定は動画には適用されません。
- **［動きを表現する］**だけを設定した状態で電源レバーを 🎞 または S&Q に設定すると、ライブガイドは終了します。

シーンモードを使う（SCN モード）

被写体や撮影シーンに合わせて適切な設定で撮影できます。

1. 電源レバーを 📷/🎞/S&Q のいずれかに合わせます。

2. モードダイヤルを **SCN** に合わせます。



3. △▽◁▷ ボタンで撮影シーンを選択し、**OK** ボタンを押します。

4. ◁▷ ボタンでシーンモードを選択し、**OK** ボタンを押して設定します。

5. 撮影します。

- 他のシーンを選ぶときは **OK** ボタンを押します。さらに **MENU** ボタンを押すと、撮影シーンの選択に戻ります。

シーンの選択はタッチで操作することもできます。

シーンモードの種類

📷 のみ：電源レバーが 📷 のときのみ選択できます。

風景を撮る

	風景	風景撮影に適しています。
	風景&人物	風景を背景にした人物の撮影に適しています。青・緑・肌の色を綺麗に再現します。
	夕日	夕日の撮影に適しています。
	星景撮影（📷 のみ）	星空のある風景を撮影するのに適しています。星空の色を印象的に再現します。三脚などでカメラを固定して撮影してください。 撮影方法は「星景・星空を撮影する」（P.78）をご覧ください。
	ビーチ&スノー	晴天の海や雪山で撮影するのに適しています。
	パノラマ（📷 のみ）	パソコンでパノラマ合成するための画像が撮影できます。 撮影方法は「パノラマ写真を撮影する」（P.79）をご覧ください。
	HDR 逆光補正（📷 のみ）	明暗の差が大きい撮影に適しています。連写した画像を合成して適切な明るさに補正します。シャッターボタンを押すと、自動的に 4 枚の撮影を行います。撮影が終わると、自動的に 1 枚の画像が合成されます。

近づいて撮る

	ネイチャーマクロ	クローズアップ撮影に適しています。花や昆虫を鮮やかに撮影するのに適しています。
	マクロ	クローズアップ撮影に適しています。
	マルチフォーカス撮影（📷 のみ）	1 コマごとにピント位置を変えて最大 8 コマ撮影します。
	文書（📷 のみ）	書類や時刻表を撮影するのに適しています。文字と背景の明暗がはっきりと再現されます。

人物を撮る

	風景&人物	風景を背景にした人物の撮影に適しています。青・緑・肌の色を綺麗に再現します。
	ポートレート	人物撮影に適しています。肌の質感を強調します。
	ビューティー（ のみ）	肌をなめらかに整えます。効果適用前と適用後の 2 コマの画像が同時に記録されます。
	夜景&人物（ のみ）	夜景を背景にした人物の撮影に適しています。専用外部フラッシュを取り付けてください（P.186）。三脚の使用と OM Image Share や別売のリモコンを使ったリモート撮影をおすすめします（P.408、P.422）。
	キッズ	活発な子供などの被写体を撮影するのに適しています。

夜景や光の軌跡を撮る

	光跡撮影（ のみ）	自動的に複数枚を撮影して明るく変化した部分だけを合成します。長時間露出では全体が明るくなってしまうシーンでも、仕上がりをモニターで確認しながら、建物や夜空などを背景にして星などの光跡を表現できます。シャッターボタンを押して撮影を開始し、モニターで画像が変化する様子を確認しながら最適な仕上がりでシャッターボタンを押して撮影を終了します（最長 3 時間）。三脚の使用と OM Image Share や別売のリモコンを使ったリモート撮影をおすすめします（P.408、P.422）。 **B** モードのライブコンポジット（比較明合成）では、より詳細な設定ができます（P.69）。
	星景撮影（ のみ）	星空のある風景を撮影するのに適しています。星空の色を印象的に再現します。三脚などでカメラを固定して撮影してください。 撮影方法は「星景・星空を撮影する」（P.78）をご覧ください。
	夜景	カメラを三脚で固定しての夜景撮影に適しています。三脚の使用と OM Image Share や別売のリモコンを使ったリモート撮影をおすすめします（P.408、P.422）。

	夜景&人物 **(📷 のみ)**	夜景を背景にした人物の撮影に適しています。専用外部フラッシュを取り付けてください（P.186）。三脚の使用と OM Image Share や別売のリモコンを使ったリモート撮影をおすすめします（P.408、P.422）。
	手持ち夜景 **(📷 のみ)**	三脚を使わない夜景撮影に適しています。手ぶれによる乱れを軽減します。1 回の撮影で 8 枚撮影して合成します。
	打ち上げ花火	夜空の花火を撮影するのに適しています。三脚の使用と OM Image Share や別売のリモコンを使ったリモート撮影をおすすめします（P.408、P.422）。

動きのあるものを撮る

	スポーツ	動きのある被写体の撮影に適しています。
	キッズ	活発な子供などの被写体を撮影するのに適しています。
	犬・猫 **(📷 のみ)**	犬や猫を撮影するのに適しています。音や光を発しないで撮影できます。
	流し撮り **(📷 のみ)**	移動する被写体に対して、背景が流れるような撮影に適しています。カメラの動きを検出し、流し撮りに最適なシャッター速度で撮影します。

室内で撮る

	キャンドルライト	キャンドルライトの光源下で撮影するのに適しています。温かみのある色が再現されます。
	静音 [♥] 撮影	カメラが発するシャッター音や光が気になる場所で、音や光を発しないで撮影できます。
	ポートレート	人物撮影に適しています。肌の質感を強調します。
	ビューティー **(📷 のみ)**	肌をなめらかに整えます。効果適用前と適用後の 2 コマの画像が同時に記録されます。
	キッズ	活発な子供などの被写体を撮影するのに適しています。

	犬・猫（ のみ）	犬や猫を撮影するのに適しています。音や光を発しないで撮影できます。
	HDR 逆光補正（ のみ）	明暗の差が大きい撮影に適しています。連写した画像を合成して適切な明るさに補正します。シャッターボタンを押すと、自動的に 4 枚の撮影を行います。撮影が終わると、自動的に 1 枚の画像が合成されます。

［流し撮り］では、流し撮り検出時に 、未検出時に が表示されます。
シーンの効果を最大限に引き出すため、撮影機能の設定変更には制限があります。
［ビューティー］では、記録に時間がかかることがあります。また、画質モードが**［RAW］**のときは、RAW + JPEG で記録されます。
［手持ち夜景］では、画質モードが**［RAW］**のとき、1 枚目の RAW 画像と合成された JPEG 画像が RAW + JPEG として記録されます。
［HDR 逆光補正］では、HDR 処理された画像は JPEG で記録されます。画質モードが**［RAW］**のときは RAW+JPEG で記録されます。
［流し撮り］で手ぶれ補正機能切り換えスイッチがついているレンズを使う場合、手ぶれ補正機能切り換えスイッチをオフにしてください。
明るいシーンでは、流し撮り効果を十分に得られない場合があります。市販の ND フィルターを使うと、効果を得られやすくなります。
［マルチフォーカス撮影］では、撮影中にズーム操作を行うと、撮影は終了します。
［マルチフォーカス撮影］では、フォーサーズマウント規格のレンズ使用時は、撮影できません。

星景・星空を撮影する

1. シーンモード（P.74）で**［星景撮影］**を選び、**OK** ボタンを押します。
- カメラが安定していないときは、**［ カメラを固定してください］**が表示されます。三脚などでカメラを固定してください。

2. 明るい星に AF フレームを合わせます。

3. **AF-ON** ボタンを押して、星空 AF を開始します。
- 再度 **AF-ON** ボタンを押すと星空 AF を中止します。
- 星空 AF 中は**［星空 AF 動作中です］**が表示されます。ピントが合うと合焦マーク（●）が約 2 秒間表示され、ピントが合わなかった場合は合焦マークが約 2 秒間点滅します。

4. シャッターボタンを全押しして撮影します。

- 全押し後、約 2 秒後に撮影されます。
- 明るい星をタッチして、ピントを合わせてから自動的に撮影することもできます。

周囲が明るい撮影環境ではピントが合いません。
フォーサーズレンズを取り付けると、マニュアルフォーカスになります。
星空 AF は、OM デジタルソリューションズ製またはオリンパス製のマイクロフォーサーズレンズで動作します。ただし、開放 F 値が 5.6 より大きいレンズでは、星空 AF を使用できません。詳しくは当社ホームページをご覧ください。
タッチ操作では、ピントが合わなかった場合は撮影されません。
ターゲットモードは、【・】Single、【▪】Middle、【▦】Large のみ選択できます（P.117）。
シーンモードで【星景撮影】を設定すると、ピント位置が自動で無限遠に移動します。
シャッターボタンの半押しで星空 AF を開始するように設定できます。☞「星空 AF の設定を変更する（星空 AF 設定）」（P.129）
シャッターボタンの全押し後に撮影までの待ち時間を無しにするときは、【ドライブ ▭/心】を【▭】（単写）に設定してください。☞「連写する／セルフタイマーを使う」（P.197）

パノラマ写真を撮影する

撮った画像をつなぎ合わせて、パノラマ合成画像を作成できます。パノラマ合成をするには、お使いのパソコンに最新版の OM Workspace をインストールする必要があります。☞「ソフトウェアのインストール」（P.413）

1. シーンモード（P.74）で【パノラマ】を選び、**OK** ボタンを押します。

2. △▽◁▷ ボタンで画像をつなぐ方向を選びます。

3. ガイド枠を目安に、1 コマ目を撮影します。

- ピントや露出などは、1 コマ目の撮影で決定されます。

4. ガイド枠内が、前の画像と重なる構図で次のコマを撮影します。

- 最大 10 枚までの撮影と合成が可能です。10 枚撮り終わると（警告）マークが表示されます。

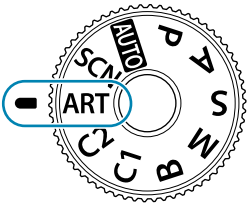
ⓘパノラマ撮影時には、前に撮影した位置合わせ用の画像は表示されません。画像に表示される枠や目印となる被写体を目安に、重なり合う画像の端が枠の中に重なるように構図を設定してください。

5. 最後のコマを撮影した後に **OK** ボタンを押して、パノラマ撮影を終了します。

アートフィルターを使う（ART モード）

1. 電源レバーを 📷 または 🎥 に合わせます。

2. モードダイヤルを **ART** に合わせます。



3. ◁▷ ボタンでフィルターを選びます。

4. △▽ ボタンを押して、**［効果の追加］**、**［フィルター効果］**、**［調色］**を選択します。
   - ART（ファインチューン）については、「アートフィルターのかかり具合を調整する（ファインチューン）」（P.84）をご覧ください。
   - ↻（パートカラー）については、「［パートカラー］で撮影する」（P.85）をご覧ください。

5. ◁▷ ボタンでフィルターやエフェクトを設定し、**OK** ボタンを押します。

6. 撮影します。
   - 他のアートフィルターを選ぶときは、**OK** ボタンを押します。エフェクトが表示されたときは △ ボタンを押します。
   - 設定できる効果はアートフィルターごとに異なります（ソフトフォーカス効果、ピンホール効果、枠（フレーム）効果、ホワイトエッジ効果、スターライト効果、フィルター効果、調色、ぼかし効果、シェード効果）。

フィルターやエフェクトの選択はタッチで操作することもできます。

アートフィルターの種類

📷 のみ：電源レバーが 📷 のときのみ選択できます。

ART 1	**ポップアートⅠ／Ⅱ**	色の美しさを強調した仕上がりになります。
ART 2	**ファンタジックフォーカス**	柔らかいトーンの中で空気感を表し、幻想的な仕上がりになります。
ART 3	**デイドリームⅠ／Ⅱ**	全体的に光を散らし、露出をややオーバー気味にして、やさしい光に包まれた浮遊感を表現した仕上がりになります。
ART 4	**ライトトーン**	シャドウ部もハイライト部も柔らかく描写し、上質で落ち着いた仕上がりになります。
ART 5	**ラフモノクロームⅠ／Ⅱ**	モノクロならではの力強さ、荒々しさを表現した仕上がりになります。
ART 6	**トイフォトⅠ／Ⅱ／Ⅲ**	画面周辺部を暗くして、古いカメラやトイカメラを使って撮ったときのような仕上がりになります。
ART 7	**ジオラマⅠ／Ⅱ**	彩度やコントラストを強調し、ピントを合わせた位置以外をぼかし、ミニチュアのような雰囲気の仕上がりになります。
ART 8	**クロスプロセスⅠ／Ⅱ**	不安定で非現実的な雰囲気を表現した画像になります。クロスプロセスⅡは、マゼンタを強調した仕上がりになります。
ART 9	**ジェントルセピア**	全体的に柔らかい描写で、落ち着いた雰囲気の中にもシャドウ部が引き締まった、しっとりとした上品な仕上がりになります。
ART 10	**ドラマチックトーンⅠ／Ⅱ**	部分的にコントラストを強くし、明暗差を強調した仕上がりになります。
ART 11	**リーニュクレールⅠ／Ⅱ**	エッジラインを強調し、イラストテイストを付加した仕上がりになります。
ART 12	**ウォーターカラーⅠ／Ⅱ**	暗部を大胆に削除し、白いキャンパスに淡く明るい色彩をなじませ、さらに柔らかい輪郭線を載せて、ほんわりとした明るい雰囲気の仕上がりになります。

ART 13	**ヴィンテージⅠ／Ⅱ／Ⅲ**	フィルムプリントの変色や退色などの効果を加えることによって、日常のひとコマをノスタルジックなヴィンテージ調に表現します。
ART 14	**パートカラーⅠ／Ⅱ／Ⅲ**	強調したい色を抽出し、それ以外はモノトーンに抑えることで、被写体を印象的に表現します。
ART 15	**ブリーチバイパスⅠ／Ⅱ**	映画撮影などで用いられる「銀残し（ブリーチバイパス）」の効果を加えることで、街並みなどの情景や金属の質感をより印象的に表現します。
ART 16	**ネオノスタルジー**	フィルム特有の人物の肌のトーンや暗部の色の変化を、現代風にアレンジして表現します。
ART BKT	**ART BKT（アートフィルターブラケット）（📷 のみ）**	1 回の撮影で、選択したすべてのアートフィルター画像を記録します。▽ ボタンを押して **［ART BKT 選択］**を選択し **OK** ボタンを押すと、記録するフィルターの選択ができます。

Ⅱ、Ⅲは、オリジナル（Ⅰ）に対して変化をつけたものです。

- アートフィルターの効果を最大限に引き出すため、撮影機能の設定変更には制限があります。
- 画質モード（P.213）が **［RAW］**のときは、自動的に RAW+JPEG に設定されます。アートフィルターの効果は JPEG 画像にのみ適用されます。
- 撮影シーンによっては階調が崩れたり、補正の効きが弱くなったり、また画像の粗さが強調される場合があります。
- スターライト効果は、動画撮影に反映されません。
- フィルター、効果、動画の画質設定によっては、再生時の動きが異なります。

アートフィルターのかかり具合を調整する（ファインチューン）

ポップアート、ファンタジックフォーカス、トイフォト、クロスプロセス、またはネオノスタルジーの効果のかかり具合を調整して撮影できます。

1. モードダイヤルを **ART** に合わせます。

2. **［ポップアート I/II］**、**［ファンタジックフォーカス］**、**［トイフォト I/II/III］**、**［クロスプロセス I/II］**、または **［ネオノスタルジー］** を選択します。

3. △▽ ボタンを押して **［ファインチューン］** を選択します。
- 画面にスライダーが表示されます。

①

①スライダー

4. フロント／リアダイヤルを回してアートフィルターのかかり具合を選選択します。
- 画面で効果を確認できます。
- スライダーをタッチして操作することもできます。
- ◁▷ ボタンでもアートフィルターのかかり具合を選択できます。
- かかり具合を変更しているアートフィルタには、アイコンにマーク（*）が表示されます。
- **OK** ボタンを長押しすると、アートフィルターのかかり具合をリセットできます。

5. **OK** ボタンを押します。
- 設定が確定し、撮影画面に戻ります。

6. 撮影します。

撮影後にアートフィルターのかかり具合を変更するときは **OK** ボタンを押します。スライダーが表示されないときは、△▽ ボタンを押して **［ファインチューン］** を選択します。

[パートカラー] で撮影する

特定の色のみを残した画像にできます。

1. モードダイヤルを **ART** に合わせます。

2. **[パートカラーⅠ/Ⅱ/Ⅲ]** を選択します。

3. ▽ ボタンを押して **[Color]** を選択します。
- 画面にカラーリングが表示されます。

①カラーリング

4. フロント／リアダイヤルを回して色を選択します。
- 画面で効果を確認できます。
- ◁▷ ボタンでも色を選択できます。
- カラーリングをタッチして色を選択することもできます。

5. **OK** ボタンを押します。
- 設定が確定し、撮影画面に戻ります。

6. 撮影します。

撮影後に色を変更する場合は **OK** ボタンを押します。カラーリングが表示されないときは、△▽ ボタンを押して **[Color]** を選択します。

動画を撮る

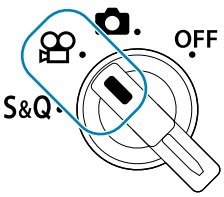
- 動画撮影の場合は、SD スピードクラス 10 以上に対応したカードをご使用ください。
- 次の場合は、UHS-I の UHS スピードクラス 3 以上をご使用ください。
  - ムービーサイズ【4K】または【C4K】で撮影するとき／フレーム間圧縮【A-I】（ALL-Intra）で撮影するとき／S&Q 時に撮影フレームレート【120fps】で撮影するとき
- カメラを長時間使用すると撮像素子の温度が上昇し、画像にノイズや色むらが発生します。その場合はしばらく電源を切ってください。また、ISO 感度が高い設定の画像でもノイズや色むらが発生します。さらに温度が上がると、カメラの電源が切れます。
- フォーサーズマウント規格レンズ使用時は、動画撮影中の AF は動作しません。
- 動画撮影中にカメラを操作すると、操作音が録音されることがあります。
- このカメラは撮像素子に CMOS を搭載しているため、ローリングシャッターによる「動体歪み」という現象が発生します。動体歪みは、動きの速い被写体や手ぶれのときに撮影画像に歪みが発生する現象です。特に長焦点で使用するとこの現象が顕著になります。
- SDXC カード使用時は、撮影中の動画の記録時間が 2 時間を超えると、ファイルは自動的に分割して記録されます（撮影条件によっては、2 時間未満で分割される場合があります）。
- SD/SDHC カード使用時は、撮影中の動画のファイルサイズが 4GB 以上になると、ファイルは自動的に分割して記録されます（撮影条件によっては、4GB 未満で分割される場合があります）。
- 分割されたファイルは、連続して再生することもできます。☞「分割された動画の連続再生」（P.293）
- カメラを縦位置にして動画撮影すると、縦位置の情報を記録します。動画をパソコンやスマートフォンで再生したとき、撮影したときと同じ向きで再生されます。

モード／S&Q モードで撮る

電源レバーを に設定すると通常の再生スピードの動画撮影を行います。S&Q に設定すると再生フレームレートと異なる撮影フレームレートで撮影することで、スローモーション動画やクイックモーション動画が撮影できます。それぞれ、P／A／S／M モードの効果を活かした動画撮影が可能です。

- S&Q では音声は記録されません。

1. 電源レバーを または S&Q に合わせます。



2. モードダイヤルを回して使用するモードに設定します。

P	被写体の明るさに応じて、最適な絞り値を自動的に設定します。 フロントダイヤルまたはリアダイヤルで露出補正を設定できます。
A	絞り値を設定することで、背景の描写に変化がつけられます。 フロントダイヤルで露出補正、リアダイヤルで絞り値を設定できます。
S	シャッター速度を設定することで、被写体の写り方に変化がつけられます。フロントダイヤルで露出補正、リアダイヤルでシャッター速度を設定できます。 設定可能なシャッター速度は 1/24〜1/32000 秒です。
M	絞りとシャッター速度を活かして自由に表現できます。 フロントダイヤルで絞り値を設定し、リアダイヤルでシャッター速度を設定します。 • シャッター速度は 1/24〜1/32000 秒に設定できます。 • 設定されている絞り値とシャッター速度による露出と、カメラが測った適正露出との差が画面に表示されます。差が±3 以上になると表示が点滅します。 • **［ISO オート上限/基準値］**（P.180）が有効になります。

シャッター速度の低速側は、動画画質のフレームレートの設定によって変わります。

3. ◉ ボタンを押して、動画撮影を開始します。

- モード／S&Q モードでは、合焦時でもピピッという音はしません。
- モニターに撮影中の画像が表示されます。
- ファインダーをのぞくと、ファインダーに撮影中の画像が表示されます。
- 撮影中は、画面に赤枠が表示されます（P.286）。
- 撮影中は、動画録画ランプが点灯します（P.287）。
- 撮影中に画面をタッチして、ピントを合わせる位置を変えることができます。
- 撮影中も露出設定や録音レベルなどを設定できます。
- 録画時間がカウントされ画面に表示されます。

シャッターボタンを押して動画撮影することもできます。☞「シャッターボタンで動画を録画する（ シャッターボタン機能）」（P.339）

4. 動画撮影を終了するときは、再度 ◉ ボタンを押します。

M モードで **［AF 方式］**が **［MF］**または **［Pre MF］**のときは、撮影フレームレートを低くすると 1/24 より低速のシャッター速度を設定できますが、カメラのボタン操作の反応が遅くなる場合があります。

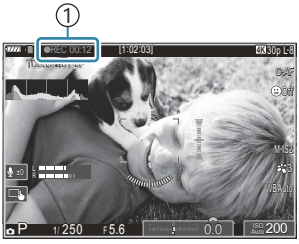
静止画撮影時に動画を撮る

電源レバーを 📷 に設定している場合もプログラム AE で動画を撮影できます。

ⓘAF フレームの形状は、🎞 モード／S&Q モード（P.86）で設定されている形状になります。電源レバーを 🎞 または S&Q に設定して、あらかじめ AF ターゲット選択画面で AF フレームの形状を設定してください（P.117）。
ⓘ🎞 画質モードで設定している画質で記録されます。

1. ◉ ボタンを押して動画撮影を始めます。

- 撮影中は「●REC」、録画時間、赤枠（P.286）が表示されます。



①録画時間

- ファインダーをのぞくと、ファインダーに撮影中の画像が表示されます。
- 撮影中に画面にタッチして、ピントを合わせる位置を変えることができます。

2. 動画撮影を終了するときは、再度ボタンを押します。

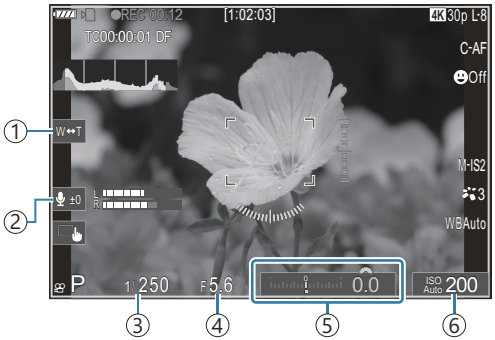
- 終了すると「●REC」、録画時間、赤枠（P.286）の表示が消えます。

ⓘ次の場合、◉ ボタンを押しても動画撮影はできません。

- 多重露出撮影中／シャッターボタン半押し中／連写中／インターバル撮影中／デジタルシフト撮影中／フィッシュアイ補正撮影中／ライブ ND 撮影／**B** モード／**ART** モード（**[ART BKT]**）／**SCN** モード（**[星景撮影]**、**[パノラマ]**、**[HDR 逆光補正]**、**[マルチフォーカス撮影]**、**[文書]**、**[ビューティー]**、**[夜景&人物]**、**[光跡撮影]**、**[手持ち夜景]**、**[犬・猫]**、**[流し撮り]**）

タッチ操作で設定する（静音操作）

動画撮影中のカメラの操作による操作音が録音されるのを防ぐことができます。項目をタップした後、表示される矢印をタップして設定します。



①**電動ズーム**：電動ズームのレンズ使用時にズーム操作をします。
②**録音レベル**：録音音量の調節をします。
③**シャッター速度**：🎥 モード／S&Q モードでモードダイヤルを **S**（シャッター速度優先 AE）または **M**（マニュアル）にしているときに（P.86）、シャッター速度の設定をします。
④**絞り値**：🎥 モード／S&Q モードでモードダイヤルを **A**（絞り優先 AE）または **M** にしているときに（P.86）、絞り値の設定をします。
⑤**露出補正**：露出補正値の設定をします。🎥 モード／S&Q モードでモードダイヤルを **M** にしている場合は（P.86）、**[🎥ISO 感度]**（P.177）が **[Auto]** のときに使えます。
⑥**ISO 感度**：**[🎥ISO 感度]**（P.177）の設定をします。

撮影フレームレートを **[120fps]** にして S&Q 動画撮影をしているときは、静音操作を使用できません。

タッチによる静音操作を静止画撮影時にも使用できるように設定できます。☞ **[タッチ静音操作]**（P.354）

任意の設定をモードダイヤルに登録する（C1／C2 カスタムモード）

撮影でよく使う機能の設定と撮影モードをカスタムモードとして登録しておき、必要なときにモードダイヤルの操作だけで呼び出して使うことができます。また、登録した設定をメニューで呼び出すこともできます。カスタムモードの登録内容を区別しやすいように、名称を登録できます（P.95）。

- カスタムモードは静止画（📷 モード）と動画（🎥 モード／S&Q モード）のそれぞれで登録できます。
- **C1**～**C2** それぞれに設定を登録できます。
- 初期状態では、🎥 カスタムモードの **C1** にピクチャーモード［**OM-Cinema1**］用の設定が、🎥 カスタムモードの **C2** にピクチャーモード［**OM-Cinema2**］用の設定が、それぞれ登録されています。

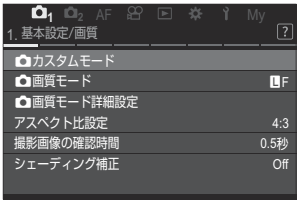
残しておきたい設定内容を登録する（カスタム登録）

📷:PASMB　🎥/S&Q:PASM

1. モードダイヤルを AUTO、**SCN**、**ART** 以外にして、カメラの設定を登録したい内容にします。
- 設定を登録できる機能は、「機能と初期設定一覧」（P.457）をご覧ください。

2. **MENU** ボタンを押して、メニューを表示します。

3. フロントダイヤルでタブを選びます。
- 静止画を登録するとき：📷1（静止画 1）タブ
- 動画を登録するとき：🎥（動画）タブ



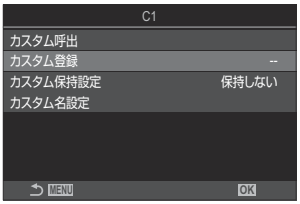
4. ◁▷ またはリアダイヤルで［**1. 基本設定/画質**］を選びます。

5. △▽ ボタンで項目を選び、**OK** ボタンを押します。
- 静止画の設定を登録するとき：［📷 **カスタムモード**］
- 動画の設定を登録するとき：［🎥 **カスタムモード**］

6. △▽ ボタンで設定したいモードを［**C1**］、［**C2**］から選択し、**OK** ボタンを押します。

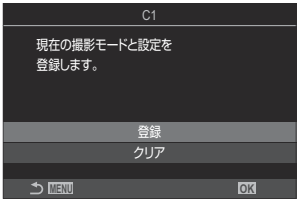
- 選択したカスタムモードの画面が表示されます。

7. △▽ ボタンで［**カスタム登録**］を選択し、**OK** ボタンを押します。



8. △▽ ボタンで［**登録**］を選択し、**OK** ボタンを押します。

- すでに登録されている内容があるときは、現在の設定内容が上書きされます。
- ［**クリア**］を選択して **OK** ボタンを押すと、初期設定に戻ります。



9. **MENU** ボタンを押して、メニューを終了します。

カスタムモード（**C1**／**C2**）でカメラの設定を変更したとき、変更した内容をカスタムモードに自動で登録することができます。☞「カスタムモードで変更した設定を保持する」（P.94）

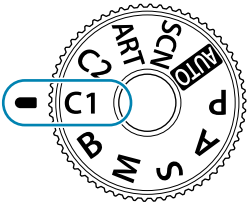
カスタムモードを使う（C1／C2）

カメラの設定を撮影モードも含めて、登録した設定内容にします。

モードダイヤルで設定を呼び出す

1. 静止画のカスタムモードを呼び出すときは電源レバーを 📷 に、動画のカスタムモードを呼び出すときは 🎞 または **S&Q** に合わせます。

2. モードダイヤルを、機能を登録した **C1**／**C2** のいずれかに設定します。
   - 登録したカスタムモードの設定になります。



   - カスタム名が設定されているときは（P.95）、画面に表示されます。

①設定したカスタム名

各種機能の設定は変更できますが、初期設定では登録されている内容には反映されません。モードダイヤルを回すと登録された内容に戻ります。

登録されている設定を呼び出す

モードダイヤルが **AUTO**、**SCN**、**ART** 以外のときに、カスタムモードの **[C1]**、**[C2]** に登録された機能を呼び出すことができます。

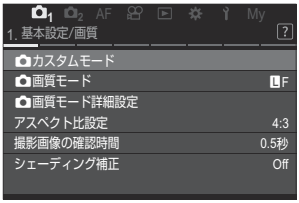
1. 電源レバーで呼び出したいモードに切り換えます。

2. **MENU** ボタンを押して、メニューを表示します。

3. フロントダイヤルでタブを選びます。

- 静止画の設定を呼び出すとき：$\mathbf{\Box_1}$（静止画 1）タブ
- 動画の設定を呼び出すとき：🎞（動画）タブ

4. ◁▷ またはリアダイヤルで **[1. 基本設定/画質]** を選びます。

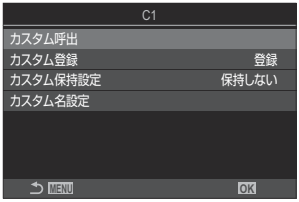


5. △▽ ボタンで項目を選び、**OK** ボタンを押します。

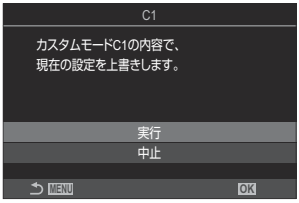
- 静止画の設定を呼び出すとき：**[カスタムモード]**
- 動画の設定を呼び出すとき：**[🎞 カスタムモード]**

6. △▽ ボタンで設定したいモードを **[C1]**、**[C2]** から選択し、**OK** ボタンを押します。

7. △▽ ボタンで **[カスタム呼出]** を選択し、**OK** ボタンを押します。



8. △▽ ボタンで **[実行]** を選択し、**OK** ボタンを押します。



9. **MENU** ボタンを押して、メニューを終了します。

モードダイヤルが **C1**／**C2** のときに設定を呼び出すと、撮影モードも登録されているモードに切り換わります。登録されているカスタム名は呼び出されません。

[ボタン機能]（P.328）または［ボタン機能］（P.328）で［C1］、［C2］（カスタムモード撮影1、2）を設定したボタンを押して、登録された設定を呼び出しているとき、以下の操作で呼び出しが解除されます。
- カメラの電源をオフにしたとき
- 電源レバーを切り換えたとき
- モードダイヤルを切り換えたとき
- 撮影状態で MENU ボタンを押したとき
- リセットが実行されたとき
- カスタム設定が登録/呼び出されたとき

カスタムモードで変更した設定を保持する

カスタムモードでカメラの設定を変更したとき、変更した内容をカメラに保持することができます。モードダイヤルを回しても変更した設定が残ります。通常の P／A／S／M／B と同じように使うことができます。

1. 電源レバーで保持したい撮影モードに切り換えます。

2. MENU ボタンを押して、メニューを表示します。

3. フロントダイヤルでタブを選びます。
   - 静止画の設定変更を保持するとき：C_1（静止画 1）タブ
   - 動画の設定変更を保持するとき：（動画）タブ

4. ◁▷ またはリアダイヤルで［1. 基本設定/画質］を選びます。

5. △▽ ボタンで項目を選び、OK ボタンを押します。
   - 静止画の設定変更を保持するとき：［カスタムモード］
   - 動画の設定変更を保持するとき：［カスタムモード］

6. △▽ ボタンで設定したいモードを［C1］、［C2］から選択し、OK ボタンを押します。

7. △▽ ボタンで［カスタム保持設定］を選択し、OK ボタンを押します。

8. ◁▷ ボタンで［保持する］を選択し、OK ボタンを押します。

9. MENU ボタンを押してメニューを終了します。

カスタムモードの名称を設定する（カスタム名設定）

カスタムモードの名称を設定できます。

1. モードダイヤルを AUTO、**SCN**、**ART** 以外にします。

2. 電源レバーで名称を設定したい撮影モードに切り換えます。

3. **MENU** ボタンを押して、メニューを表示します。

4. フロントダイヤルでタブを選びます。
   - 静止画の名称を設定するとき：$\mathbf{C}_1$（静止画 1）タブ
   - 動画の名称を設定するとき：（動画）タブ

5. ◁▷ またはリアダイヤルで［**1. 基本設定/画質**］を選びます。

6. △▽ ボタンで項目を選び、**OK** ボタンを押します。
   - 静止画の名称を設定するとき：［**カスタムモード**］
   - 動画の名称を設定するとき：［**カスタムモード**］

7. △▽ ボタンで設定したいモードを［**C1**］、［**C2**］から選択し、**OK** ボタンを押します。

8. △▽ ボタンで［**カスタム名設定**］を選択し、**OK** ボタンを押します。

9. 設定したい名称を入力します。

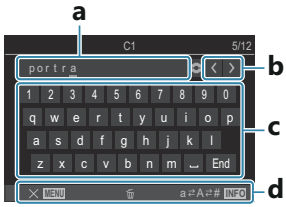
文字の入力方法

1. **INFO** ボタンを押してキーボード（大文字／小文字／記号）を切り換えます。

2. △▽◁▷ で入力する文字を選択して **OK** ボタンを押します。
- 文字入力エリア（**a**）に選択した文字が表示されます。
- 入力した文字を消すときは、🗑 ボタンを押します。

3. 文字入力エリア（**a**）の文字を消去するときは、フロント／リアダイヤルでカーソルを移動します。
- 文字を選択して 🗑 ボタンを押すと文字が消えます。

4. 入力を終了したら［**End**］を選択して **OK** ボタンを押します。



a 文字入力エリア
b カーソル移動キー
c キーボード
d 操作ガイド

a～**d** では、タッチによる入力や操作が可能です。

ⓘ カスタム名を初期設定から変更しているときに［**カスタム登録**］➡［**クリア**］を選択し **OK** ボタンを押すと、カスタム名を削除するかどうかの画面が表示されます。
［**削除する**］を選択すると、カスタム名は初期設定に戻ります。
［**残す**］を選択すると、カスタム名はそのまま残ります。

撮影機能を設定する

撮影機能の設定操作方法

カメラにはたくさんの撮影機能が搭載されています。設定を変更する機会がどの程度多いかなどによって、ボタン操作で設定する方法、モニター上で機能を選択して設定する方法、メニューを開いて細かい設定をする方法を使い分けることができます。

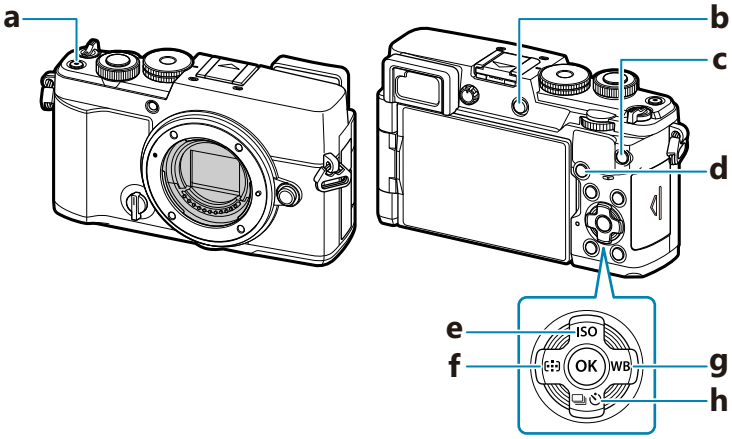
設定方法	説明
ダイレクトボタン	ボタン操作で直接機能を設定します。ファインダーをのぞきながらでも操作できるように、よく使う機能が割り当てられています（P.98）。
LV スーパーコンパネ/スーパーコンパネ	設定状態を一覧で表示する機能パネルで設定します。撮影機能の設定状態を確認できます（P.101）。
メニュー	撮影／再生時の機能だけではなく、操作や表示をカスタマイズしたり、カメラのセットアップができます（P.107）。

ダイレクトボタンで設定する

ダイレクトボタンで設定できる機能

撮影によく使う機能はボタンに割り当てられています（ダイレクトボタン）。被写体に合わせて、こまめに設定を変更する場合などに便利です。

機能が割り当てられているダイレクトボタンは、次の通りです。



静止画撮影時のダイレクトボタン

ダイレクトボタン		割り当てられている撮影機能
a	◉ ボタン	動画撮影（P.86）
b	LV（**LV**）ボタン	モニター／ファインダー切り換え（P.44）
c	**CP** ボタン	コンピューテーショナル撮影（P.337）
d	**AF-ON** ボタン	AF-ON（P.126、P.127）
e	**ISO** ボタン（△）	ISO 感度（P.177）

ダイレクトボタン		割り当てられている撮影機能
f	[⁘] ボタン（◁）	[⁘] 選択（AF ターゲット選択）（P.116）
g	**WB** ボタン（▷）	ホワイトバランス（P.233）
h	🖵⏲ ボタン（▽）	連写/セルフタイマー（P.197）

🔊それぞれのボタンは、ほかの機能に変更することができます。☞「ボタンの機能を変える（ボタンの設定）」（P.328）

動画/S&Q 撮影時のダイレクトボタン

ダイレクトボタン		割り当てられている撮影機能
a	◉ ボタン	動画撮影（P.86）
b	▭（**LV**）ボタン	長押しで**［EVF 自動切換設定］**（P.381）
c	**CP** ボタン	露出補正（P.163）
d	**AF-ON** ボタン	AF-ON（P.126、P.127）
e	**ISO** ボタン（△）	ISO 感度（P.177）
f	[⁘] ボタン（◁）	[⁘] 選択（AF ターゲット選択）（P.116）
g	**WB** ボタン（▷）	ホワイトバランス（P.233）
h	🖵⏲ ボタン（▽）	Off

🔊それぞれのボタンは、ほかの機能に変更することができます。☞「ボタンの機能を変える（ボタンの設定）」（P.328）

ボタン機能の動作については、各機能のページをご参照ください。

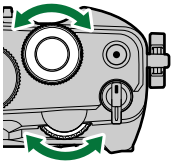
ダイレクトボタンでの設定方法

ここでは［**ドライブ** /］を例に、選択メニューが表示される場合の操作方法を説明します。

1. 設定する機能のボタンを押します。
- ボタンを押します。
- 選択メニューが表示されます。

①選択メニュー

2. フロント／リアダイヤルで設定値を選択します。



- タッチ操作でも設定値を選ぶことができます。
- ◁▷ ボタンでも設定できます。
- シャッターボタンを半押しすると、設定が確定し、撮影画面に戻ります。

- 手順 2 で設定値を選択した後、機能によっては、さらに詳細な設定が可能です。操作方法は各機能のページをご覧ください。

本書ではダイレクトボタンで設定する手順を次のように記載しています。

ボタン
- ボタン ➡

ボタンを押しながら素早く設定する

設定する機能のボタンを押しながらフロント／リアダイヤルを回して設定することもできます。
ボタンを離すと、設定画面を終了します。

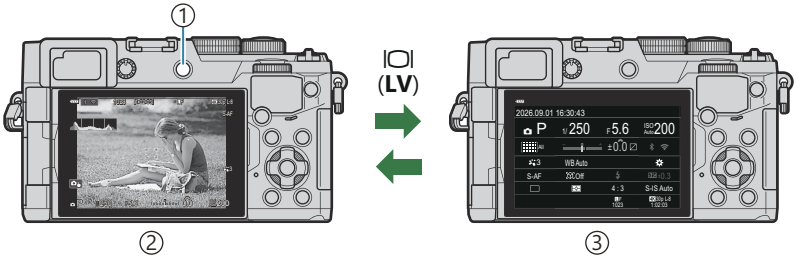
LV スーパーコンパネ／スーパーコンパネで設定する

LV スーパーコンパネ／スーパーコンパネについて

LV スーパーコンパネおよび スーパーコンパネは、撮影に関する機能とその設定内容をモニターに一覧表示できる機能設定パネルです。ライブビュー撮影時（モニターに被写体を表示して撮影するとき）は LV スーパーコンパネ、ファインダー撮影時はスーパーコンパネが使えます。

- LV を押して、ファインダー撮影とライブビュー撮影を切り換えます。

以下の場合、LV ボタンを押してもファインダー撮影とライブビュー撮影を切り換えられません。
- 電源レバーが 🎞／S&Q のとき
- モードダイヤルが **ART**／**SCN** のとき



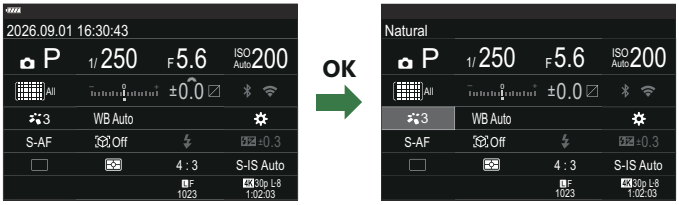
①LV（**LV**）ボタン
②ライブビュー撮影時
③ファインダー撮影時（ファインダー点灯中、モニターは消灯します）

LV スーパーコンパネ（ライブビュー撮影時）

ライブビュー撮影時に **OK** ボタンを押すと、モニターに LV スーパーコンパネが表示されます。

スーパーコンパネ（ファインダー撮影時）

モニターに被写体を表示していないファインダー撮影で、常時表示しておくことができます。**OK** ボタンを押すと、カーソルが表示されます。



LV スーパーコンパネ／スーパーコンパネでの設定方法

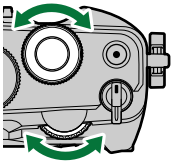
ここでは［ **被写体検出**］を例に操作方法を説明します。

1. **OK** ボタンを押します。
- 前回操作した機能にカーソルが表示されます。

①カーソル

2. △▽◁▷ で設定する機能を選択します。
- 選択した機能にカーソルが移動します。
- 選択した機能の名称が表示されます。
- 機能を直接タッチして選択することもできます。

3. フロントダイヤル/リアダイヤルで設定を変更します。
- タッチ操作でも設定を変更することができます。



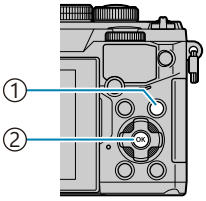
- シャッターボタンを半押しすると、設定が確定し、撮影画面に戻ります。

本書では LV スーパーコンパネ／スーパーコンパネで設定する手順を次のように記載しています。

スーパーコンパネ
- **OK** ➡ 被写体検出

選択メニューを表示して設定する

手順 2 で機能を選択し **OK** ボタンを押すまたはタッチすると、選択メニューが表示され、設定値を確認しながら設定できます。
設定値を直接タッチして設定することもできます。
機能によっては、選択メニューからさらに詳細な設定が可能です。



①**INFO** ボタン
②**OK** ボタン

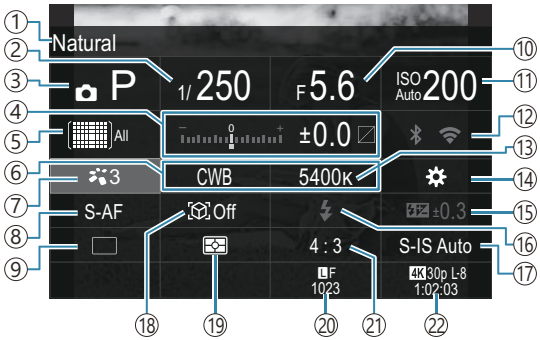
① ② ③

①LV スーパーコンパネ／スーパーコンパネ表示
②選択メニュー表示
③詳細設定画面

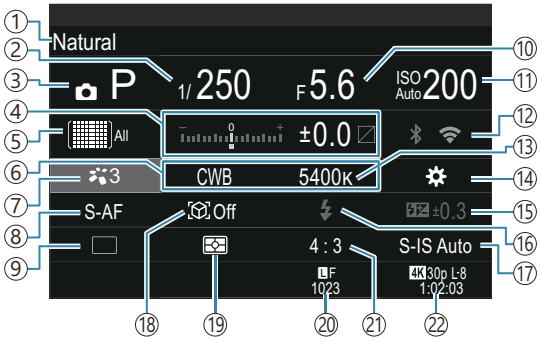
LV スーパーコンパネ／スーパーコンパネで設定できる機能

静止画

LV スーパーコンパネ



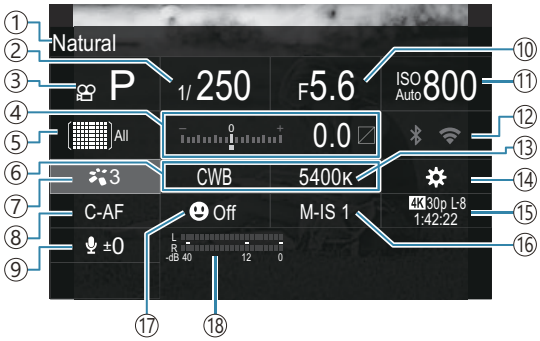
スーパーコンパネ



①現在選択している機能の名称
②シャッター速度（P.56、P.61）
③撮影モード（P.49）
④露出補正／ハイライト&シャドウコントロール（P.163／P.336）
⑤AF ターゲットモード（P.117）
⑥ホワイトバランス（P.233）
⑦ ピクチャーモード（P.221）
⑧AF 方式（P.111）
⑨ドライブ（連写／セルフタイマー）（P.197）
⑩絞り値（P.56、P.59）
⑪ISO 感度（P.177）
⑫Wi-Fi/Bluetooth（P.400）
⑬色温度（P.233）
⑭ ボタン機能（P.328）
⑮フラッシュ補正（P.192）
マニュアル発光量（P.187）
⑯フラッシュ（P.187）
⑰ 手ぶれ補正（P.209）
⑱ 被写体検出（P.130）
⑲測光（P.170）
⑳ 画質モード、撮影可能枚数（P.213、P.498）
㉑アスペクト（P.219）
㉒ 画質モード、録画可能時間（P.214、P.500）

動画

LV スーパーコンパネ



①現在選択している機能の名称
②シャッター速度（P.86）
③撮影モード（P.49）
④露出補正／ハイライト&シャドウコントロール（P.163／P.336）
⑤AF ターゲットモード（P.117）
⑥ホワイトバランス（P.233）
⑦ ピクチャーモード（P.221）
⑧AF 方式（P.111）
⑨録音レベル（P.89）
⑩絞り値（P.86）
⑪ISO 感度（P.177）
⑫Wi-Fi/Bluetooth（P.400）
⑬色温度（P.233）
⑭ ボタン機能（P.328）
⑮ 画質モード、録画可能時間（P.214、P.500）
⑯ 手ぶれ補正（P.209）
⑰ 顔・瞳検出（P.133）
⑱録音レベルメーター（P.89）

メニューで設定する

メニューでできること

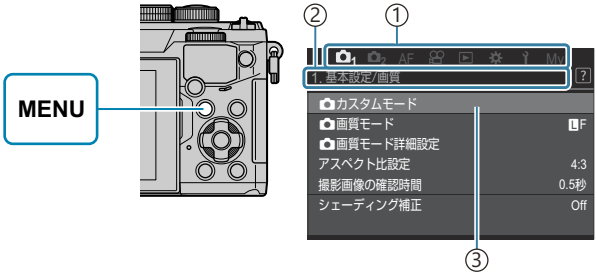
メニューでは、撮影／再生時の機能だけでなく、操作や表示をカスタマイズしたり、カメラ本体のセットアップができます。
機能をタブに分類し、ページ毎に関連する機能を配置しています。

メニューの操作方法

フロントダイヤル（）	タブの切り換え
◁▷／リアダイヤル（）	ページの切り換え
△▽	カーソルの移動
OK ボタン	決定／次の画面に進む
MENU ボタン	操作の中止／前の画面に戻る

ここでは［**AF 方式**］を例に操作方法を説明します。

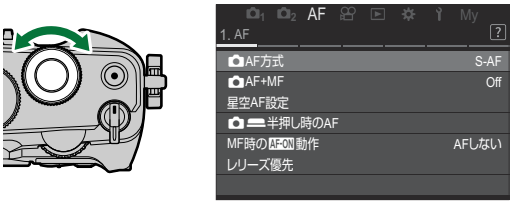
1. **MENU** ボタンを押して、メニューを表示します。



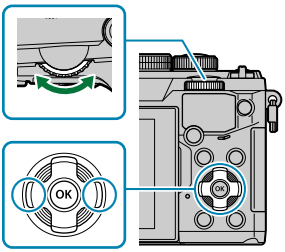
①タブ
②ページのタイトル
③カーソル

2. フロントダイヤルでタブを切り換えます。

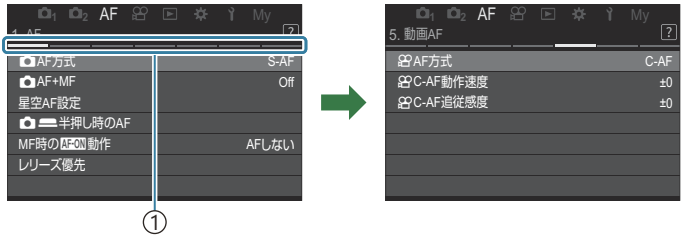
- ［**AF 方式**］は［**AF**］タブにあります。［**AF**］タブに切り換わるまでフロントダイヤルを回します。
- タブのアイコンをタッチしても切り換えることができます。



3. ◁▷ またはリアダイヤルでページを選びます。



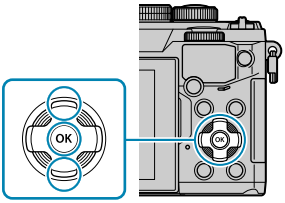
- **[AF 方式]** は 5 ページ目の **[5. 動画 AF]** にあります。**[5. 動画 AF]** に切り換わるまで ◁▷ またはリアダイヤルを操作します。

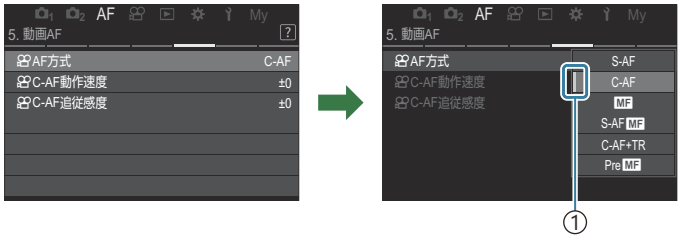


①ページガイド

- ページガイドをタッチしても、ページを切り換えることができます。

4. △▽ で **[AF 方式]** を選び、**OK** ボタンを押します。





①設定されている項目に表示されます。

- 項目をタッチしても選択することができます。

5. △▽ で設定値を選び、**OK** ボタンを押します。

- 設定値が確定します。
- 設定値をタッチしても確定することができます。
- **MENU** ボタンを押すと、メニューを終了します。
- 手順 4 でメニュー項目を選択し **OK** ボタンを押した後の操作は、メニューによって異なります。
- 手順 5 で設定値を選択した後、さらに設定が必要なメニュー項目もあります。

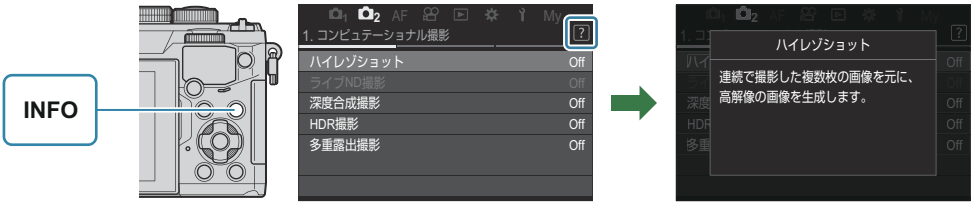
本書ではメニュー項目を選ぶ手順を次のように記載しています。

メニュー
- **MENU** ➡ **AF** ➡ 5. 動画 AF ➡ AF 方式

メニュー操作を中止する場合は、**MENU** ボタンを押してください。
各機能および初期設定については、「機能と初期設定一覧」（P.457）をご覧ください。

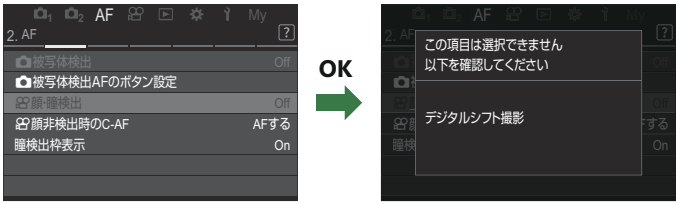
メニュー項目の説明を表示する

メニュー項目を選択中に **INFO** ボタンを押す、または画面に表示されている ? をタッチすると、メニューの説明が画面に表示されます。



グレーで表示されている項目

カメラの状態やほかの機能の設定内容によって、設定できない項目はグレーで表示されます。
グレーの項目を選択中に **OK** ボタンを押すと、設定できない理由が表示されます。



ピント合わせの基本機能

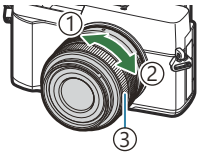
ピントの合わせ方を設定する（AF 方式／AF 方式）

:PASMB　/S&Q:PASM

ピント合わせの方法（フォーカスモード）を選択します。

スーパーコンパネ
- **OK** ➡ AF 方式／AF 方式

メニュー
- **MENU** ➡ **AF** ➡ 1. AF ➡ AF 方式
- **MENU** ➡ **AF** ➡ 5. 動画 AF ➡ AF 方式

S-AF（シングル AF）	シャッターボタンを半押し、または **AF-ON** ボタンを押すと、1 回だけピント合わせを行います。 モードでは、ピントが合うと、ピピッという音がして、画面に合焦マークと AF ターゲットが点灯します。 モード／S&Q モードでは、ピントが合うと画面に合焦マークと AF ターゲットが表示されます。静物や動きの激しくない被写体を撮影するのに適しています。
C-AF（コンティニュアス AF）	モードでは、シャッターボタンを半押ししている間、または **AF-ON** ボタンを押している間、被写体との距離を検出しながら、ピントを合わせ続けます。被写体にピントが合うと、画面に合焦マークが点灯します。また、1 回目の合焦時には、ピピッという音がします。 モード／S&Q モードでは、撮影前も録画中も被写体に繰り返しピントを合わせ続けます。 撮影距離が絶えず変化する被写体の撮影に適しています。
MF（マニュアルフォーカス）	レンズのフォーカスリングを操作することで任意の位置に手動でピントを合わせることができます。  ①至近 ②∞ ③フォーカスリング

S-AF MF	S-AF モードでピント合わせを行います。レンズのフォーカスリングを操作するとピント位置を調整できます。
C-AF+TR（追尾 AF）	シャッターボタンの半押しで、または **AF-ON** ボタンを押してピントの合った被写体を、ボタンを半押ししている間追尾してピントを合わせ続けます。 🎥 モード／S&Q モードでは、撮影前はボタンを離しても追尾 AF を継続します。**OK** ボタンを押すと停止します。 追尾 AF 中に録画を開始すると、追尾 AF はそのまま継続して動作します。 録画中は常に追尾 AF が動作します。 • 追尾 AF 中は追尾している被写体に白い枠が表示されます。 • 追尾被写体を見失うと、グレーの枠に変わります。ボタンを離して、もう一度被写体に合わせてシャッターボタンを半押し、または **AF-ON** ボタンを押してください。 **［AF ターゲット表示］**が **［On2］**のときは白い枠は表示されず、ピントの合っている箇所に AF ターゲットが表示されます。 追尾 AF 使用時、AF ターゲット（P.117）で **[▦]All**（オールターゲット）は設定できません。 以下の機能では追尾 AF は使用できません。 - デジタルシフト撮影／ハイレゾショット／フォーカスブラケット撮影／深度合成撮影／インターバル撮影／HDR 撮影／ライブ ND 撮影／フィッシュアイ補正撮影
Pre MF（プリセット MF）	選択すると、プリセットしたピント位置に自動で設定します。
AF（星空 AF）（静止画撮影時のみ）	夜空の星を撮影するためのフォーカスモードです。**AF-ON** ボタンを押して星にピント合わせを行います。☞「星空 AF で撮影する」（P.113）

- **［S-AF MF］**は、**［🎥AF 方式］**設定時にのみ表示される選択肢です。
  静止画撮影時にオートフォーカス時にマニュアルフォーカスでピントを調整するには、**［📷AF+MF］**で設定します。☞「AF と MF を併用する（📷AF+MF）」（P.124）
- 電源レバーが 📷 で **［📷 被写体検出］**（P.130）が **［Off］**以外に設定されているとき、**［C-AF+TR］**は選択肢に表示されません。
- 電源レバーが 🎥 または S&Q で **［🎥 顔・瞳検出］**（P.133）が **［Off］**以外に設定されているとき、**［C-AF+TR］**は選択肢に表示されません。
- 明るさが不足している、霧などで被写体がはっきり見えないなど、被写体のコントラストが弱い場合はピントが合わないことがあります。
- 撮影状況や被写体によっては、追尾できない場合があります。
- フォーサーズマウント規格レンズ使用時は、動画撮影中の AF は動作しません。

⚠ **[MF クラッチ]**（P.160）が **[有効]** で レンズのフォーカスリング（P.432）が MF の位置になっている場合、またはフォーカス切り換えスイッチが MF になっている場合、**[AF 方式]** ／ **[AF 方式]** は設定できません。

🔊 シャッターボタンを半押ししたときにオートフォーカスするかどうかを設定できます。☞「シャッターボタンでのオートフォーカス動作を設定する（ 半押し時の AF）」（P.125）

星空 AF で撮影する

1. AF 方式で **[AF]** を設定します。

2. **AF-ON** ボタンを押して、星空 AF を開始します。

- 再度 **AF-ON** ボタンを押すと星空 AF を中止します。
- シャッターボタンの半押しで星空 AF を開始するように設定できます。☞「星空 AF の設定を変更する（星空 AF 設定）」（P.129）
- 星空 AF 中は **[星空 AF 動作中です]** が表示されます。ピントが合うと合焦マーク（●）が約 2 秒間表示され、ピントが合わなかった場合は合焦マークが約 2 秒間点滅します。

3. シャッターボタンを全押しして撮影します。

- 明るい星をタッチして、ピントを合わせてから自動的に撮影することもできます。

⚠ 周囲が明るい撮影環境ではピントが合いません。
⚠ プロキャプチャー撮影では使用できません。
⚠ **[被写体検出]**（P.130）が **[Off]** 以外に設定されているときは使用できません。
⚠ **[[∴] 縦位置/横位置切換]**（P.147）、**[[∴] 循環設定]**（P.152）、**[AF リミッター]**（P.140）、**[AF 補助光]**（P.145）、**[AF スキャン]**（P.142）は **[Off]** に固定されます。
⚠ フォーサーズレンズを取り付けると、マニュアルフォーカスになります。
⚠ 星空 AF は、OM デジタルソリューションズ製またはオリンパス製のマイクロフォーサーズレンズで動作します。ただし、開放 F 値が 5.6 より大きいレンズでは、星空 AF を使用できません。詳しくは当社ホームページをご覧ください。
⚠ タッチ操作では、ピントが合わなかった場合は撮影されません。
🔊 **[星空 AF 設定]** の **[AF 動作モード]**（P.129）で **[精度優先]** と **[速度優先]** を選択できます。**[精度優先]** を選択した場合は、三脚でカメラを固定して撮影してください。
🔊 ターゲットモードは、**[•]**Single、**[⁘]**Middle、**[▦]**Large のみ選択できます（P.117）。
🔊 星空 AF を設定すると、ピント位置が自動で無限遠に移動します。
🔊 **[星空 AF 設定]** で **[レリーズ優先]** を **[On]** に設定すると、ピントが合わなくてもシャッターを切ることができます。

プリセット MF にピント位置を設定する

1. AF 方式で［Pre MF］を選択し、**INFO** ボタンを押します。

2. シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせます。
   • フォーカスリングを回して、ピントを微調整できます。

3. **OK** ボタンを押します。

［プリセット MF 距離］（P.159）で、ピント位置の距離を設定できます。
以下のときにもプリセットした位置にピントを移動します。
- カメラの電源を入れたとき
- メニュー画面を操作して撮影画面に戻ったとき

オートフォーカス時にマニュアルフォーカスでピントを調整して撮影する

• あらかじめ［AF+MF］（P.124）で［On］を選択しておきます。［S-AF］/［C-AF］/［C-AF+TR］/［AF］に MF が表示されます。

1. MF が表示されたフォーカスモードを選択します（P.111）。
   • 動画撮影時は［S-AF MF］を選択します。

2. シャッターボタンを半押ししてオートフォーカスでピントを合わせます。
   • ［AF MF］では、**AF-ON** ボタンを押して、星空 AF を開始します。

3. シャッターボタンを半押ししたまま、フォーカスリングを操作して、マニュアルでピント位置を調整します。
   • 再度オートフォーカスを行うときは、シャッターボタンを半押しし直してください。

［AF MF］では、オートフォーカス動作中のマニュアルフォーカスはできません。
M.ZUIKO PRO レンズを使用しているとき、オートフォーカス中にフォーカスリングを操作してマニュアルフォーカスができます。その他のレンズでの対応は当社ホームページをご覧ください。

4. シャッターボタンを全押しして撮影します。

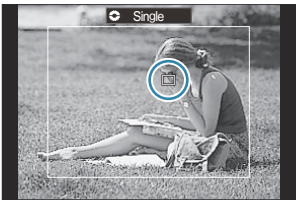
ピント合わせの位置を自分で決める（AF ターゲット位置）

:PASMB　/S&Q:PASM

ピントを合わせる位置や範囲を示す枠を AF ターゲットと呼びます。ピントを合わせたい位置に AF ターゲットを移動することができます。

1. **[⋰]** ボタンを押して、AF ターゲットを表示します。
- AF ターゲットモードが **[▦]**All のときは、**[▦]**All 以外にします（P.117）。

2. AF ターゲット選択中に △▽◁▷ ボタンで AF 位置を選択します。
- **OK** ボタンを長押しすると、AF ターゲットを中央に戻すことができます。
- AF ターゲットの位置を移動するとき、上下左右の端で AF ターゲットを循環させるかどうかを設定できます（P.152）。



3. 撮影します。
- 設定画面はシャッターボタンを半押しすると消えます。
- AF ターゲットを設定した位置に AF フレームが表示されます。

[ボタン機能]（P.328）で十字ボタンを **[[⋰] 選択]** に選択時、 モードの **[C-AF]** および **[C-AF MF]** でピントを合わせ続けている場合でも、AF ターゲット位置を動かすことができます。

 モードでは **[ボタン機能]**（P.328）で、 モード/S&Q モードでは **[ボタン機能]**（P.328）で十字ボタンを **[[⋰] 選択]** に選択時、動画録画中も、AF ターゲット位置を動かすことができます。

撮影時の設定によって AF ターゲットの数や大きさが変わります。

[AF ターゲットパッド]（P.154）が **[On]** のときは、ファインダーをのぞきながらモニターにタッチして AF ターゲットを移動することができます。

ピント合わせの範囲を選ぶ（AF ターゲットモード）

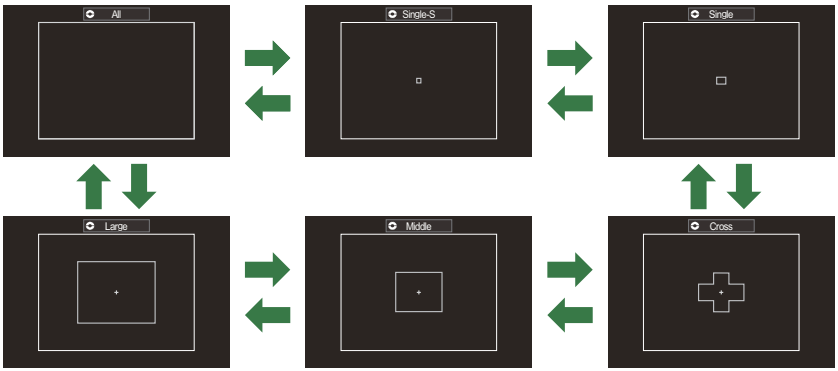
:PASMB :PASM

ボタン
- **[⁘]** ボタン

スーパーコンパネ
- **OK** ➡ AF ターゲットモード／AF ターゲットモード

1. **[⁘]** ボタンを押して、AF ターゲットを表示します。

2. AF ターゲット選択中にフロントダイヤルでサイズや形状を選びます。



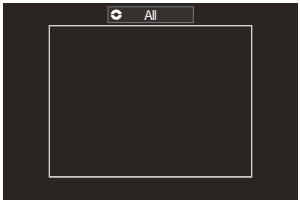
AF ターゲットモードの種類

AF（P.111）のときは、【・】Single、【▪】Middle、【▦】Large のみ選択できます。
動画撮影時は、【・】Single、【▪】Middle、【▦】Large、【▩】All のみ選択できます。
静止画撮影時に表示する AF ターゲットモードは **［AF ターゲットモード設定］**（P.120）で設定できます。

[▦]All

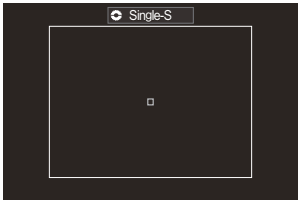
すべての AF ターゲットの中から、カメラが自動的にピントを合わせる位置を選びます。

- AF ターゲットは、📷 モードでは 121 点（11×11）、🎬 モード／S&Q モードでは 99 点（11×9）になります。



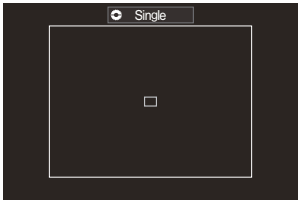
[·]Single-S

[·]Single よりサイズの小さい AF ターゲットに変更できます。被写体が小さいときやより狭い範囲にピントを合わせたいときに使います。



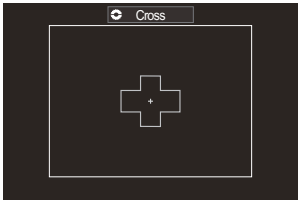
[·]Single

1 つの AF ターゲットを選びます。



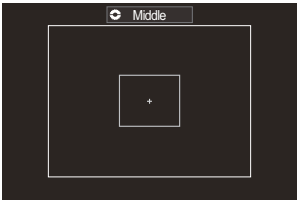
[✣]Cross

十字に配置された AF ターゲットを使います。ターゲットの中からカメラが自動的にピントを合わせる位置を選びます。



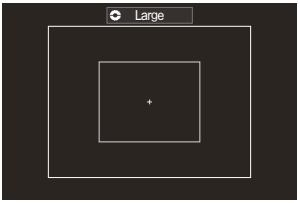
[⠿]Middle

中サイズの AF ターゲットを使います。ターゲットの中からカメラが自動的にピントを合わせる位置を選びます。



[⣿]Large

大サイズの AF ターゲットを使います。ターゲットの中からカメラが自動的にピントを合わせる位置を選びます。



[⠿]C1～[⠿]C4 カスタムターゲット

AF ターゲットのサイズや移動ステップを変更できます。**[AF ターゲットモード設定]**（P.120）でいずれかのカスタムターゲットに ✓（チェック）を付けると設定できます。

- 撮影時の設定によっては、表示される AF ターゲットの数が少なくなります。
- AF ターゲットモードの設定は、カメラの縦位置と横位置で別々に設定できます。☞「AF ターゲットの設定を横位置/縦位置で変える（**[⠒]** 縦位置/横位置切換）」（P.147）
- **[C-AF]** で撮影時の AF ターゲットエリアに関する設定ができます。☞ **[C-AF 中央優先]**（P.137）
- 静止画（📷 モード）と動画（🎞 モード／S&Q モード）で別々に設定できます。

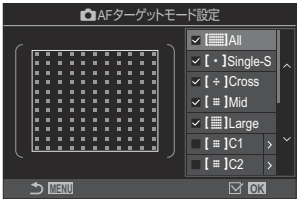
AF ターゲットモードの選択肢を設定する（AF ターゲットモード設定）

:PASMB /S&Q:PASM

AF ターゲットモードを設定するときの選択肢を設定します。

メニュー
- **MENU** ➡ **AF** ➡ 6. AF ターゲットの設定/操作 ➡ AF ターゲットモード設定

1. AF ターゲットモードを選択するときに常に選択肢として表示したい AF ターゲットを選択し、✓（チェック）を付けます。
- △▽ で項目を選択し **OK** ボタンを押すとチェックボックスに ✓（チェック）が表示されます。
  チェックを解除するときは再度 **OK** ボタンを押します。
- チェックボックスをタッチしても ✓（チェック）をつけたり解除することができます。



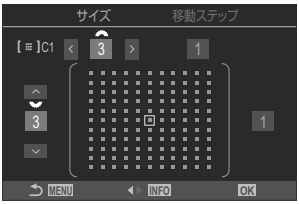
AF ターゲットモード設定画面

[▦]All / [•]Single-S / [÷]Cross / [⠿]Mid / [▦]Large

✓（チェック）をつけると、AF ターゲットの選択肢として表示されます。

[⠿]C1～[⠿]C4

✓（チェック）をつけると、AF ターゲットの選択肢として表示されます。
また ▷ を押すと AF ターゲットのサイズと移動ステップを設定できます。



設定項目	横方向	縦方向
サイズ	6 種類（1/3/5/7/9/11） ◁▷ またはフロントダイヤルで切り換えます。	6 種類（1/3/5/7/9/11） △▽ またはリアダイヤルで切り換えます。
移動ステップ	3 種類（1〜3） ◁▷ またはフロントダイヤルで切り換えます。	3 種類（1〜3） △▽ またはリアダイヤルで切り換えます。

- サイズと移動ステップは **INFO** ボタンで切り換えます。
- タッチ操作でも AF ターゲットのサイズと移動ステップが設定できます。

AF ターゲットモードの選択肢を設定する
（AF ターゲットモード設定）

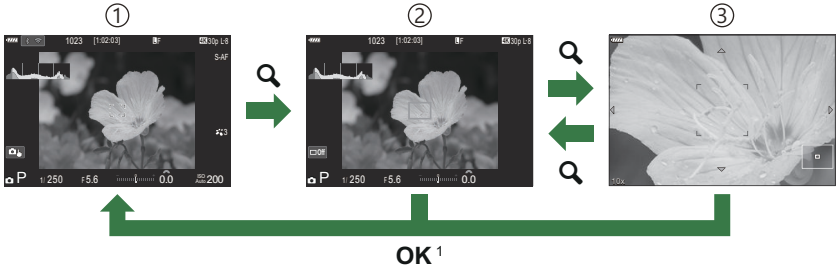
拡大枠 AF／拡大 AF を使う（スーパースポット AF）

:PASMB :PASM

画面の一部を拡大して表示できます。ピント合わせを行う範囲を拡大表示することによって、より正確にピントを合わせることができます。拡大倍率を高くすると、通常の AF ターゲット枠よりも小さい範囲でオートフォーカスをすることができます。拡大する範囲は任意で移動できます。

ボタン
- 🔍 を割り当てたボタン

拡大枠 AF／拡大 AF を使うときは、いずれかのボタンに［🔍］（P.329）を割り当てておく必要があります。☞「ボタンの機能を変える（ボタンの設定）」（P.328）



①撮影画面
②拡大枠画面
③拡大画面

1 **OK** ボタンの代わりに［🔍］（拡大）を割り当てたボタンを長押ししても、撮影画面に戻ることができます。

1. ［🔍］（拡大）を割り当てたボタンを押します。
- 画面に拡大枠が表示されます。

2. △▽◁▷ ボタンを押して拡大枠を移動します。

- **OK** ボタンを長押しすると拡大枠が中央に戻ります。

3. 拡大枠の大きさ（倍率）を変更します。

- **INFO** ボタンを押してから、△▽ ボタンを押すか、フロント／リアダイヤルを回すと拡大枠の大きさを変更できます。
- **OK** ボタンを押すと、設定を確定して設定画面を終了します。

4. **[🔍]** の機能を割り当てたボタンをもう一度押します。

- 拡大枠の部分が画面全体に拡大表示されます。
- フロント／リアダイヤルを回すと拡大の倍率が変更できます。
- △▽◁▷ ボタンで拡大表示の位置を変更できます。

- 撮影モードが **M**（マニュアル）または **B**（バルブ）で **[ISO Auto]** 以外の場合、拡大表示時に **INFO** ボタンを押すと絞りやシャッター速度の設定ができます。
- 🔍 ボタンを押すと、拡大枠に戻ります。
- **OK** ボタンを押すと、拡大表示を終了します。
- 🔍 ボタンを長押ししても拡大表示を終了できます。

M、**B** モード時の露出設定画面

ⓘ拡大表示はモニター上の表示のみです。実際に撮影される画像には反映されません。
ⓘ拡大表示中、フォーサーズレンズ装着時は、拡大 AF は動作しません。
ⓘ🎞 モード／**S&Q** モードで **[🎞 デジタルテレコン]** が **[On]** のときは、拡大表示できません。
拡大枠画面表示中や拡大画面表示中でも撮影することができます。
拡大枠 AF は、タッチ操作でも使用できます。☞「タッチパネルを使って撮る」（P.52）
拡大表示中シャッターボタンを半押ししたときに、拡大表示を終了してもとの表示に戻す設定もできます。☞「拡大ライブビュー中にシャッターボタンを押したときの動作を設定する（LV 拡大モード）」（P.345）

ピント合わせの操作方法を設定する機能

AF と MF を併用する（AF+MF）

:PASMB /S&Q:PASM

オートフォーカスでピントを合わせたまま、レンズのフォーカスリングを操作してピントを調整することができる設定です。合焦後にピント位置を調整したり、オートフォーカスを中断してマニュアルフォーカスをすることができます。

AF 方式（P.111）によって動作が異なります。

メニュー
- **MENU** ➡ **AF** ➡ 1. AF ➡ AF+MF

On	AF 設定時に、MF 操作を有効にします。**[S-AF]**、**[C-AF]**、**[C-AF+TR]**、**[AF]** に MF が表示されます。 • **[S-AF MF]** に設定すると、S-AF で合焦後、シャッターボタンを半押ししたまま、または **AF-ON** ボタンを押したままマニュアルフォーカスでピント位置の調整ができます。また、AF 動作中にフォーカスリングを動かして、マニュアルフォーカスに切り換えることができます。露光中や連写中のマニュアルフォーカスも可能です。 • **[C-AF MF]** または **[C-AF+TR MF]** に設定すると、C-AF または C-AF+TR で動作中、フォーカスリングを動かして、マニュアルフォーカスに切り換えることができます。再度オートフォーカスを行うときは、シャッターボタンを半押ししなおす、または **AF-ON** ボタンを押しなおしてください。露光中や連写中のマニュアルフォーカスも可能です。 • **[AF MF]** に設定すると、AF の AF 開始前や AF 合焦後に、マニュアルフォーカスでピント位置の調整ができます。
Off	AF 設定時に、MF 操作を無効にします。

[H] または **[ProCapH]** での連写中は、マニュアルフォーカスは動作しません。

AF 動作を他のボタンに割り当てているときも、同様の動作をします。☞「ボタンの機能を変える（ボタンの設定）」（P.328）

フォーカスリングを動かして AF を中断する動作は、M.ZUIKO PRO レンズでのみ可能です。その他のレンズでの対応は当社ホームページをご覧ください。

撮影モードが **B** では、露光中のマニュアルフォーカスは、**[BULB/TIME 中 MF]**（P.270）の設定で動作します。

シャッターボタンでのオートフォーカス動作を設定する（ 半押し時の AF）

:PASMB /S&Q:PASM

シャッターボタンを半押ししたときにオートフォーカスするかどうかを設定できます。

メニュー
- **MENU** ➡ **AF** ➡ 1. AF ➡ 半押し時の AF

S-AF	AF 方式が**【S-AF】**設定時のオートフォーカス動作を設定します。 **【AF しない】**：シャッターボタンの半押しではオートフォーカス動作を開始しません。 **【AF する】**：シャッターボタンを半押ししたときオートフォーカス動作を開始します。**AF-ON** ボタンを押している間にシャッターボタンを半押ししたときは、オートフォーカスを継続します。
C-AF/ C-AF+TR	AF 方式が**【C-AF】**または**【C-AF+TR】**設定時のオートフォーカス動作を設定します。 **【AF しない】**：シャッターボタンの半押しではオートフォーカス動作を開始しません。 **【AF する】**：シャッターボタンを半押ししたときオートフォーカス動作を開始します。**AF-ON** ボタンを押している間にシャッターボタンを半押ししたときは、オートフォーカスを継続します。

AF-ON ボタンでオートフォーカスする

📷:PASMB 🎬/S&Q:PASM

AF-ON ボタンを押すとオートフォーカス動作を開始します。**AF-ON** ボタンを離すとオートフォーカスを中断します。シャッターボタンの半押しによりオートフォーカスしている間に **AF-ON** ボタンを押したときは、オートフォーカスを継続します。

ボタン
- **AF-ON** ボタン

動画撮影時、**[🎬AF 方式]** が **[C-AF]** 設定時に **AF-ON** ボタンを押すと、S-AF 動作を行います。**[C-AF+TR]** 設定時に **AF-ON** ボタンを押すと、追尾 AF を行います。

マニュアルフォーカス中にオートフォーカスを使う（MF 時の AF-ON 動作）

:PASMB　/S&Q:PASM

AF 方式が［**MF**］または［**Pre MF**］のときでも **AF-ON** ボタンを押すとオートフォーカスするように設定できます。

メニュー
- **MENU** ➡ **AF** ➡ 1. AF ➡ MF 時の AF-ON 動作

AF しない	AF 方式が［**MF**］または［**Pre MF**］のときは、**AF-ON** ボタンを押してもオートフォーカス動作を開始しません。
AF する	AF 方式が［**MF**］または［**Pre MF**］のときに **AF-ON** ボタンを押すと［**S-AF**］モードでオートフォーカスをします。

電源レバーが S&Q で、モードダイヤルが **M** に設定されているときは、［**AF しない**］に固定されます。

非合焦時の動作を設定する（レリーズ優先）

オートフォーカスで被写体にピント合わせができない場合に撮影をするかしないかを設定します。

メニュー
- **MENU** ➡ **AF** ➡ 1. AF ➡ レリーズ優先

S-AF	AF 方式が **［S-AF］** 設定の場合にピント合わせができないときの動作を設定します。 **［Off］**：オートフォーカスで被写体にピント合わせができない場合はシャッターボタン全押ししてもシャッターは切れません。フラッシュが発光する設定の場合は、フラッシュの充電が完了するまで、シャッターは切れません。 **［On］**：オートフォーカスで被写体にピント合わせができない場合でもシャッターボタン全押しで撮影します。
C-AF/C-AF+TR	AF 方式が **［C-AF］** または **［C-AF+TR］** 設定の場合にピント合わせができないときの動作を設定します。 **［Off］**：オートフォーカスで被写体にピント合わせができない場合はシャッターボタン全押ししてもシャッターは切れません。フラッシュが発光する設定の場合は、フラッシュの充電が完了するまで、シャッターは切れません。 **［On］**：オートフォーカスで被写体にピント合わせができない場合でもシャッターボタン全押しで撮影します。

星空 AF の設定を変更する（星空 AF 設定）

📷:PASMB 🎬/S&Q:PASM

星空 AF 機能の動作を設定できます。

メニュー
- **MENU** ➡ **AF** ➡ 1. AF ➡ 星空 AF 設定

AF 動作モード	**[精度優先]**：ピント合わせの精度を優先します。三脚でカメラを固定して撮影してください。 **[速度優先]**：ピント合わせの速度を優先します。
AF 操作	**[▬]**：シャッターボタンを半押ししている間オートフォーカスします。 **[AF-ON]**：**AF-ON** ボタンを押している間オートフォーカスします。 **[AF-ON Start/Stop]**：**AF-ON** ボタンを押すとオートフォーカスを開始します。もう 1 度押すとオートフォーカスを終了します。
レリーズ優先	**[Off]**： • **[AF 操作]** が **[▬]** のときは、ピントが合っていないとシャッターボタンを全押ししても撮影を開始しません。 • **[AF 操作]** が **[AF-ON]** のときは、**AF-ON** ボタンを押しているときは、ピントが合っていないとシャッターボタンを全押ししても撮影を開始しません。**AF-ON** ボタンを押していないときは、いつでもシャッターボタン全押しで撮影を開始します。 • **[AF 操作]** が **[AF-ON Start/Stop]** のときは、星空 AF 実行中は、シャッターボタンを全押ししても撮影を開始しません。星空 AF 実行中以外は、いつでもシャッターボタン全押しで撮影を開始します。 **[On]**：**[AF 操作]** の設定にかかわらず、ピントが合っていなくてもシャッターボタン全押しで撮影を開始します。

被写体に合わせた AF 動作をカスタマイズする機能

特定の被写体を検出してピント合わせをする（被写体検出）

:PASMB /S&Q:PASM

人物の顔や瞳、動きの速い被写体を検出してオートフォーカスします。

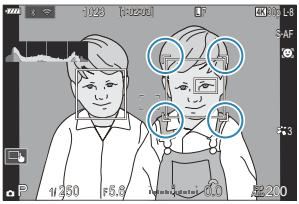
メニュー
- **MENU** ➡ **AF** ➡ 2. AF ➡ 被写体検出

（人物）	人物を検出します。顔、頭部、瞳および上半身などに追従してオートフォーカスします。
（犬・猫）	犬や猫、および類似した動物を検出します。頭部や瞳などに追従してオートフォーカスします。
Off	被写体を指定しません。

[Off] 以外にすると、**[AF]**（**[AF MF]**）は **[S-AF]**（**[S-AF MF]**）に、**[C-AF+TR]**（**[C-AF+TR MF]**）は **[C-AF]**（**[C-AF MF]**）になります。

[被写体検出] を使って撮影する

1. カメラを被写体に向けます。
   - カメラが被写体を検出すると、ピントを合わせる被写体にのみ白い枠が表示され、その他の被写体にはグレーの枠が表示されます。ピントを合わせる被写体には、白い枠の四隅に、さらに二重枠が表示されます。



- 瞳など特定の部分を検出すると、被写体の枠とは別に、特定の部分にさらに小さい枠が表示されます。
  この枠は設定で非表示にすることもできます（P.136）。
- 複数の被写体を検出していると、ピントを合わせる被写体であることを示す白い枠が他の被写体に入れ替わることがあります。
- ピントを合わせる被写体であることを示す白い枠が他の被写体に表示されている場合は、ピントを合わせたい被写体と重なるように AF ターゲットのサイズや位置を変更してください。
- [face] に設定しておくと、複数の被写体が検出されている場合は、タッチ操作でピントを合わせる被写体を選択できます（P.52）。
- [face] に設定しておくと、**[人]**（人物）設定時で瞳が検出されている場合は、タッチ操作でどちらの瞳にピントを合わせるかを選択できます（P.52）。

2. シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせます。

- **AF-ON** ボタンを押してもピントを合わせることができます（P.126）。
- 検出された被写体のピントが合った部分に、緑の枠が表示されます。
- 瞳を検出したときは、瞳にピントを合わせます。
- AF 方式が**[C-AF]**または**[C-AF MF]**のときは、被写体が移動しても、ボタンを離すまでの間は白い枠が表示されている被写体を追尾し、ピントを合わせ続けます。

3. シャッターボタンを全押しして撮影します。

ⓘ被写体やアートフィルターの設定によっては、被写体を検出できない場合があります。
ⓘ撮影状況や被写体によっては、被写体を検出できない場合があります。

ボタンごとのピント合わせの対象を設定する（被写体検出 AF のボタン設定）

:PASMB /S&Q:PASM

被写体が検出されているときにピント合わせを行う位置を、シャッターボタンと **AF-ON** ボタンで別々に設定できます。

メニュー
- **MENU** ➡ **AF** ➡ 2. AF ➡ 被写体検出 AF のボタン設定

	シャッターボタンを半押ししたときの AF 動作を設定します。 **[被写体 優先]**：被写体が検出されているとき、被写体にオートフォーカスします。 **[[ ] 優先]**：常に選択した AF ターゲット位置でオートフォーカスします。
AF-ON	**AF-ON** ボタンを押したときの AF 動作を設定します。 **[被写体 優先]**：被写体が検出されているとき、被写体にオートフォーカスします。 **[[ ] 優先]**：常に選択した AF ターゲット位置でオートフォーカスします。

被写体の顔や瞳を検出してピント合わせをする（顔・瞳検出）

:PASMB /S&Q:PASM

動画撮影時、カメラが自動的に人物の顔や瞳を検出してピントを合わせます。

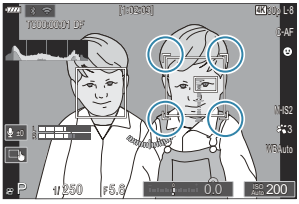
スーパーコンパネ
- **OK** ➡ 顔・瞳検出

メニュー
- **MENU** ➡ **AF** ➡ 2. AF ➡ 顔・瞳検出

On	被写体の顔や瞳を検出してピントを合わせます。
Off	顔優先 AF を使いません。

［On］にすると、**［C-AF+TR］**は**［C-AF］**になります。
S&Q モードで撮影フレームレートが**［120fps］**のとき、この機能は無効になります。

［顔・瞳検出］を使って撮影する



1. カメラを被写体に向けます。
- カメラが顔を検出すると、ピントを合わせる顔にのみ白い枠が表示され、その他の顔にはグレーの枠が表示されます。ピントを合わせる顔には、白い枠の四隅に、さらに二重枠が表示されます。
- カメラが顔を検出したときに、瞳の検出枠を表示するかどうかを設定できます（P.136）。
- [icon] に設定しておくと、タッチ操作でピントを合わせる顔を選択できます（P.52）。

2. **AF-ON** ボタンを押して、ピントを合わせます。
- 検出された顔のピントが合った部分に、緑の枠が表示されます。
- **［MF］**（P.111）でも顔や瞳の検出ができます。顔や瞳を検出すると枠が表示されます。その場合も、露出は顔を中心に設定されます。

3. ◎ ボタンを押して、動画撮影を開始します。

ⓘ撮影状況や被写体、アートフィルターの設定によっては、顔を検出できない場合があります。
ⓘ拡大枠を表示しているときは、拡大枠の位置にピントを合わせます。

顔非検出時の C-AF の動作を設定する（ 顔非検出時の C-AF）

:PASMB /S&Q:PASM

動画撮影時、顔を検出できないときの C-AF の動作を設定します。

メニュー
- **MENU** ➡ **AF** ➡ 2. AF ➡ 顔非検出時の C-AF

AF する	顔が検出できない場合でも、ピントを合わせ続けます。
AF しない	顔が検出できない場合は、ピント合わせを行いません。

瞳を検出したときの枠の表示を設定する（瞳検出枠表示）

: PASMB /S&Q: PASM

カメラが顔を検出したときに、瞳の検出枠を表示するかどうかを設定できます。

メニュー
- **MENU** ➡ **AF** ➡ 2. AF ➡ 瞳検出枠表示

Off	瞳の検出枠を表示しません。
On	瞳の検出枠を表示します。

- **［瞳検出枠表示］**を**［Off］**に設定していても、瞳を検出したときは、その部分にピントを合わせます。

C-AF 動作時に中央優先でピント合わせをする（C-AF 中央優先）

C:PASMB　S&Q:PASM

グループターゲットの設定で【C-AF】または【C-AF MF】でオートフォーカスするとき、常に選択エリアの中央を優先してオートフォーカスを繰り返します。中央でオートフォーカスできないときは、選択エリアの周辺の AF ターゲットを使います。速度は速くても、比較的動きの読める被写体をとらえやすくできます。一般的な撮影では中央優先でお使いください。

メニュー
- **MENU** ➡ **AF** ➡ 4. AF ➡ C-AF 中央優先

1. 常に選択エリアの中央を優先してオートフォーカスを繰り返したい AF ターゲットを選択し、✔（チェック）を付けます。
- △▽ で項目を選択し **OK** ボタンを押すとチェックボックスに ✔（チェック）が表示されます。
  チェックを解除するときは再度 **OK** ボタンを押します。
- チェックボックスをタッチしても ✔（チェック）をつけたり解除することができます。

C-AF 中央優先設定画面

[÷]Cross [⁞]Mid [▦]Large [⁞]C1～[⁞]C4	✔（チェック）を付けると、常に選択エリアの中央を優先してオートフォーカスを繰り返します。

【[⁞]C1】～【[⁞]C4】は、【C-AF ターゲットモード設定】（P.120）の【[⁞]C1】～【[⁞]C4】で横方向か縦方向の【サイズ】が 3 以上のときに ✔（チェック）を付けることができます。

C-AF 動作時のピント合わせの感度を設定する（C-AF 追従感度／C-AF 追従感度）

C:PASMB　動画/S&Q:PASM

［AF 方式］が**［C-AF］**、**［C-AF MF］**、**［C-AF+TR］**または**［C-AF+TR MF］**のとき、および**［動画 AF 方式］**が**［C-AF］**または**［C-AF+TR］**のときの、被写体に対するオートフォーカスの追従性を設定します。速い動きの被写体にオートフォーカスを追従させたいときや、被写体の前を障害物が出入りしてピントが移動してしまうときなどに有効です。

メニュー
- **MENU** ➡ **AF** ➡ 4. AF ➡ C-AF 追従感度
- **MENU** ➡ **AF** ➡ 5. 動画 AF ➡ 動画 C-AF 追従感度

- **［C-AF 追従感度］**は 5 段階、**［動画 C-AF 追従感度］**は 3 段階の感度が設定できます。
- ＋側に設定するほど感度は上がります。見えない位置から急に現れる被写体、すばやく遠ざかる被写体など、前後に急加速、急停止する被写体に対応するときは＋側に設定します。
- －側に設定するほど感度は下がります。被写体との間の障害物にピントが移動してしまったり、被写体が AF ターゲットから外れてピントが背景に移動してしまうときは－側に設定します。

C-AF 動作時のピント合わせの速さを設定する（C-AF 動作速度）

:PASMB /S&Q:PASM

[C-AF] や **[C-AF+TR]** で被写体にピントを合わせ続けているときの、ピント合わせの速度を設定します。録画中の場面転換などでピント位置を変えたときに、被写体にピントを合わせるまでの時間を調整したいときに有効です。

メニュー
- **MENU** ➡ **AF** ➡ 5. 動画 AF ➡ C-AF 動作速度

- 5 段階の設定ができます。
- ＋側に設定すると速くなり、－側に設定すると遅くなります。ピントが外れた状態から緩やかにピントを合わせたいときは、－側に設定します。

ピント合わせに関するカメラの動作を設定する機能

オートフォーカス時のレンズの動作範囲を設定する（AF リミッター）

:PASMB /S&Q:PASM

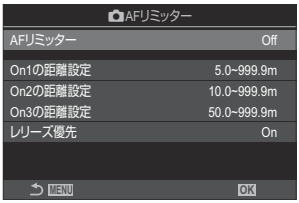
オートフォーカス動作するときの動作範囲を設定します。オートフォーカス中に、被写体との間に障害物が入ってピントが大きく外れてしまうような撮影状況で有効です。フェンスや窓越しの撮影などで、ピントがフェンスや窓に合ってしまうのを防ぐことができます。

AF リミッターで登録した距離設定を使用する

メニュー
- **MENU** ➡ **AF** ➡ 4. AF ➡ AF リミッター

1. △▽ ボタンで［**AF リミッター**］を選択し、**OK** ボタンを押します。

2. △▽ ボタンで［**On1**］/［**On2**］/［**On3**］を選択し、**OK** ボタンを押します。



AF リミッター設定画面

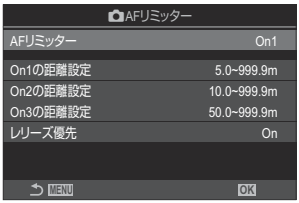
Off	AF リミッターで登録した距離設定を使用しません。
On1	［**On1 の距離設定**］で登録した距離設定を使用します。
On2	［**On2 の距離設定**］で登録した距離設定を使用します。
On3	［**On3 の距離設定**］で登録した距離設定を使用します。

3. AF リミッター設定画面に戻ります。

ⓘ下記の場合、AF リミッターは無効です。
- レンズ側のフォーカスリミッターが有効
- フォーカスブラケット／深度合成撮影使用中
- モード／S&Q モードおよび動画記録中
- フォーカスモードが［AF］または［AF MF］

AF リミッターの各項目を設定する

1. 各項目を設定します。
- △▽ で項目を選択し **OK** ボタンを押すと、設定メニューが表示されます。
- 設定後、**OK** ボタンを押すと AF リミッター設定画面に戻ります。



On1 の距離設定 **On2 の距離設定** **On3 の距離設定**	距離範囲の設定をします。 000.0～999.9m/ft の範囲で設定できます。 ◁▷ を押して桁や単位（m/ft）に移動し、△▽ で変更します。
レリーズ優先	**［Off］**：**［レリーズ優先］**（P.128）の設定に従います。 **［On］**：**［AF リミッター］**が**［Off］**以外に設定されているとき、ピントを合わせることができなくても、シャッターを切ることができます。

ⓘ**［On1 の距離設定］**～**［On3 の距離設定］**で表示される数値は目安としてお使いください。

C-AF 動作時のレンズのスキャン動作を設定する（AF スキャン）

📷:PASMB 🎬/S&Q:PASM

カメラがスキャン動作をするかどうかの設定をします。オートフォーカスでピント合わせができないとき、カメラは至近から無限までの間でピント位置を探します（スキャン動作）。AF 中のスキャン動作の仕方を制限することができます。この機能は、［AF 方式］（P.111）が［C-AF］、［C-AF+TR］、［C-AF MF］、または［C-AF+TR MF］のときに動作します。

メニュー
- MENU ➡ AF ➡ 4. AF ➡ AF スキャン

Off	ピントを検出できなくてもスキャン動作をしません。小さな被写体を追うときなど、スキャン動作によりピントが大きく外れて被写体を見失うのを防ぐことができます。
On	ピントを検出できないとき、AF 開始時に 1 回だけスキャン動作をします。そのまま AF 動作を続けてもその間はスキャン動作はしません。

- ［AF 方式］が［S-AF］または［S-AF MF］のときにピントを検出できないときは、［AF スキャン］の設定に関わらず 1 回だけスキャン動作を行います。

AF によるピント位置を微調整する（AF 微調節）

:PASMB /S&Q:PASM

位相差 AF でピントを合わせるときの、ピント位置を微調整できます。±20 ステップの範囲で調整できます。

メニュー
- **MENU** ➡ **AF** ➡ 4. AF ➡ AF 微調節

- 通常はこの機能でピント位置を調整する必要はありません。また、調整により適切なピントで撮影できなくなる場合がありますのでご注意ください。
- マイクロフォーサーズレンズ装着時、**[S-AF]**、**[S-AF MF]** では機能しません。

登録されているピント位置の調整値を使用する

1. △▽ ボタンで **[AF 微調節]** を選択し、**OK** ボタンを押します。

2. △▽ ボタンで **[On]** を選択し、**OK** ボタンを押します。

AF 微調節設定画面

Off	登録されているピント位置の調整値を使用しません。
On	登録されているピント位置の調整値を使用します。

3. AF 微調節設定画面に戻ります。

AF 微調節の項目を設定する

1. 項目を設定します。

- △▽ で項目を選択し **OK** ボタンを押すと、設定メニューが表示されます。
- 設定後、**OK** ボタンを押すと AF 微調節設定画面に戻ります。

調節量	すべてのレンズで一律に調整します。±20 ステップの範囲で調整できます。 **[-20]** ～ **[±0]** ～ **[+20]**

モードダイヤルが **B**、**ART**、**SCN**、AUTO のときは調整量は変更できません。

フロントダイヤルまたは ◎ ボタンを押して画面を拡大して確認することができます。

OK ボタンを押す前にシャッターボタンを押して試し撮りして確かめることができます。

オートフォーカス動作時に補助光を使う（AF 補助光）

:PASMB /S&Q:PASM

暗くてオートフォーカスでピント合わせができないときに、自動的に補助光を発光します。

メニュー
- **MENU** ➡ **AF** ➡ 3. AF ➡ AF 補助光

On	オートフォーカスするとき、被写体が暗いと自動的に補助光を発光します。
Off	被写体が暗くても補助光は発光しません。

静音撮影で使用するときは、**[静音 [♥] 撮影設定]** の設定が必要です（P.204）。

AF ターゲットの表示方法を選択する（AF ターゲット表示）

:PASMB　/S&Q:PASM

オートフォーカスでピントがあったとき、ピントが合った位置に緑色の AF ターゲットを表示します。この AF ターゲットの表示についての設定します。

メニュー
- **MENU** ➡ **AF** ➡ 3. AF ➡ AF ターゲット表示

Off	ピントが合ったときも AF ターゲットを表示しません。
On1	ピントが合ったとき、AF ターゲットを表示してすぐに消えます。
On2	ピントが合ったとき、シャッターボタンを半押ししている間または **AF-ON** ボタンを押している間は、AF ターゲットはクラスター表示になり、ピントの合っている箇所の AF ターゲットが表示されます。

ピントを合わせる位置を設定する機能

AF ターゲットの設定を横位置/縦位置で変える（[·:·] 縦位置/横位置切換）

P:PASMB　S&Q:PASM

カメラの姿勢を検知して、AF ターゲット位置や AF ターゲットモードの設定を自動的に切り換えます。カメラの向きを変えると構図も変わるのでピントを合わせる位置も変わります。AF ターゲットモードや AF ターゲットの位置を向きに合わせて記憶させておくことができます。この機能が有効になっていると、**[[·:·]HOME 登録]**（P.149）のホームポジションも横位置、縦位置それぞれで設定することができます。

メニュー
- **MENU** ➡ **AF** ➡ 6. AF ターゲットの設定/操作 ➡ [·:·] 縦位置/横位置切換

1. 姿勢で切り換える機能を選択し、✔（チェック）を付けます。
- △▽ で機能を選択し **OK** ボタンを押すとチェックボックスに ✔（チェック）が表示されます。
  チェックを解除するときは再度 **OK** ボタンを押します。
- チェックボックスをタッチしても ✔（チェック）をつけたり解除することができます。

[·:·] 縦位置/横位置切換設定画面

AF ターゲットモード	✔（チェック）を付けると、[▦]All／[▪]Single などのターゲットモードを、横位置／縦位置それぞれで記憶します。
AF ターゲット位置	✔（チェック）を付けると、AF ターゲットの位置を横および縦それぞれで設定します。

2. [·:·] 縦位置/横位置切換設定画面に戻ります。

3. **MENU** ボタンを押して、撮影画面を表示します。

4. カメラを横位置、縦位置それぞれの状態にして AF ターゲットモードや AF ターゲットの位置を設定します。

- 横位置、縦位置（右回転、左回転）それぞれの状態での設定を記憶しておけます。

AF ターゲットのホームポジションを設定する（[·:·]HOME 登録）

P:PASMB　S&Q:PASM

[[·:·]Home] で使うホームポジションを設定します。**[[·:·]Home]** は、ボタン操作一つで AF ターゲットをあらかじめ登録したホームポジションに設定する機能です。このときのホームポジションを設定します。

メニュー
- **MENU** ➡ **AF** ➡ 6. AF ターゲットの設定/操作 ➡ [·:·]HOME 登録

1. ホームポジションとして使用する項目を選択し、✓（チェック）を付けます。
- △ ▽ で項目を選択し **OK** ボタンを押すとチェックボックスに ✓（チェック）が表示されます。
  チェックを解除するときは再度 **OK** ボタンを押します。
- チェックボックスをタッチしても ✓（チェック）をつけたり解除することができます。

AF ターゲットモード	ホームポジションの AF ターゲットモードを設定します。**[AF ターゲットモード設定]**（P.120）で表示設定されている項目から選択できます。
AF ターゲット位置	ホームポジションの AF ターゲットの位置を設定します。

2. ▷ を押して、選択した項目の詳細設定をします。
- ホームポジションに登録する設定を選択します。
- **[[·:·] 縦位置/横位置切換]** が設定されているときは、各項目を選択した上で、横位置、縦位置（左/右）を選択し、**OK** を押して、それぞれの設定をします。

[[∴]Home] 機能を使う

[ボタン機能]（P.328）を使って、いずれかのボタンに **[[∴]Home]** を設定します。ボタンを押すと、登録したホームポジションに設定します。

AF ターゲット選択設定時の操作方法を設定する（[⋯] 選択画面設定）

📷:PASMB 🎬/S&Q:PASM

AF ターゲット選択の設定で使用するフロント／リアダイヤルや十字ボタンの役割を設定します。使い方や好みに合わせて、機能の設定に使う操作部を割り当てておくことができます。

メニュー
- **MENU** ➡ **AF** ➡ 6. AF ターゲットの設定/操作 ➡ **[⋯]** 選択画面設定

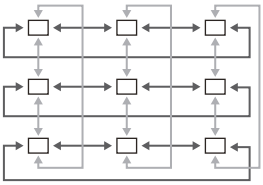
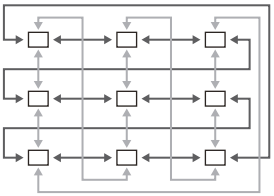
ダイヤル	フロントダイヤル、リアダイヤルに役割を設定します。 **[Off]**：役割を設定しません。 **[Pos 変更]**：AF ターゲットの位置（P.116）を設定します。 **[Mode 変更]**：[▦]All／[▪]Single などのターゲットモード（P.117）を変更します。
ボタン	△▽、◁▷ に役割を設定します。 **[Off]**：役割を設定しません。 **[Pos 変更]**：AF ターゲットの位置（P.116）を設定します。 **[Mode 変更]**：[▦]All／[▪]Single などのターゲットモード（P.117）を変更します。

AF ターゲットの循環方法を設定する（[⋯] 循環設定）

📷:PASMB 🎬/S&Q:PASM

AF ターゲットの位置を移動するとき、上下左右の端で AF ターゲットを循環させるかどうかを設定できます。AF ターゲットを循環させるときに、[▦]All（オールターゲット）を経由するかも設定できます。

メニュー
- **MENU ➡ AF ➡** 6. AF ターゲットの設定/操作 **➡ [⋯]** 循環設定

[⋯] 循環選択	**[Off]**：AF ターゲットは循環しません。上下左右の端で AF ターゲットは止まります。 **[循環 1]**：△▽◁▷ ボタンを押して AF ターゲットを一番端まで移動させた状態で、さらに同じ方向に押すと、同じ行または同じ列の反対側の AF ターゲット位置に移動します。  循環 1 のイメージ **[循環 2]**：△▽◁▷ ボタンを押して AF ターゲットを一番端まで移動させた状態で、さらに同じ方向に押すと、次の行または次の列の反対側の AF ターゲット位置に移動します。  循環 2 のイメージ
[▦]All 経由	**[しない]**：[▦]All（オールターゲット）を経由しないで循環します。 **[する]**：**[[⋯] 循環選択]** で **[循環 1]** または **[循環 2]** を選択しているとき、反対側の端の AF ターゲットに移動する前に [▦]All（オールターゲット）を経由します。 ⓘ **[📷AF ターゲットモード設定]**（P.120）で [▦]All（オールターゲット）を非表示にしている場合は、**[[▦]All 経由]** が **[しない]** に固定されます。

- 連写中などの撮影中に AF ターゲットの位置を動かしても循環しません。
- 動画撮影やフォーカスモードで［**AF**］または［**AF MF**］を選択している場合は、［**循環選択**］が［**Off**］に固定されます。

ファインダー撮影時にタッチ操作で AF ターゲットを操作する（AF ターゲットパッド）

:PASMB :PASM

ファインダー撮影で AF ターゲットを移動するとき、モニターをタッチパッドとして使います。ファインダーをのぞきながら、モニターをなぞって AF ターゲットの位置を動かします。

メニュー
- **MENU** ➡ **AF** ➡ 6. AF ターゲットの設定/操作 ➡ AF ターゲットパッド

Off	モニターをタッチパッドとして使用しません。
On	ファインダー撮影時にモニターをタッチパッドとして使用します。モニターを 2 度タップすると、AF ターゲットパッドのオンオフを切り換えできます。AF ターゲットが端に当てついた後、一旦指を離して、再度スライドすると、**[[·:·] 循環選択]**（P.152）の設定に従い、反対側の AF ターゲットに移動したり、[▦]All になります。

[On] のときは、拡大枠を移動することもできます（P.122）。

その他のピントを合わせるときに便利な機能

マニュアルフォーカス時にピント合わせを補助する（MF アシスト）

📷:PASMB　🎬/S&Q:PASM

MF（マニュアルフォーカス）でピント合わせをするときの操作を補助する機能です。レンズのフォーカスリングを回したとき、自動的に画面を拡大したり、ピントの山の部分に色をつけて見分けやすく表示します。

メニュー
- **MENU** ➡ **AF** ➡ 7. MF ➡ MF アシスト

拡大	画面の一部を拡大して表示します。 **[Off]**：通常通り表示します。 **[On]**：画面の一部を拡大して表示します。拡大する部分はあらかじめ AF ターゲットで決めることができます。☞「ピント合わせの位置を自分で決める（AF ターゲット位置）」（P.116）
ピーキング	画面内の輪郭のはっきりした箇所を強調表示します。 **[Off]**：通常通り表示します。 **[On]**：画面内の輪郭のはっきりした箇所を強調表示します。強調表示の色や強度を選択することができます。☞「輪郭の強調表示についての設定をする（ピーキング表示設定）」（P.157）
フォーカス距離指標	マニュアルフォーカス時にフォーカスリングを回すと、フォーカスの移動方向や位置の目安を表示し、ピント合わせを補助します。 **[Off]**：通常通り表示します。 **[On]**：マニュアルフォーカス時にフォーカスリングを回したとき、フォーカスの移動方向や位置の目安を表示します。

ピーキング表示は、細かい被写体ほど強く表示される傾向にあります。正確なピント位置を保証するものではありません。

以下のときは、拡大表示しません。

- 動画録画中／AF 方式が［**C-AF MF**］、［**C-AF+TR MF**］設定時／多重露出撮影／ モードまたは S&Q モードで［ **デジタルテレコン**］が［**On**］設定時

フォーカスクラッチ機構を搭載した他社レンズでは、ピントの移動方向とフォーカス距離指標の表示が反対になる場合があります。その場合は［**フォーカスリング**］（P.161）の設定を変更してください。

フォーサーズマウント規格レンズ使用時は、フォーカス距離指標は表示されません。

拡大表示中に、フロント／リアダイヤルを回すと、拡大倍率が変更できます。

ピーキング表示中は、**INFO** ボタンを押して、色や強度を変更することができます。

輪郭の強調表示についての設定をする（ピーキング表示設定）

:PASMB　/S&Q:PASM

輪郭のはっきりしている部分に色を付けて強調して表示します。マニュアルフォーカスでピント合わせをするなどのときに、ピントが合っているかどうかを確認しやすくなります。

ボタン
- **［ピーキング］**を割り当てたボタン ➡ **INFO** ボタン

メニュー
- **MENU** ➡ **AF** ➡ 7. MF ➡ ピーキング表示設定

ピーキング色	ピーキング表示の色を設定します。 **［白］**／**［黒］**／**［赤］**／**［黄］**
ピーキングレベル	ピーキング表示の強度を設定します。 **［弱］**／**［標準］**／**［強］**
ピーキング背景の輝度調整	ピーキング表示が見分けやすいように背景の明るさを調整します。 **［Off］**：通常通り表示します。 **［On］**：背景の明るさを調整して表示します。

［ピーキング背景の輝度調整］が**［On］**のときは、撮影される画像とは異なった明るさでライブビュー表示されます。

ピーキング表示を使う

ピーキング表示を使うには以下の方法があります。

- **［ピーキング］を［ ボタン機能］や［ ボタン機能］に設定する：**
  ［ ボタン機能］（P.328）、**［ ボタン機能］**（P.328）を使って、いずれかのボタンに**［ピーキング］**を設定します。ボタンを押すと、ピーキング表示に切り換わります。**［マルチ Fn］**（P.336）でも**［ピーキング］**の設定ができます。
- **［MF アシスト］で［ピーキング］を設定する：**
  ［MF アシスト］で**［ピーキング］**を設定すると、レンズのフォーカスリングを回したときだけピーキング表示をすることができます。

ピーキング表示中に **INFO** ボタンを押すと、ピーキング表示の設定ができます。

プリセット MF の距離を設定する（プリセット MF 距離）

:PASMB /S&Q:PASM

プリセット MF のフォーカス位置を設定します。
数値と単位（m、ft）を設定します。

メニュー
- **MENU** ➡ **AF** ➡ 7. MF ➡ プリセット MF 距離

フォーカスリミットを搭載したレンズでは、フォーカス範囲の制限を外してお使いください。
表示される数値は目安としてお使いください。

MF クラッチを無効にする（MF クラッチ）

:PASMB　/S&Q:PASM

レンズの MF クラッチの機能を無効にします。不用意にフォーカスリングを動かしてオートフォーカスが動作しないなどの誤操作を防ぐことができます。

メニュー
- **MENU ➡ AF ➡** 7. MF **➡** MF クラッチ

有効	レンズのフォーカスリングの位置に従って動作します。
無効	レンズのフォーカスリングの位置に関わらず、カメラの**［AF 方式］**／**［AF 方式］**の設定に従って動作します。

［MF クラッチ］が**［無効］**で、レンズのフォーカスリングが MF の位置のときは、フォーカスリングを動かして MF 操作をすることはできません。

MF クラッチは、OM デジタルソリューションズ製またはオリンパス製のマイクロフォーサーズレンズで動作します。MF クラッチを搭載したレンズについて詳しくは、「MF クラッチを搭載したレンズについて」（P.432）を参照してください。

レンズのフォーカスリングの回転方向を設定する（フォーカスリング）

:PASMB :PASM

レンズのフォーカスリングの回転方向とピントの移動方向を切り換えます。

メニュー
- **MENU** ➡ **AF** ➡ 7. MF ➡ フォーカスリング

	逆時計回りの方向でピント位置が遠くなります。
	時計回りの方向でピント位置が遠くなります。

電源オフ時のレンズの動作を設定する（レンズリセット）

:PASMB　/S&Q:PASM

カメラの電源をオフにしたときに、レンズのフォーカス位置をリセット位置に戻さない設定ができます。電源が切れてもピント位置をそのままにしておくことができます。

メニュー
- **MENU** ➡ **AF** ➡ 7. MF ➡ レンズリセット

Off	電源オフ時にレンズのフォーカス位置をリセットしません。電動ズームレンズのズーム位置も、電源をオフにする前の位置に設定されます。
On	電源オフ時にレンズのフォーカス位置をリセットします。

露出・測光の機能

画像の明るさを変えて撮影する（露出補正）

📷:PASMB　🎥/S&Q:PASM

カメラが自動的に設定した露出を、自分のイメージした明るさに調整します。＋補正にするとより明るく、－補正にするとより暗く表現できます。

ボタン

- 📷 モードでモードダイヤルが **M** 以外のとき：**[±]**（露出補正）を割り当てたボタン ➡ ◁▷
- 📷 モードでモードダイヤルが **M** のとき：**[±]**（露出補正）を割り当てたボタンを押しながらフロント/リアダイヤルを回す。
- 🎥 モード／S&Q モードでモードダイヤルが **M** 以外のとき：**CP** ボタン ➡ ◁▷
- 🎥 モード／S&Q モードでモードダイヤルが **M** のとき：**CP** ボタンを押しながらフロント/リアダイヤルを回す。

スーパーコンパネ

- **OK** ➡ 露出補正

①–補正
②補正 0
③+補正

- 静止画撮影では、±5.0EV の範囲で補正できます。ファインダー、ライブビューの表示は、±3.0EV までしか変化しません。露出補正バーは±3.0EV を超えると点滅します。
- 動画撮影では、±3.0EV の範囲で補正できます。
- 動画録画中に露出補正するときは、フロント／リアダイヤルやタッチ操作を使います。

①露出バー
②露出補正値

露出補正の設定をライブビュー画面に反映するには、**[ナイトビュー]**（P.348）が **[Off]** に設定されている必要があります。

露出補正を設定する

撮影モードが P／A／S／ART のとき

1. フロントダイヤルを回して設定します。

2. 撮影します。

撮影モードが M のとき

モードでは **[ISO オート有効]**（P.182）を **[P/A/S/M]** に設定して、**[ISO 感度]**（P.177）を **[Auto]** に設定しておく必要があります。
モード／S&Q モードでは **[MISO オート有効]**（P.182）を **[On]** に設定して、**[ISO 感度]**（P.177）を **[Auto]** に設定しておく必要があります。

1. **[]**（露出補正）を割り当てたボタンを押しながら、フロント／リアダイヤルを回して設定します。

2. 撮影します。

露出補正をリセットする

OK ボタンを長押しすると調整値をリセットできます。

露出設定時の変更ステップを設定する（露出ステップ）

:PASMB　/S&Q:PASM

シャッター速度、絞り値、露出補正値などの露出設定時の設定値の変更ステップを選択します。
1/3EV、1/2EV、1EV から選択できます。

メニュー
- **MENU** ➡ 1 ➡ 4. 露出 ➡ 露出ステップ

露出の基準を微調整する（露出基準調整）

:PASMB　/S&Q:PASM

露出の基準を微調整することができます。カメラの自動露出の結果を常にプラス方向、マイナス方向にずらして撮りたいときに設定します。

- 通常はこの機能で調整する必要はありません。必要な場合のみ設定してください。通常の撮影で露出の補正を目的とするときは、露出補正を行ってください（P.163）。
- 調整した方向（プラス/マイナス）の露出補正の範囲が狭くなります。

メニュー
- **MENU** ➡ **$_1$** ➡ 4. 露出 ➡ 露出基準調整

（デジタル ESP 測光）	測光方式がデジタル ESP 測光のときの調整値を設定します。 **［-1］**～**［±0］**～**［+1］**
（中央重点平均測光）	測光方式が中央重点平均測光のときの調整値を設定します。 **［-1］**～**［±0］**～**［+1］**
（スポット測光）	測光方式がスポット測光のときの調整値を設定します。 **［-1］**～**［±0］**～**［+1］**

LED 照明による明るさのちらつきを抑えて撮影する（ フリッカースキャン／ フリッカースキャン）

: PASMB　/S&Q: PASM

LED 照明の環境下では、撮影した画像にすじが写ることがあります。**[フリッカースキャン]** ／ **[フリッカースキャン]** では、画面ですじの発生を確認しながら適切なシャッター速度を選んで撮ることができます。

- モードでは、モードダイヤルを **S** または **M** にして、静音撮影やプロキャプチャー撮影を行うときに使用できます。
- 設定できるシャッター速度の範囲が狭くなります。

メニュー
- **MENU** ➡ ➡ 4. 露出 ➡ フリッカースキャン
- **MENU** ➡ ➡ 1. 基本設定/画質 ➡ フリッカースキャン

- **[On]** に設定すると、画面に「FlickerScan」が表示されます。

- フリッカースキャンの画面では、ピーキング表示や、LV スーパーコンパネの表示はできません。表示するときは **INFO** ボタンを押して画面の情報表示を切り換えてください。

シャッター速度を設定する

- フロント／リアダイヤル、または △▽ ボタンで設定できます。△▽ ボタンを長押しすることもできます。
- フロントダイヤルでは、**［露出ステップ］**（P.166）で設定した露出ステップでシャッター速度を変更できます。
- 画面に発生するすじが見えなくなるようにシャッター速度を調整してください。
- 拡大画面（P.122）を使用すると、すじを確認しやすくなります。
- **INFO** ボタンを押すと画面が切り換わり、「FlickerScan」が消えます。このとき、絞りや露出補正の設定ができます。フロント／リアダイヤルまたは、十字ボタンを使って設定してください。
- **INFO** ボタンを繰り返し押すと、フリッカースキャンの設定画面に戻ります。

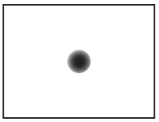
明るさを測る方法を選ぶ（測光）

:PASMB **/S&Q:PASM**

カメラが被写体の明るさを測定する方法を変更します。

スーパーコンパネ
- **OK** ➡ 測光

メニュー
- **MENU** ➡ **1** ➡ 5. 測光 ➡ 測光

（デジタル ESP 測光）	逆光を含む一般的な撮影状況に適しています。画面を 324 分割で測光し、撮影シーンを考慮した最適な露出値を演算します。	
（中央重点平均測光）	画面中央に主要な被写体を配置して撮影する場合に適しています。画面の中央部に重点を置いて、画面全域を平均測光します。	
（スポット測光）	被写体の特定の部分の明るさを基準にして撮影する場合に適しています。狭い範囲（画面の約 2%）の部分を測光します。	
Hi（スポット測光ハイライト）	スポット測光したポイントがより明るくなります。明るいところを明るく表現します。	
Sh（スポット測光シャドウ）	スポット測光したポイントがより暗くなります。暗いところを暗く表現します。	

スポット測光位置を AF ターゲットに連動させることができます。☞「スポット測光時の測光位置を AF ターゲットに合わせる（[∴] 連動スポット測光）」（P.176）

露出を固定する（AE ロック）

:PASMB　/S&Q:PASM

ボタンを押して露出だけを固定することができます。ピントと露出を別々に決めたいときや、同じ露出で何枚も撮影するときに使用します。

ボタン
- モード：[**ボタン機能**] で［**AEL**］の機能を割り当てたボタン
- モード／S&Q モード：[**ボタン機能**] で［**AEL**］の機能を割り当てたボタン

モードでは［ **ボタン機能**］（P.328）で、 モード／S&Q モードでは［ **ボタン機能**］（P.328）で、いずれかのボタンに［**AEL**］（P.329）の機能を割り当てておく必要があります。
撮影後に AE ロックを自動で解除するように設定できます。☞［ **の撮影後解除**］（P.173）

- 一度ボタンを押すと露出が固定され「AEL」が表示されます。
- AE ロックを解除するには、もう一度ボタンを押します。
- モードダイヤル、**MENU** ボタンや **OK** ボタンの操作をするとロックは解除されます。

AE ロック動作時の測光方式を設定する（AEL 時の測光モード）

📷:PASMB 🎥/S&Q:PASM

［📷 ボタン機能］（P.328）で［AEL］（P.329）の機能を割り当てたボタンで AE ロックをするときの測光方式を設定します。

メニュー
• MENU ➡ 📷1 ➡ 5. 測光 ➡ AEL 時の測光モード

• AE ロックについては、詳しくは「露出を固定する（AE ロック）」（P.171）をお読みください。

オート	［測光］（P.170）の設定で測光します。
（中央重点平均測光）	画面の中央部に重点を置いて、画面全域を平均測光します。
（スポット測光）	狭い範囲（画面の約 2%）の領域のみを測光します。
Hi（スポット測光ハイライト）	スポット測光したポイントがより明るくなります。明るいところを明るく表現します。
Sh（スポット測光シャドウ）	スポット測光したポイントがより暗くなります。暗いところを暗く表現します。

撮影後に露出の固定を自動で解除する（AEL の撮影後解除）

:PASMB **/S&Q:PASM**

[ボタン機能]（P.328）で **[AEL]**（P.329）の機能を割り当てたボタンで露出を固定しているとき、撮影後に露出の固定を自動で解除するように設定します。

メニュー
- **MENU** ➡ **1** ➡ 5. 測光 ➡ AEL の撮影後解除

しない	撮影後も露出は固定されたままになります。解除するには **AEL** ボタンを押します。
する	撮影が終わると露出の固定は解除されます。

連写やカスタムセルフタイマー、インターバル撮影など、複数枚の撮影が行われる場合は、一連の撮影動作が終わった時点で解除されます。

シャッターボタンの半押しで露出を固定する（半押し時の AE ロック）

:PASMB /S&Q:PASM

シャッターボタンを半押ししたときに露出を固定するように設定します。

メニュー
• **MENU** ➡ 1 ➡ 5. 測光 ➡ 半押し時の AE ロック

しない	シャッターボタンを半押ししても露出は固定されません。露出はシャッターボタン全押し時の撮影状況で決まります。
する	シャッターボタンを半押しすると露出を固定します。
S-AF のみする	AF 方式が【S-AF】/【S-AF MF】/【AF】/【AF MF】のときだけ、シャッターボタンを半押しすると露出を固定します。

⚠【 ボタン機能】（P.328）で【AEL】（P.329）の機能を割り当てたボタンで露出を固定しているときは、この設定によらず、シャッターボタンを半押ししても露出はロックされたまま変わりません。

シャッターボタンの半押しで露出を固定しない設定のときに、連写中の各コマ毎に測光を行うかどうか、選択できます。☞「連写中の測光動作を設定する（連写中の測光）」（P.175）

連写中の測光動作を設定する（連写中の測光）

:PASMB /S&Q:PASM

メニュー
• MENU ➡ 1 ➡ 5. 測光 ➡ 連写中の測光

しない	連写中は最初の 1 コマで測光し、露出は固定されます。
する	連写中は 1 コマごとに測光し露出を決定します。

- [ボタン機能]（P.328）で［AEL］（P.329）の機能を割り当てたボタンで露出を固定している場合（P.171）や、シャッターボタンの半押しにより露出が固定されている場合（P.174）は、［連写中の測光］を［する］に設定しても、連写中の露出は固定されたままになります。
- ［H］または［ProCapH］を設定すると、［連写中の測光］は［しない］に固定されます。

スポット測光時の測光位置を AF ターゲットに合わせる（[∴] 連動スポット測光）

📷:PASMB 🎬/S&Q:PASM

[測光] を **[⊡]**（スポット測光）にしたとき、AF ターゲットの位置に測光位置を連動させることができます。スポット測光、スポット測光ハイライト、スポット測光シャドウのそれぞれの測光方式で個別に設定できます。

メニュー
- **MENU** ➡ 📷1 ➡ 5. 測光 ➡ **[∴]** 連動スポット測光

1. 連動させる測光方式を選択し、✔（チェック）を付けます。
- △▽ で項目を選択し **OK** ボタンを押すとチェックボックスに ✔（チェック）が表示されます。 チェックを解除するときは再度 **OK** ボタンを押します。
- チェックボックスをタッチしても ✔（チェック）をつけたり解除することができます。

スポット	**[測光]** が **[⊡]**（スポット測光）のときに連動します。
スポットハイライト	**[測光]** が **[⊡Hi]**（スポット測光ハイライト）のときに連動します。
スポットシャドウ	**[測光]** が **[⊡Sh]**（スポット測光シャドウ）のときに連動します。

- AF ターゲットモードが、**[・]**Single-S、**[・]**Single のときに機能します（P.117）。
- 拡大 AF 時は、拡大枠を表示した位置に連動します（P.122）。
- **[📷 被写体検出]** を **[Off]** 以外に設定したときは連動しません。
- AF 方式が **[C-AF+TR]** または **[C-AF+TR MF]** のときは連動しません。

感度を変更する（ISO 感度／ISO 感度）

:PASMB　/S&Q:PASM

被写体の明るさに応じて設定します。数値を大きくすると暗い環境での撮影が可能になりますが、画像のノイズ（ざらつき）が多くなります。**[Auto]** の設定では、明るさに応じて自動的に設定が変わります。

ボタン
- **ISO** ボタン ➡

スーパーコンパネ
- **OK** ➡ ISO 感度／ISO 感度

Auto	撮影状況に応じて自動的に感度が変わります。 静止画撮影時、ISO 感度が変わるときの上限や基準値を設定することができます（P.180）。 **P**／**A** モードでは、ISO 感度が上がり始めるシャッター速度を変更できます（P.181）。 動画撮影時には ISO200～6400 の範囲で設定されます。モードダイヤルを **M** にしている場合は **[MISO オート有効]** が **[On]** のときに設定できます。ISO 感度の上限や基準値も設定することができます。「ISO 感度の［Auto］の範囲を設定する（ISO オート上限/基準値／MISO オート上限/基準値）」（P.180）
L64、L100、200～25600（静止画撮影時）	ISO 感度を手動で設定します。**P**／**A**／**S** モードで明るさが頻繁に変化するシーンでは、**[Auto]** をおすすめします。 **[L64]** および **[L100]** は、露出ステップの設定に関わらず選択ができます。 **[L64]** または **[L100]** に設定しているときは、画像の階調が低下します。
200～6400（動画撮影時）	ISO 感度を手動で設定します。ISO200 はノイズと画像の階調のバランスが最もとれる設定です。

電子シャッターを使った撮影（静音撮影、フォーカスブラケットなど）のときに **[ISO 感度]** が 8000 以上の場合、フラッシュの同調秒時は 1/20 秒になります。
ISO ブラケット撮影を静音撮影で行うときは、ISO 感度の設定に関わらずフラッシュ同調秒時は 1/20 秒になります。

ⓘ 🎞 モード／S&Q モードでモードダイヤルが **M** のときは、録画中でもタッチ操作（P.89）、フロント／リアダイヤル操作（P.341）、ボタン操作（P.328）により、ISO 感度を変更することができます。
ⓘ 📷 モードで［📷ISO 感度］を［Auto］にして、ピクチャーモードの［ドラマチックトーン］または［ウォーターカラー］を選ぶと、ISO 感度の上限が ISO1600 になります。
ⓘ 🎞 モード／S&Q モードでは、ピクチャーモードの設定によって以下の制限があります。

- **［OM-Log400］、［OM-Cinema1］、［OM-Cinema2］：**
  - 画質モードの［再生フレームレート］が 23.98p/24.00p/25.00p/29.97p の場合、［Auto］の範囲は ISO400～3200 です。ただし、［撮影フレームレート］が 50fps/60fps/120fps の場合、［Auto］の範囲は ISO400～6400 になります。
  - 画質モードの［再生フレームレート］が 50.00p/59.94p の場合、［Auto］の範囲は ISO400～6400 です。
  - マニュアル設定のときは、ISO400 が下限です。
- **［ドラマチックトーン］［ウォーターカラー］：**
  - ［Auto］の範囲は ISO200～1600 です。
- **［ドラマチックトーン］［ウォーターカラー］以外のアートフィルター：**
  - 画質モードの［再生フレームレート］が 23.98p/24.00p/25.00p/29.97p の場合、［Auto］の範囲は ISO200～3200 です。
  - 画質モードの［再生フレームレート］が 50.00p/59.94p の場合、［Auto］の範囲は ISO200～6400 です。
- **その他のピクチャーモード：**
  - 画質モードの［再生フレームレート］が 23.98p/24.00p/25.00p/29.97p の場合、［Auto］の範囲は ISO200～3200 です。ただし、［撮影フレームレート］が 50fps/60fps/120fps の場合、［Auto］の範囲は ISO200～6400 になります。

ISO 感度設定時の変更ステップを設定する（ISO 感度ステップ）

:PASMB　/S&Q:PASM

ISO 感度設定時の設定値の変更ステップを選択します。1/3EV、1EV から選択できます。

メニュー
- **MENU** ➡ 1 ➡ 3. ISO/ノイズ低減 ➡ ISO 感度ステップ

ISO 感度の［Auto］の範囲を設定する（ISO オート上限/基準値／MISO オート上限/基準値）

P:PASMB　S&Q:PASM

［ISO 感度］または**［ISO 感度］**を**［Auto］**（オート）に設定したときの、カメラが自動的に設定する ISO 感度の範囲を設定します。

メニュー
- **MENU** ➡ 1 ➡ 3. ISO/ノイズ低減 ➡ ISO オート上限/基準値
- **MENU** ➡ ➡ 3. ISO/ノイズ低減 ➡ MISO オート上限/基準値

上限値	自動的に変わる ISO 感度の上限を設定します。 △▽ またはフロント／リアダイヤルで設定します。
基準値	基準値となる値を設定します。 △▽ またはフロント／リアダイヤルで設定します。

- **［上限値］**と**［基準値］**は ◁▷ で切り換えます。

設定の上限値/基準値は、静止画撮影時と動画撮影時で異なります。設定した絞り値とシャッター速度で適正露出にならないときは、基準値より低い感度に設定されます。

自動で ISO 感度を上げるシャッター速度を設定する（ISO オート低速限界）

P:PASMB S&Q:PASM

［ISO 感度］を［Auto］に設定したときの、感度を上げ始めるシャッター速度を設定します。

メニュー
- **MENU** ➡ $\square_1$ ➡ 3. ISO/ノイズ低減 ➡ ISO オート低速限界

オート	カメラが自動的に設定します。
1/4000〜60"	設定したシャッター速度で ISO 感度を上げ始めます。 **OK** ボタンを押して、△▽ でシャッター速度を設定します。

ISO 感度の［Auto］を有効にする撮影モードを設定する（ISO オート有効／MISO オート有効）

: PASMB　/S&Q: PASM

ISO 感度の**［Auto］**を有効にする撮影モードを設定します。

メニュー
- **MENU** ➡ 1 ➡ 3. ISO/ノイズ低減 ➡ ISO オート有効
- **MENU** ➡ ➡ 3. ISO/ノイズ低減 ➡ MISO オート有効

ISO オート有効

P/A/S	モードで、撮影モードが **P**／**A**／**S** のときに ISO 感度の**［Auto］**が有効になります。
P/A/S/M	モードで、撮影モードが **P**／**A**／**S**／**M** のときに ISO 感度の**［Auto］**が有効になります。

撮影モードが **ART**／**SCN**／**AUTO** のときは、ISO 感度の**［Auto］**は有効です。

MISO オート有効

Off	モード／S&Q モードで、撮影モードが **M** のときに ISO 感度の**［Auto］**が無効になります。
On	モード／S&Q モードで、撮影モードが **M** のときに ISO 感度の**［Auto］**が有効になります。

ISO 感度が高感度時のノイズ低減を設定する（高感度ノイズ低減／高感度ノイズ低減）

:PASMB　/S&Q:PASM

ISO 感度が高いときに画像に発生するノイズを低減します。暗い環境での撮影時に画像が粗くなるのを低減することができます。ノイズ低減のレベルは選択できます。

メニュー
- **MENU** ➡ 1 ➡ 3. ISO/ノイズ低減 ➡ 高感度ノイズ低減
- **MENU** ➡ ➡ 3. ISO/ノイズ低減 ➡ 高感度ノイズ低減

Off	ノイズ低減をしません。
弱	ノイズ低減の強度を選択します。
標準	
強	

撮影時の画像処理の方法を設定する（低感度画像処理）

:PASMB /S&Q:PASM

ISO 感度が低い設定で連写した画像にかける、画像処理の方法を設定します。

メニュー
- **MENU** ➡ $\square_1$ ➡ 3. ISO/ノイズ低減 ➡ 低感度画像処理

連写優先	連写継続枚数に影響を与えないように画像処理をします。
解像優先	解像を優先した画像処理をします。

単写の場合は、**［連写優先］**を設定しても、**［解像優先］**で動作します。

長秒時撮影時のノイズ低減の設定をする（長秒時ノイズ低減）

:PASMB /S&Q:PASM

遅いシャッター速度で撮影したときに発生する画像のノイズを低減するための設定をします。遅いシャッター速度で撮影すると、カメラ自身の発生する熱により画像にノイズが発生します。撮影後に処理用の画像を取得するので、シャッター速度と同じ時間、次の撮影ができません。

メニュー
- **MENU** ➡ 1 ➡ 3. ISO/ノイズ低減 ➡ 長秒時ノイズ低減

Off	ノイズ低減処理をしません。
On	シャッター速度の設定に関わらず、常にノイズ低減処理をします。
オート	長秒時撮影時にカメラ内部の温度が上昇したとき、自動的にノイズ低減処理をします。

ⓘ ノイズ低減の処理中、画面には処理が終了するまでの時間が表示されます。
ⓘ 連写設定時は、自動的に［**Off**］になりノイズ低減処理は行われません。
ⓘ 撮影条件や被写体により効果が出にくい場合があります。
静音撮影で使用するときは、［**静音［♥］撮影設定**］の設定が必要です（P.204）。

フラッシュ撮影機能

フラッシュを使って撮影する（フラッシュ撮影）

専用外部フラッシュを使って、目的に応じたいろいろなフラッシュ撮影が行えます。

専用外部フラッシュについて

発光量やマクロ撮影など、目的に合わせて選べます。専用外部フラッシュは、カメラとの通信機能により、TTL-AUTO、スーパー FP 発光など多彩な調光モードが使えます。カメラのホットシューに取り付ける以外にも、専用のブラケットケーブル（別売）とフラッシュブラケットを使って撮影することもできます。また、このカメラは以下のワイヤレスフラッシュシステムに対応しています。

電波通信ワイヤレスフラッシュ：CMD、ϟCMD、RCV、X-RCV モード

電波通信によるワイヤレスコントロールで複数のフラッシュをコントロールします。フラッシュの設置方法の自由度がひろがります。対応したフラッシュ同士または、電波コマンダー／レシーバーを使って非対応のフラッシュをコントロールすることもできます。

ワイヤレス RC フラッシュ：RC モード

光通信によるワイヤレスコントロールで複数のフラッシュをコントロールします。カメラでフラッシュの発光モードの設定ができます（P.193）。

外部フラッシュを取り付ける

フラッシュのカメラへの固定方法や操作方法はフラッシュによって異なります。詳しくはフラッシュの取扱説明書をお読みください。

ⓘカメラとフラッシュの電源が切れていることを確認してください。電源が入ったまま取り付け／取り外しをすると故障の原因となります。

フラッシュ発光モードを設定する

:PASMB /S&Q:PASM

スーパーコンパネ
• OK ➡ フラッシュ

フラッシュ発光モード

表示される発光モードは、［フラッシュモード設定］（P.191）の設定により異なります。

ϟ	発光	フラッシュを発光します。 ⓘシャッター速度は、［ϟ 低速制限］（P.195）から［ϟ 同調速度］（P.194）の間に設定されます。
⊘ϟ	発光禁止	フラッシュを発光しません。 ⓘフラッシュの電源スイッチがオンになっていても発光しません。
ϟSlow	Slow	被写体も背景も適正露出となるように、遅いシャッター速度でフラッシュを発光します。 ⓘ［ϟ 低速制限］の設定に関わらず、測光値に合わせて遅いシャッター速度に設定されます。
ϟManual	マニュアル発光	調整した光量で発光します。 マニュアル発光に対応したフラッシュを取り付けたときのみ表示されます。

フラッシュ発光モードと各設定の組み合わせ

フラッシュ発光モードと各設定の組み合わせは次の通りです。

フラッシュ発光モード：発光

P／**A**／**S**／**M**／**B** モードで設定できます。

［赤目軽減発光］[1]	［シンクロ設定］[1]	スーパーコンパネの表示	赤目軽減発光	発光タイミング
［しない］	［先幕］	ϟ	なし	先幕シンクロ
	［後幕］	ϟ2		後幕シンクロ[2]
［する］	［先幕］	ϟ	あり	先幕シンクロ
	［後幕］	ϟ2		後幕シンクロ[2]

1 赤目軽減発光の設定は**［赤目軽減発光］**、フラッシュの発光タイミングの設定は**［シンクロ設定］**で行います。☞ **［フラッシュモード設定］**（P.191）

2 **［シンクロ設定］**を**［後幕］**にしていても、**B** モードで**［Live Comp］**（P.69）に設定した場合は先幕シンクロで発光します。

P／**A**／**S**／**M** モードで使用できるシャッター速度の範囲は 60 秒～1/250 秒です。シャッター速度の上限と下限は、使用できる範囲の中でメニューで変更することができます。☞ **［ϟ 同調速度］**（P.194）、**［ϟ 低速制限］**（P.195）

フラッシュ発光モード：Slow

P／**A** モードで設定できます。

［赤目軽減発光］[1]	［シンクロ設定］[1]	スーパーコンパネの表示	赤目軽減発光	発光タイミング
［しない］	［先幕］	Slow	なし	先幕シンクロ
	［後幕］	Slow2		後幕シンクロ
［する］	［先幕］	Slow	あり	先幕シンクロ
	［後幕］	Slow2		後幕シンクロ

1 赤目軽減発光の設定は**［赤目軽減発光］**、フラッシュの発光タイミングの設定は**［シンクロ設定］**で行います。☞ **［フラッシュモード設定］**（P.191）

使用できるシャッター速度の範囲は 60 秒～1/250 秒です。シャッター速度の上限と下限は、使用できる範囲の中でメニューで変更することができます。☞ **［ 同調速度］**（P.194）、**［ 低速制限］**（P.195）

フラッシュ発光モード：マニュアル発光

マニュアル発光に対応したフラッシュを取り付けたときのみ表示されます。**P**／**A**／**S**／**M**／**B** モードで設定できます。

［赤目軽減発光］	［シンクロ設定］	スーパーコンパネの表示	赤目軽減発光	発光タイミング
（設定によらず）	（設定によらず）	Manual	なし	先幕シンクロ

P／**A**／**S**／**M** モードで使用できるシャッター速度の範囲は 60 秒～1/250 秒です。シャッター速度の上限と下限は、使用できる範囲の中でメニューで変更することができます。☞ **［ 同調速度］**（P.194）、**［ 低速制限］**（P.195）

スーパーコンパネから**［マニュアル発光量］**を選択すると発光量を選択できます。

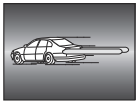
- 赤目軽減発光では、最初の予備発光からシャッターが切れるまで約 1 秒かかります。撮影が終わるまでカメラを動かさないでください。また撮影状況によっては、効果が得られないことがあります。
- フラッシュ発光時、シャッター速度は 1/250 秒以下に設定されます。背景の明るい被写体では、発光すると背景が露出オーバーになることがあります。
- 静音撮影（P.204）、ハイレゾショット撮影（P.243）およびフォーカスブラケット撮影時（P.279）は同調速度が 1/50 秒になります。また、電子シャッターを使った撮影（静音撮影、フォーカスブラケット撮影など）のときに［**ISO 感度**］が 8000 以上の場合、フラッシュの同調秒時は 1/20 秒になります。ISO ブラケット撮影時（P.276）もフラッシュの同調秒時は 1/20 秒になります。
- 被写体が近いと発光量を最小にしても強すぎる場合があります。近距離撮影での露出オーバーを防ぐには、**A**、**M** モードで絞り値を大きくしたり、［**ISO 感度**］を低く設定して撮影してください。

発光モードを設定する（フラッシュモード設定）

:PASMB /S&Q:PASM

フラッシュ発光モードの選択画面に表示するモードを設定します。

メニュー
- **MENU** ➡ 1 ➡ 6. フラッシュ ➡ フラッシュモード設定

赤目軽減発光	人物の目が赤く写る現象を起こりにくくします。 **[しない]**：赤目軽減発光をしません。 **[する]**：赤目軽減発光をします。
シンクロ設定	フラッシュの発光タイミングを設定します。 **[先幕]**：フラッシュはシャッターが完全に開いたときに発光します。 **[後幕]**：フラッシュはシャッターが閉じる直前で発光します。被写体の移動方向の後方に光跡が残る写真になります。 

フラッシュの発光量を調節する（フラッシュ補正）

:PASMB /S&Q:PASM

フラッシュの光で被写体が白くとんでしまったり、全体的にはちょうどよい明るさなのに被写体だけが暗い写真になってしまうときにフラッシュの発光量を調整します。

マニュアル発光以外のフラッシュ発光モードに設定されているときに使用できます。

スーパーコンパネ
- **OK** ➡ フラッシュ補正

専用外部フラッシュ側でフラッシュ発光量を補正していると、カメラ側で設定した発光補正量に加算されて働きます。

ワイヤレス RC フラッシュ撮影をする（RC モード撮影）

:PASMB /S&Q:PASM

ワイヤレス RC フラッシュを使って撮影をする設定をします。別売のワイヤレス RC フラッシュ対応の専用フラッシュを使ってフラッシュをリモート制御します。ワイヤレス RC フラッシュ撮影については、「ワイヤレス RC フラッシュ撮影」（P.434）をお読みください。

メニュー
- **MENU** ➡ 1 ➡ 6. フラッシュ ➡ RC モード撮影

Off	ワイヤレス RC フラッシュ撮影をしません。
On	ワイヤレス RC フラッシュ撮影をします。カメラでフラッシュのリモート撮影をするためのパネルが画面に表示されます。

- **［On］**に設定後撮影待機画面で **OK** ボタンを押すと、RC モード用のスーパーコンパネが表示されます。通常のスーパーコンパネに切り換えるには **INFO** ボタンを押します。

フラッシュ使用時のシャッター速度の上限を設定する（ 同調速度）

:PASMB /S&Q:PASM

フラッシュ使用時に設定できるシャッター速度の上限を設定します。
フラッシュ使用時に被写体が明るいときでも、シャッター速度の上限はこの設定で固定されます。

メニュー
- **MENU** ➡ 1 ➡ 6. フラッシュ ➡ 同調速度

フラッシュ使用時のシャッター速度の下限を設定する（ 低速制限）

:PASMB /S&Q:PASM

P／**A** モード時、フラッシュ使用時に設定できるシャッター速度の下限を設定します。
シャッター速度をカメラが自動的に決める場合は、フラッシュ使用時に被写体が暗いときでも、シャッター速度の下限はこの設定で固定されます。

フラッシュ発光モードがスローシンクロ（Slow／Slow2／Slow／Slow2）のときは、この設定は働きません。

メニュー
- **MENU** ➡ 1 ➡ 6. フラッシュ ➡ 低速制限

フラッシュ発光量補正に露出補正値を加算する（ + 連動）

:PASMB /S&Q:PASM

フラッシュの発光量補正を設定したとき、露出補正の設定を加算するかどうかを設定します。フラッシュ発光量補正については、「フラッシュの発光量を調節する（フラッシュ補正）」（P.192）をお読みください。

メニュー
- **MENU** ➡ 1 ➡ 6. フラッシュ ➡ + 連動

Off	フラッシュ発光量補正の設定値と露出補正は別々に設定されます。
On	フラッシュの発光量補正に、露出補正値が加算されます。

連写／セルフタイマー機能

連写する／セルフタイマーを使う

:PASMB /S&Q:PASM

連続撮影やセルフタイマーの方法を設定します。被写体に合わせて撮影方法を選択します。その他、低振動撮影や静音撮影などの設定もできます。

セルフタイマー撮影の際は、カメラを三脚にしっかりと固定してください。

ボタン
- ボタン ➡

スーパーコンパネ
- **OK** ➡ ドライブ（/）

メニュー
- **MENU** ➡ 1 ➡ 7. ドライブモード ➡ ドライブ /

/ 	**単写**	1コマ撮影です。1回のシャッターボタンの全押しで、1コマだけ撮影されます。
/	**連写**	シャッターボタンを全押ししている間、最大約5コマ/秒で連続撮影できます。**［AF 方式］**（P.111）が**【C-AF】**／**【C-AF MF】**／**【C-AF+TR】**／**【C-AF+TR MF】**のときは、1コマごとにピント合わせをします。 **［連写中の測光］**（P.175）が**【する】**のときは、1コマごとに測光し、露出を決定します。
	静音連写	シャッターボタンを全押ししている間、最大約8コマ/秒で連続撮影できます。**［AF 方式］**（P.111）が**【C-AF】**／**【C-AF MF】**／**【C-AF+TR】**／**【C-AF+TR MF】**のときは、1コマごとにピント合わせをします。 **［連写中の測光］**（P.175）が**【する】**のときは、1コマごとに測光し、露出を決定します。

♥H	**静音連写 H**	シャッターボタンを全押ししている間、最大約 30 コマ/秒で連続撮影できます。連写中、ピント・露出・ホワイトバランスは、最初の 1 コマで固定されます。
ProCap ProCapH	**プロキャプチャー**	シャッターボタンを半押しすると連続撮影を開始します。全押しで、半押し時の画像を含めた撮影画像をカードへ記録開始します（P.206）。それぞれのプロキャプチャー撮影での連写中のピントと露出は、**[♥]**（静音連写）、**[♥H]**（静音連写 H）と同様の設定になります。
12s/♦12s ♥12s	**セルフタイマー 12 秒**	シャッターボタンを全押しすると 12 秒後に撮影されます。セルフタイマーランプが、約 10 秒点灯した後、約 2 秒間点滅して撮影されます。ピントはシャッターボタンを半押ししたときに合わせます。
2s/♦2s ♥2s	**セルフタイマー 2 秒**	シャッターボタンを全押しするとセルフタイマーランプが約 2 秒間点滅した後、撮影されます。ピントはシャッターボタンを半押ししたときに合わせます。
C/♦C ♥C	**カスタムセルフタイマー**	セルフタイマー撮影で、撮影までの時間や撮影するコマ数などを変更することができます（P.202）。

- 連写の速度や連写枚数の上限を設定できます（P.200）。
- ♦ の付いた項目はシャッター動作による微小なぶれを低減した撮影ができます。マクロ撮影や超望遠レンズでの撮影などの場面で使います。**[低振動 [♦] 撮影設定]**（P.203）で **[低振動 [♦] 撮影]** が **[On]** のときに設定できます。
- ♥ の付いた項目は、電子シャッターを使って撮影します。1/4000 秒より高速のシャッター速度に設定するときや、シャッター音が出せない環境下で撮影するときに使用します。
- セルフタイマー作動中に撮影を中止するには、▽ を押します。
- 、♦、♥、ProCap では、撮影中にライブビューを表示します。♥H では、直前に撮影した画像を撮影中に表示します。
- ProCap ではシャッター速度の下限が 1/8 秒になります。
- ProCapH では、シャッター速度の下限が **[連写設定]** の **[連写速度]** が **[30fps]** の場合は 1/30 秒、**[20fps]** の場合は 1/20 秒、**[15fps]** の場合は 1/15 秒になります。
- **[ISO 感度]** が 8000 以上の設定では、連写速度が低下します。
- 静音撮影ではフラッシュの同調秒時は 1/50 秒です。**[ISO 感度]** が 8000 以上の設定では 1/20 秒になります。
- セルフタイマー撮影時に、カメラの前に立ってシャッターボタンを押すとピントがボケる原因になります。
- 使用するレンズやズームの位置により、連写速度は変わります。
- 連写中、電池の消耗により電池残量マークが点滅すると、撮影を中止します。電池の状態によっては、すべての画像を記録できない場合があります。

静音撮影およびプロキャプチャー撮影時に、動きの速い被写体を撮影したりカメラを激しく動かして撮影すると、画像が歪んで写ることがあります。

静音撮影でフラッシュ撮影をするときは、**[静音 [♥] 撮影設定]**（P.204）で**［フラッシュ］**を**［許可］**にしておく必要があります。

暗い環境下で撮影すると、連写速度が低下することがあります。**［ナイトビュー］**を**［Off］**にすると、連写速度を確保できる場合があります。☞「暗いところで画面を見やすくする（ナイトビュー）」（P.348）

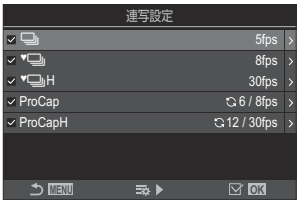
連写モードを設定する（連写設定）

:PASMB /S&Q:PASM

ボタンを押したときに表示される連写モードの種類を選択したり、各連写モードの連写速度と撮影枚数などの上限を設定します。

メニュー
- **MENU** ➡ 1 ➡ 7. ドライブモード ➡ 連写設定

1. 表示する連写モードを選択し、✔（チェック）を付けます。
- △▽ で項目を選択し **OK** ボタンを押すとチェックボックスに ✔（チェック）が表示されます。
  チェックを解除するときは再度 **OK** ボタンを押します。
- チェックボックスをタッチしても ✔（チェック）をつけたり解除することができます



連写設定画面

[♦] は **[低振動 [♦] 撮影設定]**（P.203）で **[低振動 [♦] 撮影]** が **[On]** のときに表示されます。

2. ▷ ボタンを押します。

3. 各項目を設定します。

連写速度	連写速度の設定をします。数値は最大値の目安です。 /♦ のとき：1〜5fps ♥ のとき：1〜8fps ♥H のとき：15、20、30fps ProCapH のとき：15、20、30fps
プリ連写枚数（ProCap/ProCapH のみ）	シャッターボタンを全押しする前の記録枚数を 0〜12 枚から設定します。

枚数リミッター	プリ連写枚数を含む全撮影枚数を 2〜99 枚から設定します。シャッターボタン全押し後の連写枚数を制限できます。設定した枚数に達すると自動的に撮影が終了します。 • 撮影枚数を制限しない場合は**［Off］**を選択します。 • 撮影枚数を制限するときは、数値を選択し、**OK** ボタンを押すと、撮影枚数の設定画面が表示されます。△▽ ボタンで数値を変更できます。 • プロキャプチャー撮影時は、制限する撮影枚数にプリ連写枚数も含まれます。☞「レリーズタイムラグを防いで撮影する（プロキャプチャー撮影）」（P.206）

ⓘ**［ProCap］**の連写速度は 8fps 固定です。
ⓘ**［HDR 撮影］**/**［深度合成撮影］**/**［Focus BKT］**では**［枚数リミッター］**は**［Off］**になります。

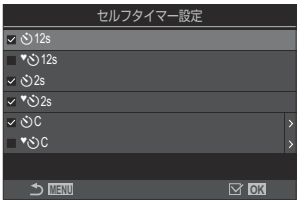
セルフタイマーを設定する（セルフタイマー設定）

📷:PASMB 🎬/S&Q:PASM

▶⏲ ボタンを押したときに表示されるセルフタイマーモードの種類を選択したり、セルフタイマー撮影時の、撮影までの時間や撮影するコマ数などを変更することができます。

メニュー
- **MENU** ➡ 📷1 ➡ 7. ドライブモード ➡ セルフタイマー設定

1. 表示するセルフタイマーモードを選択し、✓（チェック）を付けます。
- △▽ で項目を選択し **OK** ボタンを押すとチェックボックスに ✓（チェック）が表示されます。
  チェックを解除するときは再度 **OK** ボタンを押します。
- チェックボックスをタッチしても ✓（チェック）をつけたり解除することができます



[♦12s] [♦2s] [♦C] は **[低振動 [♦] 撮影設定]**（P.203）で **[低振動 [♦] 撮影]** が **[On]** のときに表示されます。

2. カスタムセルフタイマーを設定するときは、**[C]** / **[♦C]** / **[♥C]**（カスタムセルフタイマー）を選び、▷ ボタンを押します。

3. 各項目を設定します。

コマ数	1 回の撮影で撮影するコマ数を設定します。
セルフタイマー時間	シャッターボタンを全押ししてから撮影されるまでの時間を設定します。
撮影間隔	2 コマ以上撮影するときの撮影間隔を設定します。
各コマ AF	**[Off]**：2 コマ以上撮影するときに、最初の 1 コマでピントが固定されます。 **[On]**：1 コマごとに AF します。

シャッター動作時の振動を防いで撮影する（低振動 [♦] 撮影設定）

:PASMB /S&Q:PASM

低振動撮影では、シャッター動作による微小なぶれを低減した撮影ができます。
マクロ撮影や超望遠レンズでの撮影などの場面で使います。

メニュー
- **MENU** ➡ 1 ➡ 7. ドライブモード ➡ 低振動 [♦] 撮影設定

低振動 [♦] 撮影	**[Off]**：連写/セルフタイマーの選択画面に低振動撮影（[♦□] [♦] など）は表示されません。通常撮影（[□] [] など）が表示されます。 **[On]**：連写/セルフタイマーの選択画面に低振動撮影（[♦□] [♦] など）を表示します。通常撮影（[□] [] など）は表示されません。
撮影待ち時間	低振動撮影時のシャッターボタンを全押ししてからシャッターが切れるまでの時間を設定します。 **[0 秒]** ／ **[1/8 秒]** ／ **[1/4 秒]** ／ **[1/2 秒]** ／ **[1 秒]** ／ **[2 秒]** ／ **[4 秒]** ／ **[8 秒]** ／ **[15 秒]** ／ **[30 秒]**

- 撮影するときは、**[連写設定]**（P.200）で ♦ のついた連写モードに ✓（チェック）が付いていることを確認してください。
- ♦ の付いた項目を選択し（P.197）、**OK** ボタンを押した後、撮影します。設定された時間が経過すると、シャッターが切れて撮影されます。

シャッター音を立てずに撮影する（静音 [♥] 撮影設定）

📷:PASMB 🎬/S&Q:PASM

静音撮影では、シャッター音が気になる場所で、音を立てずに撮影できます。電子シャッターを使って撮影するので、低振動撮影と同様にシャッター動作による微小なぶれを低減することができます。

メニュー
- **MENU** ➡ 📷1 ➡ 7. ドライブモード ➡ 静音 [♥] 撮影設定

撮影待ち時間	静音撮影時のシャッターボタンを全押ししてからシャッターが切れるまでの時間を設定します。 **[0 秒]** ／ **[1/8 秒]** ／ **[1/4 秒]** ／ **[1/2 秒]** ／ **[1 秒]** ／ **[2 秒]** ／ **[4 秒]** ／ **[8 秒]** ／ **[15 秒]** ／ **[30 秒]**
長秒時ノイズ低減	**[Off]**：通常の撮影をします。 **[オート]**：静音撮影での長時間露光時に発生するノイズを低減します。ノイズ低減処理時に、シャッターの動作音がします。
電子音	**[電子音]**（P.382）の設定に従って動作するかどうかを設定します。
AF 補助光	**[AF 補助光]**（P.145）の設定に従って動作するかどうかを設定します。
フラッシュ	フラッシュの発光モードの設定に従って動作するかどうかを設定します。

ⓘハイレゾショット撮影時（P.243）は、**[電子音]**、**[AF 補助光]**、**[フラッシュ]** は **[禁止]** に設定しても **[許可]** の動作となります。
ただし、**[ハイレゾショット]** が **[On📷]**（手持ち）のとき、**[フラッシュ]** は **[発光禁止]** に固定されます。

- 撮影するときは、**[連写設定]**（P.200）で ♥ のついた連写モードに ✓（チェック）が付いていることを確認してください。
- ♥ の付いた項目を選択し（P.197）、**OK** ボタンを押した後、撮影します。シャッターが切れるとモニターの画面は一度暗くなります。シャッター音はしません。

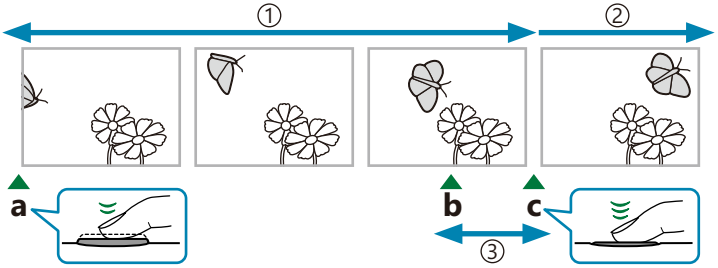
ⓘ被写体の大きな動きや蛍光灯や LED 照明などのフリッカーにより、画像に乱れが出ることがあります。
ⓘシャッター速度の上限は 1/32000 です。

フラッシュの同調秒時は 1/50 秒です。［ISO 感度］が 8000 以上の設定では 1/20 秒になります。

レリーズタイムラグを防いで撮影する（プロキャプチャー撮影）

📷:PASMB 🎥/S&Q:PASM

シャッターボタンの半押しで画像の取り込みを開始して、シャッターボタンを全押しした瞬間からあらかじめ設定した枚数までさかのぼって画像を記録します。さらにシャッターボタンを押し続けている間、設定した枚数まで撮影を続けます。人の反応やカメラの動作のタイムラグにより撮り逃していた瞬間を記録することができます。



①最大 12 コマ
②連写継続
③タイムラグ

a シャッターボタン半押し
b 撮りたい瞬間
c シャッターボタン全押し

プロキャプチャー（ProCap）

撮影距離が変化する被写体の撮影に適しています。8 コマ/秒で連続撮影し、シャッターボタンを全押しする前の画像を最大 12 コマ記録できます。**[📷AF 方式]**（P.111）が**【C-AF】**／**【C-AF MF】**／**【C-AF+TR】**／**【C-AF+TR MF】**のときは、1 コマごとにピント合わせをします。

- **【ProCap】**ではシャッター速度の下限が 1/8 秒になります。
- **【ProCap】**では、絞り値が開放から F8.0 の間に制限されます。
- フォーサーズレンズおよび他社製マイクロフォーサーズレンズでは、**【ProCap】**は使用できません。

プロキャプチャー H（ProCapH）

撮影距離の変化が少ない被写体の撮影に適しています。最大 30 コマ/秒で連続撮影し、シャッターボタンを全押しする前の画像を最大 12 コマ記録できます。**[📷AF 方式]**（P.111）の**【C-AF】**および**【C-AF+TR】**は**【S-AF】**に、**【C-AF MF】**および**【C-AF+TR MF】**は**【S-AF MF】**に設定されます。

- **【ProCapH】**では、シャッター速度の下限が**【連写設定】**の**【連写速度】**が**【30fps】**の場合は 1/30 秒、**【20fps】**の場合は 1/20 秒、**【15fps】**の場合は 1/15 秒になります。

ボタン
- ボタン ➡

スーパーコンパネ
- **OK** ➡ ドライブ（/）

メニュー
- **MENU** ➡ 1 ➡ 7. ドライブモード ➡ ドライブ /

1. プロキャプチャー（ProCap）／プロキャプチャー H（ProCapH）を選択し、**OK** ボタンを押します。

2. シャッターボタンを半押しして撮影を始めます。

- 半押しすると、画像取り込み中のアイコン（）が表示されます。そのまま全押ししないで 1 分経過すると、撮影終了して が消えます。撮影するためにはもう一度半押ししてください。
- シャッターボタンを押し続けている間、**[枚数リミッター]** で設定した枚数まで撮影を続けます。

[連写設定]（P.200）で **[連写速度]**（プロキャプチャー H（ProCapH）のみ）、**[プリ連写枚数]**、**[枚数リミッター]** を設定できます。

3. シャッターボタンを全押ししてカードへの記録を開始します。

- スマートフォン接続（Wi-Fi）時にプロキャプチャー撮影はできません。
- 被写体の大きな動きや蛍光灯などのフリッカーにより、画像に乱れが出ることがあります。
- 連写中は、表示のブラックアウトやシャッター音は発生しません。
- シャッター速度の低速側には制限があります。
- **[ProCap]** では IS スイッチがあるレンズを使用時に、モニターやファインダーの表示が安定せずぶれているように見える場合がありますが、レンズ側の手ぶれ補正が動作しているためで、記録される画像には影響ありません。

シャッターが切れるタイミングを設定する（フリッカーレス撮影）

:PASMB /S&Q:PASM

照明のフリッカーのある環境下で撮影したときなど、明るさがばらついて写ることがあります。フリッカーによるちらつきの周期を自動的に判断して、シャッターを切るタイミングを制御します。

メニュー
- **MENU** ➡ 1 ➡ 7. ドライブモード ➡ フリッカーレス撮影

- **［On］**に設定すると、画面に「FLK」が表示されます。

- 静音撮影やハイレゾショット撮影、プロキャプチャー撮影などの電子シャッターによる撮影時は動作しません。
- 環境によってはフリッカーが検出できないことがあります。その場合は、通常のタイミングでシャッターが切れます。
- シャッター速度が遅いときは、通常のタイミングで撮影されます。
- シャッターが切れる際にタイムラグが生じたり、連写速度が低下する場合があります。

手ぶれ補正機能

手ぶれを抑えて撮影する（ 手ぶれ補正／ 手ぶれ補正）

:PASMB /S&Q:PASM

被写体が暗い場面や、高倍率撮影などで起きやすい手ぶれを抑えることができます。

スーパーコンパネ
- **OK** ➡ 手ぶれ補正／ 手ぶれ補正

メニュー
- **MENU** ➡ $_1$ ➡ 8. 手ぶれ補正 ➡ 手ぶれ補正
- **MENU** ➡ ➡ 4. 手ぶれ補正 ➡ 手ぶれ補正

手ぶれ補正

S-IS Off（静止画手ぶれ補正オフ）	手ぶれ補正をしません。三脚使用時にお使いください。
S-IS Auto（手ぶれ補正オート）	カメラの全方向の動きに対して補正をします。 流し撮りを検出すると、画像を流す方向の補正を自動的に停止します。
S-IS1（全方向補正）	カメラの全方向の動きに対して補正をします。
S-IS2（縦ぶれ補正）	カメラの縦方向の手ぶれに対して補正をします。 横方向に流し撮りするときに適しています。
S-IS3（横ぶれ補正）	カメラの横方向の手ぶれに対して補正をします。 縦位置で流し撮りするときに適しています。

手ぶれ補正

M-IS Off（動画手ぶれ補正オフ）	手ぶれ補正をしません。

M-IS1（全方向補正）	センサーシフト式と電子式の両方の補正を使用します。
M-IS2（全方向補正）	センサーシフト式補正のみ行います。 電子式の補正は行いません。

手ぶれ補正の詳細項目を設定する

マイクロフォーサーズ／フォーサーズ以外のレンズを使うときは、レンズの焦点距離情報を入力して設定します。

1. **［📷 手ぶれ補正］**／**［🎥 手ぶれ補正］**の設定中に **INFO** ボタンを押して、△▽◁▷ で焦点距離を設定し **OK** ボタンを押します。

- タッチ操作でも設定できます。

レンズ焦点距離	レンズ焦点距離を設定します。レンズに記載の数値を設定してください。 **［0.1］**～**［1000.0］**mm

ⓘ手ぶれが大きすぎる場合やシャッター速度が極端に遅い場合は、手ぶれを補正しきれないことがあります。このときは三脚を使用して撮影してください。
ⓘ手ぶれ補正が作動していると、作動音や振動を感じることがあります。
ⓘ手ぶれ補正機能切り換えスイッチのあるレンズでは、レンズ側の設定が優先されます。設定は変更できます。☞「手ぶれ補正機能搭載レンズ使用時の手ぶれ補正設定（レンズ手ぶれ補正優先）」（P.212）
ⓘ**［レンズ手ぶれ補正優先］**（P.212）が**［On］**のときは、**［S-IS Auto］**は**［S-IS1］**で動作します。
シャッターボタンを半押ししたときの、手ぶれ補正の動作のオンオフを選択できます。☞「シャッターボタン半押し中の手ぶれ補正動作を設定する（半押し中手ぶれ補正）」（P.211）

シャッターボタン半押し中の手ぶれ補正動作を設定する（半押し中手ぶれ補正）

:PASMB /S&Q:PASM

シャッターボタン半押し中に手ぶれ補正の機能を有効にするかどうかを設定できます。水準器を表示して水平を取りながら撮影しているときなどに、手ぶれ補正を無効にすることができます。

メニュー
- **MENU** ➡ 1 ➡ 8. 手ぶれ補正 ➡ 半押し中手ぶれ補正

On	シャッターボタンを半押したときに手ぶれ補正機能が働きます。
Off	シャッターボタンを半押したときに手ぶれ補正機能が働きません。

手ぶれ補正機能搭載レンズ使用時の手ぶれ補正設定（レンズ手ぶれ補正優先）

他社製の手ぶれ補正機能を搭載したレンズを使用時に、カメラの手ぶれ補正機能とレンズの手ぶれ補正機能のどちらを優先して機能させるかを設定します。

ⓘ手ぶれ補正機能のオンオフを操作できる IS スイッチを搭載したレンズでは、この機能は無効になります。

メニュー
- **MENU** ➡ 📷1 ➡ 8. 手ぶれ補正 ➡ レンズ手ぶれ補正優先

On	レンズの手ぶれ補正機能を優先して働かせます。
Off	カメラの手ぶれ補正機能を優先して働かせます。

色・画質の機能

静止画と動画の画質を設定する（📷 画質モード／🎞 画質モード／S&Q 画質モード）

📷:PASMB　🎞/S&Q:PASM

静止画と動画の画質モードを設定します。パソコンでの加工やホームページでの使用など用途に応じて選べます。
[S&Q 画質モード] では、スローモーション動画やクイックモーション動画の設定ができます。

スーパーコンパネ
- **OK** ➡ 📷 画質モード／🎞 画質モード／S&Q 画質モード

メニュー
- **MENU** ➡ 📷1 ➡ 1. 基本設定/画質 ➡ 📷 画質モード
- **MENU** ➡ 🎞 ➡ 1. 基本設定/画質 ➡ 🎞 画質モード
- **MENU** ➡ 🎞 ➡ 1. 基本設定/画質 ➡ S&Q 画質モード

📷 画質モードを設定する

設定項目	画像サイズ	圧縮率	ファイル形式
L SF	5184×3888	SuperFine（1/2.7）	JPG
L F	5184×3888	Fine（1/4）	JPG
L N	5184×3888	Normal（1/8）	JPG
M N	3200×2400	Normal（1/8）	JPG
RAW	5184×3888	ロスレス圧縮	ORF
RAW+JPEG	RAW と上記の JPEG の組み合わせ		

画像サイズと圧縮率の組み合わせはメニューで変更することができます。☞「JPEG の画像サイズと圧縮率の組み合わせ（📷 画質モード詳細設定）」（P.218）

ハイレゾショット（P.243）が設定されているときは、50M F、25M F、50M F+RAW、25M F+RAW の選択ができます。

ハイレゾショット（P.243）に設定すると、画質モードの設定も変更されるので、撮影前に確認してください。

RAW 画像とは未加工の状態のデータです。撮影後にあらためて絵作りをするための元データとして使います（拡張子は「.ORF」です）。

- 他のカメラでの再生はできません。
- パソコンでの閲覧は画像編集・管理ソフトウェア OM Workspace をお使いください。
- このカメラの編集機能［RAW 編集］（P.314）を使って、JPEG のデータにすることができます。

画質モードを設定する

- 各画質モードの設定を変更するときは画質モードを選択した状態で ▷ を押します。

画質モードの表記について

設定の変更は 画質モードのアイコンに反映されます。設定によって以下のように表示が変わります。3 種類の組み合わせを記憶しておくことができます。

①ムービーサイズ
②再生フレームレート
③フレーム間圧縮

ムービーサイズ

4K	4K	3840×2160
FHD	FHD（Full HD）	1920×1080
C4K	C4K（4K デジタルシネマ）	4096×2160

フレーム間圧縮

I-8	A-I（ALL-Intra [1]）
L-8	L-GOP（LongGOP）

1 ALL-Intra はフレーム間の圧縮をしないで記録される動画です。編集に向いていますが、データの容量が大きくなります。

- **［ムービーサイズ］**が **［4K］**および **［C4K］**のときは **［L-GOP］**固定になります。

再生フレームレート

60p [1]	59.94p	**25p**	25.00p
50p [1]	50.00p	**24.00p** [2]	24.00p
30p	29.97p	**24p**	23.98p

1 次のときは選択できません。
- **［ムービーサイズ］**を**［FHD］**（Full HD）、**［フレーム間圧縮］**を**［A-I］**に設定しているとき
- **［ムービーサイズ］**が**［C4K］**または**［4K］**のとき

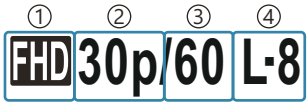
2 **［ムービーサイズ］**が**［C4K］**のときのみ選択できます。

S&Q 画質モードを設定する

- 各画質モードの設定を変更するときは画質モードを選択した状態で ▷ を押します。

画質モードの表記について

設定の変更は S&Q 画質モードのアイコンに反映されます。設定によって以下のように表示が変わります。3 種類の組み合わせを記憶しておくことができます。



①ムービーサイズ
②再生フレームレート
③撮影フレームレート
④フレーム間圧縮（変更不可）

ムービーサイズ

4K	4K	3840×2160
FHD	FHD（Full HD）	1920×1080
C4K	C4K（4K デジタルシネマ）	4096×2160

再生フレームレート

60p [1]	59.94p	**25p**	25.00p
50p [1]	50.00p	**24.00p** [2]	24.00p
30p	29.97p	**24p**	23.98p

1 次のときは選択できません。
- **［ムービーサイズ］**が**［C4K］**または**［4K］**のとき
- モードダイヤルが **SCN** のとき

2 **［ムービーサイズ］**が**［C4K］**のときのみ選択できます。

撮影フレームレート

120 [1]	119.88fps	**12**	11.99fps
60 [1]	59.94fps	**8**	7.99fps
50 [1]	50.00fps	**6**	5.99fps
30 [1]	29.97fps	**3**	2.997fps
25	25.00fps	**2**	1.998fps
24	23.98fps	**1**	0.999fps
15	14.99fps		

1 **［ムービーサイズ］**が**［FHD］**のときのみ選択できます。

設定できる撮影フレームレートは、再生フレームレートの設定によって変わります。

フレーム間圧縮

L-8	L-GOP（LongGOP）

S&Q（スロー／クイック）動画では**［L-GOP］**固定になります。

[S&Q 画質モード] の設定画面で、スローモーション動画とクイック動画のどちらで撮影されるのか確認できます。数値（倍率）が 1 よりも小さい場合はスロー動画で、1 よりも大きい場合はクイック動画で撮影されます。

撮影フレームレートを 120fps に設定すると、120 コマ/秒で撮影して 23.98～59.94 コマ/秒で再生する動画として記録します。時間を約 2～5 倍に延ばして再生することで、被写体の一瞬の動きをスローモーションで見ることができます。

- 音声は記録されません。
- スマートフォンと Wi-Fi 接続してリモート撮影を行っているときは、電源レバーが S&Q であっても 🎥 モードの動画で撮影されます。
- シャッター速度は 1/24 以上に制限されます。撮影フレームレートの設定により変わります。
- M モードで [🎥AF 方式] が [MF] または [Pre MF] のときは、撮影フレームレートを低くすると 1/24 より低速のシャッター速度を設定できますが、カメラのボタン操作の反応が遅くなる場合があります。
- 使用するカードによっては、最長時間まで記録されずに途中で撮影が終了する場合があります。
- アスペクト比は、16:9 です。C4K の設定では、17:9 に設定されます。
- ピクチャーモード（P.221）の [e ポートレート]、アートフィルターは設定できません。

撮影フレームレートが 120fps のときの制限事項

- SD/SDHC カード使用時、1 ファイルは 4GB に制限されます。SDXC カード使用時は、再生時間が 2 時間を超えないところまでで録画が中止します。
- 録画中は、ピント位置、測光、ホワイトバランスは固定されます。
- 画角がやや狭く設定されます。
- 録画中は、絞り値やシャッター速度、露出補正、ISO 感度の変更はできません。
- タイムコードの表示や記録はできません。
- 録画中にズーム操作を行うと、明るさが変わる場合があります。
- HDMI 機器接続中は、120fps の撮影フレームレートは設定できません。
- モードダイヤルが SCN のときは、120fps の撮影フレームレートは設定できません。
- [▦]All（オールターゲット）は設定できません。
- [🎥 手ぶれ補正]（P.209）の [M-IS1] は設定できません。
- ピクチャーモード（P.221）の [i-Finish] は設定できません。
- 🎥 ピクチャーモード（P.231）の [OM-Cinema1] [OM-Cinema2] は設定できません。
- [階調]（P.227）は [階調標準] に固定されます。
- 録画中は、[🎥 顔・瞳検出]（P.133）は動作しません。
- [🎥AF 方式]（P.111）の [C-AF] と [C-AF+TR] は設定できません。
- [🎥 デジタルテレコン]（P.260）は [Off] に固定されます。

JPEG の画像サイズと圧縮率の組み合わせ（ 画質モード詳細設定）

:PASMB /S&Q:PASM

画像サイズと圧縮率を組み合わせて、JPEG の画質モードを設定できます。

メニュー
- **MENU** ➡ $\square_1$ ➡ 1. 基本設定/画質 ➡ 画質モード詳細設定

画像サイズ（ピクセルサイズ）	圧縮率			用途
	Super Fine	Fine	Normal	
Large（5184×3888）	L SF	L F	L N	プリントサイズに合わせて選択
Middle（3200×2400）	M1 SF	M1 F	M1 N	
Middle（1920×1440）	M2 SF	M2 F	M2 N	
Small（1280×960）	S1 SF	S1 F	S1 N	小さいプリントやホームページ用
Small（1024×768）	S2 SF	S2 F	S2 N	

アスペクト比を設定する（アスペクト比設定）

撮影の意図やプリントなどの出力時の狙いに合わせて、画像の縦横比を設定します。通常のアスペクト比（横×縦）である【4:3】の他に【16:9】、【3:2】、【1:1】、【3:4】が設定できます。

スーパーコンパネ
- **OK** ➡ アスペクト

メニュー
- **MENU** ➡ 1 ➡ 1. 基本設定/画質 ➡ アスペクト比設定

- JPEG の画像では、設定したアスペクト比の画像で記録されます。RAW 画像は、撮像素子のサイズである【4:3】のままの画像にアスペクト比の設定情報を付けて記録されます。再生時は、設定情報に合わせて枠が表示されます。

レンズの周辺減光を補正する（シェーディング補正）

:PASMB /S&Q:PASM

レンズの特性により発生する画面周辺の減光を補正します。レンズによっては画面周辺が減光で暗くなる場合があります。カメラが自動的に補正して明るくします。

メニュー
- **MENU** ➡ 1 ➡ 1. 基本設定/画質 ➡ シェーディング補正

Off	シェーディング補正をしません。
On	カメラが自動的に判断してシェーディング補正をします。

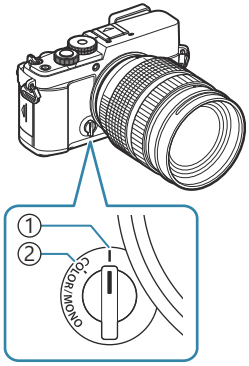
- テレコンバーターやエクステンションチューブを装着しているときは、**[On]** に設定されていても補正されません。
- ISO 感度が高い設定のときは、補正により画面周辺のノイズが目立つ場合があります。

画像の仕上がりを設定する（ピクチャーモード／ピクチャーモード）

:PASMB　/S&Q:PASM

画像の色合いや階調を操作して仕上がりを調整します。被写体や写真表現に合わせて、用意された項目を選ぶだけで設定できます。それぞれの項目別に、コントラストやシャープネスなどの調整をすることができます。また、写真をアーティスティックな表現にするアートフィルターを使うこともできます。アートフィルターでは、フレーム効果などの効果の設定をすることもできます。調整したパラメータはピクチャーモード別に記憶されます。
モノクロプロファイルやカラープロファイルで、モノクロの画像にカラーフィルターの効果をつけたり、カラーの画像の彩度を色別に調整したりすることもできます。
カラークリエーターでは、画像全体の色合いや彩度を調整できます。

プロファイルコントロールスイッチでモードを切り換える



①**|**（ピクチャーモード）
②**COLOR/MONO**（カラープロファイルコントロール／モノクロプロファイルコントール）

ライブビュー表示中にプロファイルコントロールスイッチを **COLOR/MONO**（カラープロファイルコントロール／モノクロプロファイルコントール）に合わせると、設定画面が表示されます。

モードダイヤルが **AUTO**、**SCN**、**ART** のとき、プロファイルコントロールスイッチを操作しても、モードは切り換わりません。

S&Q モードでは、**COLOR/MONO** は設定できません。プロファイルコントロールスイッチを **|**（ピクチャーモード）の位置に合わせてください。

[ピクチャーモード] で **[と同じ]** 以外が設定されているとき、 モードでプロファイルコントロールスイッチを操作しても、モードは切り換わりません。

スーパーコンパネ／メニューで設定する

スーパーコンパネ
- **OK** ➡ ピクチャーモード

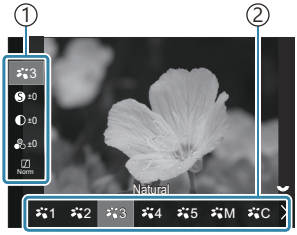
メニュー
- **MENU** ➡ 📷1 ➡ 2. ピクチャーモード/WB ➡ 📷 ピクチャーモード
- **MENU** ➡ 🎞 ➡ 2. ピクチャーモード ➡ 🎞 ピクチャーモード

🎞 モード／S&Q モードで以下の設定のとき、スーパーコンパネからピクチャーモードを選択すると、**[📷 ピクチャーモード]** と同じ内容（P.222）が設定できます。
- メニューから **[🎞 ピクチャーモード]** で **[📷 と同じ]** が設定されているとき

ピクチャーモードを設定する

1. リヤダイヤルまたは ◁▷ でピクチャーモードを選択します。
- タッチ操作でもピクチャーモードを選ぶことができます。

ピクチャーモードの詳細項目を設定できます。☞ 「各モードの詳細項目を設定する」（P.227）



ピクチャーモード設定画面

①設定項目
②ピクチャーモード

ピクチャーモードの種類

1	i-Finish	カメラが被写体を自動的に判別して、最適な色やコントラストを再現します。
2	Vivid	鮮やかな色合いになります。
3	Natural	自然な色合いになります。
4	Flat	素材性を重視した仕上がりになります。

5	Portrait	肌色をきれいに仕上げます。
M	モノトーン	モノクロ調に仕上げます。フィルター効果を使ったり全体的に色付けする調色をすることもできます。
C	カスタム	調整を加えたピクチャーモードを登録できます。
	e ポートレート	肌を明るくなめらかに補正します。
	水中	水中写真にあった色鮮やかな色彩に仕上げます。 [ ] を設定して撮影するときは、[+WB 連動]（P.240）を［Off］に設定することをおすすめします。
	カラークリエーター	印象に合わせて全体の色合いや彩度を調整します。

ART 1	ポップアート	アートフィルターを設定します。それぞれのアートエフェクト機能が使えます。追加できる効果や調整できる効果はアートフィルターによって異なります。
ART 2	ファンタジックフォーカス	
ART 3	デイドリーム	
ART 4	ライトトーン	
ART 5	ラフモノクローム	
ART 6	トイフォト	
ART 7	ジオラマ	
ART 8	クロスプロセス	
ART 9	ジェントルセピア	
ART 10	ドラマチックトーン	
ART 11	リーニュクレール	
ART 12	ウォーターカラー	
ART 13	ヴィンテージ	
ART 14	パートカラー	
ART 15	ブリーチバイパス	
ART 16	ネオノスタルジー	

ⓘ 📷 モードでは、アートフィルター/カラークリエーターの効果は JPEG 画像にのみ適用されます。画質モードが［**RAW**］のときは、自動的に［**RAW+JPEG**］に設定されます。

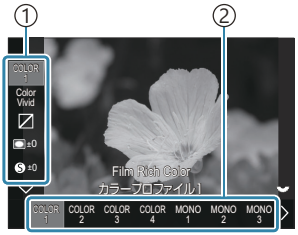
カラープロファイルコントロールを設定する

カラーの画像の彩度を色別に調整したり（彩度調整）、周辺の光量を調整したり（シェーディング）、画像の明暗を調整したり（ハイライト&シャドウコントロール）することができます。

1. リヤダイヤルまたは ◁▷ でプロファイルを選択します。

- タッチ操作でもプロファイルを選ぶことができます。

カラープロファイルコントロールの詳細項目を設定できます。☞「各モードの詳細項目を設定する」（P.227）
詳細項目の設定値が変更されているプロファイルには、アイコンにマーク（*）が表示されます。**OK** ボタンを長押しすると、選択されているプロファイルのすべての詳細項目の設定値がリセットされます。



カラープロファイルコントロール設定画面

①設定項目
②プロファイル

カラープロファイルコントロールの種類

COLOR1	Film Rich Color **カラープロファイル 1**	渋みと濃厚感のある色調に仕上がります。
COLOR2	Film Vivid **カラープロファイル 2**	彩度が高く、濃厚な発色のフィルム風の効果が得られます。
COLOR3	Film Soft Tone **カラープロファイル 3**	淡く柔らかい色調に仕上がります。
COLOR4	Standard (Natural) **カラープロファイル 4**	標準（Natural）のプリセットです。それぞれの設定値がデフォルト（±0）に設定されています。

ⓘ 📷 モードでは、カラープロファイルの効果は JPEG 画像にのみ適用されます。画質モードが**［RAW］**のときは、自動的に**［RAW+JPEG］**に設定されます。

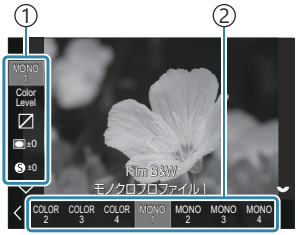
モノクロプロファイルコントロールを設定する

モノクロの画像にカラーフィルターの効果をつけたり（カラーフィルター効果）、周辺の光量を調整したり（シェーディング）、画像の明暗を調整したり（ハイライト&シャドウコントロール）することができます。

1. リヤダイヤルまたは ◁▷ でプロファイルを選択します。

- タッチ操作でもプロファイルを選ぶことができます。

モノクロプロファイルコントロールの詳細項目を設定できます。☞「各モードの詳細項目を設定する」（P.227）
詳細項目の設定値が変更されているプロファイルには、アイコンにマーク（*）が表示されます。**OK** ボタンを長押しすると、選択されているプロファイルのすべての詳細項目の設定値がリセットされます。



モノクロプロファイルコントロール設定画面

①設定項目
②プロファイル

モノクロプロファイルコントロールの種類

MONO1	Film B&W **モノクロプロファイル 1**	モノクロフィルム風の仕上がりになります。
MONO2	Film IR **モノクロプロファイル 2**	赤外フィルムのような効果が得られます。
MONO3	Film Low Contrast **モノクロプロファイル 3**	コントラストを抑えて柔らかい印象に仕上がります。
MONO4	Standard (Monotone) **モノクロプロファイル 4**	標準（モノトーン）のプリセットです。それぞれの設定値がデフォルト（±0）に設定されています。

ⓘ 📷 モードでは、モノクロプロファイルの効果は JPEG 画像にのみ適用されます。画質モードが **[RAW]** のときは、自動的に **[RAW+JPEG]** に設定されます。

各モードの詳細項目を設定する

1. 各設定画面（P.222）で △▽ を押して、設定する項目を切り換えます。

- 選択したモードによって、設定できる項目が異なります。
- タッチ操作でも設定する項目を選ぶことができます。

Ⓢ	**シャープネス**	画像の鮮鋭さを調整します。輪郭の強調をすることでシャープなはっきりした感じの画像にすることができます。 **[-2] ～ [±0] ～ [+2]**
◐	**コントラスト**	画像の明暗差を調整します。明暗差を強調することではっきりした印象の強い画像にすることができます。 **[-2] ～ [±0] ～ [+2]**
	彩度	画像の色合いや色の濃さを調整します。彩度を上げると色合いのはっきりした印象的な画像になります。 **[-2] ～ [±0] ～ [+2]**
	階調	画像の色や明るさの濃淡を調整します。被写体のイメージに合わせて全体的に明るく表現したり暗く表現します。明暗差によって暗い階調と明るい階調のどちらも表現できます。 **[階調オート]**：画像を細かい領域にわけて部分的に明るさを補正します。黒つぶれ・白とびの起きやすい明暗さの大きい画像に有効です。 **[階調標準]**：適度な階調にします。通常は標準に設定してください。 **[階調ハイキー]**：明るい被写体に適した階調にします。 **[階調ローキー]**：暗い被写体に適した階調にします。

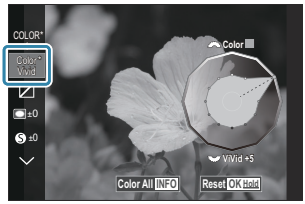
Effect	**効果**	i-Finish の効果の強さを設定します。 **[効果 弱]**：弱めの効果を画像に加えます。 **[効果 標準]**：弱と強の中間程度の効果を画像に加えます。 **[効果 強]**：強めの効果を画像に加えます。
Filter	**フィルター効果**	モノクロ系のピクチャーモードにカラーフィルターの効果をつけることができます。被写体の色によって明るく表現したりコントラストを強調することができます。黄、橙、赤の順にコントラストが強くなります。緑はポートレート撮影などにも効果的です。 **[N:無し]**：フィルター効果を使用しません。 **[Ye:黄]**：自然な青空にくっきりとした白い雲が再現されます。 **[Or:オレンジ]**：青空らしさや夕日の輝きが少し強調されます。 **[R:赤]**：青空らしさや紅葉の輝きがよりいっそう強調されます。 **[G:緑]**：人物写真で使うと肌の色を落ち着かせます。また、口紅の赤い色が強調されます。
Color	**調色**	モノクロ系のピクチャーモードに色味の効果をつけることができます。 **[N:無し]**：通常の白黒画像になります。 **[S:セピア]**：セピア調の画像にします。 **[B:青]**：青味がかった画像にします。 **[P:紫]**：紫味がかった画像にします。 **[G:緑]**：緑味がかった画像にします。
C1 C2 C3 C4 C5 CM	**C ピクチャーモード**	**[カスタム]**で調整を加えるピクチャーモードを設定します。 **[i-Finish]**／**[Vivid]**／**[Natural]**／**[Flat]**／**[Portrait]**／**[モノトーン]**

	カラークリエーター	フロントダイヤルで色相を、リアダイヤルで彩度を調整できます。 **OK** ボタンを長押しすると調整値をリセットできます。
ART	**ファインチューン**	ポップアート、ファンタジックフォーカス、トイフォト、クロスプロセス、またはネオノスタルジーの効果のかかり具合を調整します。 **[-5]** ～ **[±0]** ～ **[+5]**
Effect	**効果の追加**	アートフィルターに効果を追加します。 追加できる効果はアートフィルターによって異なります。 またアートフィルターによっては、フィルター効果/調色を調整できます。
Color	**パートカラー**	アートフィルターのパートカラーを選択します。
Color Level	Color/Level	8 つの色と 3 段階の強度から選択して、モノクロの画像にカラーフィルターの効果をつけます。 フロントダイヤルでカラーフィルターの色を、リアダイヤルで強度を設定します。 **OK** ボタンを長押しすると調整値をリセットできます。
	ハイライト&シャドウコントロール	明部、暗部、中間部に分けて個別に明るさを調整します。 **INFO** ボタンを押して調整する範囲（明部、暗部、中間部）を変更します。フロント／リアダイヤルで設定します。 **OK** ボタンを長押しすると調整値をリセットできます。
	シェーディング効果	画像の周辺部の明るさを調整します。 **[-5]** ～ **[±0]** ～ **[+5]**
	粒状フィルム効果	モノクロフィルムの粒子に似たざらつき効果を加えることができます。 **[粒状フィルム効果 Off]** ／ **[粒状フィルム効果 弱]** ／ **[粒状フィルム効果 中]** ／ **[粒状フィルム効果 強]**

Color Vivid	Color/Vivid	12 色それぞれの彩度を±5 の範囲で調整ができます。フロントダイヤルで色相を、リアダイヤルで彩度を設定します。 **OK** ボタンを長押しすると調整値をリセットできます。 **INFO** ボタンを押して全色一括で変更するか個別に変更するかを切り換えることができます。 カラープロファイルコントロール画面に**［Color All］**と表示された場合は、全色一括で変更できます。リアダイヤルで彩度を設定します。

Ⓘ撮影シーンによっては階調が崩れたり、補正の効きが弱くなったり、また画像の粗さが強調される場合があります。

モノクロプロファイルコントロール／カラープロファイルコントロールで設定値を変更すると、項目のアイコンにマーク（*）が表示されます。



設定した内容は、選択したプロファイル（**［MONO1］**～**［MONO4］**、**［COLOR1］**～**［COLOR4］**）に記憶されます。

Ⓘ以下の場合、シェーディングコントロールは±0 固定となり変更できません。
- ハイレゾショット／ライブ ND 撮影／多重露出撮影／デジタルシフト撮影／フィッシュアイ補正撮影／ISO BKT

Ⓘ以下の場合、粒状フィルム効果は**［Off］**となり変更できません。
- ハイレゾショット／ライブ ND 撮影／多重露出撮影／デジタルシフト撮影／フィッシュアイ補正撮影／ISO BKT／動画撮影でシェーディングコントロールが±0 以外

動画専用のピクチャーモードの項目を設定する

1. メニューから［ **ピクチャーモード**］を選択します。

2. △▽◁▷ で項目を選択します。

	と同じ	ピクチャーモードと同じ設定で記録します。
Cine1	OM-Cinema1	明部のイエローと暗部の青により、色のコントラストを付けた映画のような表現の動画を記録します。**［フレームレート］**は**［24p］**に設定することをお勧めします。
Cine2	OM-Cinema2	シアン調の色味と弱いコントラストにより、柔らかい色調の映画のような表現の動画を記録します。**［フレームレート］**は**［24p］**に設定することをお勧めします。
1	Flat	カラーグレーディングに適したフラットな階調で記録します。
2	OM-Log400	より自由度の高いカラーグレーディングに適した LOG カーブに合わせた階調で記録します。

ピクチャーモード選択の表示設定をする（ピクチャーモード表示）

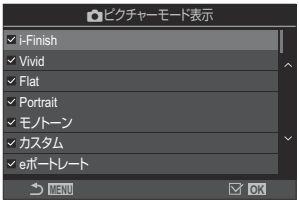
P:PASMB　S&Q:PASM

ピクチャーモードの選択時に自分に必要なものだけを表示します。

ピクチャーモードの詳しい内容については「画像の仕上がりを設定する（ピクチャーモード／ピクチャーモード）」（P.221）の説明をお読みください。

メニュー
- **MENU** ➡ 1 ➡ 2. ピクチャーモード/WB ➡ ピクチャーモード表示

1. ピクチャーモードの設定メニューに表示させたいモードを選択し、✓（チェック）を付けます。
   - △▽で項目を選択し **OK** ボタンを押すとチェックボックスに✓（チェック）が表示されます。チェックを解除するときは再度 **OK** ボタンを押します。
   - チェックボックスをタッチしても✓（チェック）をつけたり解除することができます。



ピクチャーモード表示設定画面

画像の色合いを調整する（ホワイトバランス）

:PASMB　/S&Q:PASM

ホワイトバランス（WB）は白いものを白く写すための機能です。通常は**【WB Auto】**（WB オート）で問題ありませんが、適切な白にならない場合や、逆に色合いを出したい場合は光源に合わせて、**【WB Auto】**以外のホワイトバランスを手動で設定します。

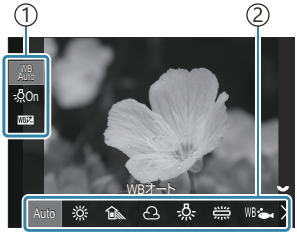
ホワイトバランスを設定する

ボタン
- **WB** ボタン

スーパーコンパネ
- **OK** ➡ ホワイトバランス

メニュー
- **MENU** ➡ C_1 ➡ 2. ピクチャーモード/WB ➡ WB モード

1. リヤダイヤルまたは ◁▷ でホワイトバランスを選択します。
- タッチ操作でもホワイトバランスを選ぶことができます。



ホワイトバランス設定画面

①設定項目
②ホワイトバランス

2. 選択したホワイトバランスの設定を微調整するときは、△▽ で設定したい項目を選びます。
- タッチ操作でも項目を選ぶことができます。

Auto	**WB オート**	一般的なほとんどの撮影シーン（画面内に白に近い色が存在する撮影シーン） • 通常はこのモードをお使いください。 • 電球下での色合いを設定できます（P.239）。

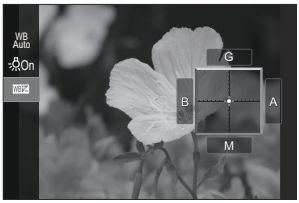
	晴天	晴天の日に屋外で撮るとき、夕焼けを赤く撮るとき、花火を撮るとき • 設定される色温度は 5300K です。
	日陰	晴天の日に屋外の日陰で撮るとき • 設定される色温度は 7500K です。
	曇天	曇天の日に屋外で撮るとき • 設定される色温度は 6000K です。
	電球	電球に照らされている被写体を撮るとき • 設定される色温度は 3000K です。
	蛍光灯	蛍光灯に照らされている被写体を撮るとき • 設定される色温度は 4000K です。
WB	**水中**	水中で撮るとき
WB	**WB フラッシュ**	フラッシュの色温度相当の照明で撮るとき • 設定される色温度は 5500K です。
1 2 3 4	**ワンタッチ WB1〜4**	白に合わせたいものが特定できているとき • 実際の撮影環境下で白に合わせたいものの色温度を測って設定します（P.236）。
CWB	**カスタム WB**	色温度での特定ができるとき • 色温度を選択し、設定します。

各 WB モードのホワイトバランスを微調整する

ホワイトバランスの設定を微調整できます。個別に調整値を設定できます。

1. 各項目を設定します。

- ホワイトバランス設定画面（P.233）で △▽ を押して、設定する項目を切り換えます。



WB オート 電球色残し（WB オート時のみ）	**[Off]**：ホワイトバランスが Auto のときの、電球下の色かぶりを抑えます。 **[On]**：ホワイトバランスが Auto のときの、電球下の暖かい色味を残します。
WBミ（ホワイトバランス補正）	フロントダイヤルまたは ◁▷ で「アンバー-青」の色味を変更します。ポインタ（-✦-）が A に近づくにつれ赤みがかり、B に近づくにつれ青みがかった画像になります。 リアダイヤルまたは △▽ で「緑-赤紫」の色味を変更します。ポインタ（-✦-）が G に近づくにつれ緑の色味が増し、M に近づくにつれ赤紫がかった画像になります。 WBミ（ホワイトバランス補正）を行うと、WB モードのアイコンにマーク（*）が表示されます。 静止画モードでは **INFO** ボタンを押すと、現在の調整値で試し撮りができます。設定画面に戻るときは再度 **INFO** ボタンを押します。 **OK** ボタンを長押しすると調整値をリセットできます。 タッチ操作でも設定することができます。 ホワイトバランスの設定を一括で微調整できます。☞ **[全 WB モード補正]**（P.238）
色温度（カスタム WB 時のみ）	カスタム WB 設定時の色温度を設定できます。 **[2000K]** ～ **[14000K]**

ワンタッチホワイトバランスの設定

撮影する光源下で白い紙などにカメラを向けて、ホワイトバランスを測定します。☼（晴天）や☁（曇天）などの用意された設定値や微調整では合わせるのが難しい、微妙な色合いの設定ができます。
取得した調整値を記憶させておき、使い分けることができます。
静止画撮影と動画撮影でそれぞれ記憶させることができます。

1. ホワイトバランス設定画面で［PRE1］、［PRE2］、［PRE3］または［PRE4］（ワンタッチホワイトバランス 1、2、3 または 4）を選択します。

2. PRE Set を選択します。

3. 白かグレーのような無彩色の紙が画面中央に写るようにします。
   - 紙が画面いっぱいに写るようにカメラを構えます。影の部分ができないようにしてください。
   - **INFO** ボタンを押します。
   - ワンタッチホワイトバランス画面が表示されます。

4. **［実行］**を選択し、**OK** ボタンを押します。
   - ホワイトバランスがプリセットホワイトバランスの 1 つとしてカメラに登録されます。
   - 新しいワンタッチホワイトバランスを撮影するまで、カメラに記憶されます。電源をオフにしても消去されません。
   - タッチ操作でも登録することができます。

ボタンで設定する

ボタンに**［ワンタッチ WB］**が割り当てられているときは、ボタン操作でもホワイトバランスを測定できます。☞「ボタンの機能を変える（ボタンの設定）」（P.328）

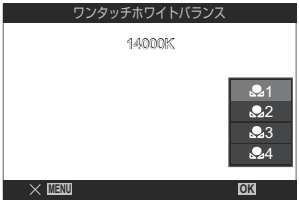
1. 白かグレーのような無彩色の紙が画面中央に写るようにします。
   - 紙が画面いっぱいに写るようにカメラを構えます。影の部分ができないようにしてください。

2. ワンタッチホワイトバランスを割り当てたボタンを押しながら、シャッターボタンを全押しします。

- 動画撮影の場合はワンタッチホワイトバランスを割り当てたボタンを押すと手順 3 に進みます。
- データを登録するワンタッチ WB の選択メニューが表示されます。

3. △▽ で選択して **OK** ボタンを押します。

- タッチ操作でもカメラに登録することができます。
- データが記憶されて、撮影画面に戻ります。



ホワイトバランスを微調整する（全 WB モード補正）

**:PASMB **/S&Q:PASM

ホワイトバランスの設定を一括で微調整できます。

メニュー
- **MENU** ➡ $\square_1$ ➡ 2. ピクチャーモード/WB ➡ 全 WB モード補正

全 WB モード補正	フロントダイヤルまたは ◁▷ で「アンバー-青」の色味を変更します。ポインタ（-⊹-）が A に近づくにつれ赤みがかり、B に近づくにつれ青みがかった画像になります。 リアダイヤルまたは △ ▽ で「緑-赤紫」の色味を変更します。ポインタ（-⊹-）が G に近づくにつれ緑の色味が増し、M に近づくにつれ赤紫がかった画像になります。 タッチ操作でも色味を変更できます。 全ホワイトバランス補正を行うと、各 WB モードのアイコンにマーク（*）が表示されます。 **OK** ボタンを長押しすると調整値をリセットできます。

WB オート設定で電球の色合いを残して撮影する（WB オート 電球色残し）

:PASMB /S&Q:PASM

ホワイトバランスがオートのとき、電球下で撮影時の色合いを設定できます。

メニュー
- **MENU** ➡ 1 ➡ 2. ピクチャーモード/WB ➡ WB オート 電球色残し

Off	電球下の色かぶりを抑えます。
On	電球下の暖かい色味を残します。

ホワイトバランスの設定画面からも設定できます。☞「各 WB モードのホワイトバランスを微調整する」（P.235）

フラッシュ発光時のホワイトバランスを設定する（ϟ+WB 連動）

:PASMB /S&Q:PASM

フラッシュの発光時のホワイトバランスの動作を選択します。フラッシュに合わせたホワイトバランスの設定にするか、通常の撮影でのホワイトバランスの設定を優先するかを選択できます。フラッシュの発光／発光禁止を頻繁に切り換える撮影などで、自動的にホワイトバランスの設定をすることができます。

メニュー
- **MENU** ➡ $\square_1$ ➡ 2. ピクチャーモード/WB ➡ ϟ+WB 連動

Off	ホワイトバランスの設定に従って動作します。
WB Auto	ホワイトバランスは**［WB オート］**に変更されます。
WBϟ5500K	ホワイトバランスは**［WBϟ］**（フラッシュ撮影用 WB）に変更されます。

色の再現方式を設定する（色空間）

:PASMB /S&Q:PASM

撮影した画像をモニターやプリンターで再現する際、色再現を正しく行うための方式を選択します。

メニュー
- **MENU** ➡ 1 ➡ 2. ピクチャーモード/WB ➡ 色空間

sRGB	国際規格を統一する機関が決めた標準の規格です。標準的なディスプレイやプリンター、デジタルカメラ、各種のアプリケーションで使用されています。通常はこの設定にしてください。
Adobe RGB	sRGB より広い色域の再現ができます。正しく出力するためには、この規格に対応したソフトウェア、ディスプレイやプリンターなどの機器が必要です。ファイル名の初めの文字が、「_」（アンダーバー）で示されます（例：_xxx0000.jpg）。

ピクチャーモードがアートフィルターの設定のときや HDR 撮影では、**【Adobe RGB】**を選択できません。

[ピクチャーモード] 時のモニター表示を設定する（ビューアシスト）

:PASMB /S&Q:PASM

[ピクチャーモード]（P.231）が **[Flat]** や **[OM-Log400]** に設定されているとき、モニターに表示する映像を見やすい画質に調整します。

メニュー
- **MENU** ➡ ➡ 2. ピクチャーモード ➡ ビューアシスト

On	映像を見やすい色合いに調整して表示します。アイコンなどの色合いが通常と違って見える場合があります。
Off	調整しません。

この機能は、記録する動画には影響しません。
[Flat] や **[OM-Log400]** の設定で撮影された動画を、カメラで再生したときには適用されません。また、テレビで再生する場合にも適用されません。
ヒストグラム（P.46）は、ビューアシスト適用前の映像に対して処理します。

特殊撮影機能（コンピュテーショナル撮影）

より解像度の高い静止画を撮影する（ハイレゾショット）

P:PASMB　/S&Q:PASM

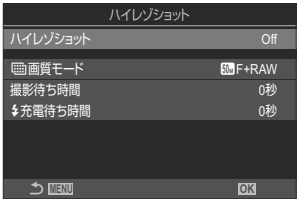
撮像素子の画像サイズ以上の高解像の写真を生成します。撮像素子を動かしながら撮影した複数枚の画像をもとに 1 枚の高解像の画像にします。通常の画像サイズでは拡大しても見分けらないような細かい部分も精細に再現した画像を得ることができます。
ハイレゾショットが設定されているときは、**[画質モード]** でハイレゾ撮影の画質の選択ができます（P.213）。

ボタン
- **CP** ボタン

メニュー
- **MENU** ➡ 2 ➡ 1. コンピュテーショナル撮影 ➡ ハイレゾショット

ハイレゾショット撮影を行う

1. △▽ ボタンで **[ハイレゾショット]** を選択し、**OK** ボタンを押します。



ハイレゾショット撮影設定画面

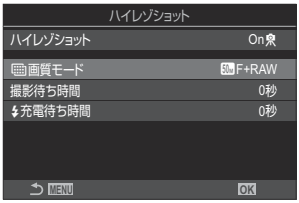
2. ◁▷ ボタンで［On🎥］（三脚）または［On📷］（手持ち）を選択し、**OK** ボタンを押します。

Off	ハイレゾショット撮影をしません。
On🎥（三脚）	カメラを三脚などで固定して撮影します。RAW 画像は、80M（10368×7776）で記録されます。
On📷（手持ち）	カメラを手持ちで撮影します。RAW 画像は、50M（8160×6120）で記録されます。

3. ハイレゾショット撮影設定画面に戻ります。

ハイレゾショット撮影の各項目を設定する

1. 各項目を設定します。
- △▽ で項目を選択し **OK** ボタンを押すと、設定メニューが表示されます。
- 設定後、**OK** ボタンを押すとハイレゾショット撮影設定画面に戻ります。



画質モード	ハイレゾ撮影の画質の選択ができます（P.213）。
撮影待ち時間	シャッターボタンを全押ししてから実際にシャッターが切れるまでの時間（撮影開始までの時間）を設定します。シャッターボタンを押したときのカメラのぶれの影響を避けるときに設定します。
充電待ち時間	専用フラッシュ以外のフラッシュを使用するときに、フラッシュが充電完了するまでの待ち時間を設定します。

撮影する

1. ハイレゾショット撮影設定画面で **MENU** ボタンを押して、撮影画面を表示します。

- 画面にアイコン※が表示されます。カメラが安定していないときは、アイコンが点滅します。カメラを安定させてアイコンが点灯に変わったら準備完了です。

  ※**[ハイレゾショット]**を**[On]**（三脚）に設定したときは が表示され、**[On]**（手持ち）に設定したときは が表示されます。

- ハイレゾショットの画質に変更されているので、画質設定を確認してください。変更するときは、スーパーコンパネを開いて設定します。

2. 撮影します。

- 緑色のアイコンが消えると撮影終了です。
- 撮影後、自動的に画像が合成されます。合成中を示す表示がされます。

- 選択可能な画質モードは JPEG（50M F または 25M F）と RAW+JPEG です。画質を RAW+JPEG にしたときは、ハイレゾショットの RAW 以外に合成前の RAW 画像（拡張子「.ORI」）を 1 枚保存します。合成前の RAW 画像は最新版の OM Workspace で再生できます。

Ⓘ**[手ぶれ補正]**（P.209）は、**[On]**（三脚）のときは自動的に**[S-IS Off]**に、**[On]**（手持ち）のときは**[S-IS Auto]**（オート）に設定されます。
Ⓘ**[On]**（手持ち）のときは、撮影待ち時間の設定は最大 1 秒に制限されます。
ⒾRC フラッシュ撮影のときは、撮影待ち時間の設定は最大 4 秒に制限され、フラッシュの発光方式は**[Manual]**に固定されます。
Ⓘハイレゾショット撮影時は、以下の機能は使用できません。
- 多重露出撮影／デジタルシフト撮影／ブラケット撮影／深度合成撮影／フィッシュアイ補正撮影／HDR 撮影／フリッカーレス撮影／ライブ ND 撮影／インターバル撮影

Ⓘハイレゾショット撮影時は、**[ドライブ /]**の設定が**[]**（静音単写）になります。**[12s]**（静音セルフタイマー 12s）/ **[2s]**（静音セルフタイマー 2s）/ **[C]**（静音カスタムセルフタイマー］は設定可能です。
Ⓘピクチャーモードが**[e ポートレート]**またはアートフィルターに設定されているときは、**[Natural]**で撮影されます。
Ⓘ蛍光灯や LED 照明などの光源下では画質が粗くなる場合があります。
Ⓘ画像のぶれなどで合成ができない場合、画質モードが**[JPEG]**のときは 1 枚目の画像を JPEG で記録します。**[RAW+JPEG]**のときは 1 枚目の RAW（.ORF）と JPEG を記録します。

CP ボタンで設定する

ボタンで設定するときは、**CP** ボタンでオンオフを切り換えることができます。
CP ボタンを押したままフロント/リアダイヤルで**【On】**（三脚）/ **【On】**（手持ち）を切り換えることができます。☞ 「**CP** ボタンを使う（コンピュテーショナル撮影）」（P.337）

明るい環境下でスローシャッター撮影をする（ライブ ND 撮影）

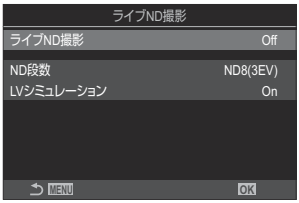
: PASMB /S&Q: PASM

複数枚の撮影をして合成をすることで、長秒時シャッターで撮影したような効果を得ることができます。

ライブ ND 撮影を行う

メニュー
- **MENU** ➡ 📷2 ➡ 1. コンピュテーショナル撮影 ➡ ライブ ND 撮影

1. △▽ ボタンで［**ライブ ND 撮影**］を選択し、**OK** ボタンを押します。



ライブ ND 撮影設定画面

2. △▽ ボタンで［**On**］を選択し、**OK** ボタンを押します。

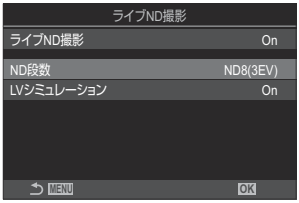
Off	通常の撮影をします。
On	スローシャッター撮影をします。

3. ライブ ND 撮影設定画面に戻ります。

ライブ ND 撮影の各項目を設定する

1. 各項目を設定します。

- △▽ で項目を選択し **OK** ボタンを押すと、設定メニューが表示されます。
- 設定後、**OK** ボタンを押すとライブ ND 撮影設定画面に戻ります。



ND 段数	露出を落とす段数を設定します。1EV ずつシャッター速度を遅く設定できます。 **［ND2(1EV)］／［ND4(2EV)］／［ND8(3EV)］／［ND16(4EV)］**
LV シミュレーション	シャッター速度の設定による画像の仕上がり具合をライブビューで確認することができます。 **［Off］**：通常の表示をします。 **［On］**：シャッター速度の設定に合わせた写り方で表示されます。

撮影する

1. ライブ ND 撮影設定画面で **MENU** ボタンを押して、撮影画面を表示します。

- 画面にアイコンが表示されます。

2. 画面で仕上がりを確認しながら、シャッター速度を設定します。

- リアダイヤルで設定します。
- シャッター速度の上限は、ND 段数により次のように変わります。
  ［ND2(1EV)］：1/30 秒
  ［ND4(2EV)］：1/15 秒
  ［ND8(3EV)］：1/8 秒
  ［ND16(4EV)］：1/4 秒

①

①シャッター速度

- **［LV シミュレーション］**が**［On］**のときは、シャッター速度の設定に応じた写り方で画面に表示されます。
- **［LV シミュレーション］**で仕上がりに近い表示をするためには、設定しているシャッター速度と同じ時間がかかります。
- 設定しているシャッター速度と同じ時間が経過すると、撮影画面のアイコンの「LV」の部分が緑色に変わります。
  LV アイコンが緑色のときは、実際の仕上がりに近い表示になっています。
- **［LV シミュレーション］**による表示は、露出補正やシャッター速度の変更を行うと、一旦リセットされます。

3. 撮影します。

- ライブ ND 撮影を終了するときは、**［ライブ ND 撮影］**の設定画面で**［Off］**を選択します。

ピクチャーモード（P.221）の**［e ポートレート］**／アートフィルターは設定できません。
ライブ ND 撮影中は、**［ISO 感度］**が 800 までに制限されます。**［ISO 感度］**が**［Auto］**に設定されている場合でも上限は 800 までになります。
以下の機能は併用できません。
- フラッシュ撮影／HDR 撮影／ハイレゾショット撮影／多重露出撮影／デジタルシフト撮影／ブラケット撮影／深度合成撮影／インターバル撮影／ フリッカースキャン／フリッカーレス撮影／フィッシュアイ補正撮影

ライブ ND 撮影時は、**［ドライブ /］**の設定が**［ □］**（静音単写）になります。**［12s］**（静音セルフタイマー 12s）／**［2s］**（静音セルフタイマー 2s）／**［C］**（静音カスタムセルフタイマー）は設定可能です。
ライブ ND 撮影は、撮像素子に届く光量を調節する ND フィルターとは異なるため、高輝度の被写体が露出オーバーで写ることがあります。

CP ボタンで設定する

CP ボタンを押しながらフロント/リアダイヤルを回して、ライブ ND 撮影の ND 段数を選択すると、ライブ ND 撮影が On になります。☞ 「**CP** ボタンを使う（コンピュテーショナル撮影）」（P.337）
再度 **CP** ボタンを押すとライブ ND 撮影が Off になります。

被写界深度の深い写真を撮影する（深度合成撮影）

P A S M B　S&Q: P A S M

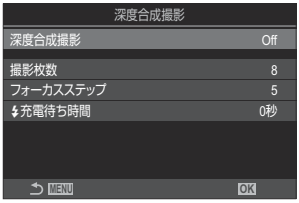
複数枚撮影した画像を合成して、1 回の撮影では得られない深い被写界深度の画像を生成します。ピントを合わせた位置を中心に、前後にピント位置を自動的に動かしながら複数枚の画像を撮影して、ピントの合っている部分をカメラ内で自動的に合成します。
マクロ撮影で被写体全体にピントを合わせたいときや、絞り値をあまり大きくせずに被写体全体にピントを得たいときにも有効です。撮影は電子シャッターによる静音撮影で行われます。

- 合成画像は、画質モードの設定に関わらず JPEG の画像で記録されます。
- 合成画像は、上下左右に約 7%分拡大された画像になります。
- シャッターボタンを全押しして撮影中に、ズーム操作やピント合わせを行うと、撮影は終了します。
- 合成に失敗した場合は、合成画像は生成されずに、設定した撮影枚数の画像のみが保存されます。
- 深度合成対応のレンズ使用時のみ、この機能が使えます。使用可能なレンズについては当社ホームページをご覧ください。
- ピクチャーモードが **［e ポートレート］** またはアートフィルター／カラープロファイル／モノクロプロファイルに設定されているときは、**［Natural］** に設定されます。

メニュー
- **MENU** ➡ 2 ➡ 1. コンピュテーショナル撮影 ➡ 深度合成撮影

深度合成撮影を行う

1. △▽ ボタンで **［深度合成撮影］** を選択し、**OK** ボタンを押します。



深度合成撮影設定画面

2. △▽ ボタンで **［On］** を選択し、**OK** ボタンを押します。

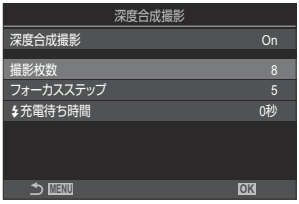
Off	通常の撮影をします。
On	深い被写界深度の画像を撮影します。

3. 深度合成撮影設定画面に戻ります。

深度合成撮影の各項目を設定する

1. 各項目を設定します。

- △▽ で項目を選択し **OK** ボタンを押すと、設定メニューが表示されます。
- 設定後、**OK** ボタンを押すと深度合成撮影設定画面に戻ります。



撮影枚数	撮影する枚数を設定します。 **[3]** ～ **[8]**
フォーカスステップ	コマごとのピント位置の移動量を設定します。 **[1]** ～ **[10]**
充電待ち時間	専用フラッシュ以外のフラッシュを併用するときに、フラッシュが充電完了するまでの待ち時間を設定します。 **[0 秒]** ／ **[0.1 秒]** ／ **[0.2 秒]** ／ **[0.5 秒]** ／ **[1 秒]** ／ **[2 秒]** ／ **[4 秒]** ／ **[8 秒]** ／ **[15 秒]** ／ **[30 秒]**

撮影する

1. 深度合成撮影設定画面で **MENU** ボタンを押して、撮影画面を表示します。

- 画面に [ ] が表示されます。
- 画面に、合成後の画像に写る範囲を示す枠が表示されます。枠内に被写体が収まるように調整してください。

2. 撮影します。
- シャッターボタンを全押しすると自動的に複数枚の撮影と画像の合成をします。

ⓘ**[深度合成撮影]**を**[On]**に設定すると、**[静音 [♥] 撮影設定]**（P.204）の**[フラッシュ]**は**[許可]**になります。
ⓘフラッシュの同調秒時は、1/50 秒です。**[ISO 感度]**が 8000 以上の場合、1/20 秒になります。
ⓘ以下の機能は併用できません。
- HDR 撮影／ハイレゾショット撮影／多重露出撮影／デジタルシフト撮影／ブラケット撮影／インターバル撮影／ フリッカースキャン／フィッシュアイ補正撮影／ライブ ND 撮影

撮影時のカメラぶれを抑えるために、別売のリモコン（P.422）の使用をおすすめします。
[静音 [♥] 撮影設定]（P.204）で、シャッターボタンを全押ししてから撮影されるまでの時間を設定できます。

CP ボタンで設定する

CP ボタンを押しながらフロント／リアダイヤルを回して、**[ ]**を選択すると、深度合成撮影が On になります。「**CP** ボタンを使う（コンピュテーショナル撮影）」（P.337）
CP ボタンを長押しすると、深度合成撮影の設定を変更できます。
再度 **CP** ボタンを押すと深度合成撮影が Off になります。

HDR（ハイダイナミックレンジ）撮影をする（HDR撮影）

:PASMB /S&Q:PASM

露出を変えて撮影した複数枚の画像を、それぞれの画像の階調が失われている部分を補うように合成することで、階調を拡大したかのような画像にします。通常だと一方の階調が失われるような輝度差の大きい被写体でも黒つぶれや白とびを防いだ画像にすることができます。

三脚などでカメラを固定して撮影してください。

メニュー
- **MENU** ➡ CAM_2 ➡ 1. コンピュテーショナル撮影 ➡ HDR 撮影

Off	HDR 撮影をしません。
HDR1 **HDR2**	1 回の撮影で自動的に露出を変えながら複数枚の撮影をしてカメラ内で合成した画像を生成します。**［HDR1］**にすると自然な風合いの仕上がりに、**［HDR2］**にすると絵画のようなアート性を強くした仕上がりになります。 • **［ISO 感度］**は、200 に固定されます。 • 設定できるシャッター速度は 4 秒までです。撮影は 15 秒まで動作します。 • ピクチャーモードは**［Natural］**に、カラー設定は**［sRGB］**に固定されます。 • HDR 合成された画像は JPEG で記録されます。画質モードが**［RAW］**のときは RAW+JPEG で記録されます。
3f 2.0EV **5f 2.0EV** **7f 2.0EV** **3f 3.0EV** **5f 3.0EV**	1 回の撮影で自動的に露出を変えながら複数枚の撮影をします。合成画像の生成は行いません。パソコンなどで HDR 合成のできるソフトウェアを使って合成してください。 ①撮影枚数 ②露出の変化量

• 画面に「HDR」が表示されます。

1. 撮影します。

- シャッターボタンを押すと、自動的に設定した枚数の撮影を行います。
- **[HDR1]** および **[HDR2]** に設定したときは、撮影後自動的にカメラ内で画像が合成されます。
- **P**／**A**／**S** モードでは露出補正ができます。

撮影中にモニターやファインダーに表示される画像は、HDR 処理された画像とは異なります。
[HDR1] および **[HDR2]** でシャッター速度を遅くして撮影すると、合成された画像にノイズが目立つ場合があります。
[HDR1] および **[HDR2]** に設定したときは、**[ドライブ /]** の設定が **[]**（静音単写）になります。**[12s]**（静音セルフタイマー 12s）/ **[2s]**（静音セルフタイマー 2s）/ **[C]**（静音カスタムセルフタイマー）は設定可能です。
以下の機能とは併用できません。

- フラッシュ撮影／ブラケット撮影／深度合成撮影／多重露出撮影／インターバル撮影／デジタルシフト撮影／ライブ ND 撮影／フィッシュアイ補正撮影／ハイレゾショット

CP ボタンで設定する

CP ボタンを押しながらフロント/リアダイヤルを回して、**[HDR1]** または **[HDR2]** を選択すると、HDR 撮影が On になります。☞「**CP** ボタンを使う（コンピュテーショナル撮影）」（P.337）
再度 **CP** ボタンを押すと HDR 撮影が Off になります。

複数の画像を重ね合わせて撮影する（多重露出撮影）

:PASMB /S&Q:PASM

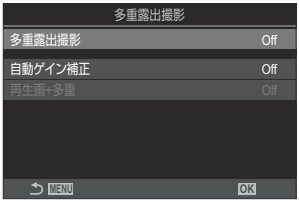
撮影した画像にもう一度撮影した画像を重ねて 1 つの画像に合成します。カードに保存されている画像を表示して重ねて撮影することもできます。
合成した画像は、撮影した画像の画質モードと同じ設定で保存されます。保存されている画像を表示して合成できるのは、RAW で記録されている画像のみです。

[画質モード] を RAW の設定で撮影すると、**[再生画+多重]** を繰り返し使うことで、3 コマ以上の撮影画像を合成することもできます。

メニュー
- **MENU** ➡ **$_2$** ➡ 1. コンピュテーショナル撮影 ➡ 多重露出撮影

多重露出撮影を行う

1. △▽ ボタンで **[多重露出撮影]** を選択し、**OK** ボタンを押します。



多重露出撮影設定画面

2. △▽ ボタンで **[On]** を選択し、**OK** ボタンを押します。

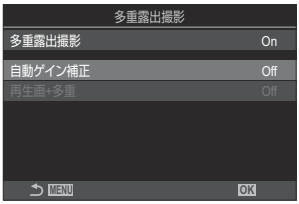
Off	通常の撮影をします。
On	2 コマの多重露出撮影をします。

3. 多重露出撮影設定画面に戻ります。

多重露出撮影の各項目を設定する

1. 各項目を設定します。

- △▽ で項目を選択し **OK** ボタンを押すと、設定メニューが表示されます。
- 設定後、**OK** ボタンを押すと多重露出撮影設定画面に戻ります。



自動ゲイン補正	**[Off]**：各コマの明るさのまま合成します。 **[On]**：合成する各コマの明るさを 1/2 にして合成します。
再生画+多重	**[Off]**：2 コマ続けて撮影した画像を合成します。 **[On]**：カードに保存されている RAW 画像と多重露出撮影します。 • **[再生画+多重]** を設定するには **[多重露出撮影]** を **[On]** に設定してください。

撮影する

1. 多重露出撮影設定画面で **MENU** ボタンを押して、撮影画面を表示します。

- モニターに ⧉ が表示されます。

2. 撮影します。

- 1 コマ目を撮影したときは、撮影画面に合成する画像が半透過で表示されます。
- 1 コマ目を撮影すると ⧉ が緑で表示されます。
- 通常の多重露出撮影では、2 コマ目を撮影すると画像が合成されます。
- 🗑 ボタンを押すと再度 1 コマ目の撮影ができます。
- 多重露出撮影を終了するとモニターの ⧉ が消えます。

CP ボタンで設定する

CP ボタンを押しながらフロント／リアダイヤルを回して、[⧉]を選択すると、多重露出撮影が On になります。☞「**CP** ボタンを使う（コンピュテーショナル撮影）」（P.337）
CP ボタンを長押しすると、多重露出撮影の設定を変更できます。
再度 **CP** ボタンを押すと多重露出撮影が Off になります。

[再生画+多重]を設定したときは

[再生画+多重]を**[On]**に設定すると画像一覧が表示されます。

1. △▽◁▷ ボタンで画像を選択し、**OK** ボタンを押します。
   - 選択できる画像は RAW 画像のみです。

2. **MENU** ボタンを押して、メニューを終了します。
   - モニターに ⧉ が表示されます。
   - 選択した画像がモニターに半透過で表示されます。

3. 撮影します。
   - 同じ再生画像を使って繰り返し多重露出撮影ができます。

- 多重露出撮影を設定すると、スリープモードには入りません。
- 他のカメラで撮影された画像を使った合成はできません。
- ハイレゾショットの RAW 画像は使用できません。
- **[再生画+多重]**を**[On]**に設定し、RAW 形式の画像を選択するときに表示される画像は、撮影時の設定で現像されたものです。
- 撮影に関する設定は、多重露出撮影を解除してから行ってください。一部設定できない機能があります。
- 次の場合は 1 枚目以降の多重露出が自動的に解除されます。
  - 電源をオフにする／▶ ボタンを押す／**MENU** ボタンを押す／電源レバーを操作する／撮影モードを変更する／電池残量がなくなる／各コネクタへのケーブルの挿入
- **[再生画+多重]**で RAW 形式の画像を選択するとき、RAW+JPEG で記録した画像は JPEG 画像が表示されます。
- **B** モードの**[Live Comp]**（ライブコンポジット撮影）では使用できません。
- 多重露出撮影時は、以下の機能は使用できません。
  - HDR 撮影／ブラケット撮影／深度合成撮影／インターバル撮影／デジタルシフト撮影／ライブ ND 撮影／フィッシュアイ補正撮影／ハイレゾショット

次の場合は**［再生画+多重］**が自動的に解除されます。このとき**［多重露出撮影］**が**［On］**だった場合は**［多重露出撮影］**も**［Off］**になります。

- 電源をオフにする
- 画像や動画の編集を行う（JPEG 編集／RAW 編集／動画編集／画像合成）
- 画像や動画の消去を行う
- カードのフォーマットを行う
- カードを抜く
- **［ストレージ］**や**［MTP］**で USB 接続を行う

［画質モード］を RAW の設定で撮影した画像は、再生モードで合成することもできます。

「画像を合成する（画像合成）」（P.318）

被写体を拡大して記録する（ デジタルテレコン／ デジタルテレコン）

:PASMB /S&Q:PASM

画像の中央部を切り出して、設定されている画質モードのサイズまで拡大して記録します。レンズの焦点距離以上の倍率で撮影できるため、レンズ交換ができないときや被写体に近づきにくいときなどに便利です。

メニュー
- **MENU** ➡ $\square_2$ ➡ 2. その他の撮影機能 ➡ デジタルテレコン
- **MENU** ➡ ➡ 1. 基本設定/画質 ➡ デジタルテレコン

Off	通常の画角で記録します。
On	被写体を拡大して記録します（静止画：2 倍／動画：1.4 倍）。

- **［On］**に設定すると、デジタルテレコンのアイコンが表示され、ライブビュー表示設定時は、画像は拡大されます。
- AF ターゲット（P.117）のサイズが大きくなり数も少なくなります。

- JPEG の画像では、実際に拡大した画像で記録されます。
  RAW 画像では、表示した部分を示す枠が表示されます。画像再生時に拡大部分に枠が表示されます。

⚠ モードで、多重露出撮影、デジタルシフト撮影、フィッシュアイ補正撮影、**SCN** モードのパノラマのときは使用できません。
⚠ S&Q モードで、撮影フレームレートが**［120fps］**のときは使用できません。
⚠ **［ デジタルテレコン］**が**［On］**のときは、拡大表示は行えません。☞「ピントを合わせる被写体を確認する（ ）」（P.53）、「拡大枠 AF／拡大 AF を使う（スーパースポット AF）」（P.122）、「マニュアルフォーカス時にピント合わせを補助する（MF アシスト）」（P.155）

一定時間ごとに自動的に撮影する（インターバル撮影）

:PASMB /S&Q:PASM

設定した間隔で自動的に撮影できます。また撮影した一連のコマを 1 つの動画として記録することもできます。

メニュー
- **MENU** ➡ 2 ➡ 2. その他の撮影機能 ➡ インターバル撮影

インターバル撮影を行う

1. △▽ ボタンで［**インターバル撮影**］を選択し、**OK** ボタンを押します。

インターバル撮影設定画面

2. △▽ ボタンで［**On**］を選択し、**OK** ボタンを押します。

Off	通常の撮影をします。
On	インターバル撮影をします。

3. インターバル撮影設定画面に戻ります。

インターバル撮影の各項目を設定する

1. 各項目を設定します。

- △▽ で項目を選択し **OK** ボタンを押すと、設定メニューが表示されます。
- 設定後、**OK** ボタンを押すとインターバル撮影設定画面に戻ります。

コマ数	撮影するコマ数を設定します。 **［002］～［9999］**
撮影開始待ち時間	インターバル撮影を開始して、最初のコマが撮影されるまでの待ち時間を設定します。 **［00:00:00］～［24:00:00］**
撮影間隔	撮影開始後の各コマの撮影間隔を設定します。 **［00:00:01］～［24:00:00］**
撮影動作	撮影時に撮影間隔を優先するか、撮影コマ数を優先するかを設定します。 **［撮影間隔優先］／［撮影コマ数優先］** **［撮影間隔優先］**を設定すると、撮影タイミングになっても前の撮影が終わっていない場合があります。 **［撮影間隔］**が短い場合や、長秒時の撮影などでは、**［コマ数］**で設定した枚数よりも、記録される画像が少なくなります。
露出平準化	コマ間の露出を平準化します。タイムラプス動画で露出変化が滑らかになります。 **［Off］／［On］**
タイムラプス動画	静止画のみの記録か、撮影後に一連のコマで動画を生成するかを設定できます。 **［Off］**：各コマを静止画として記録します。 **［On］**：静止画とともに、一連のコマで 1 つの動画を生成して記録します。

タイムラプス動画設定	**［タイムラプス動画］**で記録する動画の**［ムービーサイズ］**と**［フレームレート］**を設定します。 **［ムービーサイズ］**は以下の選択肢から設定します。 **［4K］**／**［FullHD］** **［フレームレート］**は以下の選択肢から設定します。 **［30fps］**／**［15fps］**／**［10fps］**／**［5fps］**

ⓘ**［撮影開始待ち時間］［撮影間隔］［撮影予定時刻］**は設定によってずれる場合があります。目安としてお使いください。

撮影する

1. インターバル撮影設定画面で **MENU** ボタンを押して、撮影画面を表示します。

- 撮影画面に戻ると、画面に 🎞 と設定したコマ数が表示されます。

2. 撮影します。

- 自動的に設定したコマ数を撮影します。

- 🎞 が緑で表示され、残り撮影枚数を表示します。
- 撮影開始後に次の操作をすると、インターバル撮影は終了します。
  モードダイヤル／**MENU** ボタン／▶ ボタン／レンズ取り外しボタン／パソコンとの USB 接続
- 電源を切るとインターバル撮影を終了します。

ⓘAF 後、ピントが合わなくても撮影されます。ピント位置を固定したいときは MF で撮影してください。

ⓘ**［撮影画像の確認時間］**（P.54）は 0.5 秒で動作します。

ⓘ撮影開始待ち時間、撮影間隔の設定を 1 分 31 秒以上にすると、1 分でモニターを消灯してカメラの電源がオフになります。撮影 10 秒前に自動的に復帰します。またモニター消灯中は、シャッターボタンを押しても復帰します。

- AF 方式（P.111）が［C-AF］、［C-AF+TR］では［S-AF］に設定され、［C-AF MF］、［C-AF+TR MF］では［S-AF MF］に設定されます。
- AF 方式（P.111）を［AF］にしている場合、最初にピント合わせを行い、撮影が開始してからはピントを固定して撮影します。
- インターバル撮影中は、タッチ操作は受け付けません。
- ハイレゾショット、HDR 撮影、ブラケット撮影、深度合成撮影、多重露出撮影、ライブ ND 撮影とは併用できません。
- 撮影間隔より、フラッシュの充電時間が長いときは、フラッシュは発光しません。
- ［コマ数］の設定が 1000 枚以上のときは、［タイムラプス動画］は［Off］になります。
- 撮影した静止画が正しく記録されてない場合は、タイムラプス動画は生成されません。
- カード残量が不足した場合、タイムラプス動画は記録されません。
- 電池残量が少なくなると途中で撮影を終了します。十分に充電した電池をお使いいただくか、USB-AC アダプターや市販のモバイルバッテリーなどを接続して撮影を行ってください。

台形補正をする／遠近感を強調する（デジタルシフト撮影）

P:PASMB S&Q:PASM

建物などを撮影したとき、レンズの焦点距離や距離の影響で台形に歪んで写るのを正しい形に補正したり、正しい形状を歪めて遠近感を強調した画像を撮影できます。画面で効果を見ながら、補正量を設定します。補正した画像は元の画像から切り出されるので、少し拡大されます。

メニュー
- **MENU** ➡ 2 ➡ 2. その他の撮影機能 ➡ デジタルシフト撮影

Off	デジタルシフト撮影をしません。
On	デジタルシフト撮影をします。

- **[On]** に設定すると、デジタルシフトのアイコンが表示され、モニターにスライダーが表示されます。

1. 画面を見ながら補正をして構図を決めます。
- フロントダイヤルで左右方向、リアダイヤルで上下方向の補正をします。
- △ ▽ ◁ ▷ で画像の切り出す範囲を決めます。切り出しできる方向に ▲ が表示されます。
- **OK** ボタンを長押しすると、設定がリセットされます。

2. 絞りやシャッター速度などの撮影機能を設定するときは、**INFO** ボタンを押します。
- 通常の撮影画面に戻ります。
- デジタルシフトがオンになっている間は、画面に が表示されています。デジタルシフトの補正が設定されているときは緑色の表示になります。
- デジタルシフトの設定に戻るときは、繰り返し **INFO** ボタンを押して手順 1 の画面を表示します。

3. 撮影します。

- 補正の度合いによっては、画像が粗くなります。また、切り出し時の倍率は大きくなったり、切り出し位置の移動ができなくなります。
- 補正量によっては、切り出し範囲の移動ができない場合があります。
- 補正の度合いによっては、AF ターゲットが表示範囲内に収まらない場合があります。ピントの合った AF ターゲットが表示範囲の外にあるときは、画面に ↑、↓、←、→ が表示されます。
- 画質モードが［**RAW**］のときは、RAW+JPEG で記録されます。
- デジタルシフト撮影時は、以下の機能は使用できません。
  - コンポジット撮影／連写／ブラケット撮影／深度合成撮影／HDR 撮影／多重露出撮影／ライブ ND 撮影／フィッシュアイ補正撮影／デジタルテレコン／動画撮影／AF 方式の［**C-AF**］、［**C-AF MF**］、［**C-AF+TR**］、［**C-AF+TR MF**］／ピクチャーモードの［**e ポートレート**］、アートフィルター／カスタムセルフタイマー／ハイレゾショット撮影／📷 被写体検出
- コンバーターレンズをお使いの場合は、意図どおりに補正できない場合があります。
- マイクロフォーサーズ／フォーサーズ以外のレンズを使うときは、［📷 **手ぶれ補正**］で焦点距離設定をしてください（P.209）。
  ［📷 **手ぶれ補正**］（P.209）で焦点距離を設定しているとき、または［**レンズ情報登録**］（P.373）で焦点距離が設定されたレンズを使用するときは、設定値に従って補正されます。

フィッシュアイレンズ使用時の画像の歪みを補正する（フィッシュアイ補正撮影）

:PASMB **/S&Q:PASM**

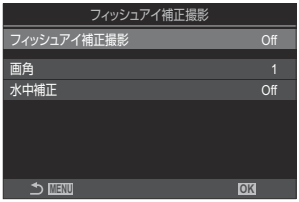
フィッシュアイレンズを使ったときの画面の歪みを補正して、超広角レンズを使ったような撮影ができます。3 つの補正のレベルから選べます。また、水中撮影時に発生する歪みを同時に補正する設定もあります。

- 対応するフィッシュアイレンズを装着した場合のみ設定できます。
  M.ZUIKO DIGITAL ED 8mm F1.8 Fisheye PRO（2026 年 9 月現在）

メニュー
- **MENU** ➡ **$\square_2$** ➡ 2. その他の撮影機能 ➡ フィッシュアイ補正撮影

フィッシュアイ補正撮影を行う

1. △▽ ボタンで**［フィッシュアイ補正撮影］**を選択し、**OK** ボタンを押します。



フィッシュアイ補正撮影設定画面

2. △▽ ボタンで**［On］**を選択し、**OK** ボタンを押します。

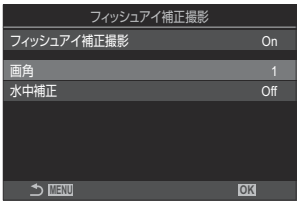
Off	通常の撮影をします。
On	フィッシュアイ補正撮影をします。

3. フィッシュアイ補正撮影画面に戻ります。

フィッシュアイ補正撮影の各項目を設定する

1. 各項目を設定します。

- △▽ で項目を選択し **OK** ボタンを押すと、設定メニューが表示されます。
- 設定後、**OK** ボタンを押すとフィッシュアイ補正撮影設定画面に戻ります。

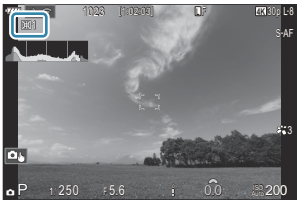


画角	レンズによる歪みを補正した上で画面にけられがない範囲で切り出します。3 つの切り出す範囲を選択できます。 **[1]** ／ **[2]** ／ **[3]**
水中補正	**[画角]** による補正に加えて、水中で撮影する際の画角に補正します。 **[Off]** ／ **[On]**

撮影する

1. フィッシュアイ補正撮影設定画面で **MENU** ボタンを押して、撮影画面を表示します。

- フィッシュアイ補正撮影がオンになっている間は画面に 🖼 と選択した画角が表示されます。



2. 撮影します。

Ⓘ画質モードが **[RAW]** のときは、RAW+JPEG で記録されます。RAW 画像は補正なしで記録されます。
Ⓘフィッシュアイ補正撮影中は、ピーキング表示はできません。
ⓘAF ターゲットは、**[・]**Single-S または **[・]**Single のみになります。

フィッシュアイ補正撮影時は、以下の機能は使用できません。

- コンポジット撮影／連写／ブラケット撮影／深度合成撮影／HDR 撮影／多重露出撮影／ライブ ND 撮影／デジタルシフト撮影／デジタルテレコン／動画撮影／AF 方式の **[C-AF]**、**[C-AF MF]**、**[C-AF+TR]**、**[C-AF+TR MF]** ／ピクチャーモードの **[e ポートレート]**、アートフィルター／カスタムセルフタイマー／ハイレゾショット撮影／ 被写体検出

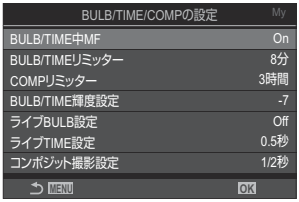
バルブ/タイム/コンポジット撮影時の設定をする（BULB/TIME/COMP の設定）

:PASMB /S&Q:PASM

バルブ撮影、タイム撮影、コンポジット撮影に関する項目を設定します。

メニュー
- **MENU** ➡ C_2 ➡ 2. その他の撮影機能 ➡ BULB/TIME/COMP の設定

1. 各項目を設定します。
- △▽ で項目を選択し **OK** ボタンを押すと、設定メニューが表示されます。



BULB/TIME 中 MF	**B**（バルブモード）で、露光中にマニュアルフォーカスでピント位置を変更します。露光中にピントを外したり、露光終わりのタイミングでピントを合わせるなどの技法を使った撮影ができます。 **[Off]**：露光中、ピント位置のマニュアル操作はできません。 **[On]**：露光中、ピント位置をマニュアル操作できます。
BULB/TIME リミッター	バルブ撮影、タイム撮影の最長時間を設定します。 **[30 分]** ／ **[25 分]** ／ **[20 分]** ／ **[15 分]** ／ **[8 分]** ／ **[4 分]** ／ **[2 分]** ／ **[1 分]**
COMP リミッター	コンポジット撮影の最長時間を設定します。 **[6 時間]** ／ **[5 時間]** ／ **[4 時間]** ／ **[3 時間]** ／ **[2 時間]** ／ **[1 時間]** ／ **[30 分]** ／ **[25 分]** ／ **[20 分]** ／ **[15 分]** ／ **[8 分]** ／ **[4 分]**
BULB/TIME 輝度設定	**B**（バルブモード）で撮影時のモニターの明るさを設定します。 **[-7]** ～ **[±0]** ～ **[+7]**

ライブ BULB 設定	バルブ撮影中の画面表示の間隔を設定します。更新回数には制限があります。**［Off］**にすると表示しません。 **［60 秒］／［30 秒］／［15 秒］／［8 秒］／［4 秒］／［2 秒］／［1 秒］／［0.5 秒］／［Off］**
ライブ TIME 設定	タイム撮影中の画面表示の間隔を設定します。更新回数には制限があります。**［Off］**にすると表示しません。 **［60 秒］／［30 秒］／［15 秒］／［8 秒］／［4 秒］／［2 秒］／［1 秒］／［0.5 秒］／［Off］**
コンポジット撮影設定	コンポジット撮影時に基準となる露出時間を設定します。 **［60 秒］／［50 秒］／［40 秒］／［30 秒］／［25 秒］／［20 秒］／［15 秒］／［13 秒］／［10 秒］／［8 秒］／［6 秒］／［5 秒］／［4 秒］／［3.2 秒］／［2.5 秒］／［2 秒］／［1.6 秒］／［1.3 秒］／［1 秒］／［1/1.3 秒］／［1/1.6 秒］／［1/2 秒］**

露出を変えた画像を複数枚記録する（AE BKT）

P:PASMB S&Q:PASM

露出を変えた画像を記録します。露出の変化量と撮影する枚数の組み合わせを設定します。露出の設定を変更して複数枚撮影します。シャッターボタンを全押しし続けると設定した枚数を撮影して撮影が止まります。

メニュー
- **MENU** ➡ $\square_2$ ➡ 3. ブラケット撮影 ➡ AE BKT

Off	通常の撮影をします。
3f 0.3EV	露出変更量は 0.3EV、撮影枚数は 3 枚で撮影します。
3f 0.7EV	露出変更量は 0.7EV、撮影枚数は 3 枚で撮影します。
3f 1.0EV	露出変更量は 1.0EV、撮影枚数は 3 枚で撮影します。
5f 0.3EV	露出変更量は 0.3EV、撮影枚数は 5 枚で撮影します。
5f 0.7EV	露出変更量は 0.7EV、撮影枚数は 5 枚で撮影します。
5f 1.0EV	露出変更量は 1.0EV、撮影枚数は 5 枚で撮影します。
7f 0.3EV	露出変更量は 0.3EV、撮影枚数は 7 枚で撮影します。
7f 0.7EV	露出変更量は 0.7EV、撮影枚数は 7 枚で撮影します。

設定枚数の撮影が終了していないときは、「BKT」が緑で表示されます。適正露出、－補正、＋補正の順番で記録されます。

露出変更量は撮影モードによって以下の項目を制御して行います。

P（プログラム AE）	絞り値とシャッター速度の両方
A（絞り優先 AE）	シャッター速度
S（シャッター速度優先 AE）	絞り値
M（マニュアル）	• シャッター速度（**[ISO 感度]**が**［Auto］**以外のとき） • ISO 感度（**[ISO 感度]**が**［Auto］**のとき）

- あらかじめ露出補正を設定しているときは、その設定を中心に＋補正、－補正されます。
- **［露出ステップ］**（P.166）を変更すると、露出変更量も変わります。

フラッシュブラケット撮影（P.275）、フォーカスブラケット撮影（P.279）との併用はできません。

ホワイトバランスを変えた画像を複数枚記録する（WB BKT）

:PASMB /S&Q:PASM

ホワイトバランスを変えた画像を記録します。特定の色方向に対して、補正量を設定します。
撮影は 1 回で終わります。シャッターボタンを全押しすると、その画像を元に自動的に補正した画像を作成します。

メニュー
- **MENU** ➡ $\blacksquare_2$ ➡ 3. ブラケット撮影 ➡ WB BKT

A-B	A–B（アンバー – 青）の補正量を設定します。 **［Off］**／**［3f 2Step］**／**［3f 4Step］**／**［3f 6Step］**
G-M	G–M（緑 – 赤紫）の補正量を設定します。 **［Off］**／**［3f 2Step］**／**［3f 4Step］**／**［3f 6Step］**

撮影枚数は 1 つの色方向に対して 3 枚です。
補正なし、ステップ分 – 補正、ステップ分 + 補正の順番で記録されます。
あらかじめホワイトバランスの補正を設定しているときは、その設定を中心に補正されます。

ⓘ アートフィルターブラケット撮影（P.277）、フォーカスブラケット撮影（P.279）との併用はできません。

フラッシュの発光量を変えた画像を複数枚記録する（FL BKT）

:PASMB /S&Q:PASM

フラッシュの発光量を変えた画像を記録します。フラッシュの発光量の補正量と撮影する枚数の組み合わせを設定します。シャッターボタンを全押しするごとに、発光量を変更して撮影されます。設定した枚数分の撮影をする必要があります。連写の設定のときは、シャッターボタンを全押しし続けると設定した枚数を撮影して撮影が止まります。

メニュー
- **MENU** ➡ 📷_2 ➡ 3. ブラケット撮影 ➡ FL BKT

Off	通常の撮影をします。
3f 0.3EV	フラッシュ発光の補正量は 0.3EV、撮影枚数は 3 枚で撮影します。
3f 0.7EV	フラッシュ発光の補正量は 0.7EV、撮影枚数は 3 枚で撮影します。
3f 1.0EV	フラッシュ発光の補正量は 1.0EV、撮影枚数は 3 枚で撮影します。

設定枚数の撮影が終了していないときは、「BKT」が緑で表示されます。補正なし、－補正、＋補正の順番で記録されます。
あらかじめ露出補正を設定しているときは、その設定を中心に＋補正、－補正されます。

[露出ステップ]（P.166）を変更すると、フラッシュ発光の補正量も変わります。
AE ブラケット撮影（P.272）、フォーカスブラケット撮影（P.279）との併用はできません。

ISO 感度の変更により露出を変えた画像を複数枚記録する（ISO BKT）

📷:PASMB 🎬/S&Q:PASM

絞り値とシャッター速度の設定を変えずに、ISO 感度を変更して露出を変えて画像を記録します。露出の変化量と撮影する枚数の組み合わせを設定します。撮影は 1 回で終わります。シャッターボタンを全押しすると、その画像をもとに自動的に補正した画像を作成します。

メニュー
- **MENU** ➡ 📷2 ➡ 3. ブラケット撮影 ➡ ISO BKT

Off	通常の撮影をします。
3f 0.3EV	露出変更量は 0.3EV、撮影枚数は 3 枚で撮影します。
3f 0.7EV	露出変更量は 0.7EV、撮影枚数は 3 枚で撮影します。
3f 1.0EV	露出変更量は 1.0EV、撮影枚数は 3 枚で撮影します。

適正露出、－補正、＋補正の順番で記録されます。
ISO 感度の設定により、絞り値とシャッター速度の設定が適正露出でないときは、その設定を中心に＋補正、－補正されます。

- **[📷ISO オート上限/基準値]** で設定した上限とは関係なくブラケット撮影が行われます。
- 静音撮影時は、フラッシュの同調秒時は 1/20 秒になります。
- **[ISO 感度ステップ]**（P.179）を変更しても、補正量は変化しません。
- アートフィルターブラケット撮影（P.277）、フォーカスブラケット撮影（P.279）との併用はできません。

複数のアートフィルターの設定を適用した画像を同時に記録する（ART BKT）

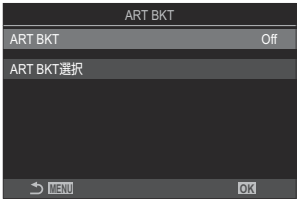
: PASMB　/S&Q: PASM

複数のアートフィルターの設定を適用した画像を同時に記録します。

アートフィルターブラケット撮影を行う

メニュー
- **MENU** ➡ $\square_2$ ➡ 3. ブラケット撮影 ➡ ART BKT

1. △▽ ボタンで［**ART BKT**］を選択し、**OK** ボタンを押します。



ART BKT 撮影設定画面

2. △▽ ボタンで［**On**］を選択し、**OK** ボタンを押します。

Off	通常の撮影をします。
On	アートフィルターブラケット撮影をします。

3. ART BKT（アートフィルターブラケット）撮影設定画面に戻ります。

アートフィルターブラケット撮影の項目を設定する

1. ART BKT 設定画面で［**ART BKT 選択**］を選択し、**OK** ボタンを押します。

2. 設定を適用するアートフィルターを選択し、✓（チェック）を付けます。

- △▽ で項目を選択し **OK** ボタンを押すとチェックボックスに ✓（チェック）が表示されます。
  チェックを解除するときは再度 **OK** ボタンを押します。
- チェックボックスをタッチしても ✓（チェック）をつけたり解除することができます。

ART BKT 選択	適用したいアートフィルターを設定します。アートフィルターの他に、［**Vivid**］［**Natural**］［**Flat**］などのピクチャーモードも設定できます。

ⓘ適用するアートフィルターが多いと撮影後に画像の記録に時間がかかる場合があります。
ⓘAE BKT（P.272）、FL BKT（P.275）以外のブラケット撮影の併用はできません。

撮影する

1. ART BKT 撮影設定画面で **MENU** ボタンを押して、撮影画面を表示します。

2. シャッターボタンを一度全押しすると、その画像をもとに自動的にアートフィルターを適用した画像を作成します。

ピント位置を変えた画像を複数枚記録する（Focus BKT）

P A S M B　S&Q: P A S M

ピント位置を変えた画像を記録します。ピント位置の間隔と撮影する枚数を設定します。撮影は 1 回で終わります。シャッターボタンを全押しすると、1 コマずつピント位置を変化させながら、設定枚数撮影します。撮影は電子シャッターによる静音撮影で行われます。

マイクロフォーサーズ規格の AF レンズ使用時のみフォーカスブラケット撮影が可能です。

フォーカスブラケット撮影を行う

メニュー
- **MENU** ➡ 📷2 ➡ 3. ブラケット撮影 ➡ Focus BKT

1. △▽ ボタンで［**Focus BKT**］を選択し、**OK** ボタンを押します。

Focus BKT 設定画面

2. △▽ ボタンで［**On**］を選択し、**OK** ボタンを押します。

Off	通常の撮影をします。
On	フォーカスブラケット撮影をします。

3. Focus BKT（フォーカスブラケット）撮影設定画面に戻ります。

フォーカスブラケット撮影の各項目を設定する

1. 各項目を設定します。
- △▽ で項目を選択し **OK** ボタンを押すと、設定メニューが表示されます。
- 設定後、**OK** ボタンを押すとフォーカスブラケット撮影設定画面に戻ります。

撮影枚数	ピント位置を動かしながら撮影する枚数を設定します。 **［003］～［999］**
フォーカスステップ	コマごとのピント位置の移動量を設定します。 **［1］～［10］**
充電待ち時間	専用フラッシュ以外のフラッシュを併用するときに、フラッシュが充電完了するまでの待ち時間を設定します。 **［0 秒］／［0.1 秒］／［0.2 秒］／［0.5 秒］／［1 秒］／［2 秒］／［4 秒］／［8 秒］／［15 秒］／［30 秒］**

撮影する

1. Focus BKT（フォーカスブラケット）撮影設定画面で **MENU** ボタンを押して、撮影画面を表示します。

2. シャッターボタンを全押しします。
- 設定した枚数を終えるまで撮影を続けます。
- 途中で撮影を終了するときはもう一度シャッターボタンを全押しします。
- 設定したフォーカスステップごとにピント位置を移動しながら撮影します。途中で無限遠に達したら撮影は終了します。

Ⓘシャッターボタンを全押しして自動的に撮影している間に、ズーム操作やピント合わせを行うと撮影は終了します。
Ⓘ**［Focus BKT］**を**［On］**に設定すると、**［静音［♥］撮影設定］**（P.204）の**［フラッシュ］**は**［許可］**になります。

他のブラケット撮影との併用はできません。
フラッシュの同調秒時は、1/50 秒です。［**ISO 感度**］が 8000 以上の場合、1/20 秒になります。

動画専用の機能

録音の設定をする（録音の設定）

:PASMB /S&Q:PASM

録画時の音声の記録について設定します。カメラに外部レコーダーやマイクを接続して使うときの設定もできます。

メニュー
- **MENU** ➡ 🎥 ➡ 5. 録音/接続 ➡ 録音の設定

録音レベル調整	マイクの感度を設定します。内蔵のステレオマイク、外部マイクそれぞれの感度を設定できます。 **[内蔵 🎙]**：カメラのステレオマイクの設定をします。 **[-10]** ～ **[0]** ～ **[+10]** **[MIC🎙]**：マイク端子に接続した外部マイクの設定をします。 **[-10]** ～ **[0]** ～ **[+10]**
🎙 入力リミッター	マイクが拾う音量に制限をかけます。一定量より大きいときは自動的に音量を抑えることができます。 **[Off]**：マイクが拾う音量に制限をかけません。 **[On]**：マイクが拾う音量に制限をかけます。
風切り音低減	録音時の風による雑音を低減します。 **[Off]**：風による雑音を低減しません。 **[弱]** ／ **[標準]** ／ **[強]**：雑音低減の強さを設定します。
録音レート	音声の記録フォーマットを設定します。 **[96kHz/24bit]**：高音質の音声フォーマット **[48kHz/16bit]**：標準の音声フォーマット

プラグインパワー	通常は変更する必要はありません。ご使用の外部マイクがプラグインパワー不要で、電力を供給することでノイズが録音される場合は**［Off］**に設定してください。 **［Off］**：カメラから外部マイクに電力を供給しません。 **［On］**：カメラから外部マイクに電力を供給します。
カメラ側録音調整	外部マイク接続時のみ設定できます。**［無効］**にすると、カメラ側での録音調整（**［録音レベル調整］**、**［入力リミッター］**、**［風切り音低減］**）は動作しません。 **［有効］**：カメラ側での録音調整を行います。 **［無効］**：カメラ側での録音調整を行いません。外部マイクから入力された音がそのまま記録されます。

以下の場合には録音できません。
- 電源レバーが S&Q のとき／ピクチャーモードが ART 7Ⅰ/ART 7Ⅱ（ジオラマ）のとき

音声は設定した**［録音レート］**に対応した機器以外では再生されません。

動画撮影中の録音では、レンズの駆動音やカメラの操作音が入ることがあります。
気になるときは、**［AF 方式］**（P.111）を**［S-AF］**、**［MF］**または**［Pre MF］**にして撮影したり、ボタンをなるべく押さないようにするなど、音の発生を抑えてください。

記録するタイムコードを設定する（タイムコード設定）

:PASMB　/S&Q:PASM

タイムコードの設定をします。編集などで映像や音声を同期させるために使用します。タイムコードの付け方の設定を選択できます。

メニュー
- **MENU** ➡ 🎞 ➡ 5. 録音/接続 ➡ タイムコード設定

タイムコードモード	タイムコードの記録方法を設定します。時間を厳密に記録する必要のあるときに使用します。 **[DF]**：ドロップフレームタイムコードで記録します。実際の記録時間とのずれの補正をします。 **[NDF]**：ノンドロップフレームタイムコードで記録します。実際の記録時間とのずれを補正しません。
カウントアップ方式	タイムコードのカウント方法を設定します。 **[レックラン]**：動画記録中のみカウントします。 **[フリーラン]**：電源オフ中も含めた録画停止中もカウントし続けます。
タイムコード値設定	カウント開始時のタイムコードの設定をします。 **[リセット]**：00:00:00:00 に設定します。 **[手動入力]**：タイムコードの値を自分で設定します。 **[現在時刻]**：現時刻に設定してフレームを 00 に設定します。

ⓘ **[タイムコード値設定]** を **[現在時刻]** に設定して使用する場合は、あらかじめカメラの時刻が正しいことを確認してください。☞ 「日付・時刻を設定する（日時設定）」（P.391）
ⓘ S&Q モードで、撮影フレームレートが **[120fps]** のときは、タイムコードは記録されません。

HDMI 機器への出力設定をする（HDMI 出力）

:PASMB /S&Q:PASM

HDMI 接続した機器に出力する信号の設定をします。カメラからレコーダーをコントロールする設定や編集用のタイムコードをつける設定ができます。

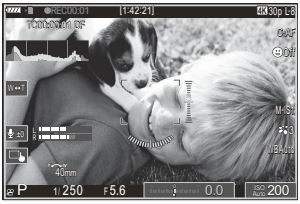
メニュー
- **MENU** ➡ ➡ 5. 録音/接続 ➡ HDMI 出力

出力モード設定	**[モニターモード]**：HDMI 接続機器を外部モニターとして使用します。映像とカメラの情報表示を出力します。出力の設定は**[HDMI 接続設定]**で設定します（P.383）。 **[記録モード]**：カメラが モード／S&Q モードでライブビュー画面を表示しているとき、HDMI 接続機器を外部レコーダーとして使用します。映像のみ出力します。画像サイズや音声の設定はカメラの設定に従います。 ムービーサイズが**[4K]**または**[C4K]**のときは**[モニターモード]**に固定されます。
REC トリガー	HDMI 接続機器を外部レコーダーとして使用するとき、カメラの録画開始／停止に合わせて外部機器をコントロールします。 REC トリガーによる録画コントロールに対応した機器で使用できます。 **[Off]**：REC トリガーを使用しません。 **[On]**：REC トリガーで外部機器をコントロールします。
タイムコード	タイムコードを外部機器に出力します。出力方法は、**[タイムコード設定]**に従います（P.284）。 **[Off]**：タイムコードを外部機器に出力しません。 **[On]**：タイムコードを外部機器に出力します。

動画撮影中に画面に赤枠を表示する（動画撮影中の赤枠表示）

:PASMB /S&Q:PASM

動画の撮影中であることが分かりやすいように、画面の外周に赤枠を表示させることができます。



メニュー

- **MENU** ➡ 🎥 ➡ 6. 撮影アシスト ➡ 動画撮影中の赤枠表示

Off	動画の撮影中に赤枠を表示しません。
On	動画の撮影中に赤枠を表示します。

動画撮影中にランプを点灯する（録画ランプ）

:PASMB /S&Q:PASM

動画の撮影中であることが分かりやすいように、カメラ前面のランプを点灯させることができます。

メニュー
- **MENU** ➡ 🎥 ➡ 6. 撮影アシスト ➡ 録画ランプ

Off	動画録画中にカメラ前面のランプを点灯しません。
弱	動画録画中にカメラ前面のランプを点灯します。
強	

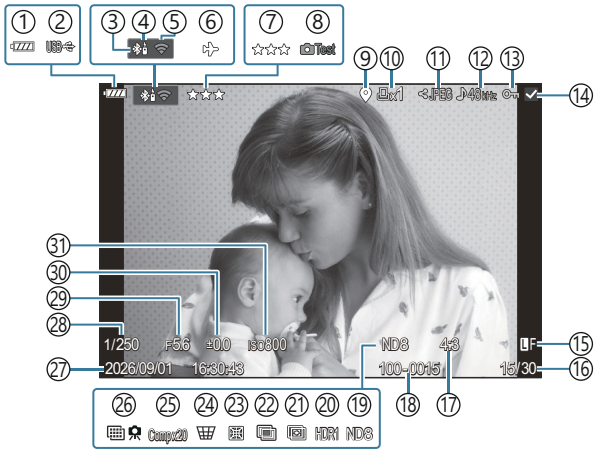
- 以下の場合、動画録画ランプはゆっくり点滅します。
  - 電池残量が少なくなったとき
  - カメラの内部温度が上昇したとき
  - 撮影可能時間が少なくなったとき
- 電池やカードの残量が無くなったり、カメラの内部温度がさらに上昇すると、動画撮影が終了し、動画録画ランプは速く点滅します。

再生する

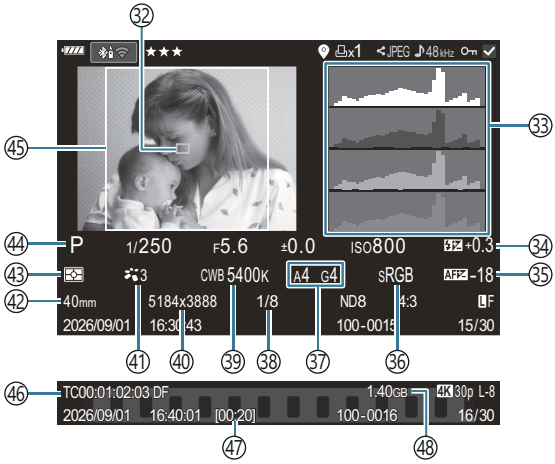
再生時の情報表示

再生画像情報

標準表示



総合表示



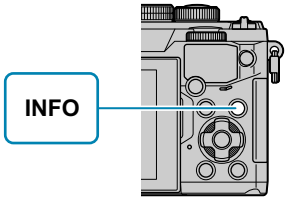
①電池残量（P.38）
②給電（P.418）
③**Bluetooth**®接続中（P.403、P.420）
④リモコン（P.420）
⑤無線 LAN 接続（P.400）
⑥機内モード（P.398）
⑦レーティング（P.307）
⑧試し撮り撮影（P.329）
⑨GPS 位置情報あり（P.410）
⑩プリント予約
　プリント枚数（P.310）
⑪シェア予約（P.305）
⑫録音（P.282）
⑬プロテクト（保護）（P.300）
⑭画像選択（P.309）
⑮画質モード（P.213、P.214）
⑯コマ番号/全コマ枚数
⑰アスペクト比（P.219）
⑱ファイル番号（P.371）
⑲ライブ ND（P.247）
⑳HDR 画像（P.254）
㉑深度合成（P.251）
㉒多重露出撮影（P.256）
㉓フィッシュアイ補正（P.267）
㉔デジタルシフト（P.265）
㉕コンポジット撮影
　コンポジット合成枚数（P.69）
㉖ハイレゾショット（P.243）
㉗日時（P.391）
㉘シャッター速度（P.56、P.61）
㉙絞り値（P.56、P.59）
㉚露出補正（P.163）
㉛ISO 感度（P.177）
㉜AF ターゲット表示（P.117）
㉝ヒストグラム（P.47）
㉞フラッシュ補正（P.192）
㉟AF 微調節（P.143）
㊱色空間（P.241）
㊲ホワイトバランス補正値（P.235、P.238）
㊳圧縮率（P.213）
㊴WB モード（P.233）
㊵ピクセルサイズ（P.213）
㊶ピクチャーモード（P.221）
㊷焦点距離
㊸測光方式（P.170）
㊹撮影モード（P.56）
㊺アスペクト枠（P.219）
㊻タイムコード[1]（P.284）
㊼動画記録時間[1]（P.500）
㊽動画ファイルサイズ[1]（P.500）

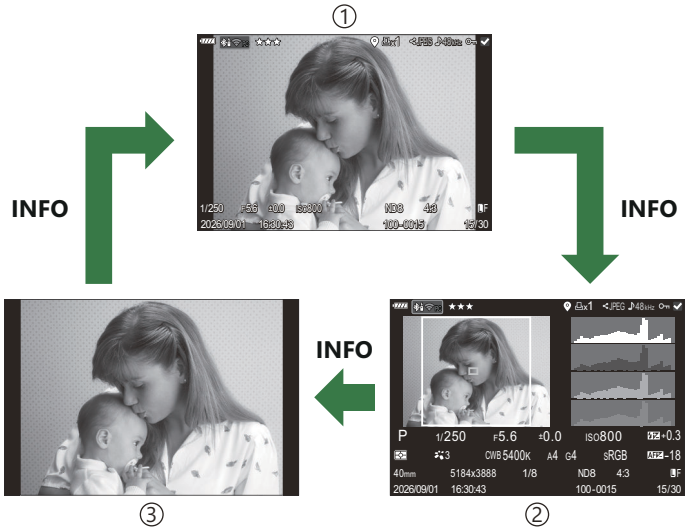
1 動画再生時のみの表示です。

情報表示を切り換える

ボタン
- **INFO** ボタン

INFO ボタンを押すたびに再生時の情報表示の切り換えができます。





①標準表示
②総合表示
③表示 Off

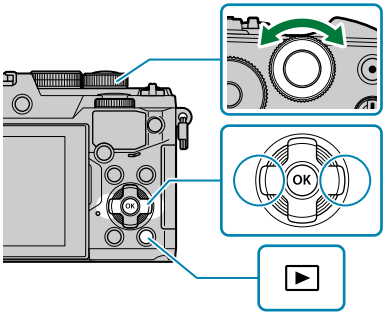
表示する内容を設定できます。☞「再生時の情報画面の設定をする（▶Info 表示）」（P.325）

撮った画像／動画を見る

静止画を見る

1. ▶ ボタンを押します。

- 最後に撮影した画像が表示されます。
- フロントダイヤルや十字ボタンで画像が切り換わります。
- シャッターボタンを半押しすると撮影画面に戻ります。



静止画

リアダイヤル（）	表示の拡大（）／インデックス（）
フロントダイヤル（）	コマ戻し（）／コマ送り（） 拡大再生中も操作できます。
十字ボタン（△▽◁▷）	1コマ再生：コマ送り（▷）／コマ戻し（◁）／再生音量調節（△▽） クローズアップ再生：クローズアップ位置の変更 インデックス再生／カレンダー再生：画像の選択
INFO ボタン	画像情報の表示
☑ ボタン	画像の選択（P.309）
★ ボタン	画像のレーティング（P.307）
O-n ボタン	画像のプロテクト（P.300）
🗑 ボタン	画像の消去（P.301）

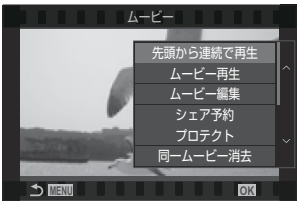
OK ボタン	再生ダイレクトメニューの表示（カレンダー再生中に押すと 1 コマ再生に戻ります。）

動画を見る

1. ▶ ボタンを押します。
- 最後に撮影した画像が表示されます。

動画

2. 動画を選んで **OK** ボタンを押します。
- 再生ダイレクトメニューが表示されます。



3. **［ムービー再生］**を選択し、**OK** ボタンを押します。
- 動画再生が始まります。
- ◁/▷ で早送り、早戻しします。
- **OK** ボタンを再度押すと一時停止します。一時停止中は、△ ボタンで先頭のフレーム、▽ ボタンで最後のフレームを表示します。◁▷ ボタンまたはフロントダイヤルでコマ戻し／コマ送りします。
- **MENU** ボタンを押すと再生を終了します。

分割された動画の連続再生

長時間撮影した動画は、ファイルサイズが 4GB を、もしくは撮影時間が 2 時間を超えると、自動的にファイルを分割して記録を続けます（P.86）。自動的に複数に分割された動画は、一つの動画として連続して再生することもできます。

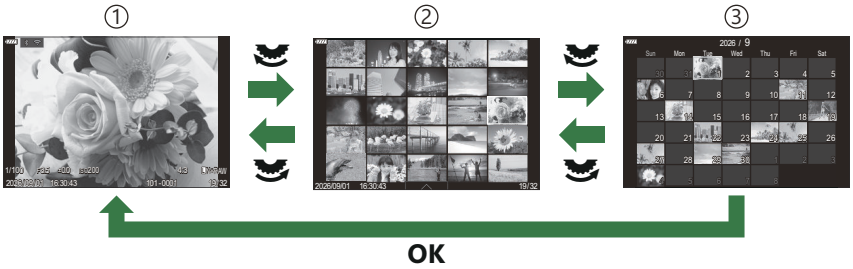
1. ▶ ボタンを押します。
- 最後に撮影した画像が表示されます。

2. 再生したい長時間動画コマを表示して **OK** ボタンを押します。
- 次のメニューが表示されます。
  [先頭から連続で再生]：分割された動画を通して再生
  [ムービー再生]：ファイル別に再生
  [同一ムービー消去]：分割された動画をすべて消去
  [1 コマ消去]：ファイル別に消去

パソコンでの動画再生には最新版の OM Workspace をおすすめします（P.413）。はじめてソフトウェアをお使いになる際は、カメラをパソコンに接続してからソフトウェアを起動してください。

画像をすばやく探す（インデックス再生／カレンダー再生）

- 1コマ再生でリアダイヤルを ▦ に回すとインデックス再生します。さらに回すと、カレンダー再生に変わります。
- リアダイヤルを 🔍 に回すと1コマ再生に戻ります。



①1コマ再生
②インデックス再生
③カレンダー再生

インデックス再生のコマ数を変更できます。☞「インデックス表示の設定をする（▦ 表示）」（P.327）

画像を拡大して見る（拡大再生）

①再生画面
②拡大枠表示
③拡大表示中スクロール画面

[🔍]（拡大）を割り当てたボタン（P.328）を押すと、ピントが合った位置または被写体を検出した位置に拡大枠を表示します。再度押すと拡大表示します。拡大表示中は △▽◁▷ で画面をスクロールできます。

- 拡大枠表示や拡大位置スクロールの設定を変更できます。☞ 「拡大再生時の表示を設定する（▶🔍Info 表示）」（P.326）
- リアダイヤルで拡大倍率を変更することができます。
- **OK** ボタンを押すと拡大再生を終了します。
- 拡大枠表示中に **INFO** ボタンを押すと、顔の位置に拡大枠を表示します。拡大表示中の場合は顔の位置を拡大表示します。

タッチパネルを使って見る

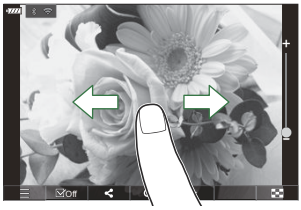
タッチ操作で、画像を拡大してスクロールしたり、コマ送りやコマ戻しをすることができます。

⚠先のとがったものや爪で操作しないでください。
⚠モニター保護シートや手袋を使っていると、うまく操作できない場合があります。

1 コマ再生で使う

コマ送り／コマ戻し

- タップした状態で、指を左に動かすとコマ送りし、右に動かすとコマ戻しします。



拡大

- 画面を軽くタップすると、スライダーと が表示されます。
- 画面を軽く 2 回タップすると、**［再生拡大倍率設定］**（P.323）で設定した倍率で拡大表示されます。
- バーのスライダーを指で上下に動かすと拡大表示します。

- 拡大中に、タップした状態で指を動かすとスクロールできます。
- をタップするとインデックス再生になります。さらに をタップすると、カレンダー再生になります。

動画の再生

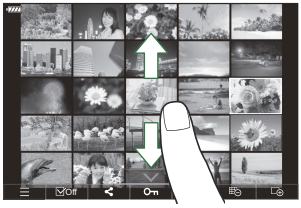
- ▶ をタップすると再生が始まります。

- 再生中に画面の下部をタップすると、操作バーが表示され、再生の終了や音量の変更ができます。
- 再生中に画面の中央部をタップすると一時停止します。もう一度タップすると動画再生を再開します。
- 一時停止中に画面下部のバーを指で左右に動かすと、次の再生開始位置を移動できます。
- □ をタップすると、再生を終了します。

インデックス再生／カレンダー再生で使う

ページを送る／戻す

- タップした状態で、指を上に動かすとページを送り、下に動かすとページを戻します。



- インデックス再生画面で ^ をタップすると、タッチメニューが表示されます。 または で表示するコマ数を切り換えられます。☞「インデックス表示の設定をする（ 表示）」(P.327)
- を何度かタップすると１コマ再生に戻ります。

画像を見る

- 見たい画像をタップすると１コマ表示します。

その他の機能

1コマ再生画面で画面を軽くタップするか、インデックス再生画面で ^ をタップすると、タッチメニューが表示されます。タッチメニューのアイコンにタッチするとそれぞれの操作ができます。

☰	再生ダイレクトメニューを表示します。☞「動画を見る」(P.292)、「画像を回転する（回転）」(P.299)、「画像を消去する（1コマ消去）」(P.301)、「画像の転送予約をする（シェア予約）」(P.305)、「プリント予約」(P.310)、「記録した画像に音声をつける（録音）」(P.312)、「RAW画像を編集する（RAW編集）」(P.314)、「JPEG画像を加工する（JPEG編集）」(P.316)、「画像を合成する（画像合成）」(P.318)、「動画をトリミングする（トリミング）」(P.319)、「動画から静止画を作る（静止画切り出し）」(P.320)
☑	画像を選択します。複数を選択してから一括して削除などができます。☞「複数の画像を一括で処理する（選択コマシェア予約・選択コマレーティング・プロテクト・選択コマ消去）」(P.309)
<	スマートフォンにシェアしたい画像を予約できます。☞「画像の転送予約をする（シェア予約）」(P.305)
★	画像にレーティングを設定します。☞「画像にレーティングを設定する（レーティング）」(P.307)
⊶	画像のプロテクトをします。☞「画像を保護する（プロテクト）」(P.300)

再生機能を設定する

画像を回転する（回転）

撮影した画像を回転させることができます。

1. 回転させたい画像を再生し、**OK** ボタンを押します。
   - 再生ダイレクトメニューが表示されます。

2. **［回転］**を選択し、**OK** ボタンを押します。

3. △ ボタン（反時計回り）、▽ ボタン（時計回り）を押すたびに画像が回転します。
   - **OK** ボタンを押して、設定を終了します。
   - 動画やプロテクトされている画像は回転できません。

カメラを縦位置で撮影した画像を、再生時に自動的に回転して表示することができます。 ☞「縦位置で撮影した画像を自動で回転表示する（回転再生）」（P.324）
［回転再生］が**［Off］**のときは、**［回転］**は選択できません。

画像を保護する（プロテクト）

画像を誤って消さないように保護します。

1. 保護したい画像を再生し、O-n ボタンを押します。

- 画像に O-n（プロテクトマーク）が付きます。再度 O-n ボタンを押すと解除されます。

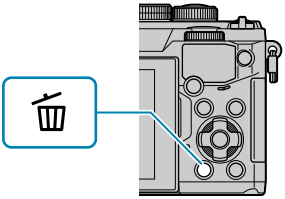
- プロテクトされていない画像を表示して、O-n ボタンを押しながらフロント／リアダイヤルを回すと、その間に表示される画像にプロテクトがかかります。その間のプロテクトされた画像は、変更されません。
- プロテクトされた画像を表示して、O-n ボタンを押しながらフロント／リアダイヤルを回したときは、その間に表示される画像のプロテクトが解除されます。プロテクトされていない画像は、そのまま変更されません。
- インデックス再生やクローズアップ再生で画像を選択したときも同様の操作ができます。

あらかじめプロテクトしたい画像を選んで、一括してプロテクトすることもできます。☞「複数の画像を一括で処理する（選択コマシェア予約・選択コマレーティング・プロテクト・選択コマ消去）」（P.309）

カードを初期化した場合は、プロテクトされている画像も消去されます。

画像を消去する（1 コマ消去）

1. 消去したい画像を再生し、🗑 ボタンを押します。



2. **［実行］**を選択し、**OK** ボタンを押します。

- 画像が消去されます。

ⓘボタンの設定を変更して、確認手順なしで消去することもできます。☞「画像消去のときに確認をしない（ワンプッシュ消去）」（P.303）

RAW+JPEG の画質モードで記録されている RAW 画像と JPEG 画像を同時に消去するか、一方だけを消去するかを選択することができます。☞「RAW+JPEG で記録した画像の消去方法を設定する（RAW+JPEG 消去）」（P.304）

全画像を消去する（全コマ消去）

撮影した画像をすべて消去します。プロテクトした画像は消去されません。レーティング（P.307）を設定した画像だけ残して、他の画像を消去することもできます。

メニュー
- **MENU** ➡ ▶ ➡ 1. ファイル ➡ 全コマ消去

消去する	レーティングを設定した画像を含むすべての画像を消去します。
残す	レーティングを設定した画像は残し、それ以外のすべての画像を消去します。

[残す] を選んで **[全コマ消去]** を行う場合、カードの速度やカード内の画像枚数によっては、処理に時間がかかります。

画像消去のときに確認をしない（ワンプッシュ消去）

画像や動画を再生時に 🗑 ボタンを押したときに、実行/中止の確認画面を表示せずに消去します。

メニュー
- **MENU** ➡ ▶ ➡ 2. 操作 ➡ ワンプッシュ消去

Off	🗑 ボタンを押したとき、実行/中止の確認画面を表示します。
On	🗑 ボタンを押したとき、実行/中止の確認画面を表示せずに消去します。

RAW+JPEG で記録した画像の消去方法を設定する（RAW+JPEG 消去）

画質モードを［**RAW+JPEG**］で記録した画像を 1 コマ消去するときの方法を設定します。

メニュー
- **MENU** ➡ ▶ ➡ 2. 操作 ➡ RAW+JPEG 消去

JPEG	JPEG 画像のみ消去します。
RAW	RAW 画像のみ消去します。
RAW+JPEG	RAW 画像と JPEG 画像の両方を消去します。

［**全コマ消去**］（P.302）や［**選択コマ消去**］（P.309）の場合は、常に RAW と JPEG の両方が消去されます。

画像の転送予約をする（シェア予約）

スマートフォンに転送したい画像をあらかじめ選択しておくことができます。

1. 転送したい画像を再生して **OK** ボタンを押します。
- 再生ダイレクトメニューが表示されます。

2. **［シェア予約］**を選び **OK** ボタンを押した後、△ または ▽ を押します。
- 画像にシェア予約がつき、< とファイルの種類が表示されます。
- シェア予約できるコマは 200 コマです。
- シェア予約を解除するには △ または ▽ を押します。

ファイルサイズが 4GB を超える動画はシェア予約できません。

あらかじめ転送したい画像を選んで、一括してシェア予約をつけることもできます。☞「複数の画像を一括で処理する（選択コマシェア予約・選択コマレーティング・プロテクト・選択コマ消去）」（P.309）、「スマートフォンに画像を転送する」（P.406）

あらかじめ **［▶◉ ボタン機能］**（P.321）で **［<］**を割り当てておくことで、シェア予約することもできます。
1 コマ再生中/インデックス再生中/拡大再生中にシェア予約されていない画像を表示して、**［<］**ボタンを押します。
［<］ボタンを押しながらフロント／リアダイヤルを回すと、その間に表示される画像はシェア予約されます。その間のシェア予約された画像は、変更されません。
シェア予約された画像を表示して、**［<］**ボタンを押しながらフロント／リアダイヤルを回すと、その間に表示される画像のシェア予約が解除されます。シェア予約されていない画像は、そのまま変更されません。

RAW+JPEG で記録した画像をシェア予約する（RAW+JPEG シェア予約）

画質モードを［**RAW+JPEG**］に設定して記録した画像の場合、JPEG 画像のみ、RAW 画像のみ、または両方をシェア予約できます。

メニュー
- **MENU** ➡ ▶ ➡ 2. 操作 ➡ RAW+JPEG シェア予約

JPEG	JPEG 画像のみシェア予約します。
RAW	RAW 画像のみシェア予約します。
RAW+JPEG	RAW 画像と JPEG 画像の両方をシェア予約します。

- ［**RAW+JPEG シェア予約**］の設定を変更しても、すでに設定しているシェア予約が変更されることはありません。
- シェア予約を解除する場合は、メニューの設定に関わらず、RAW 画像と JPEG 画像が両方とも解除されます。

画像にレーティングを設定する（レーティング）

画像に 5 段階のレーティング（ランク分け）を設定します。
OM Workspace などで画像を整理したり、探すのに役立ちます。

ボタン
- ★ ボタン

レーティングが設定されていない画像を選択中に ★ ボタンを押すと、レーティングが設定されます。
レート（★ マーク）は前回設定した数になります。
レーティングが設定されている画像を選択中に ★ ボタンを押すと、レーティングが解除されます。
★ ボタンを押したままフロント／リアダイヤルを回すと、設定するレート（★ マークの数）を変更できます。

- レーティングは、静止画のみに設定できます。
- RAW+JPEG の場合、RAW と JPEG の両方に同じレーティングが設定されます。
- プロテクトされている画像には、レーティングを設定できません。
- 他のカメラで撮影した画像には、レーティングを設定できません。

レーティングで使用するレートを設定する（レーティング設定）

レーティング設定時のレート（★ マークの数）を設定します。

メニュー
- **MENU** ➡ ▶ ➡ 3. 表示 ➡ レーティング設定

1. レーティング設定時に表示させたい項目を選択し、✔（チェック）を付けます。
- △▽ で項目を選択し **OK** ボタンを押すとチェックボックスに ✔（チェック）が表示されます。チェックを解除するときは再度 **OK** ボタンを押します。
- チェックボックスをタッチしても ✔（チェック）をつけたり解除することができます。

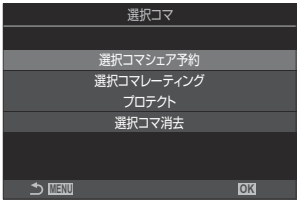
✔ の付いているレートがないときは、画像にレーティングを設定できません。
[レーティング設定] の設定を変更しても、すでに設定しているレーティングが変更されることはありません。

複数の画像を一括で処理する（選択コマシェア予約・選択コマレーティング・プロテクト・選択コマ消去）

複数の画像を選択し、一括して**［選択コマシェア予約］**・**［選択コマレーティング］**・**［プロテクト］**・**［選択コマ消去］**をすることができます。

1. 選択する画像を再生して ☑ ボタンを押します。
   - 画像が選択され、✔ が表示されます。
     もう一度押すと解除されます。
   - 1 コマ再生／インデックス再生のどちらでも選択可能です。

2. **OK** ボタンを押して、**［選択コマシェア予約］**・**［選択コマレーティング］**・**［プロテクト］**・**［選択コマ消去］**から選択します。



   - ✔ の付いていない画像を表示して、☑ ボタンを押しながらフロント／リアダイヤルを回すと、その間に表示される画像に ✔ が付きます。その間の ✔ がついた画像は、変更されません。
   - ✔ がついた画像を表示して、☑ ボタンを押しながらフロント／リアダイヤルを回したときは、その間に表示される画像の ✔ は消えます。✔ の付いていない画像は、そのまま変更されません。

プリント予約

プリントしたい画像にあらかじめ枚数や日時の印刷などの条件を指定しておくことができます。プリント予約した画像は、DPOF 対応のプリントショップでプリントできます。プリント予約の情報（DPOF）はカードに記録されます。

プリント予約の詳細項目を設定する

メニュー
• **MENU** ➡ ▶ ➡ 1. ファイル ➡ プリント予約

1コマ予約	◁▷ を押してプリント予約したいコマを選択し、△▽ ボタンを押してプリントする枚数を設定します。複数の画像をプリント予約する場合は、この手順を繰り返します。予約が終わったら **OK** ボタンを押し、続けて日時の種類を選択します。 **[無し]**：画像のみプリントされます。 **[日付]**：画像と撮影年月日がプリントされます。 **[時刻]**：画像と撮影時刻がプリントされます。
全コマ予約	すべてのコマをプリント予約したいときに選択します。日時の種類を選択します。 **[無し]**：画像のみプリントされます。 **[日付]**：画像と撮影年月日がプリントされます。 **[時刻]**：画像と撮影時刻がプリントされます。

ⓘ 複数の画像をプリントする場合、1 コマごとに設定を変えることはできません。

プリント予約を行う

予約する	プリント予約をします。再生中のカードに保存されている画像に、設定が反映されます。
予約しない	プリント予約をしません。

ⓘ 他の機器で予約した内容を、このカメラで変更することはできません。また、このカメラで新たに予約を行うと、他の機器で予約した内容は消去されます。
ⓘ RAW データおよび動画はプリント予約できません。

プロテクト・シェア予約・プリント予約・レーティングを一括解除する（全コマ一括解除）

すべての画像のプロテクト、シェア予約、プリント予約、レーティングを一括で解除できます。

メニュー
- **MENU** ➡ ▶ ➡ 1. ファイル ➡ 全コマ一括解除

全プリント予約解除	すべての画像のプリント予約を解除します。
全プロテクト解除	すべての画像のプロテクトを解除します。
全シェア予約解除	すべての画像のシェア予約を解除します。
全レーティング解除	すべての画像のレーティングを解除します。

レーティングされている画像が多い場合、**［全レーティング解除］**は処理に時間がかかります。

記録した画像に音声をつける（録音）

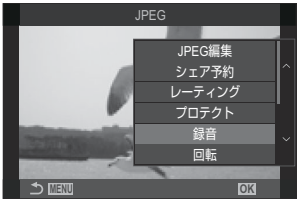
カメラのステレオマイクや外部機器を使って、カードに記録した画像にあとから音声を加えます。簡単なメモ代わりに使えます。最長 30 秒の録音ができます。

1. 音声を録音する画像を表示し、**OK** ボタンを押します。

- 再生ダイレクトメニューが表示されます。

ⓘプロテクトされた画像には録音できません。

2. **［録音］**を選択し、**OK** ボタンを押します。



3. **［録音スタート］**を選択し、**OK** ボタンを押すと、録音を開始します。

- 録音を中止する場合は、**［中止］**を選択してください。

4. **OK** ボタンを押して、録音を終了します。

- 音声を録音した画像には ♪ と録音レートが表示されます。
- 録音した音声を消去する場合は、手順 3 で **［消去］**を選択してください。

録音レートは動画の録音機能の設定が適用されます。**［録音の設定］**（P.282）で設定を変更できます。

音声を再生する

音声のついた画像は、画像を再生すると同時に音声を再生します。再生をするときの音量の調節をします。

1. 音声を再生したい画像を表示します。

2. △ または ▽ ボタンを押します。
   - △ ボタン：音量が上がります。
   - ▽ ボタン：音量が下がります。

撮影した画像を加工する（編集）

撮影した画像を編集して別の画像として保存します。RAW 画像は、ホワイトバランスや、アートフィルターを含むピクチャーモードなどの撮影時に使うような処理を加えることができます。JPEG 画像は、トリミングやリサイズなどの簡単な加工ができます。

RAW 編集	編集をして JPEG 画像を作ります（P.314）。編集は以下の方法でできます。 **［現設定］**：現在のカメラの設定を反映した処理をします。 **［詳細設定 1］**／**［詳細設定 2］**：画面上で処理の結果を確認しながら、設定を選択します。設定した内容を**［詳細設定 1］［詳細設定 2］**として残しておけます。 **［ART BKT］**：アートフィルターの処理をした JPEG 画像を作ります。複数のアートフィルターを選択して同時に複数の画像を作れます。
JPEG 編集	JPEG 画像をもとに加工をして、新たに JPEG 画像を作ります（P.316）。

RAW 画像を編集する（RAW 編集）

［RAW 編集］では以下の内容が編集できます。

- 画質モード
- ピクチャーモード
- カラー/彩度（カラークリエーター）
- カラー（パートカラー）
- ファインチューン（ART）
- ホワイトバランス
- 色温度
- 露出補正
- 暗部トーン補正
- 中間部トーン補正
- 明部トーン補正
- アスペクト
- 高感度ノイズ低減
- 色空間
- デジタルシフト

ⓘピクチャーモードをアートフィルターに設定すると、**［色空間］**は**［sRGB］**に固定されます。
ⓘ次の場合は RAW 編集できません。
- カードの空き容量が不足している場合／他のカメラで撮影した画像／🎀 モード/S&Q モードのとき

1. 編集したい画像を表示し、**OK** ボタンを押します。

- 再生ダイレクトメニューが表示されます。

2. △▽ で［**RAW 編集**］を選択し、**OK** ボタンを押します。

- 編集方法のメニューが表示されます。

3. △▽ で編集方法を選択します。

- ［**現設定**］を選んだときは **OK** ボタンを押します。画像に現在のカメラの設定が反映されます。

  Ⓘ露出補正の設定は反映されません。

  - △▽ で［**実行**］を選択して **OK** ボタンを押すと、現像が施された画像が記録されます。

- ［**詳細設定 1**］または［**詳細設定 2**］を選んだときは ▷ を押します。

  - 編集項目メニューが表示されます。△▽ で項目を選択し、◁▷ で設定を変更します。項目を選択して繰り返します。タッチ操作でも項目を選択、設定変更できます。
    ◉ ボタンを押すと設定が画面に反映されます。

  - 設定を終えたら **OK** ボタンを押します。画像に処理が施されます。
  - △▽ で［**実行**］を選択して **OK** ボタンを押すと、現像が施された画像が記録されます。

- ［**ART BKT**］を選んだときは、▷ を押すと、画像にかけるアートフィルターを選択するメニューが表示されます。使用するアートフィルターを選択し、**OK** ボタンを押して ✓ を付けます。設定を終えたら **MENU** ボタンで前の画面に戻ります。
  - **OK** ボタンを押すと選択したアートフィルター処理が施された画像が記録されます。

4. 同じ元画像で再度編集するときは、**［再設定］**を選択して **OK** ボタンを押します。現像を終了するときは、**［中止］**を選択して **OK** ボタンを押します。
   - **［再設定］**を選択したときは、画面に編集方法のメニューが表示されます。手順 3 から繰り返します。

JPEG 画像を加工する（JPEG 編集）

［JPEG 編集］では以下の内容が編集できます。

階調オート	逆光時に暗く写った被写体を明るくします。
トリミング	画像をトリミングします。フロント／リアダイヤルでトリミングサイズ、△▽◁▷ でトリミング位置を指定します。
アスペクト	アスペクト比が 4:3（基準）の画像を、**［3:2］**、**［16:9］**、**［1:1］**、または **［3:4］**に変更します。アスペクト比選択後、△▽◁▷ でトリミング位置を指定します。
モノクロ作成	白黒に変換します。
セピア作成	セピア色に変換します。
鮮やかさ調整	画像の色をより鮮やかにします。画面で確認しながら鮮やかさを調整します。
リサイズ	画像サイズを 1280×960、640×480、または 320×240 に変換します。 アスペクト比が 4:3（基準）以外の画像は、近い大きさの画像サイズに変換されます。
e ポートレート	なめらかな肌に補正します。顔が検出できないなど、画像によっては補正できない場合があります。

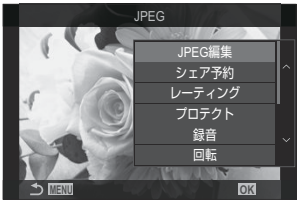
ⓘ次の場合は JPEG 編集できません。
- パソコンで編集した画像／カードの空き容量が不足している場合／他のカメラで撮影した画像

ⓘ **［リサイズ］**では、撮影時の画像サイズより大きなサイズには設定できません。
ⓘ画像によっては **［リサイズ］**を使用できないことがあります。
ⓘ **［トリミング］**/ **［アスペクト］**は、アスペクト比が 4:3（基準）の画像のみ編集できます。

1. 編集したい画像を表示し、**OK** ボタンを押します。

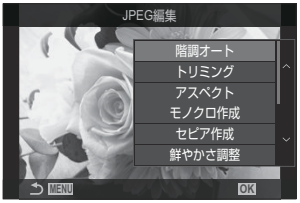
- 再生ダイレクトメニューが表示されます。

2. △▽ で［**JPEG 編集**］を選択し、**OK** ボタンを押します。



- 編集方法のメニューが表示されます。

3. △▽ で項目を選んで **OK** ボタンを押します。



- 設定が画像に反映されて確認できます。メニューが表示される項目では、△▽ で設定を選択します。
- **［トリミング］**を選択したときは、フロント／リアダイヤルでサイズを設定、△▽◁▷ でトリミング位置を設定できます。
- **［アスペクト］**を選択したときは、△▽ で設定を選択した後、△▽◁▷ で位置を設定できます。

4. △▽ で［**実行**］を選択して **OK** ボタンを押します。

- 編集が施された画像が記録され、再生画面に戻ります。

画像を合成する（画像合成）

記録されている RAW 画像を重ねて合成して別の画像として保存します。2 コマまたは 3 コマの合成ができます。
合成するそれぞれの画像の明るさ（ゲイン）を調整して、見え方を変えることができます。

- 合成後の画像は、カメラで設定されている画質モードで記録されます。設定が［**RAW**］のときは、［◀:2］と RAW で保存されます（P.213）。
- 合成画像を RAW 形式で保存すると、さらに他の RAW 画像と合成することができ、4 コマ以上の画像合成が可能になります。

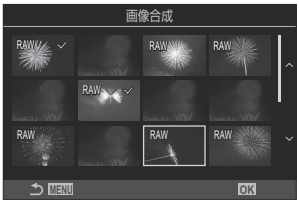
⚠ 🎞 モード／S&Q モードのとき、画像合成できません。

1. 再生画面で編集したい画像を表示し、**OK** ボタンを押します。
- 再生ダイレクトメニューが表示されます。

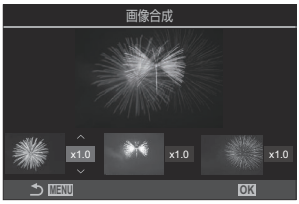
2. △▽ で［**画像合成**］を選び **OK** ボタンを押します。

3. 合成するコマ数を選択し、**OK** ボタンを押します。

4. △▽◁▷ ボタンで合成する RAW 画像を選択し、**OK** ボタンを押します。
- 選択したコマに ✔ が表示されます。✔ を外すときは再度 **OK** ボタンを押します。
- タッチ操作でも ✔（チェック）をつけたり解除することができます。
- 手順 3 で選択したコマ数を選択すると、画像合成画面が表示されます。



5. 合成する各画像のゲインを選択します。
- ◁▷ ボタンで画像を選択し、△▽ ボタンで数値を変更します。
- タッチ操作でも画像を選択したり、数値を変更することができます。
- ゲインは 0.1～2.0 まで選択できます。表示画像を見ながらゲインを調節してください。



6. **OK** ボタンを押すと、確認画面が表示されます。
- ［**実行**］を選択し、**OK** ボタンを押します。

動画をトリミングする（トリミング）

動画の削除したい範囲を指定して削除します。特定の部分を残したいときは、この操作を繰り返します。

本機で撮影された動画でのみ可能です。

1. 編集したい動画を表示し、**OK** ボタンを押します。
   - 再生ダイレクトメニューが表示されます。

2. **［ムービー編集］**を選び **OK** ボタンを押します。

3. △▽ ボタンで **［トリミング］**を選び **OK** ボタンを押します。
   - トリミング後のデータ保存についての選択肢が表示されます。
     ［新規作成］：トリミングしたデータを新しい動画コマとして保存します。
     ［上書き保存］：元の動画コマに上書きして保存します。
     ［中止］：トリミングを中止します。
   - 動画がプロテクトされている場合は、**［上書き保存］**は選択できません。

4. 項目を選択し、**OK** ボタンを押します。
   - 編集状態に移ります。

5. トリミング編集をします。
   - △ ボタンで動画コマの先頭に、▽ ボタンで、動画コマの最後に移動できます。
   - フロント／リアダイヤルまたは ◁ ボタンで削除する部分の最初のコマを選択し、**OK** ボタンを押します。
   - フロント／リアダイヤルまたは ▷ ボタンで削除する部分の最後のコマを選択し、**OK** ボタンを押します。
   - タッチ操作でも削除したい範囲を指定することができます。

6. **［実行］**を選択し、**OK** ボタンを押します。
   - 編集が反映されてデータが保存されます。
   - 選択しなおすときは **［中止］**を選択し、**OK** ボタンを押します。
   - **［上書き保存］**を選択しているときは、同じ動画にさらにトリミングするかの確認が表示されます。引き続き編集するときは、**［続行］**を選択し、**OK** ボタンを押します。

動画から静止画を作る（静止画切り出し）

動画内のフレームを選択し、静止画として保存します。

本機で撮影された画像サイズが【4K】の動画でのみ可能です。

1. 編集したい動画を表示し、**OK** ボタンを押します。
   - 再生ダイレクトメニューが表示されます。

2. **［ムービー編集］**を選び **OK** ボタンを押します。

3. △▽ ボタンで**［静止画切り出し］**を選び **OK** ボタンを押します。

4. ◁▷ ボタンで静止画として保存するコマを表示して **OK** ボタンを押します。
   - 表示したコマが静止画として保存されます。
   - △ ボタンでコマ戻し、▽ ボタンでコマ送りできます。コマ戻し、コマ送りの長さは、動画の記録時間によって変わります。
   - タッチ操作でも静止画として保存したいコマを指定することができます。

再生時の ◎（☑ ボタン）ボタンの機能を変える（▶ ◎ ボタン機能）

再生時の ◎（☑ ボタン）ボタンの機能を変更できます。

メニュー
- **MENU** ➡ ▶ ➡ 2. 操作 ➡ ▶ ◎ ボタン機能

▶ ◎ ボタン機能	[<]：スマートフォンに転送したい画像に転送予約（シェア予約）をつけます。 [☑]：複数の画像を選択できます。

再生時のダイヤルの機能を変える（▶ ダイヤル機能）

フロント／リアダイヤルで設定できる機能を変更できます。

メニュー
- **MENU** ➡ ▶ ➡ 2. 操作 ➡ ▶ ダイヤル機能

🔍（インデックス/拡大）	画像再生中、画像を拡大、インデックス表示します。
コマ送り/戻し	画像再生中、次の画像を表示、前の画像を表示します。

画像再生時の拡大倍率を設定する（再生拡大倍率設定）

画像を再生して拡大表示（拡大再生）したとき、最初に表示される倍率の設定ができます。

メニュー
- **MENU** ➡ ▶ ➡ 2. 操作 ➡ 再生拡大倍率設定

前回倍率	前回、拡大再生したときに最後に表示した倍率で表示します。
等倍	拡大再生したとき、等倍で表示します。等倍表示にすると、モニターに 1:1 が表示されます。
×2／×3／×5／×7／×10／×14	拡大再生したとき、選択した倍率で表示します。

縦位置で撮影した画像を自動で回転表示する（回転再生）

カメラを縦位置にして撮影した画像をカメラで表示したときに、縦向きに回転して表示します。

メニュー
- **MENU** ➡ ▶ ➡ 3. 表示 ➡ 回転再生

On	自動で回転して表示します。
Off	回転せずに表示します。

再生時の情報画面の設定をする（▶Info 表示）

画像再生時の情報画面の設定をします。再生画面で **INFO** ボタンを押すたびに設定した画面を順に切り換えて表示します。

メニュー
- **MENU** ➡ ▶ ➡ 3. 表示 ➡ ▶Info 表示

1. 表示させる項目を選択し、✔（チェック）を付けます。
- △▽ で項目を選択し **OK** ボタンを押すとチェックボックスに ✔（チェック）が表示されます。チェックを解除するときは再度 **OK** ボタンを押します。
- チェックボックスをタッチしても ✔（チェック）をつけたり解除することができます。

情報表示無し	画像のみ表示します。
標準表示	最小限の情報を表示します。▷ を押して **［ヒストグラム表示］**、**［ハイライト&シャドウ］** の表示/非表示を設定できます。
総合表示	撮影時の設定やヒストグラムなどすべての表示をします（P.288）。

ⓘ設定中の情報表示は非表示にはできませんが、表示する項目の詳細は設定可能です。

拡大再生時の表示を設定する（▶🔍Info 表示）

[🔍]（拡大）を割り当てたボタン（P.328）を押して拡大表示をするときの表示を設定します。

①再生画面
②拡大枠表示
③拡大位置スクロール画面

メニュー
• **MENU** ➡ ▶ ➡ 3. 表示 ➡ ▶🔍Info 表示

1. 表示させる項目を選択し、✔（チェック）を付けます。
- △▽ で項目を選択し **OK** ボタンを押すとチェックボックスに ✔（チェック）が表示されます。チェックを解除するときは再度 **OK** ボタンを押します。
- チェックボックスをタッチしても ✔（チェック）をつけたり解除することができます。

拡大枠表示	拡大枠を表示します。
拡大位置スクロール	拡大再生時に画面のスクロールをします。

ⓘ すべてのチェックを外すと、[🔍] を割り当てたボタンによる拡大表示ができません。

インデックス表示の設定をする（ 表示）

画像再生時のインデックス表示のときの 1 ページに表示するサムネイル画像の数やカレンダー表示の選択をします。

メニュー
- / ：**MENU** ➡ ➡ 3. 表示 ➡ 表示

1. 表示させる項目を選択し、✔（チェック）を付けます。
- △▽ で項目を選択し **OK** ボタンを押すとチェックボックスに ✔（チェック）が表示されます。チェックを解除するときは再度 **OK** ボタンを押します。
- チェックボックスをタッチしても ✔（チェック）をつけたり解除することができます。

4/9/25/100	インデックスのコマ数を変えて表示します。
カレンダー表示	カレンダーで表示します。

操作方法を設定する機能

ボタンの機能を変える（ボタンの設定）

📷:PASMB 🎬/S&Q:PASM

あらかじめ割り当てられているボタンの機能を他の機能に変更します。
[📷 ボタン機能] の設定は、📷 モードのときに有効になります。**[🎬 ボタン機能]** の設定は、🎬 モード／S&Q モードのときに有効になります。

カスタマイズできるボタンと初期設定

アイコン	ボタン	初期設定	
		📷	🎬
◉	◉ ボタン	◉REC（動画録画）	
▣	▣ ボタン	▣ 切換（モニター／ファインダー切り換え）	長押しで **[EVF 自動切換設定]**
CP	**CP** ボタン	コンピュテーショナル撮影	露出補正
AF-ON	**AF-ON** ボタン	AF-ON	
✥	十字ボタン	ダイレクト機能	
▶	十字ボタンの ▷（右）	WB（WB モード）	
▼	十字ボタンの ▽（下）	⧉/⏲（連写／セルフタイマー）	Off
L-Fn	レンズに装備されている **Fn** ボタン	AF 停止	

スーパーコンパネ
- **OK** ➡ 📷 ボタン機能 / 🎥 ボタン機能

メニュー
- **MENU** ➡ ⚙ ➡ 1. 操作 ➡ ボタンの設定 ➡ 📷 ボタン機能
- **MENU** ➡ ⚙ ➡ 1. 操作 ➡ ボタンの設定 ➡ 🎥 ボタン機能

1. △▽ ボタンで設定するボタンを選択し、**OK** ボタンを押します。

2. △▽◁▷ ボタンで割り当てる機能を選択し、**OK** ボタンを押します。

ボタンに割り当てられる機能と働き

📷 のみ：**[📷 ボタン機能]** でのみ設定できます。
🎥 のみ：**[🎥 ボタン機能]** でのみ設定できます。

ボタンによって選択できる機能は異なります。

機能	ボタンに割り当てたときの働き
カスタムモード撮影 1、2（C1、C2）	カスタムモードとして登録した設定を呼び出します。ボタンを押すとカスタムモードとして登録されている設定に切り換えます（P.92）。再度押すと、元の設定に戻ります。カスタムモードに切り換わったときも、このボタンの機能は変わりません。
◉REC（動画録画）	録画ボタンとして働きます。録画を開始/停止します。
RAW（RAW 画質）（📷 のみ）	**[📷 画質モード]** が JPEG のときにボタンを押すと、RAW+JPEG に変更します。RAW または RAW+JPEG のときに押しても設定は変わりません。ボタンを押しながらダイヤルを回して画質モードを選択することもできます。
WB モード（WB）（ホワイトバランス）	ホワイトバランスの設定をします（P.233）。ボタンを押しながらフロント／リアダイヤルを回して設定します。ボタンを押して設定状態にしてから設定することもできます。フロント／リアダイヤルや ◁▷ で設定します。

機能	ボタンに割り当てたときの働き
ワンタッチ WB（）（ワンタッチホワイトバランス）	ワンタッチホワイトバランスの設定をします（P.236）。 静止画撮影の場合は基準とするもの（白い紙など）を撮影するように、ボタンを押しながらシャッターボタンを押します。撮影すると登録するワンタッチ WB を選択するメニューが表示されるので、選択して設定します。 動画撮影の場合は基準とするもの（白い紙など）を撮影するようにボタンを押します。登録するワンタッチ WB を選択するメニューが表示されるので、選択して設定します。
ISO 感度	ISO 感度の設定をします（P.177）。ボタンを押しながらフロント／リアダイヤルを回して設定します。ボタンを押して設定状態にしてから設定することもできます。フロント／リアダイヤルや ◁▷ で設定します。
露出補正（）	露出の設定をします。ボタンを押しながらフロント／リアダイヤルを回して設定します。ボタンを押して設定状態にしてから設定することもできます。撮影モードにより設定できる内容が異なります。 **[P]**：フロント／リアダイヤル、◁▷ で露出補正。△▽ ボタンでプログラムシフト。 **[A]**：フロント／リアダイヤル、◁▷ で露出補正。△▽ ボタンで絞り。 **[S]**：フロント／リアダイヤル、◁▷ で露出補正。△▽ ボタンでシャッター速度。 **[M]**：リアダイヤル、△▽ でシャッター速度。フロントダイヤル、◁▷ ボタンで絞り。 **[ISO 感度]**（P.177）または **[ISO 感度]**（P.177）が **[Auto]** に設定されている場合の動作は「露出補正を設定する」（P.164）をご覧ください。 **[B]**：リアダイヤル、△▽ でバルブ／タイム撮影、ライブコンポジット撮影の切り換え。フロントダイヤル、◁▷ ボタンで絞り。
AEL（AE ロック）	一度押すと露出が固定され、再度押すと解除されます。
フリッカースキャン（**Flicker Scan**）	フリッカースキャンの設定をします（P.168）。ボタンを押すと **[On]** になります。画面ですじの発生を確認しながら適切なシャッター速度を選んで撮ることができます。再度ボタンを押すと、情報表示が切り換わりシャッター速度以外の設定ができます。ボタンを長押しすると、フリッカースキャンを **[Off]** にします。
/（連写／セルフタイマー）（ のみ）	ドライブ（連写やセルフタイマー）の設定をします（P.197）。一度押すと設定メニューが表示されます。フロント／リアダイヤルや ◁▷ ボタンで設定します。

機能	ボタンに割り当てたときの働き
手ぶれ補正（IS）	手ぶれ補正設定をオフにします（P.209）。一度押すと**［Off］**に設定され再度押すと元の設定に戻ります。ボタンを押しながらフロント／リアダイヤルを回すと、手ぶれ補正のメニューが表示され設定の変更ができます。
コンピュテーショナル撮影（CP）（📷 のみ）	**CP**（コンピュテーショナル撮影）ボタンに設定します（P.337）。ボタンを押すと、前回使ったコンピュテーショナル撮影を On にします。ボタンを押しながらフロント／リアダイヤルを回すと、コンピュテーショナル撮影の設定を変更したり、他のコンピュテーショナル撮影に切り換えたりできます。
ハイレゾショット（▦）（📷 のみ）	**［ハイレゾショット］**が**［Off］**のときに押すと**［ハイレゾショット］**で設定した状態に切り換わります（P.243）。**［Off］**以外のときに押すと**［Off］**になります。ボタンを押しながらフロント／リアダイヤルを回すと**［ハイレゾショット］**の設定を変更できます。
ライブ ND 撮影（ND）（📷 のみ）	ライブ ND 撮影の設定をします（P.247）。一度押すと**［ライブ ND 撮影］**で設定されている状態に切り換わります。もう一度ボタンを押すと終了します。ボタンを押しながらフロント／リアダイヤルを回すと**［ND 段数］**の設定を変更できます。
深度合成撮影（▣）（📷 のみ）	**［深度合成撮影］**の**［Off］**と**［On］**を切り換えます（P.251）。ボタンを長押しすると**［深度合成撮影］**の設定を変更できます。
HDR 撮影（HDR）（📷 のみ）	HDR 撮影の設定をします（P.254）。一度押すと HDR 撮影で設定されている状態に切り換わります。もう一度ボタンを押すと終了します。ボタンを押しながらフロント／リアダイヤルを回すと**［HDR 撮影］**の設定を変更できます。
多重露出撮影（⧉）（📷 のみ）	**［多重露出撮影］**の**［Off］**と**［On］**を切り換えます（P.256）。ボタンを長押しすると**［多重露出撮影］**の設定を変更できます。
デジタルテレコン（📷：🔍2x / 🎥：🔍1.4x）	デジタルテレコンの設定をします（P.260）。一度押すと拡大し、再度押すと元の表示に戻ります。 動画撮影中でも切り換えることができます。動画撮影時は、デジタルテレコンによって拡大される範囲を示す枠が表示されます。
デジタルシフト撮影（▦）（📷 のみ）	ボタンを押すとデジタルシフト撮影の設定ができます（P.265）。もう一度ボタンを押すと設定画面を終了します。ボタンを長押しすると、デジタルシフト撮影が解除されます。

機能	ボタンに割り当てたときの働き
フィッシュアイ補正（囲）（📷 のみ）	フィッシュアイ補正撮影の設定をします（P.267）。一度押すとフィッシュアイ補正撮影で設定されている状態に切り換わります。もう一度ボタンを押すと終了します。ボタンを押しながらフロント／リアダイヤルを回すと**［画角］**の設定を 1、2、3 で切り換えられます。
AE BKT（📷 のみ）	**［AE BKT］**が**［Off］**のときに押すと**［AE BKT］**で設定した状態に切り換わります（P.272）。**［Off］**以外のときに押すと**［Off］**になります。ボタンを押しながらフロント／リアダイヤルを回すと**［AE BKT］**の設定を変更できます。
WB BKT（📷 のみ）	**［WB BKT］**が**［Off］**のときに押すと**［WB BKT］**で設定した状態に切り換わります（P.274）。**［Off］**以外のときに押すと**［Off］**になります。ボタンを押しながらフロント／リアダイヤルを回すと**［WB BKT］**の設定を変更できます。
FL BKT（📷 のみ）	**［FL BKT］**が**［Off］**のときに押すと**［FL BKT］**で設定した状態に切り換わります（P.275）。**［Off］**以外のときに押すと**［Off］**になります。ボタンを押しながらフロント／リアダイヤルを回すと**［FL BKT］**の設定を変更できます。
ISO BKT（📷 のみ）	**［ISO BKT］**が**［Off］**のときに押すと**［ISO BKT］**で設定した状態に切り換わります（P.276）。**［Off］**以外のときに押すと**［Off］**になります。ボタンを押しながらフロント／リアダイヤルを回すと**［ISO BKT］**の設定を変更できます。
ART BKT（📷 のみ）	**［ART BKT］**の**［Off］**と**［On］**を切り換えます（P.277）。ボタンを長押しすると**［ART BKT］**の設定を変更できます。
Focus BKT（📷 のみ）	**［Focus BKT］**の**［Off］**と**［On］**を切り換えます（P.279）。ボタンを長押しすると**［Focus BKT］**の設定を変更できます。
AF-ON	ボタンを押している間オートフォーカスを行います（P.126）。ボタンを離すとオートフォーカスを終了します。
MF 切換（MF）	AF 方式を MF に切り換えます。一度押すと MF に切り換わり再度押すと元の設定に戻ります。ボタンを押しながらダイヤルを回して AF 方式を選択することもできます。
プリセット MF（Pre MF）	AF 方式を**［Pre MF］**に切り換えます（P.111）。一度押すとプリセット MF に切り換わり、再度押すと元の設定に戻ります。ボタンを押しながらダイヤルを回して AF 方式を選択することもできます。

機能	ボタンに割り当てたときの働き
被写体検出（⬡）（📷 のみ）	**［📷 被写体検出］**が**［Off］**のときに押すと**［📷 被写体検出］**で設定した状態に切り換わります（P.130）。**［Off］**以外のときに押すと**［Off］**になります。ボタンを押しながらフロント／リアダイヤルを回すと**［📷 被写体検出］**の設定を変更できます。
AF リミッター（AFLimit）（📷 のみ）	**［📷AF リミッター］**の設定をします（P.140）。一度押すと**［📷AF リミッター］**で設定されている状態に切り換わります。もう一度ボタンを押すと終了します。ボタンを押しながらフロント／リアダイヤルを回すと記憶されている 3 つの設定の間で変更ができます。
［⁘］選択（［⁘］）（AF ターゲット選択）	AF ターゲットモード（P.117）、AF ターゲット位置（P.116）の設定ができます。ボタンを押すと、AF ターゲット選択画面が表示されます。 フロント／リアダイヤルで AF ターゲットモードの設定、十字ボタンで AF ターゲット位置の設定をします。 設定に使う操作部は割り当てを変更できます。☞「AF ターゲット選択設定時の操作方法を設定する（［⁘］選択画面設定）」（P.151）
［⁘］Home（［⁘］HP）（AF ホームポジション）（📷 のみ）	**［AF ターゲットモード］**、**［AF ターゲット位置］**をあらかじめ登録した状態（ホームポジション）にします。ホームポジションは、**［📷［⁘］HOME 登録］**で設定しておきます（P.149）。 カメラが正位置、縦位置のときで別々のホームポジションを登録しておくことができます。☞「AF ターゲットの設定を横位置/縦位置で変える（📷［⁘］縦位置/横位置切換）」（P.147）
ピーキング（Peak）	ピーキング表示をします（P.157）。一度押すとピーキング表示をして再度押すと元の表示に戻ります。ピーキング表示中に **INFO** ボタンを押すと詳細設定の画面が表示され、色や強度の変更ができます。
フォーカスリングロック（⦸）	ボタンを押すとレンズのフォーカスリングの操作を無効にします。再度押すと操作が有効になります。AF 方式が**［S-AF MF］**/**［C-AF MF］**/**［MF］**/**［C-AF+TR MF］**/**［Pre MF］**/**［★AF MF］**の場合に動作します。 レンズのフォーカスリングの操作が無効になっている間は、AF 方式のアイコンの **MF** 部分がグレーで表示されます。 MF クラッチ（マニュアルフォーカスクラッチ）機構を搭載したレンズでフォーカスリングが MF 位置（カメラボディ側）にある場合、このボタンは動作しません。 フォーカスリングロックは、カメラの電源をオフにしたとき、新しいレンズを取り付けたときなどに解除されます。

機能	ボタンに割り当てたときの働き
拡大（🔍）	一度押すと拡大枠が表示され、再度押すと枠の部分が拡大表示されます（P.122）。再度押すと、元の表示に戻り、ボタンを長押しして枠を消します。拡大枠はタッチ操作や △▽◁▷ で位置を移動できます。
プレビュー（◎）（📷 のみ）	絞りを実際に絞り込みます。ピントが合っている範囲を確認できます。ボタンを押している間、絞り値まで絞り込みます。動作は［◎ **ロック**］で変更できます（P.346）。
ナイトビュー切換（**Night LV**）（📷 のみ）	現在の［📷 **ナイトビュー**］（P.348）設定が［**Off**］のときに押すと、［**On**］に切り換わります。［**On**］のときに押すと、［**Off**］に切り換わります。
🖴 **水準器表示**（〰）	デジタル水準器を表示します。ファインダーの露出バー表示を水準器表示に切り換えます。再度押すと戻ります。［**EVF 表示スタイル**］（P.352）が［🖴 **スタイル 1**］、［🖴 **スタイル 2**］のときに有効です。
切換（）（モニター／ファインダー切り換え）	ファインダー撮影とライブビュー撮影を切り換えます。［**EVF 自動切換設定**］（P.381）が［**Off**］のときは、モニターとファインダーの表示を切り換えます。ボタンを長押しすると［**EVF 自動切換設定**］のメニューを表示します。
レンズ情報登録（**Exif Lens**）	レンズの登録情報の選択ができます（P.373）。レンズ交換時などに、登録されているレンズ情報を選択します。
マルチ Fn（**Multi Fn**）（マルチファンクション）	マルチ Fn ボタンに設定します（P.336）。ボタンを押しながらフロント／リアダイヤルを回して、複数の機能から一つの機能を選択し、使うことができます。ボタンを押して、選択した機能を使用します。
試し撮り撮影（📷**Test**）（📷 のみ）	試し撮りができます。各機能の設定の結果を実際に撮影した結果で確認できます。ボタンを押しながらシャッターボタンを押すと、画像を記録せずにモニターに表示します。
ダイレクト機能（ISO/[⁘]/▶/▼）	十字ボタン（△▽◁▷）に機能を割り当てます。それぞれ以下の機能が設定されます。 △ ボタン：［**ISO 感度**］ ◁ ボタン：［**[⁘]**］（AF ターゲット選択） ▷ ボタン：［**WB**］（WB モード） ▽ ボタン：［🖵/⏱］（連写／セルフタイマー） • ▷ ボタンと ▽ ボタンは他の機能を割り当てておくことができます。

機能	ボタンに割り当てたときの働き
フラッシュ（ϟ）（📷 のみ）	フラッシュの設定をします（P.187）。一度押すと設定メニューが表示されます。フロント／リアダイヤルや ◁▷ で設定します。 ⓘ この機能は ▷ または ▽ ボタンにのみ割り当てられます。あらかじめ **[✣]**（十字ボタン）を **[ダイレクト機能]** に設定しておく必要があります。
電動ズーム（**W↔T**）	電動ズームレンズを使用時にズーム動作ができます。ボタンを押したあと、十字ボタンでズーム操作します。△ または ▷ ボタンで望遠側、▽ または ◁ ボタンで広角側へズームします。 ⓘ この機能は ▷ または ▽ ボタンにのみ割り当てられます。あらかじめ **[✣]**（十字ボタン）を **[ダイレクト機能]** に設定しておく必要があります。
ロック（🔒）（タッチパネルロック）	タッチ操作を無効にします。ボタンを長押しするとタッチ操作が無効になり、再度長押しすると有効になります。 ⓘ この機能は ▷ または ▽ ボタンにのみ割り当てられます。あらかじめ **[✣]**（十字ボタン）を **[ダイレクト機能]** に設定しておく必要があります。
AF 停止（AF Stop）	AF の動作を停止します。ボタンを押している間、AF は停止してピントは固定されます。**L-Fn** ボタンにのみ割り当てられます。
ビューアシスト（BT.709）（🎥 のみ）	ボタンを押すと **[ビューアシスト]**（P.242）の **[Off]** と **[On]** が切り換わります。 動画記録中でも設定を変更できます。
顔・瞳検出（☺）（🎥 のみ）	ボタンを押すと **[顔・瞳検出]**（P.133）の **[Off]** と **[On]** が切り換わります。 動画記録中でも設定を変更できます。
顔非検出時の C-AF（☺C-AF）（🎥 のみ）	**[顔非検出時の C-AF]**（P.135）の **[AF する]** と **[AF しない]** を切り換えます。 動画記録中でも設定を変更できます。
Off	ボタンを使用しません。

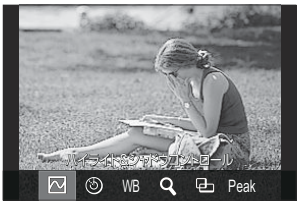
マルチファンクションを使う（マルチ Fn）

一つのボタンで複数の機能の設定ができる機能です。

マルチファンクションを使うには、いずれかのボタンに**［マルチ Fn］**を割り当てておく必要があります。☞「カスタマイズできるボタンと初期設定」（P.328）

呼び出す機能を切り換える

1. **［マルチ Fn］**を割り当てたボタンを押しながら、フロント／リアダイヤルを回します。



- ダイヤルを回して、設定したい機能にカーソルを合わせます。設定したい機能を選択したらボタンを離します。

2. **［マルチ Fn］**を割り当てたボタンを一度押します。

3. 設定します。

［マルチ Fn］で切り換えることができる機能は次の通りです。

	ハイライト&シャドウコントロール	フロント／リアダイヤルで設定します。**INFO** ボタンを押すと調整する範囲（明部、暗部、中間部）の変更ができます。
	カラークリエーター	フロントダイヤルで色合い、リアダイヤルで彩度を設定します。
ISO	**ISO 感度**	フロント／リアダイヤルで設定を変更します。
WB	**ホワイトバランス**	
	拡大	拡大枠が表示されます。
	アスペクト比設定	フロント／リアダイヤルで設定を変更します。

Peak	ピーキング	ボタンを押すたびにオンオフを切り換えます。

表示される機能を選択することができます。☞ **［マルチ Fn 表示設定］**（P.362）
［ハイライト&シャドウコントロール］は以下の操作でも設定できます。
- 撮影画面で ☒（露出補正）を割り当てたボタンを押した後に **INFO** ボタンを押す。
- 撮影画面で **OK** ボタンを押した後、スーパーコンパネ（P.105）で **［露出補正/🖼］**を選択し、**OK** ボタンを押す。

CP ボタンを使う（コンピュテーショナル撮影）

ボタンを押すと、前回使ったコンピュテーショナル撮影を On にします。ボタンを押しながらフロント／リアダイヤルを回すと、コンピュテーショナル撮影の設定を変更したり、他のコンピュテーショナル撮影に切り換えたりできます。

CP ボタンに他の機能を割り当てているときは、**［📷 ボタン機能］**で、いずれかのボタンに**［コンピュテーショナル撮影］**を割り当てておく必要があります。☞ 「カスタマイズできるボタンと初期設定」（P.328）

コンピュテーショナル撮影／設定を切り換える

1. **CP** ボタンを押しながら、フロント／リアダイヤルを回します。
- ダイヤルを回して、使用したいコンピュテーショナル撮影／設定にカーソルを合わせます。選択したらボタンを離します。
- **［Off］**を選択すると、コンピュテーショナル撮影を終了し、通常の撮影に戻ります。

2. 選択したコンピュテーショナル撮影／設定で撮影できます。

コンピュテーショナル撮影のオンオフを切り換える

CP ボタンを押したときの動作は以下の通りです。前回使ったコンピュテーショナル撮影が呼び出されます。

	ハイレゾショット	ボタンを押すたびにオンオフを切り換えます。
ND2〜ND16	**ライブ ND 撮影**	ボタンを押すたびにオンオフを切り換えます。
	深度合成撮影	ボタンを押すたびにオンオフを切り換えます。ボタンを長押しすると**［深度合成撮影］**の設定を変更できます。
HDR1/HDR2	**HDR 撮影**	ボタンを押すたびにオンオフを切り換えます。
	多重露出撮影	ボタンを押すたびにオンオフを切り換えます。ボタンを長押しすると**［多重露出撮影］**の設定を変更できます。

表示される機能を選択することができます。☞「**CP** ボタンで選べる機能を選択する（CP ボタン表示設定）」（P.361）

シャッターボタンで動画を録画する（ シャッターボタン機能）

:PASMB /S&Q:PASM

シャッターボタンを ◎（録画）ボタンとして設定できます。

メニュー
- **MENU** ➡ ⚙ ➡ 1. 操作 ➡ ボタンの設定 ➡ シャッターボタン機能

Off	シャッターボタンを使用しません。
◎REC	シャッターボタンの全押しで、動画の録画開始／停止を行います。

OK ボタンを押したときに表示する画面を設定する（OK で開く機能）

撮影待機画面で **OK** ボタンを押して機能を設定する各操作画面の表示、非表示を設定します。

メニュー
- **MENU** ➡ ⚙ ➡ 1. 操作 ➡ ボタンの設定 ➡ OK で開く機能

AUTO	△▽ で項目を選択し **OK** ボタンを押すとチェックボックスに ✔（チェック）が表示されます。 チェックを解除するときは再度 **OK** ボタンを押します。 **［ライブガイド］**／**［LV スーパーコンパネ］**
ART	△▽ で項目を選択し **OK** ボタンを押すとチェックボックスに ✔（チェック）が表示されます。 チェックを解除するときは再度 **OK** ボタンを押します。 **［ART メニュー］**／**［LV スーパーコンパネ］**
SCN	△▽ で項目を選択し **OK** ボタンを押すとチェックボックスに ✔（チェック）が表示されます。 チェックを解除するときは再度 **OK** ボタンを押します。 **［SCN メニュー］**／**［LV スーパーコンパネ］**

- チェックボックスをタッチしても ✔（チェック）をつけたり解除することができます。

それぞれの項目に ✔（チェック）を入れると、撮影待機画面で **OK** ボタンを押し、操作画面を表示した状態で、**INFO** ボタンを押すと表示が切り換わります。

フロント／リアダイヤルの機能を変える（ダイヤル機能／ダイヤル機能）

:PASMB /S&Q:PASM

フロント／リアダイヤルで設定できる機能を変更できます。

メニュー
- **MENU** ➡ ⚙ ➡ 1. 操作 ➡ ダイヤルの設定 ➡ ダイヤル機能
- **MENU** ➡ ⚙ ➡ 1. 操作 ➡ ダイヤルの設定 ➡ ダイヤル機能

1. 設定する項目を選択し、**OK** ボタンを押します。
- ◁▷ ボタンでダイヤルを選択し、△▽ ボタンで設定を変更します。
- 設定が完了したら、**OK** ボタンを押します。

[ダイヤル機能] で割り当てられる機能は以下の通りです。

割り当てられる機能	働き	撮影モード			
		P	A	S	M/B
プログラムシフト（Ps）	プログラムシフト（P.58）を設定します。	✓	—	—	—
シャッター速度（Shutter）	シャッター速度を設定します。	—	—	✓	✓[1]
絞り値（FNo）	絞り値を設定します。	—	✓	—	✓
露出補正（±）	露出補正を設定します。	✓	✓	✓	✓[2]
フラッシュ補正（±）	フラッシュ補正を設定します。	✓	✓	✓	✓
ISO 感度	ISO 感度を設定します。	✓	✓	✓	✓
WB モード（WB）	ホワイトバランスを設定します。	✓	✓	✓	✓
CWB 色温度（CWB Kelvin）	ホワイトバランスが CWB（カスタム WB）のときの色温度設定を変更します。	✓	✓	✓	✓

割り当てられる機能	働き	撮影モード			
		P	A	S	M/B
Off	機能を設定しません。	✓	✓	✓	✓

1 モードダイヤルが **B** のとき、Bulb、Time、Live Comp を切り換えます。
2 モードダイヤルが **B** のときは設定できません。

モードダイヤルが **ART** のときは、**[P]** の設定に従います。

[ダイヤル機能] で割り当てられる機能は以下の通りです。

割り当てられる機能	働き	撮影モード			
		P	A	S	M
シャッター速度（Shutter）	シャッター速度を設定します。	—	—	✓	✓
絞り値（FNo）	絞り値を設定します。	—	✓	—	✓
露出補正（±）	露出補正を設定します。	✓	✓	✓	✓
ISO 感度	ISO 感度を設定します。	✓	✓	✓	✓
WB モード（WB）	ホワイトバランスを設定します。	✓	✓	✓	✓
CWB 色温度（CWB Kelvin）	ホワイトバランスが CWB（カスタム WB）のときの色温度設定を変更します。	✓	✓	✓	✓
録音レベル（Vol）	録音の音量を調整します。	✓	✓	✓	✓
Off	機能を設定しません。	✓	✓	✓	✓

フロント／リアダイヤルの操作方向を変える（ダイヤル方向）

:PASMB　/S&Q:PASM

フロント／リアダイヤルを使って露出の設定をするときに、ダイヤルの操作方向に対する設定値の変化方向を設定します。

メニュー
- **MENU** ➡ ⚙ ➡ 1. 操作 ➡ ダイヤルの設定 ➡ ダイヤル方向

露出設定	**A**/**S**/**M**/**B** モードで絞り値やシャッター速度を設定するときのダイヤル方向を設定します。
Ps 設定	**P** モードでプログラムシフトを設定するときのダイヤル方向を設定します。

電動ズームレンズを使って撮影する（電動ズームの設定）

:PASMB /S&Q:PASM

電動ズームを搭載したレンズで、ズームリングを操作したときの、ズームの動作速度を変更します。ズーム動作が速くて狙った構図にしにくいなどのときに調節します。

メニュー
- **MENU** ➡ ⚙ ➡ 1. 操作 ➡ 電動ズームの設定

電動ズーム速度	モードのときの電動ズーム速度を設定します。 **[低速]**：遅い速度でズームします。ズーム位置を正確に決めて撮りたいときに有効です。 **[標準]**：標準的な速度でズームします。 **[高速]**：速い速度でズームします。
電動ズーム速度	モード／S&Q モードのときの電動ズーム速度を設定します。 **[低速]**：遅い速度でズームします。ズーム位置を正確に決めて撮りたいときに有効です。 **[標準]**：標準的な速度でズームします。 **[高速]**：速い速度でズームします。

静止画（ モード）と動画（ モード／S&Q モード）で表示される選択肢は同じですが、ズーム動作速度は異なります。

拡大ライブビュー中にシャッターボタンを押したときの動作を設定する（LV 拡大モード）

📷:PASMB 🎬/S&Q:PASM

拡大表示を使って撮影するときの、動作に関する設定をします。

メニュー
- **MENU** ➡ ⚙ ➡ 2. 操作 ➡ LV 拡大モード

LV 拡大設定の詳しい内容については、「拡大枠 AF／拡大 AF を使う（スーパースポット AF）」（P.122）の説明をお読みください。

LV 拡大モード	拡大表示中に、シャッターボタンを半押ししたときの画面の動作を設定します。 **[mode1]**：シャッターボタンを半押しすると、拡大表示を終了します。拡大表示でピントを合わせたあと、構図を確認して撮影できます。 **[mode2]**：シャッターボタンを半押しすると、拡大表示のままピント合わせを行います。事前に構図を決めて、より狭い範囲でピント合わせをして、そのまま撮影できます。

プレビューボタンの動作を設定する（ロック）

:PASMB /S&Q:PASM

プレビュー操作で絞り込み動作をしたときのボタンの操作や表示について設定します。

メニュー
- **MENU** ➡ ⚙ ➡ 2. 操作 ➡ ロック

[ボタンの設定]（P.328）で、いずれかのボタンに**[プレビュー]**を割り当てておく必要があります。

ロック	プレビューボタンの操作と動作の設定をします。 **[Off]**：プレビューボタンを押している間、絞り込み動作をします。 **[On]**：プレビューボタンを押すと絞り込み状態になります。もう一度ボタンを押すと絞り込みをやめます。

ボタン長押し操作のときの操作時間を設定する（ボタン長押し時間調整）

:PASMB :PASM

各機能で設定値のリセットなどで実行する、ボタンの長押し操作の操作時間の設定をします。使い勝手に合わせて機能別に設定できます。

メニュー
- **MENU** ➡ ⚙ ➡ 2. 操作 ➡ ボタン長押し時間調整

機能が割り当てられたボタンに対し、長押し操作の時間を設定します。

［0.5 秒］～［3.0 秒］

長押し操作の時間を設定できる機能は以下のとおりです。

- LV 拡大枠/拡大表示
- LV 拡大枠位置
- 露出補正値
- 設定値
- WB 補正値
- プロファイル設定値
- 設定値
- 設定値
- 設定値
- 設定値
- ファインチューン設定値
- AF ターゲット位置
- EVF 自動切換設定
- デジタルシフト
- デジタルシフト設定値
- ロック
- フリッカースキャン
- WB BKT 設定呼出し
- ART BKT 設定呼出し
- Focus BKT 設定呼出し
- 深度合成設定呼出し
- 多重露出設定呼出し

ライブビューの設定に関する機能

暗いところで画面を見やすくする（ナイトビュー）

📷:PASMB 🎬/S&Q:PASM

暗くて見えない環境でも見やすい明るさで表示することができます。

メニュー
• **MENU** ➡ ⚙ ➡ 3. ライブビュー表示 ➡ 📷 ナイトビュー

Off	通常の表示です。
On	見やすい明るさで表示します。実際に撮影される画像とは明るさや色が異なります。

• **[On]** に設定すると、画面に「Night LV」が表示されます。

アートフィルター撮影時のライブビュー表示の設定をする（アート LV モード）

:PASMB /S&Q:PASM

アートフィルターは、その効果をモニターやファインダーで確認しながら撮影できます。効果によっては、被写体の動きがスムーズでなくなる場合もあるので、撮影に影響しない設定にすることができます。

メニュー
- **MENU** ➡ ⚙ ➡ 3. ライブビュー表示 ➡ アート LV モード

mode1	アートフィルターの効果を反映して表示します。
mode2	シャッターボタンを半押し中は、アートフィルターの効果の反映を落として、表示速度を優先します。動く被写体などでもスムーズに表示します。

撮影時の画面表示のちらつきを抑える（フリッカーレス LV）

:PASMB　/S&Q:PASM

蛍光灯などの照明の環境下で発生する画面のちらつき（フリッカー）を抑えて表示します。画面がちらついて見えにくいなどのときに有効です。

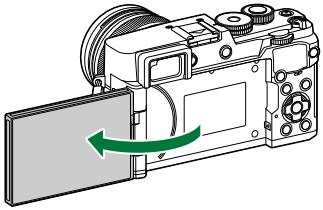
メニュー
- **MENU** ➡ ⚙ ➡ 3. ライブビュー表示 ➡ フリッカーレス LV

オート	フリッカーを自動で検出して低減します。
50Hz	商用電源が 50Hz の地域での照明のちらつきを低減します。
60Hz	商用電源が 60Hz の地域での照明のちらつきを低減します。
Off	フリッカーの低減をしません。 **[フリッカーレス撮影]**（P.208）が**【On】**のときは選択できません。

自分撮りに合わせた表示をする（自分撮りアシスト）

:PASMB　/S&Q:PASM

モニターを反転して自分撮りをするとき、撮影しやすいようにライブビュー表示を変更します。



メニュー

- **MENU** ➡ ✲ ➡ 3. ライブビュー表示 ➡ 自分撮りアシスト

Off	モニターを自分撮り位置にしても、表示は切り換わりません。
On	モニターを反転して自分撮り位置にしたとき、左右反転して表示します。

情報表示を設定する機能

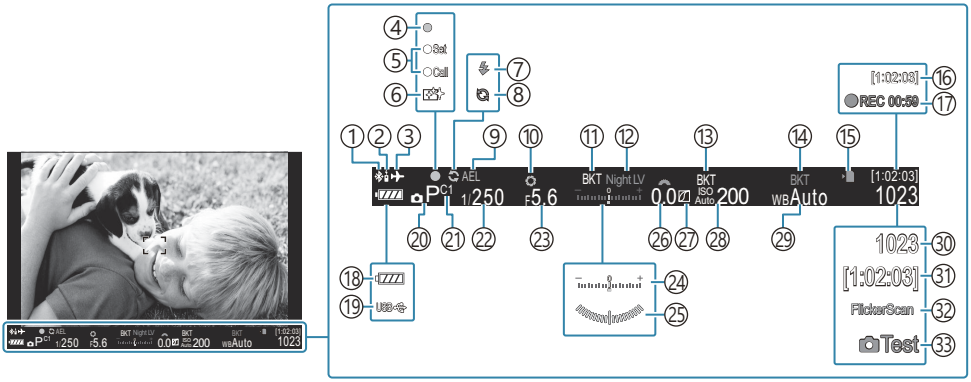
ファインダー内表示のスタイルを選ぶ（EVF 表示スタイル）

:PASMB :PASM

メニュー
- **MENU** ➡ ⚙ ➡ 4. Info 表示 ➡ EVF 表示スタイル

スタイル 1/ スタイル 2	フィルムカメラのファインダーのような表示スタイルにします。	
スタイル 3	モニターと同じ表示をします。	

ファインダー撮影時のファインダー内表示（ スタイル 1／ スタイル 2）



①**Bluetooth**®接続中（P.403、P.420）
②リモコン（P.420）
③機内モード（P.398）
④合焦マーク（P.50）
⑤SET 機能/CALL 機能（P.433）
⑥ダストリダクション（P.442）
⑦フラッシュ（点滅：充電中、点灯：充電完了）（P.186）
⑧プロキャプチャー画像取り込み中（P.206）
⑨AE ロック（P.171）
⑩プレビュー（P.346）
⑪AE BKT（P.272）
⑫ ナイトビュー（P.348）
⑬ISO BKT（P.276）
⑭WB BKT（P.274）
⑮カード書き込み中（P.28、P.34）
⑯録画可能時間（P.500）
⑰録画時間（録画中）（P.86）
⑱電池残量（P.38）
⑲給電（P.418）
⑳撮影モード（P.56）
㉑カスタムモード（P.90）
㉒シャッター速度（P.56、P.61）
㉓絞り値（P.56、P.59）
㉔露出補正（P.163）
㉕水準器[1]（P.358）
㉖露出補正値（P.163）
㉗ハイライト&シャドウコントロール（P.336）
㉘ISO 感度（P.177）
㉙WB モード（P.233）
㉚撮影可能枚数（P.498）
㉛録画可能時間（P.500）
㉜フリッカースキャン（P.168）
㉝試し撮り撮影（P.329）

1 シャッターボタンを半押し中に表示されます。☞ **［ 半押し中水準器表示］**（P.358）

機能設定アイコンの表示内容を変える（Info 表示／Info 表示）

:PASMB　/S&Q:PASM

ライブビュー撮影画面に表示される情報表示の選択をします。
機能設定を示すアイコンの表示/非表示の設定ができます。画面上に表示されるアイコンを選択して表示したい場合などに有効です。
モードでは 3 種類、 モード／S&Q モードでは 2 種類の表示設定を使い分けできます。

メニュー
- **MENU** ➡ ⚙ ➡ 4. Info 表示 ➡ Info 表示
- **MENU** ➡ ⚙ ➡ 4. Info 表示 ➡ Info 表示

Info 表示を設定する

1. **INFO** ボタンを押したときに表示したい情報を選択し、✔（チェック）を付けます。
- △▽ で項目を選択し **OK** ボタンを押すとチェックボックスに ✔（チェック）が表示されます。
  チェックを解除するときは再度 **OK** ボタンを押します。
- チェックボックスをタッチしても ✔（チェック）をつけたり解除することができます。

Info 表示設定画面

情報表示無し	画面に情報を表示しません。
情報表示 1 **情報表示 2** **情報表示 3**	△▽ で項目を選択し **OK** ボタンを押すとチェックボックスに ✔（チェック）が表示されます。 チェックを解除するときは再度 **OK** ボタンを押します。 表示する項目の詳細を設定するときは、▷ を押します。設定できる項目は以下の通りです。 **［ヒストグラム表示］／［ハイライト&シャドウ］／［水準器］／［タッチ静音操作］**

設定中の情報表示は非表示にはできませんが、表示する項目の詳細は設定可能です。

Info 表示を設定する

1. **INFO** ボタンを押したときに表示したい情報を選択し、✔（チェック）を付けます。

- △▽ で項目を選択し **OK** ボタンを押すとチェックボックスに ✔（チェック）が表示されます。
  チェックを解除するときは再度 **OK** ボタンを押します。
- チェックボックスをタッチしても ✔（チェック）をつけたり解除することができます。

Info 表示設定画面

情報表示無し	画面に情報を表示しません。
情報表示 1	△▽ で項目を選択し **OK** ボタンを押すとチェックボックスに ✔（チェック）が表示されます。 チェックを解除するときは再度 **OK** ボタンを押します。 表示する項目の詳細を設定するときは、▷ を押します。設定できる項目は以下の通りです。 **［ヒストグラム表示］／［水準器］／［手ぶれ補正］／［ピクチャーモード］／［ホワイトバランス］／［AF 方式］／［顔・瞳検出］／［録音レベルメーター］／［タイムコード］／［タッチ静音操作］／［罫線］**
情報表示 2	

設定中の情報表示は非表示にはできませんが、表示する項目の詳細は設定可能です。

表示を切り換える

撮影画面で **INFO** ボタンを繰り返し押すと、情報表示が切り換わります。☞「情報表示を切り換える」（P.46）

シャッターボタン半押し中の情報表示を設定する（半押し中の表示）

:PASMB /S&Q:PASM

シャッターボタンを半押ししたときの情報表示を設定できます。

メニュー
- **MENU** ➡ ⚙ ➡ 4. Info 表示 ➡ 半押し中の表示

Off	シャッターボタン半押し中は、情報表示を行いません。
On1	シャッターボタン半押し中は、露出に関する次の情報のみ表示します。 • シャッター速度 • 絞り値 • 露出補正値 • 適正露出との差 • ISO 感度
On2	シャッターボタンを半押ししても、半押しする前の表示から変化しません。

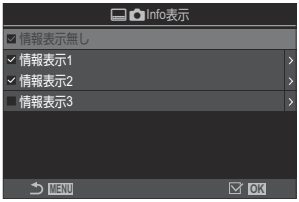
ファインダーの情報表示を設定する（Info表示）

P:PASMB　/S&Q:PASM

ファインダー表示でもモニターの表示と同様に **INFO** ボタンで、ヒストグラムや水準器表示の画面の切り換えができます。ファインダー表示中、**INFO** ボタンを押して表示する情報表示の内容を設定します。この機能は、そのときに表示する内容を設定します。**[EVF 表示スタイル]**（P.352）が **[スタイル 1]**、**[スタイル 2]** で P モードのときに有効です。 モード／S&Q モードのときは**[Info 表示]**（P.355）の設定になります。

メニュー
- **MENU** ➡ ⚙ ➡ 4. Info 表示 ➡ Info 表示

1. **INFO** ボタンを押したときに表示したい情報を選択し、✓（チェック）を付けます。
- △▽ で項目を選択し **OK** ボタンを押すとチェックボックスに ✓（チェック）が表示されます。
  チェックを解除するときは再度 **OK** ボタンを押します。
- チェックボックスをタッチしても ✓（チェック）をつけたり解除することができます。



Info 表示設定画面

情報表示無し	画面に情報を表示しません。
情報表示 1 **情報表示 2** **情報表示 3**	△▽ で項目を選択し **OK** ボタンを押すとチェックボックスに ✓（チェック）が表示されます。 チェックを解除するときは再度 **OK** ボタンを押します。 表示する項目の詳細を設定するときは、▷ を押します。設定できる項目は以下の通りです。 **[ヒストグラム表示]**：ヒストグラムを重ねて表示します。 **[ハイライト&シャドウ]**：ハイライトやシャドウ部を着色して表示します。 **[水準器]**：水準器を表示します。

設定中の情報表示は非表示にはできませんが、表示する項目の詳細は設定可能です。

シャッターボタン半押し中に水準器を表示する（ 半押し中水準器表示）

:PASMB /S&Q:PASM

[EVF 表示スタイル]（P.352）が **[スタイル 1]** または **[スタイル 2]** の設定のときに、シャッターボタンを半押ししているときだけファインダーに水準器を表示します。

半押し中のファインダー表示

メニュー

- **MENU** ➡ ⚙ ➡ 4. Info 表示 ➡ 半押し中水準器表示

On	シャッターボタンを半押し中、ファインダーに水準器を表示します。露出バーの位置に、水平方向の傾きを表示します。
Off	水準器を表示しません。

撮影時に表示するガイド線を設定する（ガイド線表示設定／ ガイド線表示設定）

:PASMB　/S&Q:PASM

メニュー
- **MENU** ➡ ⚙ ➡ 5. 罫線/その他の表示 ➡ ガイド線表示設定
- **MENU** ➡ ⚙ ➡ 5. 罫線/その他の表示 ➡ ガイド線表示設定

表示色	表示色を選択します。 **[プリセット 1]**：**[プリセット 1 の色設定]** の設定値を使用します。 **[プリセット 2]**：**[プリセット 2 の色設定]** の設定値を使用します。
専用設定 **([ガイド線表示設定] のみ)**	モード／S&Q モードでガイド線を表示するときに動画専用の設定を使用するか設定します。 **[Off]**：静止画撮影時と同じ設定を使用します。 **[On]**：動画専用の設定を使用します。
表示罫線選択	表示する罫線の種類を選択します。以下の選択ができます。 **[Off]** ／ **[方眼]** ／ **[黄金分割]** ／ **[三分割]** ／ **[目盛]** ／ **[対角線]** ／ **[動画罫線]**（**[ガイド線表示設定]** のみ） • **[動画罫線]** は、撮影モードが静止画撮影のままで動画撮影する際に撮影される範囲がわかるように 16:9 の画面サイズで罫線を表示します。**[画質モード]** の設定によっては、17:9 で表示されます。
プリセット 1 の色設定	**[R]**：数値を大きくすると赤の色味が強調されます。
プリセット 2 の色設定	**[G]**：数値を大きくすると緑の色味が強調されます。 **[B]**：数値を大きくすると青の色味が強調されます。 **[α]**：数値を大きくするとガイド線の色が濃く表示されます。

深度合成撮影時（P.251）、ここで設定した罫線は表示されません。
ここで設定した内容は、**[EVF 表示スタイル]** の **[スタイル 3]** にも反映されます。

ファインダーにガイド線を表示する（ガイド線表示設定）

:PASMB /S&Q:PASM

フレーミングのときに補助となるガイド線をファインダーに表示します。ガイド線の色や不透明度の設定の選択もできます。**[EVF 表示スタイル]** が **[スタイル 1]**、**[スタイル 2]** で モードのときに有効です。 モード／S&Q モードのときは **[Info 表示]**（P.355）の設定になります。

メニュー
- **MENU** ➡ ⚙ ➡ 5. 罫線/その他の表示 ➡ ガイド線表示設定

専用設定	ファインダーにガイド線を表示するときにファインダー専用の設定を使用するか設定します。 **[Off]**：モニターと同じ設定を使用します。 **[On]**：ファインダー専用の設定を使用します。
表示色	表示色を選択します。 **[プリセット 1]**：**[プリセット 1 の色設定]** の設定値を使用します。 **[プリセット 2]**：**[プリセット 2 の色設定]** の設定値を使用します。
表示罫線選択	表示する罫線の種類を選択します。以下の選択ができます。 **[Off]** ／ **[方眼]** ／ **[黄金分割]** ／ **[三分割]** ／ **[目盛]** ／ **[対角線]** ／ **[動画罫線]** • **[動画罫線]** は、撮影モードが静止画撮影のままで動画撮影する際に撮影される範囲がわかるように 16:9 の画面サイズで罫線を表示します。**[画質モード]** の設定によっては、17:9 で表示されます。
プリセット 1 の色設定	**[R]**：数値を大きくすると赤の色味が強調されます。
プリセット 2 の色設定	**[G]**：数値を大きくすると緑の色味が強調されます。 **[B]**：数値を大きくすると青の色味が強調されます。 **[α]**：数値を大きくするとガイド線の色が濃く表示されます。

深度合成撮影時（P.251）、ここで設定した罫線は表示されません。

CP ボタンで選べる機能を選択する（CP ボタン表示設定）

:PASMB /S&Q:PASM

CP ボタンを押して呼び出せる機能を選択します。

メニュー
- **MENU** ➡ ⚙ ➡ 5. 罫線/その他の表示 ➡ CP ボタン表示設定

1. 表示させる項目を選択し、✓（チェック）を付けます。
- △▽ で項目を選択し **OK** ボタンを押すとチェックボックスに ✓（チェック）が表示されます。チェックを解除するときは再度 **OK** ボタンを押します。
- チェックボックスをタッチしても ✓（チェック）をつけたり解除することができます。

ハイレゾショット 三脚	✓（チェック）を付けると、**CP** ボタンを押したときの選択画面に機能が表示されます。
ハイレゾショット 手持ち	
ライブ ND 撮影 ND2(1EV)～ ライブ ND 撮影 ND16(4EV)	
深度合成撮影	
HDR 撮影 HDR1	
HDR 撮影 HDR2	
多重露出撮影	

マルチ Fn で選べる機能を選択する（マルチ Fn 表示設定）

📷:PASMB 🎬/S&Q:PASM

マルチファンクションで呼び出せる機能を選択します。

メニュー
- **MENU** ➡ ⚙ ➡ 5. 罫線/その他の表示 ➡ マルチ Fn 表示設定

1. 表示させる項目を選択し、✓（チェック）を付けます。
- △▽ で項目を選択し **OK** ボタンを押すとチェックボックスに ✓（チェック）が表示されます。チェックを解除するときは再度 **OK** ボタンを押します。
- チェックボックスをタッチしても ✓（チェック）をつけたり解除することができます。

ハイライト&シャドウコントロール	フロント／リアダイヤルで設定します。**INFO** ボタンを押すと調整する範囲（明部、暗部、中間部）の変更ができます。
カラークリエーター	フロントダイヤルで色合い、リアダイヤルで彩度を設定します。
ISO 感度	フロント／リアダイヤルで設定を変更します。
ホワイトバランス	
拡大	拡大枠が表示されます。
アスペクト比設定	フロント／リアダイヤルで設定を変更します。
ピーキング	ボタンを押すたびにオンオフを切り換えます。

ヒストグラム表示の警告レベルを設定する（ヒストグラム警告設定）

:PASMB　/S&Q:PASM

ヒストグラムで警告する白とび（ハイライト）、黒つぶれ（シャドウ）の設定をします。ヒストグラム表示の警告と静止画再生時の画像での警告で使われます。

- モニターやファインダーの情報表示の**［ハイライト&シャドウ］**の赤や青で表示される領域も、この設定に従って表示されます。

メニュー
- **MENU** ➡ ✲ ➡ 5. 罫線/その他の表示 ➡ ヒストグラム警告設定

ハイライト表示	ハイライト側の警告の下限値を設定します。 **［245］～［255］**
シャドウ表示	シャドウ側の警告の上限値を設定します。 **［0］～［10］**

メニューに関する操作／表示の設定

メニュー画面のカーソルに関する設定をする（メニューカーソル設定）

📷:PASMB 🎬/S&Q:PASM

メニューを開いたときやページを移動したときのカーソル位置を設定できます。

メニュー
• **MENU** ➡ ⚙ ➡ 2. 操作 ➡ メニューカーソル設定

ページ毎のカーソル位置	**[記憶する]**：ページを移動すると、最後にそのページを開いたときのカーソル位置にカーソルを表示します。 **[記憶しない]**：ページを移動すると、毎回先頭の位置にカーソルを表示します。
メニュー開始位置	**[前回位置]**：メニューを開くとき、最後にメニューを終了したときのタブ・ページ・カーソル位置で開きます。 **[📷1/🎬]**：メニューを開いたとき、電源レバーが 📷 のときは 📷1（静止画 1）タブ、🎬/S&Q のときは 🎬（動画）タブの先頭ページを表示します。 **[My]**：メニューを開くときは My（マイメニュー）タブの最初のページを開きます。
B モード設定ショートカット	**B** モードのときに **MENU** ボタンを押すとモードに応じたメニューを表示するように設定できます。 **[Off]**：**[メニュー開始位置]** の設定に応じたメニューを表示します。 **[On]**：モードに応じて **[ライブ BULB 設定]**、**[ライブ TIME 設定]** または **[コンポジット撮影設定]** を表示します。☞「バルブ/タイム/コンポジット撮影時の設定をする（BULB/TIME/COMP の設定）」（P.270）

リアダイヤルによるページの循環方法を設定する（ メニュータブ内循環）

:PASMB　/S&Q:PASM

メニューで、リアダイヤルでページを切り換えるとき、同じタブ内を循環するかどうかを設定します。

メニュー
- **MENU** ➡ ✲ ➡ 1. 操作 ➡ ダイヤルの設定 ➡ メニュータブ内循環

しない	リアダイヤルを回して最後のページまで移動した後にさらに回すと、次のタブの最初のページに移動します。 リアダイヤルを回して最初のページまで移動した後にさらに回すと、前のタブの最後のページに移動します。
する	リアダイヤルを回して最後のページまで移動した後にさらに回すと、現在のタブの最初のページに移動します。 リアダイヤルを回して最初のページまで移動した後にさらに回すと、現在のタブの最後のページに移動します。

この設定はリアダイヤルだけに対する設定です。◁▷ でページを切り換えるときは、常に［**しない**］の動作になります。

［実行/中止］画面のカーソルの初期位置を設定する（実行優先設定）

:PASMB　/S&Q:PASM

機能設定などで表示される、**［実行］**または**［中止］**を選択する画面が表示されたとき、カーソルをどちらに合わせた状態にするかを設定します。

メニュー
- **MENU** ➡ ✲ ➡ 2. 操作 ➡ 実行優先設定

中止優先	カーソルを**［中止］**に合わせて表示します。
実行優先	カーソルを**［実行］**に合わせて表示します。

マイメニューの設定

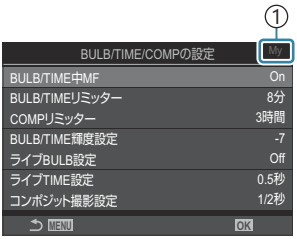
マイメニューについて

選んだメニュー項目を集めて、自分用のメニュータブに収録できます。マイメニューは、最大 5 ページ、1 ページに最大 7 項目登録できます。登録した項目を解除したり、ページや項目の順序を入れ換えることもできます。
はじめてカメラを使うときには何も登録されていません。

マイメニューの登録方法

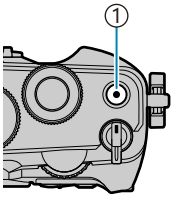
1. **MENU** ボタンを押して、メニューを表示します。

2. マイメニューに登録したい項目を選択します。
   - タブが表示されている画面では、**📷1** から **🔧** までのすべてのメニュー項目がマイメニューに登録できます。
   - その他一部のメニュー項目も、マイメニューに登録できます。登録できる項目のときは、画面右上に「My」が表示されます。



①登録できることを示すアイコン

3. ◉（動画）ボタンを押します。



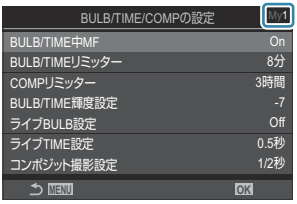
①◉（動画）ボタン

- 登録するマイメニューのページ選択画面が表示されます。△▽ で登録するページを選択します。

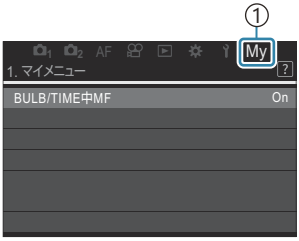
4. **OK** ボタンを押すと指定したページに登録されます。

- 登録を知らせるメッセージが表示されます。

- マイメニューに登録された項目は、登録したマイメニューページの番号が表示されます。
- マイメニューに登録された項目を選択して ◉ ボタンを押すと、マイメニューの登録から削除されます。**［実行］**を選択して **OK** ボタンを押します。



- 登録された項目は、メニューの **My**（マイメニュー）タブに収録されます。



①**My**（マイメニュー）タブ

5. マイメニューを使うときは、メニューの **My**（マイメニュー）タブを選択します。

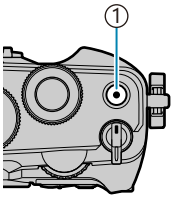
MENU ボタンを押したとき、すぐにマイメニューを使えるように設定できます。☞「メニュー画面のカーソルに関する設定をする（メニューカーソル設定）」（P.364）

マイメニューの内容を整理する

マイメニューに登録した項目の順序を入れ換えたり、削除することができます。

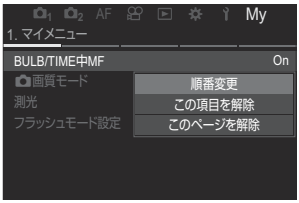
1. **MENU** ボタンを押して、**My**（マイメニュー）タブを表示します。

2. 編集したいマイメニューの項目を選択し、◎ ボタンを押します。



① ◎ ボタン

- 管理メニューが表示されます。
  [順番変更]：項目順番やページを移動します。△▽◁▷ で移動先を選択します。タッチ操作でも移動先を選ぶことができます。
  [この項目を解除]：選択している項目を登録から解除します。**[実行]** を選択して **OK** ボタンを押します。
  [このページを解除]：選択した項目が登録されているページ内の、全項目の登録を解除します。**[実行]** を選択して **OK** ボタンを押します。



カード/フォルダ/ファイルの設定

カードを初期化する（カード初期化）

:PASMB /S&Q:PASM

新しく購入したカード、他のカメラで使用したカード、パソコンなどで他の用途で使用したカードは、必ずこのカメラで初期化してからお使いください。
初期化すると、プロテクトをかけた画像を含むすべてのデータは消去されます。
すでに使用しているカードを初期化するときは、大切なデータが記録されていないことを確認してください。☞「カードについて」（P.34）

メニュー
- **MENU** ➡ 🔧 ➡ 1. カード/フォルダ/ファイル ➡ カード初期化

初期化する	**[実行]**：カードの初期化を実行します。 **[中止]**：カードの初期化を中止します。
中止	カードの初期化を中止します。

ファイル名の付け方を設定する（ファイルネーム）

:PASMB　/S&Q:PASM

撮影した静止画や動画をカードに記録するときのファイル名のつけ方を設定します。ファイル名は、4文字の英数字と4桁の画像番号で構成されています。画像番号の付け方を変更することができます。

メニュー
- **MENU** ➡ 🔧 ➡ 1. カード/フォルダ/ファイル ➡ ファイルネーム

オート	カードを入れ換えても、ファイル番号は通し番号で付けられます。カード内に重複するファイル番号がある場合は、最も大きなファイル番号に続いた番号が付けられます。
リセット	新しいカードを入れると、フォルダ番号は100、ファイル名は0001から始まります。すでに画像が記録されたカードを入れると、最も大きなファイル番号に続いた番号が付けられます。

ファイル名を変える（ファイルネーム編集）

:PASMB　/S&Q:PASM

撮影した静止画や動画をカードに記録するときのファイル名を変更します。

メニュー
- **MENU** ➡ 🔧 ➡ 1. カード/フォルダ/ファイル ➡ ファイルネーム編集

sRGB	**[月日(mdd)]**：2 ～ 4 文字目に、撮影日時の「mdd」（月日）の対応する数字（0 ～ 9）またはアルファベット（10 ～ 12 月は「A」～「C」）が設定されます。 先頭の 1 文字目は、任意に設定できます。 **[ディレクトリ番号]**：2 ～ 4 文字目に、ファイルの保存先フォルダのディレクトリ番号 3 桁（「100」～「999」）が設定されます。 先頭の 1 文字目は、任意に設定できます。 **[手動設定]**：1 文字目～4 文字目を英数字に設定できます。
Adobe RGB	**[月日(mdd)]**：2 ～ 4 文字目に、撮影日時の「mdd」（月日）の対応する数字（0 ～ 9）またはアルファベット（10 ～ 12 月は「A」～「C」）が設定されます。 先頭の 1 文字目は、[_]（アンダーバー）で固定です。 **[ディレクトリ番号]**：2 ～ 4 文字目に、ファイルの保存先フォルダのディレクトリ番号 3 桁（「100」～「999」）が設定されます。 先頭の 1 文字目は、[_]（アンダーバー）で固定です。 **[手動設定]**：2 文字目～4 文字目を英数字に設定できます。1 文字目は［_］（アンダーバー）を表示します。

ユーザー情報記録の設定

レンズ情報を登録する（レンズ情報登録）

:PASMB　/S&Q:PASM

マイクロフォーサーズ、フォーサーズ規格以外のレンズの情報を最大 10 本まで登録できます。この設定は、手ぶれ補正やデジタルシフト撮影の焦点距離情報としても使用します。設定したレンズの情報は、画像の Exif 情報として記録されます。

メニュー
- **MENU** ➡ 🔧 ➡ 2. 情報記録 ➡ レンズ情報登録

レンズ情報新規登録	レンズ情報を登録します。 **［レンズ名］**：レンズ名を入力します。 **［焦点距離］**：焦点距離を設定します。 **［0.1］**～**［1000.0］** mm **［絞り値］**：絞り値を設定します。 **［00.00］**～**［99.99］** **［登録］**：設定したレンズ情報を登録します。
レンズ 01（登録名）～ レンズ 10（登録名）	登録したレンズ情報を変更できます。 **［編集］**：登録したレンズ情報を編集します。 **［レンズ名］［焦点距離］［絞り値］**を編集します。 **［削除］**：登録したレンズ情報を削除します。

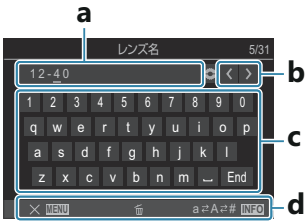
文字の入力方法

1. **INFO** ボタンを押してキーボード（大文字／小文字／記号）を切り換えます。

2. △▽◁▷ で入力する文字を選択して **OK** ボタンを押します。
   - 文字入力エリア（**a**）に選択した文字が表示されます。
   - 入力した文字を消すときは、🗑 ボタンを押します。

3. 文字入力エリア（**a**）の文字を消去するときは、フロント／リアダイヤルでカーソルを移動します。
   - 文字を選択して 🗑 ボタンを押すと文字が消えます。

4. 入力を終了したら［**End**］を選択して **OK** ボタンを押します。



a 文字入力エリア
b カーソル移動キー
c キーボード
d 操作ガイド

a～**d** では、タッチによる入力や操作が可能です。

- 登録されたレンズがレンズ情報登録画面に表示されます。
- 非通信レンズを装着した際には、✔（チェック）が付いたレンズの情報が用いられます。✔ を付けたいレンズを選び、**OK** ボタンを押します。

プリント出力時の解像度を設定する（dpi 設定）

:PASMB /S&Q:PASM

撮影時に画像ファイルに記録する dpi 情報を設定します。プリント出力時の解像度に合わせて設定します。設定した dpi 情報は、画像の Exif 情報として記録されます。

メニュー

- **MENU** ➡ 🔧 ➡ 2. 情報記録 ➡ dpi 設定

著作権情報を設定する（著作権情報記録）

📷:PASMB 🎬/S&Q:PASM

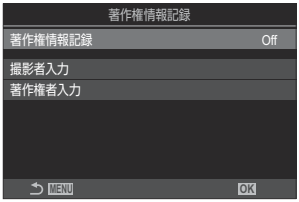
撮影時に画像ファイルに著作権の情報を設定します。設定した著作権情報は、画像の Exif 情報として記録されます。

メニュー
- **MENU** ➡ 🔧 ➡ 2. 情報記録 ➡ 著作権情報記録

⚠**[著作権情報記録]** の使用によって生じたトラブルや損害などについては、当社は一切の責任を持ちません。お客様の責任で使用してください。
⚠入力した著作権情報を削除する場合は、各項目の入力画面で文字を消去してください（P.377）。

著作権情報記録を設定する

1. △▽ ボタンで **[著作権情報記録]** を選択し、**OK** ボタンを押します。



著作権情報記録設定画面

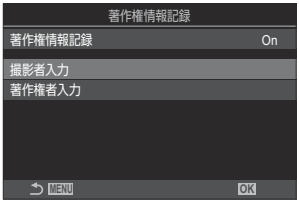
2. △▽ ボタンで **[On]** を選択し、**OK** ボタンを押します。

Off	撮影者/著作権者の名称を Exif 情報に付加しません。
On	撮影者/著作権者の名称を Exif 情報に付加します。

3. 著作権情報記録設定画面に戻ります。

著作権情報記録の各項目を設定する

1. 各項目を設定します。
- △▽ で項目を選択し **OK** ボタンを押すと、設定メニューが表示されます。
- 設定後、**OK** ボタンを押すと著作権情報設定画面に戻ります。



撮影者入力	撮影者の名称を設定します。
著作権者入力	著作権者の名称を設定します。

文字の入力方法

1. **INFO** ボタンを押してキーボード（大文字／小文字／記号）を切り換えます。

2. △▽◁▷ で入力する文字を選択して **OK** ボタンを押します。
- 文字入力エリア（**a**）に選択した文字が表示されます。
- 入力した文字を消すときは、🗑 ボタンを押します。

3. 文字入力エリア（**a**）の文字を消去するときは、フロント／リアダイヤルでカーソルを移動します。
- 文字を選択して 🗑 ボタンを押すと文字が消えます。

4. 入力を終了したら［**End**］を選択して **OK** ボタンを押します。

a 文字入力エリア
b カーソル移動キー
c キーボード
d 操作ガイド

a～**d** では、タッチによる入力や操作が可能です。

モニター/音/接続の設定

タッチパネル機能を無効にする（タッチパネル設定）

:PASMB :PASM

タッチパネル機能を有効にするか無効にするかを設定します。

メニュー
• **MENU** ➡ 🔧 ➡ 3. モニター/音/接続 ➡ タッチパネル設定

Off	タッチパネルの機能を無効にします。
On	タッチパネルの機能を有効にします。

モニターの色合い・明るさを調整する（モニター調整）

:PASMB　/S&Q:PASM

モニターの色温度や明るさを調整します。この設定は静止画撮影、動画撮影で共通です。

メニュー
- **MENU** ➡ 🔧 ➡ 3. モニター/音/接続 ➡ モニター調整

（色温度）	色温度を調整します。△▽ ボタンで設定値を選択します。 **［-7］～［±0］～［+7］**
（明るさ）	明るさを調整します。△▽ ボタンで設定値を選択します。 **［-7］～［±0］～［+7］**

- **INFO** ボタンを押して色温度と明るさを切り換え、それぞれの設定を行います。
- **B** モードでは、**［BULB/TIME 輝度設定］**で設定した明るさで表示されます。☞ 「バルブ/タイム/コンポジット撮影時の設定をする（BULB/TIME/COMP の設定）」（P.270）

ファインダーの明るさや色合いを調整する（EVF調整）

:PASMB　/S&Q:PASM

ファインダー表示の明るさや色合いを調整します。EVF 調整中は、表示がファインダーに切り換わります。

メニュー
- **MENU** ➡ 🔧 ➡ 3. モニター/音/接続 ➡ EVF 調整

☼（明るさ）	**[EVF 自動調光 : Off]** ／ **[EVF 自動調光 : On]**：撮影している環境に合わせて、自動的にファインダー表示の明るさや情報表示の濃さを調整します。◁▷ ボタンで設定値を選択します。 **[☼]**：明るさを調整します。△▽ ボタンで設定値を選択します。 **[-2]** ～ **[±0]** ～ **[+2]** ⓘ **[EVF 自動調光 : On]** のときは明るさの変更はできません。
（色温度）	色温度を調整します。△▽ ボタンで設定値を選択します。 **[-3]** ～ **[±0]** ～ **[+3]**

- **INFO** ボタンを押して色温度と明るさを切り換え、それぞれの設定を行います。

アイセンサーの機能を設定する（アイセンサーの設定）

:PASMB /S&Q:PASM

ファインダーに目を近づけたときの動作を設定できます。

メニュー
- **MENU** ➡ ➡ 3. モニター/音/接続 ➡ アイセンサーの設定

EVF 自動切換設定	**[Off]**：ファインダーに目を近づけても表示は切り換わりません。表示を切り換えるには ボタンを押します。 **[On]**：ファインダーに目を近づけると自動的に表示をファインダーに切り換えます。
EVF 自動切換時の動作	ファインダーに目を近づけたときのファインダーの表示を設定します。 **[画面を維持]**：モニターで表示していた画面がファインダーに表示されます。 **[撮影画面に遷移]**：モニターで再生画面やメニューを表示していた場合でも、ファインダーは撮影画面に戻ります。
モニター引き出し時の動作	**[有効]**：モニターを開いていても**[EVF 自動切換設定]**が**[On]**のときはファインダーに目を近づけると自動的に表示をファインダーに切り換えます。 **[無効]**：モニターを開いていると、**[EVF 自動切換設定]**が**[On]**でファインダーに目を近づけても表示は切り換わりません。

ボタンを押し続けると**[EVF 自動切換設定]**の設定画面を表示します。

合焦音を消す（電子音）

:PASMB /S&Q:PASM

AF でピントが合ったときに鳴るピピッという音（合焦音）のオンオフが設定できます。

メニュー
- **MENU** ➡ 🔧 ➡ 3. モニター/音/接続 ➡ 電子音

On	AF で被写体に合焦したとき、ピピッと音が鳴ります。**[C-AF]** では、最初の合焦時のみ発音します。
Off	AF で被写体に合焦したとき、ピピッと音は鳴りません。

静音撮影で合焦音を発音するには、**[静音 [♥] 撮影設定]** の設定が必要です（P.204）。

外部モニターへの出力設定をする（HDMI 接続設定）

📷:PASMB 🎬/S&Q:PASM

HDMI 接続したモニターに出力する信号の設定をします。モニターの性能に合わせてムービーサイズやフレームレートを設定できます。

メニュー
- **MENU** ➡ 🔧 ➡ 3. モニター/音/接続 ➡ HDMI 接続設定

出力サイズ	HDMI 端子に出力する映像信号の形式を設定します。 **[C4K]**：4K デジタルシネマ画質（4096×2160）で出力します。 **[4K 優先]**：4K 画質（3840×2160）優先で出力します。 **[1080p 優先]**：フルハイビジョン形式（1080p）優先で出力します。 **[720p 優先]**：ハイビジョン形式（720p）優先で出力します。
出力フレームレート	NTSC 地域か PAL 地域に合わせて出力する信号のフレームレートを選択します。 **[60p 優先]**：NTSC 地域に合わせたフレームレートです。 **[50p 優先]**：PAL 地域に合わせたフレームレートです。

ⓘHDMI 接続中に、**[出力フレームレート]** の設定は変更できません。
ⓘ記録されている音声フォーマットに対応している機器以外では、音声は再生されません。
🔊🎬 モード／S&Q モードで HDMI 接続した機器に出力する際の詳細設定ができます。☞ 「HDMI 機器への出力設定をする（🎬HDMI 出力）」（P.285）

USB ケーブル接続時の動作を設定する（USB の設定）

カメラを USB ケーブルでパソコンや周辺機器と接続するときの動作を設定します。

メニュー
- **MENU** ➡ 🔧 ➡ 3. モニター/音/接続 ➡ USB の設定

USB 接続モード	**[毎回確認]**：USB ケーブルを接続するたびに接続方法を設定するメニューが表示されます。 **[ストレージ]**：カメラをパソコン用の外部メモリーのように使います。カード内のデータをパソコンに移すことができます。 **[MTP]**：パソコンのソフトウェアを使った画像の取り込みや閲覧をすることができます（P.414）。 **[WEB カメラ]**：カメラをパソコンに接続して、オンライン会議やライブ配信用の Web カメラとして使用することができます（P.416）。特別なドライバーやアプリケーションが必要ないため、USB 接続するだけでカメラで取り込んだ映像や音声をパソコンに転送できます（USB ストリーミング）。 **[給電]**：市販の USB 機器と接続したときに、自動的に給電が開始されない場合に選択してください。通常は設定する必要はありません。
USB 通信中給電	パソコンと USB 通信をするとき（P.414）、カメラに給電を行うかどうかを設定します。 **[する]**：PC に接続された USB ケーブルをカメラに接続したとき給電を開始します。 **[しない]**：PC に接続された USB ケーブルをカメラに接続しても給電をしません。 ⓘ環境温度やパソコンの性能によっては、**[する]** に設定しても給電されないことがあります。

電池/スリープの設定

モニターのバックライトを減光する（バックライト時間）

:PASMB /S&Q:PASM

一定時間カメラを操作しないとき、モニターのバックライトの明るさを落とす設定をします。バックライトを減光することで電池の消費を抑えることができます。

メニュー
- **MENU** ➡ 🔧 ➡ 5. 電池/スリープ ➡ バックライト時間

8 秒／30 秒／1 分	選択した時間で減光します。
Hold	モニターは減光しません。

スリープ（省電力）モードを設定する（スリープ時間）

:PASMB　/S&Q:PASM

一定時間カメラを操作しないとき、スリープ状態に移行する設定をします。スリープ状態では、カメラの動作を停止してモニターも消灯します。

メニュー
- **MENU** ➡ 🔧 ➡ 5. 電池/スリープ ➡ スリープ時間

Off	スリープ状態に移行しません。
1分／3分／5分	選択した時間でスリープ状態に移行します。

- シャッターボタン半押しで再び動作し始めます。

ⓘ以下の動作中は、スリープ状態に移行しません。
- 多重露出撮影中／HDMI 機器接続中／スマートフォン接続中（Wi-Fi）／パソコン接続中／リモコン無線接続中

自動的に電源を切る設定をする（自動電源 Off）

:PASMB　/S&Q:PASM

カメラがスリープ状態に移行した後、さらに一定時間経過すると自動的に電源が切れます。ここでは、自動的に電源が切れるまでの時間を設定します。

メニュー
- **MENU** ➡ 🔧 ➡ 5. 電池/スリープ ➡ 自動電源 Off

Off	自動的に電源を切りません。
5 分／30 分／1 時間／4 時間	選択した時間で自動的に電源が切れます。

自動的に電源オフになった後、カメラを動作させるときは、電源レバーで電源を入れなおしてください。

カメラの電力を抑えて使う設定をする（低消費電力撮影）

:PASMB /S&Q:PASM

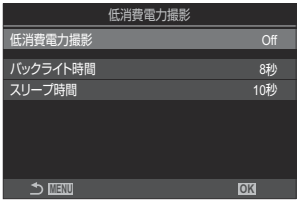
ファインダー撮影では、さらに消費電力を抑えることができます。バックライトの消灯までの時間やスリープまでの時間を通常よりも短く設定できます。

以下の動作中は、低消費電力撮影は働きません。
- ライブビュー撮影中／ファインダー点灯中／多重露出撮影中／インターバル撮影中／HDMI 機器接続中／スマートフォン接続中（Wi-Fi）／パソコン接続中／Bluetooth 動作中

メニュー
• **MENU** ➡ ⚙ ➡ 5. 電池/スリープ ➡ 低消費電力撮影

低消費電力撮影を設定する

1. △▽ ボタンで［**低消費電力撮影**］を選択し、**OK** ボタンを押します。



低消費電力設定画面

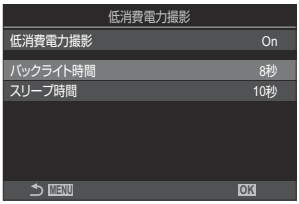
2. △▽ ボタンで［**On**］を選択し、**OK** ボタンを押します。

Off	低消費電力状態には移行しません。
On	短時間で、省電力状態に移行します。低消費電力で動作しているときは、モニターにスーパーコンパネが表示されている状態のとき（P.44）、「ECO」が表示されます。

3. 低消費電力撮影設定画面に戻ります。

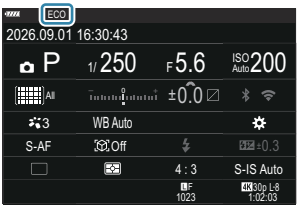
低消費電力撮影の各項目を設定する

1. 各項目を設定します。
- △ ▽ で項目を選択し **OK** ボタンを押すと、設定メニューが表示されます。
- 設定後、**OK** ボタンを押すと低消費電力撮影設定画面に戻ります。



バックライト時間	一定時間カメラを操作しないとき、モニターのバックライトの明るさを落とす設定をします。 **[3 秒]** ／ **[5 秒]** ／ **[8 秒]**
スリープ時間	一定時間カメラを操作しないとき、スリープ状態に移行する設定をします。 **[3 秒]** ／ **[5 秒]** ／ **[8 秒]** ／ **[10 秒]** ／ **[15 秒]** ／ **[30 秒]** ／ **[1 分]**

- 低消費電力で動作しているときは、モニターにスーパーコンパネが表示されている状態のとき（P.44）、「ECO」が表示されます。



リセット/日時/その他の設定

カメラの設定を初期状態に戻す（リセット/カメラ初期化）

:PASMB　/S&Q:PASM

カメラの設定を工場出荷時の設定に戻します。ほぼすべての設定を戻すか、撮影に関する機能のみを戻すかの選択ができます。

メニュー
- **MENU** ➡ 🔧 ➡ 6. リセット/日時/言語/その他 ➡ リセット/カメラ初期化

撮影設定リセット	撮影に関する機能のみをリセットします。
カメラ初期化	日付や言語設定など一部を除き、カメラの設定を初期化します。

リセットされる機能については、「機能と初期設定一覧」（P.457）をご覧ください。
OM Workspace や OM Image Share を使って、カメラの設定を保存することができます。詳しくは当社ホームページをご覧ください。

日付・時刻を設定する（日時設定）

:PASMB :PASM

日時を設定します。

メニュー
- **MENU** ➡ 🔧 ➡ 6. リセット/日時/言語/その他 ➡ 日時設定

日時	日付／時刻／日付表示順序の設定をします。◁▷ ボタンで項目を選び、△▽ ボタンで内容を選びます。
タイムゾーン	タイムゾーンの設定とサマータイムの設定をします。タイムゾーンの設定は △▽ ボタンで設定値を選択します。 **INFO** ボタンを押すと、サマータイムの設定ができます。**INFO** ボタンでオンオフを切り替えます。

水準器の調整をする（水準器調整）

水準器の角度のずれを調整します。実際の水平、垂直と水準器の表示にずれがある場合などに調整してください。

メニュー
- **MENU** ➡ 🔧 ➡ 6. リセット/日時/言語/その他 ➡ 水準器調整

リセット	工場出荷時の調整値に戻します。
キャリブレーション	基準の位置（ゼロ点）を設定します。基準点（ゼロ点）に設定する状態にカメラを設置して調整します。

画像処理機能をチェックする（ピクセルマッピング）

:PASMB :PASM

撮像素子と画像処理機能のチェックを同時に行います。最適な効果を得るため、撮影・再生直後より1分以上時間を空けたあとに実行します。

誤って処理中にカメラの電源を切ってしまった場合は、必ずもう一度このチェックを行ってください。

メニュー
- **MENU** ➡ ➡ 6. リセット/日時/言語/その他 ➡ ピクセルマッピング

ファームウェアのバージョンを確認する（ファームウェアバージョン）

:PASMB　/S&Q:PASM

カメラや接続しているレンズ、アクセサリーのファームウェアのバージョンを表示します。お問い合わせいただくときやカメラのファームウェアのアップデートなどの場合に確認してください。

メニュー

- **MENU** ➡ ➡ 6. リセット/日時/言語/その他 ➡ ファームウェアバージョン

各種認証マークを表示する（認証マーク表示）

:PASMB　/S&Q:PASM

カメラが対応している各認証のマークの一部を表示します。

メニュー

- **MENU** ➡ 🔧 ➡ 6. リセット/日時/言語/その他 ➡ 認証マーク表示

外部機器と接続する

外部機器との接続について

このカメラは、パソコンやスマートフォンなどの外部機器と接続することによって、いろいろな使い方ができます。

Wi-Fi、Bluetooth®機能をお使いのときのご注意

使用が禁止されている国や地域、場所では、無線 LAN および **Bluetooth**®を停止させてください。

このカメラは無線 LAN および **Bluetooth**®を搭載しています。カメラを購入された地域以外での使用については、その国の電波管理規定に違反する恐れがあります。

国や地域により、位置情報を政府への申請なしに取得をすることは違法になる場合があります。そのため、あらかじめ、当社販売エリアにより位置情報を表示できないよう設定している場合があります。

国外へ持ち出す際には、持ち出す国や地域によって、定められた法律があります。あらかじめご確認の上、必ずそれに従ってください。当社では一切の責任は負えません。

飛行機内など Wi-Fi の使用を禁止されている場所では、機能を停止してください。☞「カメラの無線通信を停止する（機内モード）」（P.398）

- 電波による通信は、傍受される可能性があります。あらかじめご了承ください。
- 送受信用アンテナは、グリップ内にあります。金属類をなるべく近づけないでください。またグリップ部を握ったり覆ったりすると、電波の強度が低下する場合があります。
- バッグなどにカメラを入れて運ぶ場合、バッグの素材やその他の内容物によってカメラの電波が遮蔽され、スマートフォンと通信できない場合があります。
- Wi-Fi 接続中は、バッテリーの消耗が早くなります。バッテリーの残量が少ないと通信中でも通信が途切れる場合があります。
- 電子レンジやコードレス電話機など、磁場、静電気、電波の発生するところでは通信しにくくなったり、速度が遅くなったりします。
- カードの書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にしていると、一部の無線 LAN 機能が使用できません。

カメラの無線通信を停止する（機内モード）

:PASMB　/S&Q:PASM

カメラの無線通信（Wi-Fi/**Bluetooth**®）を停止することができます。

メニュー
- **MENU** ➡ ➡ 4. Wi-Fi/Bluetooth ➡ 機内モード

Off	無線通信が使用可能です。
On	無線通信を停止します。**[Off]** にするまで無線機能は使用できません。 **[On]** に設定すると画面に ✈ が表示されます。

スマートフォンと接続する

スマートフォンとの接続について

本機の無線 LAN 機能（Wi-Fi）と **Bluetooth**®機能を使ってスマートフォンと接続し、専用アプリを使用することで、撮影や撮影後の楽しみがいっそう広がります。カメラとスマートフォンを接続しておくと、スマートフォンの操作で画像の転送やリモート撮影、画像に位置情報を付与できます。

- すべてのスマートフォンで動作を保証するものではありません。

専用アプリ OM Image Share を使ってできること

- **カメラの画像をスマートフォンへ転送**
  カメラでシェア予約（P.305）した画像をスマートフォンに取り込むことができます。
  また、カメラ内の画像をスマートフォン側で選択して転送できます。
- **スマートフォンからリモート撮影**
  スマートフォンでカメラをリモート操作し、撮影することができます。
- **写真をステキに加工**
  スマートフォンに取り込んだ画像を直感的な操作で印象的な仕上がりにすることができます。
- **カメラの画像に GPS タグを追加**
  スマートフォンの GPS 機能を使って、カメラに位置情報や GPS ログを転送し、撮影した画像に GPS タグを付与することができます。

詳細は、当社ホームページをご参照ください。

スマートフォンとの接続設定をする（スマートフォン接続）

はじめてスマートフォンとカメラを接続する場合は、初期設定が必要です。

- 接続設定は、スマートフォンの OS の設定画面で行わず、アプリ（OM Image Share）の画面に従って行ってください。

1. スマートフォンにインストールした専用アプリ OM Image Share を起動します。

2. 撮影待機画面に表示される をタッチします。

以下の操作でも可能です。

スーパーコンパネ

-

メニュー

- **MENU** ➡ ➡ 4. Wi-Fi/Bluetooth ➡ スマートフォン接続

3. **［スマートフォン接続］**を選択して **OK** ボタンを押します。

4. モニターに表示される操作ガイドに従って、Wi-Fi/**Bluetooth**®接続の準備を進めます。

- モニターに **Bluetooth** ローカルネームとそのパスコード、Wi-Fi SSID とそのパスワード、QR コードが表示されます。

①**Bluetooth** ローカルネーム
Bluetooth パスコード
②Wi-Fi SSID
Wi-Fi パスワード
③QR コード

5. スマートフォンの OM Image Share の画面下部のカメラのアイコンをタップします。

- **［かんたん接続設定］**のタブが表示されます。

6. OM Image Share に表示されるガイドに従って QR コードを読み取り、接続設定を進めます。
- QR コードを読み取れない場合は、OM Image Share に表示されるガイドに従って手動で設定する必要があります。
  - **Bluetooth®**：OM Image Share に表示される Bluetooth 設定画面でカメラのモニターに表示されているローカルネームを選択し、パスコードを入力します。
  - Wi-Fi：OM Image Share に表示される Wi-Fi 設定画面で、カメラのモニターに表示されている SSID とパスワードを入力して接続します。
- 接続すると、画面の Wi-Fi が緑色に変わります。
- **Bluetooth®**のアイコンは以下の状態を表しています。
  - Bluetooth 点灯：無線信号発信状態
  - Bluetooth 点灯：無線接続確立状態

7. Wi-Fi 接続を終了するには、カメラの **MENU** ボタンを押すか、モニター画面の Wi-Fi MENU にタッチします。
- OM Image Share でカメラの電源をオフにし、接続を終了することもできます。
- カメラの初期設定では、Wi-Fi 接続を終了しても **Bluetooth®**接続が維持され、スマートフォンからリモート撮影ができる状態になります。Wi-Fi 接続を終了するときに **Bluetooth®**接続も終了するように設定するには、**［Bluetooth］**を**［Off］**にします。

スマートフォン接続のセキュリティを設定する（スマートフォン接続セキュリティ）

スマートフォンと Wi-Fi 接続時のセキュリティを設定します。

メニュー

- **MENU** ➡ ⚲ ➡ 4. Wi-Fi/Bluetooth ➡ スマートフォン接続の設定 ➡ スマートフォン接続セキュリティ

ⓘ**［WPA2/WPA3］**または**［WPA3］**に設定するとスマートフォンと Wi-Fi 接続できない場合があります。その場合は**［WPA2］**に設定してください。

ⓘ設定を変更すると、Wi-Fi 接続のパスワードと **Bluetooth**®接続のパスコードが両方とも変更されます。

ⓘパスワード変更後は、再度スマートフォンとの接続設定を行ってください。☞「スマートフォンとの接続設定をする（スマートフォン接続）」（P.400）

無線接続常時受け付けを設定する（Bluetooth）

カメラの電源が入っているときに、常にスマートフォンや別売のリモコンとの無線接続が可能な状態にするかどうかを設定します。

あらかじめカメラとスマートフォンまたは別売のリモコンの接続設定を完了させてください。完了していない場合、**［Bluetooth］**は選択できません。

メニュー
- **MENU** ➡ 🔧 ➡ 4. Wi-Fi/Bluetooth ➡ Bluetooth

Off	カメラの電源が入っているときの無線接続常時受け付けを解除し、無線信号の発信を停止します。
On	カメラの電源が入っているとき、無線信号が発信され、カメラとスマートフォンは常に接続可能な状態になります。 OM Image Share の操作だけで、いつでもスマートフォンと無線接続し、リモート撮影や写真転送などが可能になります。
On	カメラの電源が入っているとき、無線信号が発信され、カメラと別売のリモコン（P.422）とのペアリングが完了している場合、常に接続可能な状態になります。

［On］設定時、専用アプリ OM Image Share で GPS ログを取得していると、カメラは撮影時に位置情報をアプリから受け取り、画像に付与します。

電源オフ時の無線接続設定をする（バックグラウンド通信）

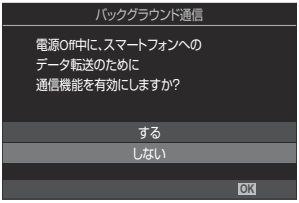
カメラの電源をオフにしているときも、スマートフォンと無線接続するかどうかを設定します。

メニュー
- **MENU** ➡ ➡ 4. Wi-Fi/Bluetooth ➡ スマートフォン接続の設定 ➡ バックグラウンド通信

毎回確認	カメラの電源をオフにすると、スマートフォンとの無線接続を有効にするかどうかを確認する画面が表示されます。
Off	カメラの電源をオフにしているとき、スマートフォンとの無線接続を無効にします。
On	カメラの電源をオフにしているときもスマートフォンとの無線接続を有効にして、カメラ内の画像をスマートフォンに転送したり、スマートフォンでカメラ内の画像を閲覧できます。

[毎回確認]について

[バックグラウンド通信]を**[毎回確認]**に設定し、次の条件がすべて満たされた場合、カメラの電源オフ時に次の確認画面が表示されます。
- **[機内モード]**が**[Off]**になっている
- スマートフォンとの接続設定（P.400）が完了している
- カードが正しく差し込まれている



する	スマートフォンとの無線接続を有効にして、カメラの電源がオフになります。
しない	スマートフォンとの無線接続を無効にして、カメラの電源がオフになります。

- 確認画面の表示中に約 1 分経過すると、スマートフォンとの無線接続を無効にして、カメラの電源がオフになります。
- スマートフォンとの無線接続を有効にしている場合も、次の場合は自動で無効になります。一度カメラの電源を入れると、再度有効になります。
  - スマートフォンとの通信がないまま 12 時間経過した場合
  - カードを抜き差しした場合
  - 電池交換をした場合
  - 電池の本体内充電中に充電エラーが発生した場合

[バックグラウンド通信] が **[On]** の場合、電源レバーを /S&Q のいずれかに合わせてもカメラの電源がすぐに入らない場合があります。

スマートフォンに画像を転送する

スマートフォンでカメラ内の画像を選択して取り込むことができます。また、あらかじめシェアする画像をカメラで選択しておくこともできます。☞「画像の転送予約をする（シェア予約）」（P.305）

- **［Bluetooth］**（P.403）が**［Off］**または**［On］**になっている場合は**［On］**にします。
- **［Bluetooth］**（P.403）が**［On］**になっている場合は、カメラの電源を入れると同時に無線通信が常時待機状態になります。

1. OM Image Share で**［写真転送］**をタップします。

ⓘ一部のスマートフォンでは Wi-Fi 接続の確認画面が表示されます。画面の指示に従って、カメラと接続します。

- カメラ内の画像が一覧で表示されます。

2. 転送したい写真を選択して保存ボタンをタップします。

- 保存が完了したらスマートフォンからカメラの電源をオフできます。
- **［Bluetooth］**（P.403）が**［Off］**または**［On］**になっていても、カメラの**［スマートフォン接続］**からの操作で**［写真転送］**は可能です。

カメラの電源オフ時に自動で画像を転送する

次の準備をしておくと、カメラの電源オフ中に自動でスマートフォンに画像を転送します。

- カメラで画像にシェア予約を設定する（P.305）。
- 電源オフ時の無線接続を有効にする（P.404）。
- スマートフォンが iOS の場合、あらかじめスマートフォンで OM Image Share を起動しておく。

カメラで画像にシェア予約を設定し、カメラの電源をオフにすると、OM Image Share に通知が届きます。通知をタップすると、自動でスマートフォンに画像を転送します。

スマートフォンからリモート撮影する（ライブビューリモコン）

カメラをスマートフォンから操作して、スマートフォンでライブビューを確認しながらリモート撮影（ライブビューリモコン）ができます。

- カメラ側は接続画面になり、撮影操作はスマートフォン側からすべて行います。
- **［Bluetooth］**（P.403）が**［Off］**または**［On］**になっている場合は**［On］**にします。
- **［Bluetooth］**（P.403）が**［On］**になっている場合は、カメラの電源を入れると同時に無線通信が常時待機状態になります。

1. OM Image Share を起動して、**［リモコン］**ボタンをタップします。

2. **［ライブビュー］**をタップします。

3. シャッターボタンをタップして撮影します。
- 撮影した画像はカメラ内のカードに記録されます。

［Bluetooth］（P.403）が**［Off］**または**［On］**になっていても、カメラの**［スマートフォン接続］**からの操作で**［ライブビュー］**は可能です。

使用できる撮影機能に一部制限があります。

スマートフォンからリモート撮影する（ワイヤレスレリーズリモコン）

カメラをスマートフォンから操作して、リモート撮影（ワイヤレスレリーズリモコン）ができます。

- カメラは通常と全く変わらず撮影操作が可能です。加えて、スマートフォンの画面に表示されるシャッターボタンでも静止画撮影／動画撮影ができます。
- **［Bluetooth］**（P.403）が**［Off］**または**［On］**になっている場合は**［On］**にします。
- **［Bluetooth］**（P.403）が**［On］**になっている場合は、カメラの電源を入れると同時に無線通信が常時待機状態になります。

1. OM Image Share を起動して、**［リモコン］**ボタンをタップします。

2. **［ワイヤレスレリーズ］**をタップします。

3. シャッターボタンをタップして撮影します。
- 撮影した画像はカメラ内のカードに記録されます。

［Bluetooth］（P.403）が**［Off］**または**［On］**になっていても、カメラの**［スマートフォン接続］**からの操作で**［ワイヤレスレリーズ］**は可能です。

画像に位置情報をつける

スマートフォンの GPS 機能を使って、カメラが撮影する画像に位置情報を付与することができます。

- **［Bluetooth］**（P.403）が**［Off］**または**［On］**になっている場合は**［On］**にします。
- **［Bluetooth］**（P.403）が**［On］**になっている場合は、カメラの電源を入れると同時に無線通信が常時待機状態になります。

1. カメラで撮影を始める前に、スマートフォンで OM Image Share を起動して位置情報付与のスイッチをオンにします。

- スマートフォンとカメラの時刻を同期する必要があると表示された場合は、OM Image Share のガイドに従ってください。

2. カメラで撮影します。

- 位置情報の付与が可能になっているときは、撮影画面に ⌖ が点灯します。⌖ が点滅しているときは、位置情報を取得できていません。
- カメラの電源を入れた直後や、カメラがスリープ状態から再開した直後は、位置情報の付与が可能になるまでに時間がかかる場合があります。
- 撮影画面に ⌖ が点灯しているときに撮影した画像には、位置情報が付与されます。
- 位置情報が付与された画像には、⌖ が表示されます。

ⓘ動画には位置情報は付与されません。

3. カメラで撮影が終わったら、OM Image Share で位置情報付与のスイッチをオフにします。

スマートフォン接続設定を初期化する（スマートフォン接続設定リセット）

スマートフォンとの接続設定を初期化します。

メニュー

- **MENU** ➡ ⚙ ➡ 4. Wi-Fi/Bluetooth ➡ スマートフォン接続の設定 ➡ スマートフォン接続設定リセット

次のメニュー項目が初期化されます。

- **［スマートフォン接続セキュリティ］**（P.402）／**［スマートフォン接続パスワード］**（P.412）／**［バックグラウンド通信］**（P.404）

スマートフォンと接続するには、再度初期設定を行ってください（P.400）。

パスワードを変更する（スマートフォン接続パスワード）

Wi-Fi/**Bluetooth**®接続で使うパスワードを変更します。

メニュー
- **MENU** ➡ ⚙ ➡ 4. Wi-Fi/Bluetooth ➡ スマートフォン接続の設定 ➡ スマートフォン接続パスワード

1. 操作ガイドに従って ◎ ボタンを押します。
- 新しいパスワードに設定されます。

Wi-Fi 接続のパスワードと **Bluetooth**®接続のパスコードが両方とも変更されます。
パスワード変更後は、再度スマートフォンとの接続設定を行ってください。☞「スマートフォンとの接続設定をする（スマートフォン接続）」（P.400）

パソコンと接続する（USB）

ソフトウェアのインストール

カメラとパソコンを直接 USB 接続して使うときには、以下のソフトウェアをインストールしてください。

OM Workspace

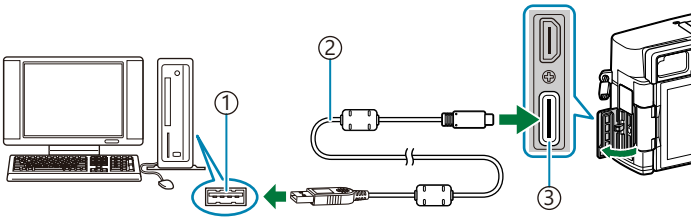
カメラで撮影した静止画や動画をパソコンに取り込んで、閲覧や編集、管理を行うためのアプリケーションソフトウェアです。カメラのファームウェアのアップデートもできます。ソフトウェアのダウンロードについては当社ホームページをご覧ください。ソフトウェアのダウンロードにはご利用の製品のシリアル No を入力する必要があります。

画面の指示に従ってインストールしてください。ソフトウェアの動作環境、インストール方法は当社ホームページでご確認ください。

パソコンに画像を取り込んで保存する（ストレージ／MTP）

カメラをパソコンにカードリーダーやポータブルデバイスとして接続し、画像を取り込むことができます。

1. カメラの電源が切れていることを確認し、カメラとパソコンを USB ケーブルで接続します。



①USB ポート
②USB ケーブル CB-USB11/CB-USB13（別売）
③USB 端子

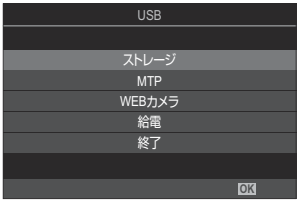
- USB ポートの位置はパソコンによって異なります。パソコンの取扱説明書をご覧ください。

2. カメラの電源を入れます。

- カメラのモニターに USB ケーブルの接続先を選択する画面が表示されます。
- 画面が表示されないときは、**［USB 接続モード］**（P.384）を**［毎回確認］**に設定してください。
- 電池残量が著しく不足しているときは、カメラをパソコンに接続しても、カメラの画面に何も表示されない場合があります。充電した電池を使用してください。

3. △▽ を押して**［ストレージ］**または**［MTP］**を選択します。
OK ボタンを押します。

［ストレージ］：パソコンにカードリーダーとして接続します。
［MTP］：パソコンにポータブルデバイスとして接続します。



4. カメラが新しい機器としてパソコンに認識されます。

USB 端子を装備していても、以下の環境では正常な動作は保証いたしません。
- 拡張カードなどで USB 端子を増設したパソコン／工場出荷時に OS がインストールされていないパソコン／自作パソコン

パソコンに接続中は、カメラとしての機能は一切動作しません。

パソコンに認識されない場合は、一度 USB ケーブルを抜いてから、再度パソコンに接続してください。

［MTP］を選択したときは、4GB を超える動画ファイルを取り込むことはできません。

電源レバーが **OFF** の位置になっているときは、パソコンと USB 接続している間も、電池を充電できる場合があります。充電時間はパソコンなどの性能により大きく異なります。

カメラを Web カメラとして使用する（WEB カメラ）

カメラをパソコンに接続して、オンライン会議やライブ配信用の Web カメラとして使用することができます。特別なドライバーやアプリケーションが必要ないため、USB 接続するだけでカメラで取り込んだ映像や音声をパソコンに転送できます（USB ストリーミング）。

1. カメラの電源が切れていることを確認します。

2. カメラとパソコンを接続します。

Ⓘ USB ポートの位置はパソコンによって異なります。パソコンの取扱説明書をご覧ください。

3. 電源レバーを 🎥 に合わせます。

🔊 画面に表示されないときは、**［USB 接続モード］**（P.384）を **［毎回確認］** に設定してください。

Ⓘ 電池残量が著しく不足しているときは、カメラをパソコンに接続しても、カメラの画面に何も表示されない場合があります。充電した電池を使用してください。

4. △▽ で **［WEB カメラ］** を選択し、**OK** ボタンを押します。

- カメラが撮影待機状態になります。
- 画面に 🔌 のアイコンが表示されます。
- カメラの操作で明るさやピントを調整します。

5. パソコン側で、ご利用になる Web 会議・配信サービスのアプリケーションを起動します。アプリケーションのデバイス設定で接続したカメラの機種名を選択します。

- 映像および音声の転送が開始されます。
- 1280×720 のムービーサイズで転送されます。

Ⓘ **［🎥 画質モード］** の **［フレームレート］** の設定が **［60p］**、**［30p］**、または **［24p］** のときは **［30p］** で転送され、**［50p］** または **［25p］** のときは **［25p］** で転送されます。

🔊 カードが入っていない状態でも、Web カメラとして使用することができます。
🔊 外部マイクを接続したときは、外部マイクからの音声を転送します。

[USB 通信中給電] を **[する]** に設定しているとき、Web カメラ使用中にパソコンから USB 給電を行います。
USB 給電はパソコンの USB ポートの仕様や性能によります。
また、環境温度やカメラの内部温度が高い場合には給電されないことがあります。

次の場合は、パソコンに映像および音声を転送できません。
- 電源レバーが 🎞 以外の場合／再生画面およびメニュー画面を表示している場合

これらの操作を行うと、ご利用のアプリケーションによっては映像や音声が一時的に乱れる場合があります。

パソコンに映像および音声を転送中は、次の制限があります。
- 静止画撮影／動画撮影はできません。
- 🎞 画質モードの設定はできません。
- **[🎞 ピクチャーモード]**（P.231）は **[📷 と同じ]** に固定されます。

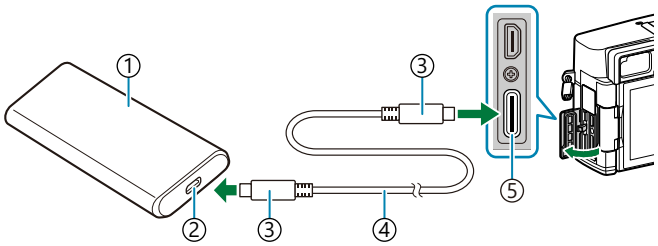
露出などカメラの設定をパソコン側で変更することはできません。

USB 機器から給電する（給電）

市販のモバイルバッテリーや USB-AC アダプターなどの USB 機器から給電して、電池の消費を抑制することができます。以下の条件の機器が使用できます。
電圧・電流：5V 1.5A

⚠環境温度やカメラの内部温度が高い場合には給電されないことがあります。また、給電中は動画の連続撮影時間が短くなることがあります。

1. カメラの電源が切れていることを確認し、カメラと USB 機器を USB ケーブルで接続します。



①モバイルバッテリーなどの USB 機器
②USB ポート
③USB コネクタ
④USB ケーブル CB-USB11/CB-USB13（別売）
⑤USB 端子

- USB 機器との接続方法は機器によって異なります。使用する機器の取扱説明書をご覧ください。
- USB 機器によっては USB 給電を使用できない場合があります。使用する USB 機器の取扱説明書をご覧ください。

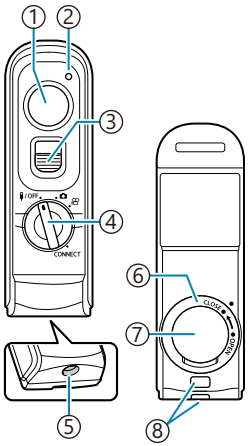
2. カメラの電源を入れます。

- 接続した USB 機器からの給電でカメラが動作します。
- カメラのモニターに USB ケーブルの接続先を選択する画面が表示されたときは、**［給電］**を選択してください。
- 電池残量が著しく不足しているときは、カメラを USB 機器に接続しても、カメラの画面に何も表示されない場合があります。充電した電池を使用してください。
- USB 機器からの給電中は、USB が表示されます。

リモコンを使う

各部の名称

RM-WR2（別売）



①シャッターボタン
②通信ランプ
③シャッターボタンロックレバー
④モードダイヤル（**OFF** / 📷 / 🎥 / **CONNECT**）
⑤ケーブル端子
⑥電池蓋
⑦電池カバー
⑧ストラップ取り付け部

このカメラでは、別売のリモコン RM-WR1 は使用できません。

接続する

無線で接続する

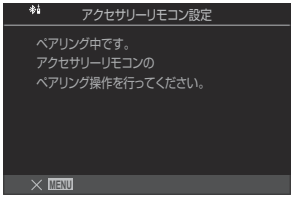
リモコンを無線で接続するときは、まずカメラとリモコンのペアリング（機器同士の接続・登録）が必要です。

メニュー
- **MENU** ➡ 🔧 ➡ 4. Wi-Fi/Bluetooth ➡ アクセサリーリモコン設定

ペアリング開始	画面の指示に従って操作してください。ペアリングが完了すると、**［Bluetooth］**が**［On］**に設定されます。
ペアリング解除	**［実行］**を選択して **OK** ボタンを押すと、ペアリングが解除されます。

1. **［ペアリング開始］**を選択して **OK** ボタンを押します。

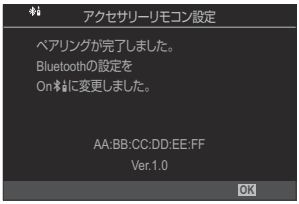
2. 「ペアリング中」のメッセージが表示されたら、リモコンのモードダイヤルを **CONNECT** に合わせて保持します。



- 3 秒間保持するとペアリングが開始されます。ペアリングが完了するまで **CONNECT** の位置で保持してください。完了する前にモードダイヤルを動かすとペアリングが中止され、通信ランプが高速で点滅します。
- ペアリングが開始すると通信ランプが点灯します。

3. 接続完了のメッセージが表示されたら、**OK** ボタンを押して終了します。

- リモコンのファームウェアのバージョンが表示されます。



- ペアリングが完了するとリモコンの通信ランプが消灯します。
- ペアリングが完了するとカメラの［**Bluetooth**］（P.403）が自動的に［**On**］に設定されます。

ⓘ接続完了のメッセージが表示される前にリモコンのモードダイヤルを動かしたり、カメラの **MENU** ボタンを押したりすると、ペアリング動作は中止します。接続済みのペアリング情報は初期化されます。再度ペアリングを行ってください。

ⓘペアリングされていない状態でモードダイヤルを **CONNECT** の位置に合わせて 3 秒間保持したとき、またはペアリングに失敗したときは、接続済みのペアリング情報は初期化されます。再度ペアリングを行ってください。

ペアリングを解除する

1. ［**ペアリング解除**］を選択して **OK** ボタンを押します。

2. ［**実行**］を選択して **OK** ボタンを押します。

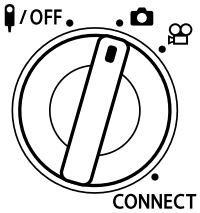
ⓘ以前に接続したのとは違うリモコンとペアリングするときは、［**ペアリング解除**］を実行して以前のペアリング情報を初期化する必要があります。

リモコンからリモート撮影する

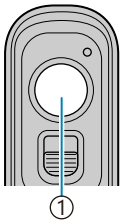
:PASMB /S&Q:PASM

カメラとリモコンを無線で接続するときは、**[Bluetooth]**（P.403）が**[On]**になっていることを確認してください。**[On]**のときは画面に が表示され、カメラの電源を入れると同時にリモコンとの無線通信が常時待機状態になります。

1. リモコンのモードダイヤルを または に合わせます。



2. リモコンのシャッターボタンを押して撮影します。



①シャッターボタン

- リモコンのモードダイヤルが （静止画撮影モード）のとき、リモコンのシャッターボタンを 1 段目まで浅く押し込むと（半押し）、合焦マーク（●）が表示され、ピントの合ったところに緑色の枠（AF ターゲット）が表示されます。
- リモコンのモードダイヤルを （動画撮影モード）のとき、リモコンのシャッターボタンを押すと、動画撮影を開始します。動画撮影を終了するときは、再度リモコンのシャッターボタンを押します。

リモコンの通信ランプの表示

1回点灯	リモコンの操作が正常にカメラに送信されています。
高速点滅（1秒）	リモコンの操作が正常にカメラに送信されていません。カメラとリモコンの距離を近づけてください。それでも解消しない場合は、カメラの設定を確認してください。
高速点滅（3秒）	カメラとリモコンのペアリングに問題があります。再度ペアリングを行ってください。
点灯しない	次の原因が考えられます。 • リモコンの電池がない • リモコンのモードダイヤルが **OFF** の位置になっている • カメラとリモコンがケーブルで接続されている

- **[Bluetooth]**（P.403）が **[On]** になっていても、カメラの **[スマートフォン接続]** からの操作でスマートフォンとの接続機能は動作可能です。
  ただし、スマートフォンとの接続中は、リモコンから操作できません。
- **[機内モード]**（P.398）が **[On]** のときは、ペアリングやリモコンからのリモート撮影はできません。
- リモコンを無線で接続中はカメラはスリープモードには入りません。
- リモコンのモードダイヤルを **OFF** にすると、**[スリープ時間]**（P.386）の設定に従ってスリープモードに入ります。
  [Bluetooth]（P.403）が **[On]** のときは、リモコンのモードダイヤルを **OFF** にしないと、カメラはスリープモードには入りません。
- カメラがスリープ状態のときにリモコン操作をした場合、カメラの動作再開まで時間がかかります。
- カメラがスリープ状態から動作再開までの間はリモコンの操作を受け付けません。カメラの動作再開後にリモコンの操作を行ってください。
- リモコン使用後はリモコンのモードダイヤルを **OFF** にしてください。

リモコンの MAC アドレスについて

リモコンの MAC アドレスは、リモコンに同梱の保証書に記載されています。

リモコンの使用上のご注意

- 電池カバーを引っ張ったり、電池カバーを持って電池蓋を回さないでください。
- 電池を尖ったもので突かないでください。
- 電池蓋を閉めるときは、異物が付着していないことを確認してください。

外部モニター（テレビ）と接続する（HDMI）

カメラと外部モニター（テレビ）との接続について

カメラとテレビを HDMI ケーブルで直接接続して、画像を表示できます。再生画像をテレビに表示して、大勢で楽しむことができます。

動画撮影のために HDMI ケーブルで外部モニターやレコーダーと接続して使うこともできます。

⚠HDMI ケーブルは、市販品を別途ご用意ください。また、HDMI 正規認証の HDMI ケーブルをお使いください。

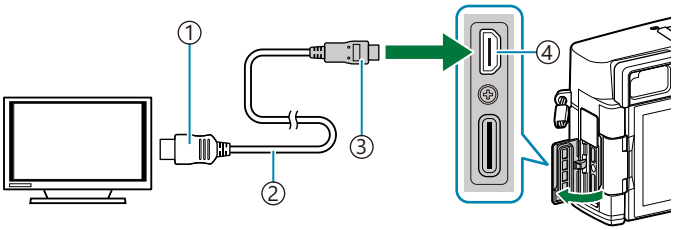
カメラの画像や動画をテレビで見る（HDMI）

カメラをハイビジョン対応のテレビに HDMI ケーブルで直接接続して、画像をテレビに表示します。出力信号の設定は「外部モニターへの出力設定をする（HDMI 接続設定）」（P.383）を参照してください。

カメラをテレビに接続する

HDMI ケーブルでカメラとテレビを接続します。

1. カメラの電源が切れていることを確認し、カメラとテレビを HDMI ケーブルで接続します。



①HDMI コネクタ　　③HDMI コネクタ（タイプ D）
②HDMI ケーブル（別売）　④HDMI 端子

2. テレビの入力を切り換えてカメラの電源を入れます。

- テレビにカメラのモニターの映像が表示されます。撮影した画像を見るときは、▶ ボタンを押します。

ⓘテレビの入力切り換えについては、テレビの取扱説明書をご覧ください。
ⓘテレビの設定によっては、画像や情報表示の一部が欠けて見えることがあります。
ⓘパソコンとの USB 接続中は、HDMI 出力は行われません。
ⓘ**[HDMI 出力]**（P.285）の**［出力モード設定］**が**［記録モード］**のときは、設定されている動画画質モードで出力します。設定されている画質モードにテレビが対応していない場合は、画像は表示されません。
ⓘ静止画撮影状態のときは信号形式を**［4K 優先］**または**［C4K］**にしていても、1080p 優先で出力されます。

ご注意

本製品の防滴性能について

本製品は保護等級 1 級（IPX1）の防滴性能を有しています（当社の防滴レンズと組み合わせたときに防滴性能を発揮します）。

使用上のご注意

- 衝撃を加えた後は、防滴性能を保てない場合があります。
- 電池カバー/カードカバーおよび各端子/コネクタなどのカバーのパッキンとその接触面、カメラとレンズのマウント部、カメラとアクセサリーなどの接続部にゴミや砂等の異物が付着していないことを確認し、異物が付着している場合は繊維くずの出ない清潔な布で取り除いてください。
- 防滴性能の確保のため、ご使用前に必ずフタ・カバーをしっかりと閉め、レンズを取り付けてください。
- 濡れた状態での操作やカバーの開閉、レンズの着脱はしないでください。
- 防滴性能を有するレンズ・アクセサリ装着時に防滴性能が確保されます。組み合わせにご注意ください。
  組み合わせについては、当社ホームページをご確認ください。

お手入れ

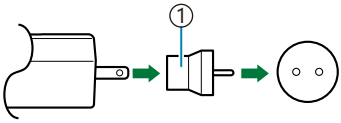
- 水がついた後は乾いた布で十分にふき取ってください。
- 砂などが付着した場合は十分に取り除いてください。

電池についてのご注意

- 電池は、当社製リチウムイオン電池 1 個を使用します。当社純正の充電池以外は使用できません。
- カメラの消費電力は、使用条件などにより大きく異なります。
- 次の条件では撮影をしなくても電力を多く消費するため、電池の消費が早くなります。
  - 撮影モードでシャッターボタンを半押しして、オートフォーカス動作を繰り返す。
  - 長時間、モニターで画像を表示する。
  - パソコンとの接続時（USB 給電中以外）。
  - 無線 LAN/**Bluetooth**®機能を有効にする。
- 消耗した電池をお使いのときは、電池残量警告が表示されずにカメラの電源が切れることがあります。
- ご購入の際、充電池は十分に充電されていません。ご使用の前に充電を行ってください。
- カメラに USB-AC アダプターや市販の USB 機器を接続してもバッテリーチャージランプが点灯しない場合は、充電が開始されていません。以下の手順を行うことで充電が開始される場合があります。
  1. カメラから電池を取り出す
  2. USB-AC アダプターや市販の USB 機器を接続している場合は USB ケーブルを抜く
  3. 電源レバーが **OFF** の位置になっていることを確認する
  4. 電池をしばらく放置してから再度カメラに電池を入れる
  5. USB-AC アダプターや市販の USB 機器を接続する
- 長期間（1 ヶ月以上）カメラを使わない場合、充電した後にカメラから電池を取り出して保管してください。長期間電池をカメラに入れたままにしておくと、電池の寿命が短くなったり、電池が使えなくなる可能性がありますので、ご注意ください。
- 指定以外の電池を使用した場合、爆発（または破裂）の危険があります。
- 使用済み電池は取扱説明書の「使用上のご注意」（P.509）に従って廃棄してください。

海外での使用について

- USB-AC アダプターは、世界中のほとんどの家庭用電源 AC100～240V（50/60Hz）でご使用になれます。ただし、国や地域によっては、コンセントの形状が異なるため、変換プラグアダプター（市販）が必要になる場合があります。
- イラストの変換プラグアダプター（市販）は一例です。詳しくは、電気店や旅行代理店でご確認ください。



①変換プラグアダプター（市販）

- 市販の海外旅行用電子式変圧器（トラベルコンバーター）は、USB-AC アダプターが故障することがありますので使用しないでください。

資料

交換レンズについて

撮影シーン、目的に合わせてレンズを交換します。
M.ZUIKO DIGITAL という商品名、または次のマークのついている「マイクロフォーサーズシステム専用」の交換レンズが使えます。
また、フォーサーズシステムのレンズを使うこともできます。その場合は別売のアダプターが必要です。

- ボディキャップやレンズの着脱を行うときは、カメラ内部へのゴミや異物の侵入を防ぐため、レンズの装着部を下に向けて行ってください。
- ほこりの多い場所ではボディキャップの取り外しや、レンズの装着を行わないでください。
- カメラに取り付けられたレンズを、太陽に向けないでください。太陽光が焦点を結んで故障や火災の原因になることがあります。
- ボディキャップ、リアキャップをなくさないようにご注意ください。
- カメラにレンズを取り付けていないときは、ほこりの侵入を防ぐためボディキャップを装着してください。

レンズとカメラの組み合わせ

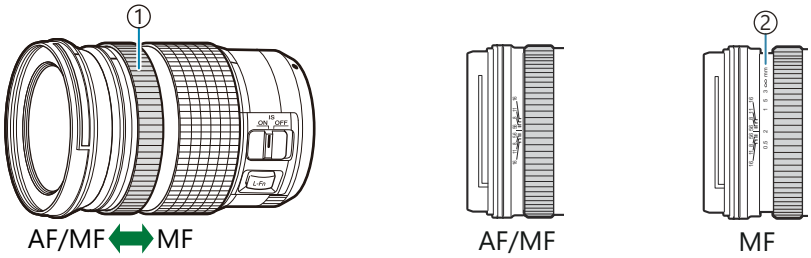
レンズ	カメラ	装着	AF	測光
マイクロフォーサーズマウント規格レンズ	マイクロフォーサーズマウント規格カメラ	可	可	可
フォーサーズマウント規格レンズ		マウントアダプター装着で可	可 [1]	可

1 星空 AF や動画撮影中、拡大表示中の AF は動作しません。

MF クラッチを搭載したレンズについて

MF クラッチ（マニュアルフォーカスクラッチ）機構を搭載したレンズでは、フォーカスリングの位置を変えることによって、オートフォーカスとマニュアルフォーカスを簡単に切り換えることができます。

- お使いになる前に、フォーカスリングの状態を確認してください。
- フォーカスリングを AF/MF の位置（レンズ先端側）にするとオートフォーカスになり、MF の位置（カメラボディ側）にするとカメラの AF 方式の設定に関わらずマニュアルフォーカスになります。



①フォーカスリング
②距離目盛が見える状態

[MF クラッチ]（P.160）を**［無効］**にした場合、フォーカスリングを MF の位置にしてもマニュアルフォーカス操作することはできません。

SET 機能/CALL 機能を搭載しているレンズ装着時のモニター表示

SET 機能でピント位置を記憶したときに「●Set」が、CALL 機能でピント位置を呼び出したときに「●Call」がカメラのモニターに表示されます。
SET 機能/CALL 機能の詳細については、ご使用のレンズの取扱説明書をご覧ください。

別売品を使う

専用外部フラッシュ

別売の専用外部フラッシュを使うとカメラでフラッシュの発光モードを設定して撮影することができます。フラッシュの機能や操作については、それぞれのフラッシュの取扱説明書をお読みください。

発光量やマクロ撮影など、目的に合わせて選べます。専用外部フラッシュは、カメラとの通信機能により、TTL-AUTO、スーパー FP 発光など多彩な調光モードが使えます。また、このカメラは次のワイヤレスフラッシュシステムに対応しています。

電波通信ワイヤレスフラッシュ：CMD、CMD、RCV、X-RCV モード

電波通信によるワイヤレスコントロールで複数のフラッシュをコントロールします。フラッシュの設置方法の自由度がひろがります。対応したフラッシュ同士または、電波コマンダー／レシーバーを使って非対応のフラッシュをコントロールすることもできます。

ワイヤレス RC フラッシュ：RC モード

光通信によるワイヤレスコントロールで複数のフラッシュをコントロールします。カメラでフラッシュの発光モードの設定ができます（P.434）。

ワイヤレス RC フラッシュ撮影

:PASMB /S&Q:PASM

ワイヤレス RC フラッシュ対応の専用フラッシュを使うとワイヤレスフラッシュ撮影ができます。カメラに装着したフラッシュで他のフラッシュをリモート制御します。3 つのグループのフラッシュを別々に発光制御できます。

カメラとリモート操作するフラッシュの双方を RC モードに設定する必要があります（P.434）。

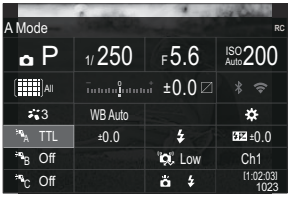
RC モードの設定をする

1. **［RC モード撮影］**（P.193）を**［On］**にし、**OK** ボタンを押します。

- 撮影画面に戻ります。
- 画面に「RC」が表示されます。

2. **OK** ボタンを押します。

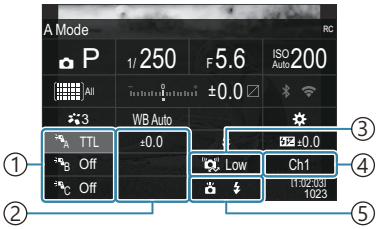
- RC モード用スーパーコンパネが表示されます。



- RC モードに設定されているときでも、**INFO** ボタンを押すと通常のスーパーコンパネを表示できます。表示は **INFO** ボタンを押すたびに切り換わります。

3. 発光の設定をします。

- △▽◁▷ ボタンで項目を選択し、フロントダイヤルで設定を選択します。



①グループ、調光モード
②発光量補正値
③通信光量レベル
④チャンネル
⑤発光モード

グループ	コントロールするグループを示しています。グループ別に同時に複数のフラッシュをコントロールできます。カメラに装着したフラッシュは、グループ A の設定で動作します。
調光モード	調光モードを選択します。
発光量補正値	発光量の補正値を選択します。発光モードを［**MANUAL**］にしたときは発光量の選択をします。
通信光量レベル	通信をするためのフラッシュ光の強さを選択します。遠距離の場合は［**High**］を選択します。すべてのグループに共通の設定です。
発光モード	（通常の発光）か FP（スーパー FP 発光）かを選択します。スーパー FP 発光では、同調速度以上のシャッター速度でもフラッシュが使用できます。すべてのグループに共通の設定です。
チャンネル	通信に使用するチャンネルを選択します。周囲に光るものなどがあり混信するときは、チャンネルを変更してください。

フラッシュを設置する

1. ワイヤレス RC フラッシュの設定をします。

- フラッシュの電源を入れ、RC モードに設定します。
- フラッシュで制御するグループを設定して、通信のチャンネルをカメラの設定と合わせます。
- 設定方法はフラッシュの取扱説明書をお読みください。

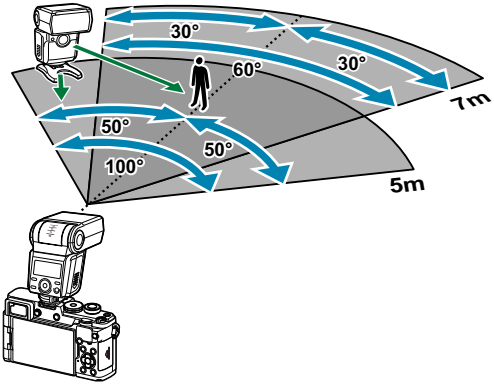
2. フラッシュを配置します。

- ワイヤレスフラッシュのリモートセンサーをカメラ側に向けて設置します。

3. カメラとフラッシュの充電完了を確認してから撮影します。

ワイヤレスフラッシュの制御可能範囲

図は設置範囲の目安です。カメラ側に装着したフラッシュや周辺環境により異なります。



- ワイヤレスフラッシュの設置数は 1 グループ最大 3 台を推奨します。
- 4 秒を超える後幕シンクロ撮影や低振動モードの場合は、ワイヤレスフラッシュ撮影できません。
- 低振動撮影時および静音撮影時の撮影待ち時間は 4 秒に制限されます。
- 被写体が近すぎる場合、通信用の発光が露出に影響を与えることがあります。カメラ側フラッシュをディフューザーなどで減光すると症状が緩和されます。

市販のフラッシュについて

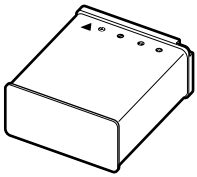
市販のフラッシュをカメラのホットシューに接続して使用する場合は、次のことにご注意ください。

- X 端子に約 250V 以上の電圧がかかる古いタイプの市販フラッシュを接続すると故障します。
- 当社規格外の通信端子のあるフラッシュを接続すると故障する可能性があります。
- 撮影モードを **M** にして、シャッター速度をフラッシュの同調速度以下にして、**[ISO 感度]** を **[Auto]** 以外でお使いください。
- フラッシュで調光する場合は、フラッシュにカメラの ISO 感度と絞り値を設定する必要があります。フラッシュによる明るさを調整するには、いずれかをシフトします。
- レンズにあった照射角のフラッシュをお使いください。通常、照射角は 35mm フィルムカメラ換算の焦点距離で表します。

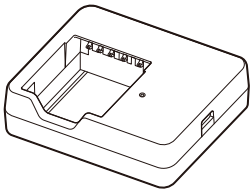
別売品について

最新情報は当社ホームページをご確認ください。

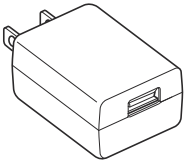
電源



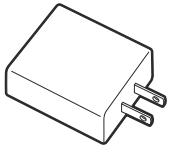
リチウムイオン電池
BLS-7



リチウムイオン充電器
BCS-7

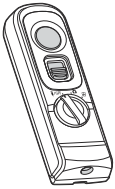


USB-AC アダプター
F-5AC



USB-AC アダプター
F-7AC

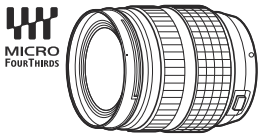
リモコン/レリーズ



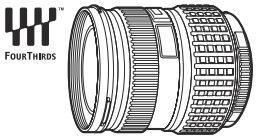
リモコン
RM-WR2

レンズ

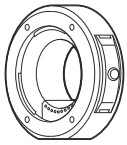
マイクロフォーサーズシステムレンズ群



フォーサーズシステムレンズ群



- このカメラでフォーサーズシステムレンズを使用する場合は、フォーサーズアダプター MMF-2 または MMF-3 が必要です。
- アダプターと組み合わせて使用できるレンズには制限があります。詳しくは当社ホームページをご覧ください。



フォーサーズアダプター
MMF-2/MMF-3

コンバーターレンズ

- **MC-20**（テレコンバーター）
- **MC-14**（テレコンバーター）

取り付け可能なレンズについては、当社ホームページをご覧ください。

ケース/ストラップ

- カメラケース
- ショルダーストラップ

接続ケーブル

- USB ケーブル
  CB-USB11/CB-USB13
- HDMI ケーブル（HDMI ケーブルは市販製品をお求めください。）

メモリーカード

- SD
- SDHC
- SDXC

メモリーカードは市販製品をお求めください。

マイク

マイクは市販製品をお求めください。

ソフトウェア

パソコン用画像管理・編集ソフトウェア
OM Workspace

スマートフォン用アプリケーション
OM Image Share

カメラのお手入れと保管

カメラのお手入れ

カメラのお手入れの際は、カメラの電源をオフにして、電池を取り外します。

- 絶対にベンジンやアルコールなどの強い溶剤や化学雑巾を使わないでください。

カメラの外側：

- 柔らかい布でやさしく拭きます。汚れがひどい場合は、うすめた低刺激のせっけん水に布を浸して、固く絞ってから、汚れを拭き取ります。その後、乾いた布でよく拭きます。海辺でカメラを使った場合は、真水に浸した布を固く絞って拭き取ります。

モニター：

- 柔らかい布でやさしく拭きます。

レンズ：

- 市販のレンズブロアーでほこりを吹き払います。レンズはレンズクリーニングペーパーでやさしく拭きます。

カメラの保管

- 長期間、カメラを使わないときは、充電した後に電池とカードを外してください。風通しがよく、涼しい乾燥した場所に保管してください。
- 電池は定期的に取り換えて、カメラの機能をテストしてください。
- ボディキャップ、リアキャップはゴミやほこりを落としてから装着してください。
- カメラにレンズを取り付けていないときは、ほこりの侵入を防ぐためボディキャップを装着してください。また、必ず前後のレンズキャップを取り付けて保管してください。
- 使用後は清掃して保管してください。
- 防虫剤のあるところに保管しないでください。
- 薬品を扱うような場所での保管は、腐食などの原因になるため避けてください。
- レンズを汚れたままにしておくと、カビがはえることがあります。
- 長期間使用しなかったカメラは、使用前に各部の点検をしてください。海外旅行などの大切な撮影の前には、必ず撮影をしてカメラが正常に動作することを確かめてください。

撮像素子のクリーニングとチェック

このカメラは撮像素子にゴミが付着しない構造にするとともに、撮像素子前面に付着したゴミやほこりを超音波振動により、払い落とす機能を備えています（ダストリダクション機能）。ダストリダクション機能は、カメラの電源を入れたときに働きます。また撮像素子と画像処理回路のチェックを行うピクセルマッピングを働かせる際にも同時に作動します。カメラの電源を入れたときはダストリダクションが働きますので、カメラをできるだけ正位置にしてください。

画像処理機能をチェックする — ピクセルマッピング

撮像素子と画像処理機能のチェックを同時に行います。最適な効果を得るため、撮影・再生直後より1分以上時間を空けた後に実行します。

1. **［ピクセルマッピング］**（P.393）を選択します。

2. **［実行］**を選択して、**OK** ボタンを押します。
   - ピクセルマッピング実行中の**［処理中］**バーが表示されます。終了するとメニューに戻ります。

- 誤って処理中にカメラの電源をオフにしてしまった場合は、必ずもう一度このチェックを行ってください。

アフターサービス

- 同梱の保証書は、日本国内向けに出荷された商品にのみ有効です。
- 保証書はお買い上げの販売店からお渡しいたしますので「販売店名・お買い上げ日」等の記入されたものをお受け取りください。もし記入もれがあった場合は、直ちにお買い上げの販売店へお申し出ください。また保証内容をよくお読みの上、大切に保管してください。
- 本製品のアフターサービスに関するお問い合わせや、万一故障の場合はお買い上げ販売店、当社カスタマーサポートセンターにご相談ください。取扱説明書に従ったお取り扱いにより、本製品が万一故障した場合は、お買い上げ日より満 1 ヶ年間「保証書」記載内容に基づいて無料修理いたします。
- 保証期間経過後の修理等については原則として有料となります。
- 本製品の製造打ち切り後、5 年間は本製品のアフターサービスについて対応いたします。但し、当該アフターサービス対応については、故障の状況、本製品に対応する補修用性能部品の有無、及び保有している場合はその期間（製造打ち切り後 5 年間を目安に保有いたします）等に応じ、当社の判断で、本製品の修理または同等品への交換（製品交換）のいずれかにて対応させて頂きます。
- 交換が行われた部品（もしくは製品）の所有権は当社に帰属し、返却は致しません。
- 本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用、および撮影により得られる利益の喪失等）については補償しかねます。また、運賃諸掛かりはお客様においてご負担願います。
- 修理品をご送付の場合は、修理箇所を指定した書面を同封して十分な梱包でお送りください。また控えが残るよう宅配便または郵便小包のご利用をお願いします。

こんなときは?

電池を入れてもカメラが動かない

電池が充電されていない

- 電池を充電してください。☞「電池を充電する」(P.29)

低温下にあり一時的に電池の性能が低下した

- 電池は低温では性能が低下します。カメラから電池を取り出してポケットに入れるなどして少し温めてから使用してみましょう。

電池が充電されない

- カメラに USB-AC アダプターや市販の USB 機器を接続してもバッテリーチャージランプが点灯しない場合は、充電が開始されていません。以下の手順を行うことで充電が開始される場合があります。
  1. カメラから電池を取り出す
  2. USB-AC アダプターや市販の USB 機器を接続している場合は USB ケーブルを抜く
  3. 電源レバーが OFF の位置になっていることを確認する
  4. 電池をしばらく放置してから再度カメラに電池を入れる
  5. USB-AC アダプターや市販の USB 機器を接続する

シャッターボタンを押しても撮影ができない

カメラが自動的に電源オフになっていた

- **[低消費電力撮影]** を **[On]** にすると、設定した時間何も操作しないとスリープモードになります。シャッターボタンを半押しすると復帰します。☞ **[低消費電力撮影]**(P.388)
- カメラは何も操作しないと一定時間後にスリープモードと呼ばれる省電力状態に入ります。☞ **[スリープ時間]**(P.386)
- さらに、スリープモード中に設定した時間が経過するとカメラの電源がオフになります。☞ **[自動電源 Off]**(P.387)

フラッシュが充電中である

- モニターの ϟ マークが点滅していたらフラッシュが充電中です。点滅が終わるまで待ってからシャッターボタンを押してください。

ピント合わせができなかった

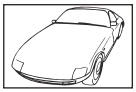
- 被写体に近すぎる場合やオートフォーカスの苦手な被写体の場合は、ピント合わせができません（モニターの合焦マークが点滅します）。被写体との距離を十分にとったり、被写体と同じ距離にあるコントラストのはっきりしたものでピントを合わせてから、構図を決めて撮影してください。

オートフォーカスの苦手な被写体

次のような場合、オートフォーカスでピントが合いにくいことがあります。

- 合焦マーク点滅

このようなものにはピントが合いません。

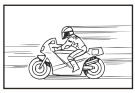


コントラストがはっきりしない被写体

画面中央に極端に明るいものがある場合

- 合焦マークは点灯するが、写したいものにピントが合わない。

遠いものと近いものが混在する場合



動きの速いもの

被写体が AF ターゲット内にない

長秒時ノイズ低減が作動している

- 夜景の撮影など、遅いシャッター速度で撮影する際、画像にはノイズが目立つようになります。このカメラは長秒時の撮影後にノイズを取り除く動作をしますが、この間、次の撮影はできません。**［長秒時ノイズ低減］**は**［Off］**に設定することもできます。☞ **［長秒時ノイズ低減］**（P.185）

AF ターゲットの数が少なくなった

- **［デジタルテレコン］**（P.260）、**［アスペクト］**（P.219）、グループターゲット（P.117）、ドライブの設定（P.197）、**［手ぶれ補正］**（P.209）などの設定により、AF ターゲットの数や大きさが変わります。

日時設定がされていない

購入時のままで使用している

- お買い上げ時のカメラの状態では日時設定はされていません。日時設定をしてからご使用ください。☞「初期設定をする」(P.40)

カメラから電池を抜いていた

- 電池を抜いた状態で約 1 日放置すると、日時の設定は初期設定に戻ります（当社試験条件による）。また、カメラに電池を入れていた時間が短い場合は、これよりも早く日時の設定が解除されます。大切なものを撮る前には日時の設定が正しいことを確認してください。

設定した機能が元に戻ってしまう

- 撮影モードが AUTO、**SCN** のときは、モードダイヤルを回すと設定した機能が初期設定に戻ります。
- カスタムモード（**C1**、**C2**）を使用しているときに設定を変更しても、撮影モードを変更したりカメラの電源を切ると、登録されている設定内容に戻ります。**[カスタム保持設定]** を **[保持する]** にすると、カスタムモードを呼び出した状態で設定を変更したとき、変更した内容を自動で登録することができます。☞「カスタムモードで変更した設定を保持する」(P.94)

撮影した画像が全体的に白っぽい

- 逆光や半逆光で撮影すると起こる場合があります。フレアやゴーストといわれる現象によるものです。できるだけ画面内に強い光源が写らないように構図を考えましょう。画面内に光源がなくてもフレアは発生する場合があります。レンズフードを使って光源から直接レンズに光があたらないようにします。レンズフードでも効果がない場合は手などをかざして光を遮ってみましょう。

被写体にない明るい点が写り込む

- 撮像素子のドット抜けの可能性があります。**[ピクセルマッピング]** を行ってください。また、消えないときは何度かピクセルマッピングを行ってみてください。☞「画像処理機能をチェックする — ピクセルマッピング」(P.442)

ボタンを押しても望んだ機能が動作せず、違う機能が動作する

- あらかじめ割り当てられているボタンの機能を他の機能に変更している可能性があります。**[ボタンの設定]**（P.328）で設定を確認してください。

メニューで選べない機能がある

- メニューを表示したとき、設定できない項目はグレーで表示されます。グレーの項目を選択中に **OK** ボタンを押すと、設定できない理由が表示されます。画面に表示される内容を参考に、設定を見直してください。☞「グレーで表示されている項目」（P.110）

スーパーコンパネで設定できない機能がある

- 設定した機能の組み合わせによっては、設定できない場合があります。メニューで同じ機能がグレーで表示されていないかご確認ください。

被写体が歪んで写る

- 次の機能では電子シャッターを使います。
  - 動画撮影（P.86）／静音撮影（P.204）／プロキャプチャー撮影（P.206）／ハイレゾショット（P.243）／フォーカスブラケット撮影（P.279）／深度合成（P.251）／ライブ ND 撮影（P.247）／HDR 撮影（P.254）／**SCN** モードの HDR 逆光補正、手持ち夜景（P.74）

  動きの速い被写体の撮影やカメラを激しく動かした撮影をすると画像に歪みが出ます。カメラを激しく動かした撮影は避けるか、通常の連写で撮影してください。

画像にすじが写る

- 電子シャッターを使った次の機能では、蛍光灯や LED 照明の光源下では、フリッカーなどにより画像にすじが写ることがあります。
  - 動画撮影（P.86）／静音撮影（P.204）／プロキャプチャー撮影（P.206）／ハイレゾショット（P.243）／フォーカスブラケット撮影（P.279）／深度合成（P.251）／ライブ ND 撮影（P.247）／HDR 撮影（P.254）

  シャッター速度を遅くして撮影すると軽減できる場合があります。また、フリッカースキャンを使って撮影すると軽減される場合があります。☞ **[フリッカースキャン]**（P.168）、**[フリッカースキャン]**（P.168）

モニターに被写体のみが表示され、撮影情報が何も表示されない

- 情報表示が「情報表示無し」に切り換わっています。**INFO** ボタンを押して、他の表示に切り換えてください。☞「情報表示を切り換える」(P.46)

MF（マニュアルフォーカス）から変更できない

- お使いのレンズによっては、マニュアルフォーカスクラッチ機構が搭載されており、フォーカスリングが手前に引かれているとマニュアルフォーカスになります。レンズの状態を確認してください。☞「MF クラッチを搭載したレンズについて」(P.432)

モニターに何も表示されない

- ファインダーに顔や手、ストラップなどが近づくと、自動的にモニターは消灯し、ファインダーの表示に切り換わります。☞「表示の切り換え」(P.44)

エラーコード

モニター表示	原因/対処方法
 カードを認識できません	**カードが入っていません。または認識できません。** カードを入れてください。またはカードを正しく入れなおしてください。
 このカードは使用できません	**カードに問題があります。** もう一度カードを入れてください。それでもこの表示が消えないときはカードを初期化してください。初期化できない場合、このカードはご使用になれません。
 書き込み禁止になっています	**カードが書き込み禁止になっています。** カードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっています。スイッチを戻して解除してください（P.34）。
 撮影可能枚数が 0 です	**カードの撮影可能枚数が 0 のため、撮影できません。** カードを交換するか、不要な画像を消してください。 大切な画像は消す前にパソコンに取り込んでください。
 カード残量がありません	**カードに十分な空き容量がありません。** カードを交換するか、不要な画像を消してください。 大切な画像は消す前にパソコンに取り込んでください。
 画像が記録されていません	**カードに記録画像がないため画像が再生できません。** カードに画像が記録されていません。 撮影してから再生してください。

モニター表示	原因/対処方法
 この画像は再生できません	**選択した画像に問題があり、再生できません。または、このカメラでは再生できない画像です。** パソコンの画像ソフトなどで再生してください。 それでも再生できない場合は、画像ファイルの一部が壊れています。
 この画像は編集できません	**他のカメラで撮影した画像などを選択している場合は編集できません。** パソコンの画像ソフトなどで編集してください。
日時を設定してください	**日時が未設定です。** 日時を設定してください（P.391）。
	連写などによりカメラの内部温度が上昇しています。 カメラの電源をオフにして、内部温度が下がるまでしばらくお待ちください。
 しばらく使用できません カメラの内部温度が下がるまでお待ちください	**連写などによりカメラの内部温度が上昇しています。** しばらくすると、自動的に電源が切れます。 カメラの内部温度が下がって撮影可能になるまでしばらくお待ちください。
 電池残量がありません	**電池残量がありません。** 充電してください。
 接続されていません	**カメラがパソコンや HDMI 機器に正しく接続されていません。** 正しく接続しなおしてください。
ズームリングを回し繰り出して下さい	**沈胴式レンズのレンズが沈胴したままになっています。** レンズを繰り出してください。

モニター表示	原因/対処方法
レンズの状態を確認してください	**レンズとの間でエラーが発生しています。** カメラの電源をオフにして、レンズとの接続状態を確認してから電源を入れなおしてください。

仕様

カメラ

型式	
型式	マイクロフォーサーズ規格準拠レンズ交換式カメラ
使用レンズ	M.ZUIKO DIGITAL・マイクロフォーサーズシステムレンズ
レンズマウント	マイクロフォーサーズマウント
35mm フィルムカメラ換算焦点距離	レンズ焦点距離の約 2 倍
撮像素子	
型式	4/3 型 Live MOS センサー
総画素数	約 2177 万画素
カメラ部有効画素数	約 2037 万画素
画面サイズ	17.4mm（H）× 13.0mm（V）
アスペクト比	1.33（4:3）
ファインダー	
形式	電子ビューファインダー、アイセンサー有り
画素数	約 236 万ドット
視野率	100%
アイポイント	約 20.5mm（–1m^{-1} 時）

ライブビュー	
センサー	Live MOS センサー使用
視野率	100%
モニター	
型式	3.0 型 TFT カラー液晶、可動式、タッチパネル
総画素数	約 104 万ドット（アスペクト比 3:2）
シャッター	
型式	電子制御式フォーカルプレーンシャッター
シャッター速度	1/4000～60 秒、バルブ撮影、タイム撮影
フラッシュ同調速度	1/250 秒以下
オートフォーカス	
型式	ハイスピードイメージャ AF
測距点	121 点
測距点選択	自動選択・任意選択
露出制御	
測光方式	TTL 測光方式（イメージャ測光） デジタル ESP 測光／中央重点平均測光／スポット測光
測光範囲	EV –2～20（F2.8 レンズ、ISO100 相当）
ISO 感度	L64、L100、200～25600（1/3、1 ステップ）
露出補正	±5.0EV（1/3、1/2、1EV ステップ）

ホワイトバランス	
設定方式	オート／プリセット（7 種）／カスタム WB／ワンタッチ WB（4 件登録可）
記録	
記録媒体	SD／SDHC／SDXC カード UHS-I 対応
記録方式	デジタル記録、JPEG（DCF2.0）、RAW データ
対応規格	Exif 3.0、DPOF
静止画音声	Wave フォーマットに準拠
動画	MPEG-4 AVC/H.264 に準拠
音声	ステレオリニア PCM/16bit、サンプリング周波数 48kHz ステレオリニア PCM/24bit、サンプリング周波数 96kHz
再生	
表示形式	1 コマ表示／拡大表示／インデックス表示／カレンダー表示
ドライブ関係	
ドライブモード	1 コマ撮影／連写／低振動撮影／静音撮影／プロキャプチャー／セルフタイマー
連写性能	最高 5 コマ/秒（ 時） 最高 8 コマ/秒（ 時） 8 コマ/秒（ProCap 時） 最高 30 コマ/秒（ H／ProCapH 時）
セルフタイマー	12 秒後撮影／2 秒後撮影／カスタム
外部フラッシュ	
調光方式	TTL-AUTO（TTL プリ発光式）／MANUAL
同調速度	1/250 秒以下

無線 LAN	
対応規格	IEEE 802.11b/g/n
Bluetooth®	
対応規格	**Bluetooth** Version 5.2（Bluetooth Low Energy）
外部コネクタ	
	USB 端子（タイプ C）／HDMI 端子（タイプ D）／マイク端子（φ3.5 ステレオミニジャック）
電源	
電池	リチウムイオン電池 1 個
省電力機能	スリープモード移行：1 分、電源 OFF：4 時間（カスタマイズ可）
大きさ・質量	
大きさ	約 125.8mm（幅）× 74.5mm（高さ）× 43.3mm（奥行き）（突起部を除く）
質量	約 393g（電池／カードを含む）
動作環境	
温度	0℃～40℃（動作時）／–20℃～60℃（保存時）
湿度	30%～90%（動作時）／10%～90%（保存時）
防滴性能	保護等級 1 級（IPX1）：当社の防滴レンズと組み合わせたときに防滴性能を発揮します。

リチウムイオン電池

MODEL NO.	BLS-7
形式	充電式リチウムイオン電池
充放電回数	約 300 回（使用する条件により異なります。）
使用周囲温度	0℃～40℃（充電時）
大きさ	約 40.7 mm（幅） × 34.9 mm（高さ） × 17.3 mm（奥行き）
質量	約 46.3 g

- 外観・仕様は改善のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 最新の仕様は、当社ホームページをご覧ください。

HDMI、High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴは、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。

機能と初期設定一覧

機能と初期設定一覧

スーパーコンパネ／LV スーパーコンパネ（P.458）
タブ（P.464）
タブ（P.471）
AF タブ（P.475）
タブ（P.481）
タブ（P.485）
タブ（P.487）
タブ（P.494）

スーパーコンパネ／LV スーパーコンパネ

*1：📷 は［📷 カスタムモード］で登録可能な機能／🎥 は［🎥 カスタムモード］で登録可能な機能
*2：［カメラ初期化］で初期設定に戻る機能
*3：［撮影設定リセット］で初期設定に戻る機能

📷 モード

機能		初期設定	*1	*2	*3
シャッター速度		1/250 秒（**S**／**M** 設定時）、Bulb（**B** 設定時）	📷	✓	✓
絞り値		F5.6	📷	✓	✓
📷ISO 感度		ISO Auto	📷	✓	✓
📷AF ターゲットモード		[•]Single	📷	✓	✓
露出補正/🖼					
	露出補正	±0.0	📷	✓	✓
	🖼	すべて±0.0	📷	✓	✓
Wi-Fi/Bluetooth		—	—	—	—
📷 ピクチャーモード		3Natural	📷	✓	✓
ホワイトバランス		WB Auto	📷	✓	✓
色温度		5400K（［WB モード］を［CWB］に設定時）	📷	✓	—
📷 ボタン機能		—	📷	✓	—
📷AF 方式		S-AF	📷	✓	✓
📷 被写体検出		Off	📷	✓	✓
フラッシュ		ϟ	📷	✓	✓
フラッシュ補正		±0.0	📷	✓	✓
マニュアル発光量		ϟFull（フラッシュを［ϟManual］に設定時）	📷	✓	✓

機能	初期設定	*1	*2	*3
ドライブ □/⏲	□	📷	✓	✓
測光	▣	📷	✓	✓
アスペクト	4:3	📷	✓	✓
📷 手ぶれ補正	S-IS Auto	📷	✓	✓
📷 画質モード	LF（ハイレゾショット設定時：50MF+RAW）	📷	✓	✓
🎥 画質モード	4K 30p L-8	📷	✓	✓

モード

機能		初期設定	*1	*2	*3
シャッター速度		1/125 秒		✓	✓
絞り値		F5.6		✓	✓
ISO 感度		ISO Auto		✓	✓
AF ターゲットモード		[ ]Middle		✓	✓
露出補正/					
	露出補正	±0.0		✓	✓
		すべて±0.0		✓	✓
Wi-Fi/Bluetooth		—	—	—	—
ピクチャーモード		3Natural		✓	✓
ホワイトバランス		WB Auto		✓	✓
色温度		5400K（**[WB モード]** を **[CWB]** に設定時）		✓	—
ボタン機能		—		✓	—
AF 方式		C-AF		✓	✓
顔・瞳検出		Off		✓	✓
手ぶれ補正		M-IS1		✓	✓
画質モード		4K 30p L-8		✓	✓
録音レベル		±0		✓	✓

S&Q モード

機能		初期設定	*1	*2	*3
シャッター速度		1/125 秒		✓	✓
絞り値		F5.6		✓	✓
ISO 感度		ISO Auto		✓	✓
AF ターゲットモード		[⠿]Middle		✓	✓
露出補正/					
	露出補正	±0.0		✓	✓
		すべて±0.0		✓	✓
Wi-Fi/Bluetooth		—	—	—	—
ピクチャーモード		3Natural		✓	✓
ホワイトバランス		WB Auto		✓	✓
色温度		5400K（**[WB モード]** を **[CWB]** に設定時）		✓	—
ボタン機能		—		✓	—
AF 方式		C-AF		✓	✓
顔・瞳検出		Off		✓	✓
手ぶれ補正		M-IS1		✓	✓
S&Q 画質モード		4K 30p/60 L-8		✓	✓
録音レベル		±0		✓	✓

RC モード

機能		初期設定	*1	*2	*3
シャッター速度		1/250 秒（**S**／**M** 設定時）、Bulb（**B** 設定時）	📷	✓	✓
絞り値		F5.6	📷	✓	✓
📷ISO 感度		ISO Auto	📷	✓	✓
📷AF ターゲットモード		**[・]**Single	📷	✓	✓
露出補正/🖼					
	露出補正	±0.0	📷	✓	✓
	🖼	すべて±0.0	📷	✓	✓
Wi-Fi/Bluetooth		—	—	—	—
📷 ピクチャーモード		3Natural	📷	✓	✓
ホワイトバランス		WB Auto	📷	✓	✓
色温度		5400K（**[WB モード]** を **[CWB]** に設定時）	📷	✓	—
📷 ボタン機能		—	📷	✓	—
A mode		TTL	📷	✓	✓
B mode		Off	📷	✓	✓
C mode		Off	📷	✓	✓
発光量補正値		±0（TTL、Auto 時）	📷	✓	✓
発光量		1/1（Manual 時）	📷	✓	✓
フラッシュ		ϟ	📷	✓	✓
ϟ/FP		ϟ（通常発光）	📷	✓	✓
Level		Low	📷	✓	✓

機能	初期設定	*1	*2	*3
Channel	Ch1	📷	✓	✓

1 タブ

*1：📷 は［📷 カスタムモード］で登録可能な機能／🎥 は［🎥 カスタムモード］で登録可能な機能
*2：［カメラ初期化］で初期設定に戻る機能
*3：［撮影設定リセット］で初期設定に戻る機能

1. 基本設定/画質

機能			初期設定	*1	*2	*3
📷 カスタムモード						
	C1	カスタム呼出	—	—	—	—
		カスタム登録	撮影モード：**P** 画質モード：LF+RAW	—	—	—
		カスタム保持設定	保持しない	—	✓	—
		カスタム名設定	—	—	✓	—
	C2	カスタム呼出	—	—	—	—
		カスタム登録	撮影モード：**P** 画質モード：LF+RAW	—	—	—
		カスタム保持設定	保持しない	—	✓	—
		カスタム名設定	—	—	✓	—
📷 画質モード			LF	📷	✓	✓

機能	初期設定	*1	*2	*3
画質モード詳細設定				
1	ピクセルサイズ：L 圧縮率：SF	📷	✓	—
2	ピクセルサイズ：L 圧縮率：F	📷	✓	—
3	ピクセルサイズ：L 圧縮率：N	📷	✓	—
4	ピクセルサイズ：M1 圧縮率：N	📷	✓	—
アスペクト比設定	4:3	📷	✓	✓
撮影画像の確認時間	0.5 秒	📷	✓	—
シェーディング補正	Off	📷/🎥	✓	✓

2. ピクチャーモード/WB

機能	初期設定	*1	*2	*3
ピクチャーモード	3Natural	📷/🎥	✓	✓
ピクチャーモード表示	すべて ✓	📷/🎥	✓	—
WB モード	WB Auto	📷/🎥	✓	✓
全 WB モード補正				
A-B	0	📷/🎥	✓	—
G-M	0	📷/🎥	✓	—
WB オート 電球色残し	On	📷/🎥	✓	—
+WB 連動	Off	📷	✓	—
色空間	sRGB	📷	✓	✓

3. ISO/ノイズ低減

機能		初期設定	*1	*2	*3
ISO オート上限/基準値					
	上限値	6400	📷	✓	✓
	基準値	200	📷	✓	✓
ISO オート低速限界		オート	📷	✓	✓
ISO オート有効		P/A/S/M	📷	✓	—
ISO 感度ステップ		1/3EV	📷/🎥	✓	—
高感度ノイズ低減		標準	📷	✓	✓
低感度画像処理		連写優先	📷	✓	✓
長秒時ノイズ低減		オート	📷	✓	✓

4. 露出

機能		初期設定	*1	*2	*3
フリッカースキャン		Off	📷	✓	✓
露出ステップ		1/3EV	📷/🎥	✓	—
露出基準調整					
	評価測光	±0	📷/🎥	✓	—
	中央重点測光	±0	📷/🎥	✓	—
	スポット測光	±0	📷/🎥	✓	—

5. 測光

機能	初期設定	*1	*2	*3
測光	▣	📷	✓	✓
AEL 時の測光モード	オート	📷	✓	✓
AEL の撮影後解除	しない	📷	✓	✓
▬ 半押し時の AE ロック	S-AF のみする	📷	✓	✓
連写中の測光	する	📷	✓	✓
[·:·] 連動スポット測光	すべて ✓	📷	✓	✓

6. フラッシュ

機能		初期設定	*1	*2	*3
ϟ RC モード撮影		Off	📷	✓	✓
ϟ 同調速度		1/250 秒	📷	✓	✓
ϟ 低速制限		1/60 秒	📷	✓	✓
±ϟ + ± 連動		Off	📷	✓	✓
フラッシュモード設定					
	赤目軽減発光	しない	📷	✓	✓
	シンクロ設定	先幕	📷	✓	✓

7. ドライブモード

機能	初期設定	*1	*2	*3
ドライブ □/⏲	□	📷	✓	✓
フリッカーレス撮影	Off	📷	✓	✓
連写設定				
□	✓	📷	✓	—
連写速度	5fps	📷	✓	✓
枚数リミッター	Off	📷	✓	✓
♥□	✓	📷	✓	—
連写速度	8fps	📷	✓	✓
枚数リミッター	Off	📷	✓	✓
♥□H	✓	📷	✓	—
連写速度	30fps	📷	✓	✓
枚数リミッター	Off	📷	✓	✓
ProCap	✓	📷	✓	—
プリ連写枚数	6	📷	✓	✓
枚数リミッター	25	📷	✓	✓
ProCapH	✓	📷	✓	—
連写速度	30fps	📷	✓	✓
プリ連写枚数	12	📷	✓	✓
枚数リミッター	25	📷	✓	✓

機能	初期設定	*1	*2	*3
セルフタイマー設定				
⏲12	✓	📷	✓	—
♥⏲12	☐（✓ なし）	📷	✓	—
⏲2	✓	📷	✓	—
♥⏲2	✓	📷	✓	—
⏲C	✓	📷	✓	—
コマ数	3 コマ	📷	✓	✓
セルフタイマー時間	1 秒	📷	✓	✓
撮影間隔	0.5 秒	📷	✓	✓
各コマ AF	Off	📷	✓	✓
♥⏲C	☐（✓ なし）	📷	✓	—
コマ数	3 コマ	📷	✓	✓
セルフタイマー時間	1 秒	📷	✓	✓
撮影間隔	0.5 秒	📷	✓	✓
各コマ AF	Off	📷	✓	✓
低振動 [♦] 撮影設定				
低振動 [♦] 撮影	Off	📷	✓	✓
撮影待ち時間	0 秒	📷	✓	—

機能	初期設定	*1	*2	*3
静音 [♥] 撮影設定				
撮影待ち時間	0 秒	📷	✓	—
長秒時ノイズ低減	Off	📷	✓	—
電子音	禁止	📷	✓	—
AF 補助光	禁止	📷	✓	—
フラッシュ	禁止	📷	✓	—

8. 手ぶれ補正

機能	初期設定	*1	*2	*3
📷 手ぶれ補正	S-IS Auto	📷	✓	✓
半押し中手ぶれ補正	On	—	✓	✓
レンズ手ぶれ補正優先	Off	📷/🎬	✓	✓

2 タブ

*1：📷 は［📷 カスタムモード］で登録可能な機能／🎥 は［🎥 カスタムモード］で登録可能な機能
*2：［カメラ初期化］で初期設定に戻る機能
*3：［撮影設定リセット］で初期設定に戻る機能

1. コンピュテーショナル撮影

機能	初期設定	*1	*2	*3
ハイレゾショット				
ハイレゾショット	Off	📷	✓	✓
画質モード	50M F+RAW	📷	✓	✓
撮影待ち時間	0 秒	📷	✓	—
充電待ち時間	0 秒	📷	✓	—
ライブ ND 撮影				
ライブ ND 撮影	Off	📷	✓	✓
ND 段数	ND8(3EV)	📷	✓	—
LV シミュレーション	On	📷	✓	—
深度合成撮影				
深度合成撮影	Off	📷	✓	✓
撮影枚数	8	📷	✓	—
フォーカスステップ	5	📷	✓	—
充電待ち時間	0 秒	📷	✓	—
HDR 撮影	Off	📷	✓	✓

機能	初期設定	*1	*2	*3
多重露出撮影				
多重露出撮影	Off	—	✓	✓
自動ゲイン補正	Off	📷	✓	—
再生画+多重	Off	—	✓	—

2. その他の撮影機能

機能	初期設定	*1	*2	*3
📷 デジタルテレコン	Off	📷	✓	✓
インターバル撮影				
インターバル撮影	Off	—	✓	✓
コマ数	100	📷	✓	—
撮影開始待ち時間	00:00:01	📷	✓	—
撮影間隔	00:00:01	📷	✓	—
撮影動作	撮影間隔優先	📷	✓	—
露出平準化	On	📷	✓	—
タイムラプス動画	Off	📷	✓	—
タイムラプス動画設定				
ムービーサイズ	4K	📷	✓	—
フレームレート	10fps	📷	✓	—
デジタルシフト撮影	Off	📷	✓	—

機能	初期設定	*1	*2	*3
フィッシュアイ補正撮影				
フィッシュアイ補正撮影	Off	●	✓	✓
画角	1	●	✓	—
水中補正	Off	●	✓	—
BULB/TIME/COMP の設定				
BULB/TIME 中 MF	On	●	✓	✓
BULB/TIME リミッター	8 分	●	✓	✓
COMP リミッター	3 時間	●	✓	✓
BULB/TIME 輝度設定	-7	●	✓	—
ライブ BULB 設定	Off	●	✓	—
ライブ TIME 設定	0.5 秒	●	✓	—
コンポジット撮影設定	1/2 秒	●	✓	✓

3. ブラケット撮影

機能	初期設定	*1	*2	*3
AE BKT	Off	●	✓	✓
WB BKT				
A-B	Off	●	✓	✓
G-M	Off	●	✓	✓
FL BKT	Off	●	✓	✓
ISO BKT	Off	●	✓	✓

機能	初期設定	*1	*2	*3
ART BKT				
ART BKT	Off	📷	✓	✓
ART BKT 選択	ART のみ ✓（タイプが複数ある ART は 🅸 のみ ✓）	📷	✓	—
Focus BKT				
Focus BKT	Off	📷	✓	✓
撮影枚数	99	📷	✓	—
フォーカスステップ	5	📷	✓	—
ϟ 充電待ち時間	0 秒	📷	✓	—

AF タブ

*1：📷 は［📷 カスタムモード］で登録可能な機能／🎥 は［🎥 カスタムモード］で登録可能な機能
*2：［カメラ初期化］で初期設定に戻る機能
*3：［撮影設定リセット］で初期設定に戻る機能

1. AF

機能		初期設定	*1	*2	*3
📷AF 方式		S-AF	📷	✓	✓
📷AF+MF		Off	📷	✓	✓
星空 AF 設定					
	AF 動作モード	速度優先	📷	✓	✓
	AF 操作	AF-ON Start/Stop	📷	✓	✓
	レリーズ優先	Off	📷	✓	✓
📷▬ 半押し時の AF					
	S-AF	AF する	📷	✓	✓
	C-AF/C-AF+TR	AF する	📷	✓	✓
MF 時の AF-ON 動作		AF しない	📷/🎥	✓	✓
レリーズ優先					
	S-AF	Off	📷	✓	✓
	C-AF/C-AF+TR	On	📷	✓	✓

2. AF

機能		初期設定	*1	*2	*3
被写体検出		Off		✓	✓
被写体検出 AF のボタン設定					
		優先		✓	✓
	AF-ON	優先		✓	✓
顔・瞳検出		Off	/	✓	✓
顔非検出時の C-AF		AF する	/	✓	—
瞳検出枠表示		On	/	✓	—

3. AF

機能	初期設定	*1	*2	*3
AF 補助光	On	/	✓	✓
AF ターゲット表示	On1	/	✓	—

4. AF

機能	初期設定	*1	*2	*3
C-AF 追従感度	±0		✓	✓
C-AF 中央優先				
[÷]Cross	✓		✓	✓
[⠿]Mid	✓		✓	✓
[▦]Large	✓		✓	✓
[⠿]C1	☐（✓ なし）		✓	✓
[⠿]C2	☐（✓ なし）		✓	✓
[⠿]C3	☐（✓ なし）		✓	✓
[⠿]C4	☐（✓ なし）		✓	✓
AF リミッター				
AF リミッター	Off		✓	✓
On1 の距離設定	5.0 - 999.9m		✓	—
On2 の距離設定	10.0 - 999.9m		✓	—
On3 の距離設定	50.0 - 999.9m		✓	—
レリーズ優先	On		✓	—
AF スキャン	On		✓	✓
AF 微調節				
AF 微調節	Off		✓	—
調節量	±0	—	✓	—

5. 動画 AF

機能	初期設定	*1	*2	*3
AF 方式	C-AF	📷/🎥	✓	✓
C-AF 動作速度	±0	📷/🎥	✓	✓
C-AF 追従感度	±0	📷/🎥	✓	✓

6. AF ターゲットの設定/操作

機能	初期設定	*1	*2	*3
📷AF ターゲットモード設定				
[All]	✓	📷	✓	—
[·]Single-S	✓	📷	✓	—
[÷]Cross	✓	📷	✓	—
[⁞]Mid	✓	📷	✓	—
[ ]Large	✓	📷	✓	—
[⁞]C1	☐（✓ なし）	📷	✓	—
[⁞]C2	☐（✓ なし）	📷	✓	—
[⁞]C3	☐（✓ なし）	📷	✓	—
[⁞]C4	☐（✓ なし）	📷	✓	—
📷[⁘] 縦位置/横位置切換				
AF ターゲットモード	☐（✓ なし）	📷	✓	—
AF ターゲット位置	☐（✓ なし）	📷	✓	—

機能	初期設定	*1	*2	*3
[·:·]HOME 登録				
AF ターゲットモード	✓ ([▦]All)	📷	✓	—
AF ターゲット位置	✓	📷	✓	—
[·:·] 選択画面設定				
ダイヤル	[·:·]Mode 変更	📷/🎥	✓	—
ボタン	Pos 変更	📷/🎥	✓	—
[·:·] 循環設定				
[·:·] 循環選択	Off	📷/🎥	✓	—
[▦]All 経由	しない	📷/🎥	✓	—
AF ターゲットパッド	Off	📷/🎥	✓	—

7. MF

機能	初期設定	*1	*2	*3
MF アシスト				
拡大	Off	📷/🎥	✓	—
ピーキング	Off	📷/🎥	✓	—
フォーカス距離指標	Off	📷/🎥	✓	—
ピーキング表示設定				
ピーキング色	赤	📷/🎥	✓	—
ピーキングレベル	標準	📷/🎥	✓	—
ピーキング背景の輝度調整	Off	📷/🎥	✓	—
プリセット MF 距離	999.9m	📷/🎥	✓	—

機能	初期設定	*1	*2	*3
MF クラッチ	有効	📷/🎥	✓	✓
フォーカスリング	↻	📷/🎥	✓	—
レンズリセット	Off	📷/🎥	✓	—

タブ

*1：[ ] は［ カスタムモード］で登録可能な機能／[ ] は［ カスタムモード］で登録可能な機能
*2：［カメラ初期化］で初期設定に戻る機能
*3：［撮影設定リセット］で初期設定に戻る機能

1. 基本設定/画質

機能			初期設定	*1	*2	*3
カスタムモード						
	C1	カスタム呼出	—	—	—	—
		カスタム登録	撮影モード：**P** 画質モード：4K 24p L-8 S&Q 画質モード：FHD 24p/60 L-8 ピクチャーモード：OM-Cinema1	—	—	—
		カスタム保持設定	保持しない	—	✓	—
		カスタム名設定	OM-Cinema1	—	✓	—
	C2	カスタム呼出	—	—	—	—
		カスタム登録	撮影モード：**P** 画質モード：4K 24p L-8 S&Q 画質モード：FHD 24p/60 L-8 ピクチャーモード：OM-Cinema2	—	—	—
		カスタム保持設定	保持しない	—	✓	—
		カスタム名設定	OM-Cinema2	—	✓	—
画質モード			4K 30p L-8	/	✓	✓
S&Q 画質モード			FHD 30p/60 L-8		✓	✓
フリッカースキャン			Off		✓	✓
デジタルテレコン			Off		✓	✓

2. ピクチャーモード

機能	初期設定	*1	*2	*3
ピクチャーモード	と同じ	/動画	✓	✓
ビューアシスト	Off	/動画	✓	—

3. ISO/ノイズ低減

機能		初期設定	*1	*2	*3
ISO オート上限/基準値					
	上限値	6400	動画	✓	✓
	基準値	200	動画	✓	✓
ISO オート有効		On	動画	✓	—
高感度ノイズ低減		標準	/動画	✓	✓

4. 手ぶれ補正

機能	初期設定	*1	*2	*3
手ぶれ補正	M-IS1	/動画	✓	✓

5. 録音/接続

機能		初期設定	*1	*2	*3
録音の設定					
録音レベル調整					
	内蔵 🎙	±0	🎞	✓	✓
	MIC🎙	±0	🎞	✓	✓
🎙 入力リミッター		On	🎞	✓	—
風切り音低減		Off	🎞	✓	—
録音レート		48kHz/16bit	🎞	✓	—
🎙 プラグインパワー		On	🎞	✓	—
カメラ側録音調整		有効	🎞	✓	—
タイムコード設定					
タイムコードモード		DF	—	✓	—
カウントアップ方式		レックラン	—	✓	—
タイムコード値設定		—	—	✓	—
🎞HDMI 出力					
出力モード設定		モニターモード	🎞	✓	—
REC トリガー		Off	🎞	✓	—
タイムコード		On	🎞	✓	—

6. 撮影アシスト

機能	初期設定	*1	*2	*3
動画撮影中の赤枠表示	On	🎞	✓	—
録画ランプ	弱	🎞	✓	—

タブ

*1：📷 は［📷 カスタムモード］で登録可能な機能／🎥 は［🎥 カスタムモード］で登録可能な機能
*2：［カメラ初期化］で初期設定に戻る機能
*3：［撮影設定リセット］で初期設定に戻る機能

1. ファイル

機能	初期設定	*1	*2	*3
プリント予約	—	—	—	—
全コマ一括解除	—	—	—	—
全コマ消去	—	—	✓	—

2. 操作

機能	初期設定	*1	*2	*3
▶◉ ボタン機能	☑	—	✓	—
▶ ダイヤル機能	/	—	✓	—
再生拡大倍率設定	前回倍率	—	✓	—
ワンプッシュ消去	Off	—	✓	—
RAW+JPEG 消去	RAW+JPEG	—	✓	—
RAW+JPEG シェア予約	JPEG	—	✓	—

3. 表示

機能	初期設定	*1	*2	*3
回転再生	On	—	✓	—
Info 表示	すべて ✓	—	✓	—
Info 表示	すべて ✓	—	✓	—
表示	**[25]** と **[カレンダー表示]** に ✓	—	✓	—
レーティング設定	すべて ✓	—	✓	—

✲ タブ

*1：📷 は［📷 カスタムモード］で登録可能な機能／🎥 は［🎥 カスタムモード］で登録可能な機能
*2：［カメラ初期化］で初期設定に戻る機能
*3：［撮影設定リセット］で初期設定に戻る機能

1. 操作

機能		初期設定	*1	*2	*3
ボタンの設定					
📷 ボタン機能					
	◉	◉REC	📷	✓	—
	🖵	🖵 切換（モニター/ファインダー切り換え）	📷	✓	—
	CP	コンピュテーショナル撮影	📷	✓	—
	AF-ON	AF-ON	📷	✓	—
	✥	ダイレクト機能	📷	✓	—
	▶	WB モード	📷	✓	—
	▼	🖵/⏲	📷	✓	—
	L-Fn	AF 停止	📷	✓	—
🎥 ボタン機能					
	◉	◉REC	🎥	✓	—
	🖵	長押しで［EVF 自動切換設定］	🎥	✓	—
	CP	露出補正	🎥	✓	—
	AF-ON	AF-ON	🎥	✓	—
	✥	ダイレクト機能	🎥	✓	—
	▶	WB モード	🎥	✓	—

機能		初期設定	*1	*2	*3
	▼	Off	🎥	✓	—
	L-Fn	AF 停止	🎥	✓	—
🎥 シャッターボタン機能		Off	🎥	✓	—
OK で開く機能					
	AUTO	**[ライブガイド]** に ✓	—	✓	—
	ART	**[ART メニュー]** に ✓	—	✓	—
	SCN	**[SCN メニュー]** に ✓	—	✓	—
ダイヤルの設定					
📷 ダイヤル機能					
	P	：露出補正 ：プログラムシフト	📷	✓	—
	A	：露出補正 ：絞り値	📷	✓	—
	S	：露出補正 ：シャッター速度	📷	✓	—
	M/B	：絞り値 ：シャッター速度	📷	✓	—
🎥 ダイヤル機能					
	P	：露出補正 ：露出補正	🎥	✓	—
	A	：露出補正 ：絞り値	🎥	✓	—
	S	：露出補正 ：シャッター速度	🎥	✓	—

機能		初期設定	*1	*2	*3
	M	：絞り値 ：シャッター速度	🎥	✓	—
メニュータブ内循環		しない	—	✓	—
ダイヤル方向					
	露出設定	ダイヤル 1	📷/🎥	✓	—
	Ps 設定	ダイヤル 1	📷/🎥	✓	—
電動ズームの設定					
📷 電動ズーム速度		標準	📷	✓	—
🎥 電動ズーム速度		標準	📷/🎥	✓	—

2. 操作

機能	初期設定	*1	*2	*3
LV 拡大モード	mode2	📷/🎥	✓	—
ロック	Off	📷	✓	—
実行優先設定	中止優先	—	✓	—
メニューカーソル設定				
ページ毎のカーソル位置	記憶しない	—	✓	—
メニュー開始位置	前回位置	—	✓	—
B モード設定ショートカット	On	📷	✓	—
ボタン長押し時間調整				
LV 拡大枠/拡大表示	0.7 秒	—	✓	—
LV 拡大枠位置	0.7 秒	—	✓	—
露出補正値	0.7 秒	—	✓	—

機能	初期設定	*1	*2	*3
設定値	0.7 秒	—	✓	—
WB 補正値	0.7 秒	—	✓	—
プロファイル設定値	0.7 秒	—	✓	—
設定値	0.7 秒	—	✓	—
設定値	0.7 秒	—	✓	—
設定値	0.7 秒	—	✓	—
設定値	0.7 秒	—	✓	—
ファインチューン設定値	0.7 秒	—	✓	—
AF ターゲット位置	0.7 秒	—	✓	—
EVF 自動切換設定	0.7 秒	—	✓	—
デジタルシフト	0.7 秒	—	✓	—
デジタルシフト設定値	0.7 秒	—	✓	—
ロック	0.7 秒	—	✓	—
フリッカースキャン	0.7 秒	—	✓	—
WB BKT 設定呼出し	0.7 秒	—	✓	—
ART BKT 設定呼出し	0.7 秒	—	✓	—
Focus BKT 設定呼出し	0.7 秒	—	✓	—
深度合成設定呼出し	0.7 秒	—	✓	—
多重露出設定呼出し	0.7 秒	—	✓	—

3. ライブビュー表示

機能	初期設定	*1	*2	*3
📷 ナイトビュー	Off	📷	✓	—
アート LV モード	mode1	📷	✓	—
フリッカーレス LV	Off	📷	✓	—
自分撮りアシスト	On	—	✓	—

4. Info 表示

機能	初期設定	*1	*2	*3
EVF 表示スタイル	スタイル 3	—	✓	—
📷Info 表示	**[情報表示無し]** と **[情報表示 1]** と **[情報表示 2]** に ✓	📷	✓	—
半押し中の表示	On2	📷	✓	—
📷Info 表示	**[情報表示無し]** と **[情報表示 1]** と **[情報表示 2]** に ✓	📷	✓	—
半押し中水準器表示	On	📷	✓	—
Info 表示	**[情報表示無し]** と **[情報表示 1]** に ✓	📷/	✓	—

5. 罫線/その他の表示

機能	初期設定	*1	*2	*3
📷 ガイド線表示設定				
表示色	プリセット 1	📷	✓	—
表示罫線選択	Off	📷	✓	—
プリセット 1 の色設定	R/G/B：38 α：75%	📷	✓	—
プリセット 2 の色設定	R：180 G/B：0 α：75%	📷	✓	—
🖥📷 ガイド線表示設定				
🖥 専用設定	Off	📷	✓	—
表示色	プリセット 1	📷	✓	—
表示罫線選択	Off	📷	✓	—
プリセット 1 の色設定	R/G/B：38 α：75%	📷	✓	—
プリセット 2 の色設定	R：180 G/B：0 α：75%	📷	✓	—

機能	初期設定	*1	*2	*3
ガイド線表示設定				
専用設定	Off	📷/🎬	✓	—
表示色	プリセット 1	📷/🎬	✓	—
表示罫線選択	Off	📷/🎬	✓	—
プリセット 1 の色設定	R/G/B：38 α：75%	📷/🎬	✓	—
プリセット 2 の色設定	R：180 G/B：0 α：75%	📷/🎬	✓	—
CP ボタン表示設定	すべて ✓	📷	✓	—
マルチ Fn 表示設定	**[ISO 感度]** 以外すべて ✓	📷/🎬	✓	—
ヒストグラム警告設定				
ハイライト表示	255	📷/🎬	✓	—
シャドウ表示	0	📷/🎬	✓	—

タブ

*1：📷 は［📷 カスタムモード］で登録可能な機能／🎥 は［🎥 カスタムモード］で登録可能な機能
*2：［カメラ初期化］で初期設定に戻る機能
*3：［撮影設定リセット］で初期設定に戻る機能

1. カード/フォルダ/ファイル

機能		初期設定	*1	*2	*3
カード初期化		—	—	—	—
ファイルネーム		リセット	—	✓	—
ファイルネーム編集					
	sRGB	MDD	—	✓	—
	Adobe RGB	MDD	—	✓	—

2. 情報記録

機能		初期設定	*1	*2	*3
レンズ情報登録		Off	—	✓	—
dpi 設定		350dpi	📷/🎥	✓	—
著作権情報記録					
	著作権情報記録	Off	📷/🎥	✓	—
	撮影者入力	—	—	—	—
	著作権者入力	—	—	—	—

3. モニター/音/接続

機能	初期設定	*1	*2	*3
タッチパネル設定	On	—	✓	—
モニター調整				
☼（明るさ）	±0	📷/🎬	✓	—
🌡（色温度）	0	📷/🎬	✓	—
EVF 調整				
☼（明るさ）	EVF 自動調光 : Off	📷/🎬	✓	—
🌡（色温度）	0	📷/🎬	✓	—
アイセンサーの設定				
EVF 自動切換設定	On	—	✓	—
EVF 自動切換時の動作	画面を維持	—	✓	—
モニター引き出し時の動作	無効	—	✓	—
電子音	On	📷/🎬	✓	—
HDMI 接続設定				
出力サイズ	4K 優先	—	✓	—
出力フレームレート	60p 優先	—	—	—
USB の設定				
USB 接続モード	毎回確認	—	✓	—
USB 通信中給電	する	—	✓	—

4. Wi-Fi/Bluetooth

機能	初期設定	*1	*2	*3
機内モード	Off	—	✓	—
Bluetooth	Off	—	✓	—
アクセサリーリモコン設定	—	—	—	—
スマートフォン接続	—	—	—	—
スマートフォン接続の設定				
バックグラウンド通信	Off	—	✓	—
スマートフォン接続セキュリティ	WPA2/WPA3	—	—	—
スマートフォン接続パスワード	—	—	—	—
スマートフォン接続設定リセット	—	—	—	—

5. 電池/スリープ

機能	初期設定	*1	*2	*3
バックライト時間	Hold	📷/🎥	✓	—
スリープ時間	1 分	📷/🎥	✓	—
自動電源 Off	4 時間	📷/🎥	✓	—
低消費電力撮影				
低消費電力撮影	Off	📷/🎥	✓	—
バックライト時間	8 秒	📷/🎥	✓	—
スリープ時間	10 秒	📷/🎥	✓	—

6. リセット/日時/言語/その他

機能		初期設定	*1	*2	*3
リセット/カメラ初期化					
	撮影設定リセット	—	—	—	—
	カメラ初期化	—	—	—	—
日時設定					
	日時	—	—	—	—
	タイムゾーン	—	—	—	—
🌐[1]		日本語	—	—	—
水準器調整		—	—	✓	—
ピクセルマッピング		—	—	—	—
ファームウェアバージョン		—	—	—	—
認証マーク表示		—	—	—	—

1 選択できません。機能設定時に表示されるガイドやメニューは日本語に固定され、変更できません。

画質設定と記録枚数／記録時間

静止画撮影枚数

SDXC カード 64GB、アスペクト比設定 4:3 の場合

画質モード	画像サイズ（ピクセルサイズ）	圧縮率	ファイル形式	ファイルサイズ（MB）	撮影可能枚数
50M F+RAW	（三脚） 10368×7776	ロスレス圧縮	ORF	（三脚） 約 168.4	（三脚） 354
	（手持ち） 8160×6120			（手持ち） 約 121.5	（手持ち） 489
	8160×6120	1/4	JPEG		
	5184×3888	ロスレス圧縮	ORI		
25M F+RAW	（三脚） 10368×7776	ロスレス圧縮	ORF	（三脚） 約 157.6	（三脚） 381
	（手持ち） 8160×6120			（手持ち） 約 110.7	（手持ち） 541
	5760×4320	1/4	JPEG		
	5184×3888	ロスレス圧縮	ORI		
50M F	8160×6120	1/4	JPEG	約 21.7	2529
25M F	5760×4320	1/4	JPEG	約 10.9	5033
RAW	5184×3888	ロスレス圧縮	ORF	約 21.7	2806
L SF		1/2.7	JPEG	約 13.1	4209
L F		1/4		約 8.9	6180
L N		1/8		約 4.6	11909

画質モード	画像サイズ（ピクセルサイズ）	圧縮率	ファイル形式	ファイルサイズ（MB）	撮影可能枚数
M1 SF	3200×2400	1/2.7	JPEG	約 5.1	10614
M1 F		1/4		約 3.6	15258
M1 N		1/8		約 1.9	28721
M2 SF	1920×1440	1/2.7	JPEG	約 2.0	27126
M2 F		1/4		約 1.4	37559
M2 N		1/8		約 0.9	61033
S1 SF	1280×960	1/2.7	JPEG	約 1.0	54252
S1 F		1/4		約 0.8	69752
S1 N		1/8		約 0.5	97654
S2 SF	1024×768	1/2.7	JPEG	約 0.8	69752
S2 F		1/4		約 0.6	97654
S2 N		1/8		約 0.3	244135

- 撮影可能枚数は撮影対象やプリント予約の有無などによっても変わります。撮影や画像の消去を行ってもモニターに表示される枚数が変わらないことがあります。
- 実際のファイルサイズは被写体によって変わります。
- モニターに表示される撮影枚数は 9999 までです。

動画総記録時間

SDXC カード 64GB の場合

（[録音レート]：[48kHz/16bit] 設定時）

ムービーサイズ	フレーム間圧縮	再生フレームレート	撮影フレームレート	最大録画可能時間
C4K	L-GOP	24.00p	—	約 34 分
4K	L-GOP	29.97p	—	約 81 分
		25.00p	—	約 81 分
		23.98p	—	約 81 分
FHD	A-I	29.97p	—	約 41 分
		25.00p	—	約 41 分
		23.98p	—	約 41 分
	L-GOP	59.94p	—	約 160 分
		50.00p	—	約 160 分
		29.97p	—	約 280 分
		25.00p	—	約 280 分
		23.98p	—	約 280 分

（[録音レート]：[96kHz/24bit]設定時）

ムービーサイズ	フレーム間圧縮	再生フレームレート	撮影フレームレート	最大録画可能時間
C4K	L-GOP	24.00p	—	約 34 分
4K	L-GOP	29.97p	—	約 79 分
		25.00p	—	約 79 分
		23.98p	—	約 79 分
FHD	A-I	29.97p	—	約 40 分
		25.00p	—	約 40 分
		23.98p	—	約 40 分
	L-GOP	59.94p	—	約 151 分
		50.00p	—	約 151 分
		29.97p	—	約 254 分
		25.00p	—	約 254 分
		23.98p	—	約 254 分

S&Q

ムービーサイズ	フレーム間圧縮	再生フレームレート	撮影フレームレート	最大録画可能時間
C4K	L-GOP	24.00p	15fps / 12fps / 8fps / 6fps / 3fps / 2fps / 1fps	約 34 分
4K	L-GOP	29.97p	25fps / 24fps / 15fps / 12fps / 8fps / 6fps / 3fps / 2fps / 1fps	約 81 分
		25.00p	24fps / 15fps / 12fps / 8fps / 6fps / 3fps / 2fps / 1fps	約 81 分
		23.98p	15fps / 12fps / 8fps / 6fps / 3fps / 2fps / 1fps	約 81 分
FHD	L-GOP	59.94p	120fps	約 167 分
		50.00p	120fps	約 167 分
		29.97p	120fps	約 324 分
			60fps / 50fps / 25fps / 24fps / 15fps / 12fps / 8fps / 6fps / 3fps / 2fps / 1fps	約 280 分
		25.00p	120fps	約 324 分
			60fps / 50fps / 30fps / 24fps / 15fps / 12fps / 8fps / 6fps / 3fps / 2fps / 1fps	約 280 分
		23.98p	120fps	約 324 分
			60fps / 50fps / 30fps / 25fps / 15fps / 12fps / 8fps / 6fps / 3fps / 2fps / 1fps	約 280 分

- 設定可能な最大フレームレート時。フレームレートの組み合わせや撮影シーンによって、実際に記録されるビットレートは異なります。
- SDXC カード使用時は、撮影中の動画の記録時間が 2 時間を超えると、ファイルは自動的に分割して記録されます（撮影条件によっては、2 時間未満で分割される場合があります）。
- SD/SDHC カード使用時は、撮影中の動画のファイルサイズが 4GB 以上になると、ファイルは自動的に分割して記録されます（撮影条件によっては、4GB 未満で分割される場合があります）。

安全にお使いいただくために

安全にお使いいただくために

ご使用の前に、この内容をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。
ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害と財産の損害を未然に防止するためのものです。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 危険	「死亡や重傷を負うおそれが大きい内容」です。
⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

⚠ 危険

電池は誤った使い方をしない

液漏れ、発熱、発火、破裂、誤飲などによる火災ややけど、けがの原因となります。

- **火の中に投下したり、電子レンジやホットプレート、高圧容器で加熱しない**
- **電磁調理器の上や傍らに置かない**
- **端子を金属類で接続しない**
- **電池とネックレスやヘアピン、鍵等の金属と一緒に持ち運んだり、保管しない**
- **高温になる場所で使用・放置しない**
  直射日光のあたる場所、炎天下の車内、ストーブのそばなど
- **直接ハンダ付けしたり、変形・改造・分解をしない**
  端子部安全弁の破壊や、内容物の飛散が生じ危険です。
- **電源コンセントや自動車のシガレットライターの差し込み口等に直接接続しない**
- **電池の液が目に入った場合は、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い流した後、直ちに医師の診断を受けてください。失明の恐れがあります。**
- **カメラから電池が取り出せなくなった場合、無理に取り出さず、お買い上げ販売店、当社カスタマーサポートセンターにご相談ください。電池の外装にキズなどのダメージを加えますと、発熱・破裂のおそれがあります。**

USB-AC アダプター/充電器は誤った使い方をしない

火災・破裂・発火・発煙・発熱・感電・やけど・故障の原因となります。
USB-AC アダプター/充電器が、熱い、異臭や異常音がする、煙がでているなど異常を感じたら、ただちに電源プラグをコンセントから抜いて使用を中止し、当社カスタマーサポートセンターにご連絡ください。

- **USB-AC アダプター/充電器を濡らしたり、濡れた状態または濡れた手で触ったり持ったりしない**
- **USB-AC アダプター/充電器を布などで覆った状態で使用しない**
- **USB-AC アダプター/充電器を分解・改造しない**
- **USB-AC アダプター/充電器は指定の電源電圧で使用する**

⚠ 警告

製品の取扱いについて

- **可燃性ガス、爆発性ガス等が大気中に存在するおそれのある場所では使用しない**
  引火・爆発の原因となります。
- **ほこりや湿気、油煙、湯気の多い場所で長時間使用したり、保管しない**
  火災・感電の原因となります。
- **ファインダーでの撮影時は、定期的に休憩をとる**
  目の疲労や気分が悪くなったり、乗り物酔いに似た症状が出ることがあります。
  必要な休憩の長さや頻度は個人によって異なりますので、ご自身でご判断ください。
  疲労感、不快感などの異常を感じたときには、回復するまでファインダーの使用を控え、必要に応じて医師にご相談ください。
- **フラッシュや LED（AF 補助光含む）を人（特に乳幼児）に向けて至近距離で発光させない**
- **カメラで日光や強い光を見ない**
  視力障害をきたすおそれがあります。
- **幼児や子供、ペットの手の届く場所に放置しない**
  以下のような事故が発生するおそれがあります。
  - 誤ってストラップを首に巻きつけ、窒息を起こす。
  - 電池などの小さな付属品を飲み込む
    万一飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。
  - 目の前でフラッシュが発光し、視力障害を起こす。
  - カメラの動作部でけがをする。
- **フラッシュの発光部分を手で覆ったまま発光しない**
- **連続発光後、発光部分に手を触れない**
  やけどのおそれがあります。
- **分解や改造をしない**
  感電・けがをするおそれがあります。

- **内部に水や異物を入れない**
  火災・感電の原因となります。
  万一水に落としたり、内部に水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り電池を抜き、当社カスタマーサポートセンターにご連絡ください。
- **本機の温度の高い部分に長時間触れない**
  低温やけどのおそれがあります。このような条件での使用が予想される場合は、あらかじめ三脚や手袋などを用意してください。
- **専用の当社製リチウムイオン電池、充電器以外は使用しない**
  発熱、変形などにより、火災・感電の原因となります。またカメラ本体または電源が故障したり、思わぬ事故がおきる可能性があります。専用品以外の使用により生じた傷害は補償しかねますので、ご了承ください。
- **通電中の USB-AC アダプター/充電器、充電中の電池に長時間触れない**
  通電中の USB-AC アダプター/充電器や充電中の電池は、温度が高くなります。長時間皮膚が触れていると、低温やけどのおそれがあります。

電池の取扱いについて

- **水や海水などの液体で濡らさない**
- **濡れた手で触ったり持ったりしない**
  発熱・破裂・発火・感電・故障の原因となります。
- **所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止する**
  火災・破裂・発火・発熱の原因となります。
- **外装にキズや破損のある電池は使用しない、またキズを付けない**
  破裂・発熱・発火の原因となります。
- **膨れた電池を無理に機器に取り付けない**
  発熱、破裂、発火の原因となります。
- **落下や打撃により電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしない**
  破裂・発熱・発火の原因となります。
- **USB-AC アダプター/充電器や機器に接続時、無理に接続しない**
  プラス・マイナスを逆に接続すると、電池が逆に充電され内部で異常な反応が起こり、漏液、発熱、破裂、発火の原因となります。
- **電子レンジや高圧容器などに入れない**
  急に加熱されたり、密封状態が壊れたりして、発熱、破裂、発火の原因になります。
- **電磁調理器の上や傍らに置かない**
  誤って加熱され、発熱、破裂、発火の原因となります。
- **充電中や放電中に可燃物を上に載せたり、覆ったりしない**
  発熱、破裂、発火させるおそれがあります。
- **カメラの電池室を変形させたり、異物を入れたりしない**
- **液漏れや異臭、変色、変形その他異常が発生した場合は使用を中止し、すぐに火気から遠ざける**
  火災・感電の原因となります。
  当社カスタマーサポートセンターにご連絡ください。
- **電池の液が皮膚・衣類へ付着すると、皮膚に傷害を起こすおそれがあるので、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。**
- **発熱、発火、爆発の可能性があるため、低温環境下でリチウムイオン電池を使用しないでください。**

- **極端に低い気圧にさらされた電池は、爆発や可燃性液体・ガスの漏洩を引き起こす可能性があります。**

USB-AC アダプターの取扱いについて

- **コンセントからの抜き差しは、必ず USB-AC アダプター本体を持つ**
  USB-AC アダプター本体を持たないと、火災・感電の原因となることがあります。

無線 LAN／Bluetooth®機能について

- **心臓ペースメーカーを装着している方から 15cm 以上離す**
  本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。
- **病院内や医療用電気機器のある場所では電源を切る**
  本機からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。必ず無線 LAN／**Bluetooth**®機能もオフにしてください（P.398）。
- **航空機内では電源を切る**
  運行の安全や支障をきたすおそれがあります。必ず無線 LAN／**Bluetooth**®機能もオフにしてください（P.398）。

⚠ 注意

製品の取扱いについて

- **異臭、異常音、煙が出たりするなどの異常を感じたときは使用を中止する**
  火災・やけどの原因となることがあります。
  やけどに注意しながらすぐに電池を取り外し、当社カスタマーサポートセンターにご連絡ください。（電池を取り外す際は、素手で電池を触らないでください。また可燃物のそばを避け屋外で行ってください。）
- **濡れた手でカメラを操作しない**
  故障・感電の原因となることがあります。
- **カメラをストラップで提げて持ち運んでいるときは、他のものに引っかからないように注意する**
  けがや事故の原因となることがあります。
- **高温になるところに放置しない**
  部品の劣化・火災の原因となることがあります。

電池の取扱いについて

- **乳幼児や動物・ペットには、電池の取り扱い、運搬をさせない（舐める、口に入れる、噛む等の危険防止）**
- **電池を使ってカメラを長時間連続使用したあとは、すぐに電池を取り出さない**
  やけどの原因となることがあります。
- **長期間ご使用にならない場合は、充電した後にカメラから電池を外しておく**
  液漏れ・発熱により、火災・けが・故障の原因となることがあります。
- **長期間保管する場合は、涼しいところに保管してください。**

- **電池は、当社製リチウムイオン電池 1 個を使用します。指定の電池をお使いください。指定以外の電池を使用した場合、爆発（または破裂）の危険があります。**
- **当社製リチウムイオン充電池は、当社デジタルカメラ専用です。他の機器に使用しないでください。**

USB-AC アダプターの取扱いについて

- **お手入れの際は、USB-AC アダプター本体をコンセントから抜いて行う**
  USB-AC アダプター本体を抜かないで行うと、感電・けがの原因となることがあります。

交換レンズの取り扱いについて

- **レンズまたは光学ビューファインダー（外付け）で直接太陽や強い光を見ない**
  失明や視力障害を起こすことがあります。
- **使用しないときはレンズキャップを付けて保管する**
  太陽光が入射して、火災の原因になることがあります。

使用上のご注意

- **本製品には精密な電子部品が組み込まれています。**
  以下のような場所で長時間使用したり放置すると、動作不良や故障の原因となる可能性がありますので、避けてください。
  - 直射日光下や夏の海岸、窓を閉め切った自動車の中、冷暖房器、加湿器のそばなど、高温多湿、または温度・湿度変化の激しい場所
  - 砂、ほこり、ちりの多い場所
  - 火気のある場所
  - 水に濡れやすい場所
  - 激しい振動のある場所
- **カメラを落としたりぶつけたりして、強い振動やショックを与えないでください。**
- **レンズを直射日光に向けたまま撮影または放置しないでください。撮像素子の退色・焼きつきを起こすことがあります。**
- **ファインダーを直射日光や強い光源に向けて放置しないでください。焼きつきを起こすことがあります。**
- **カメラをご使用の際は、必ず電池/カードカバーを閉じロックをしてください。**
- **寒い戸外から暖かい室内に入るなど急激に温度が変わったときは、カメラ内部で結露が発生する場合があります。**
  ビニール袋などに入れてから室内に持ち込み、カメラを室内の温度になじませてからご使用ください。
- **カメラを長期間使用しないと、カビがはえるなど故障の原因となることがあります。**
  使用前には動作点検をされることをおすすめします。
- **テレビ、電子レンジ、ゲーム機、スピーカー、大型モーター、電波塔や高圧線の近くでカメラを使用すると磁気や電磁波、電波、高電圧の影響で、カメラが誤動作する場合があります。カメラが正常に動作しない場合は、電源を切ってから、電池を抜き差しして再度電源を入れてください。**
- **カメラのそばにクレジットカードや磁気定期券、フロッピーディスクなどの磁気の影響を受けやすいものを近づけないでください。データが壊れて使用できなくなることがあります。**
- **SD/SDHC/SDXC カード以外は、絶対にカメラに入れないでください。**
  その他のカードを誤って入れた場合は、無理に取り出さず、お買い上げ販売店、当社カスタマーサポートセンターにご相談ください。
- **大切なデータは万一の場合に備え、パソコン等の他の記録媒体に定期的にバックアップしてください。**
- **本製品によるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承願います。**
- **三脚を着脱する際は、カメラを回さず三脚のネジを回してください。**
- **カメラを持ち運ぶ際は、当社純正アクセサリー以外（三脚など）は取り外してください。**
- **本体の電気接点部には手を触れないでください。**
- **レンズに無理な力を加えないでください。**
- **水につけたり水をかけたりしないでください。**
- **落下したり強い力を加えないでください。**
- **各カバーの開け閉めや電池の交換時は、本機の水分を十分拭き取ってから行ってください。**

- **レンズの可動部で保持しないでください。**
- **レンズ面に直接触れないでください。**
- **電気回路接点部に直接触れないでください。**
- **急激な温度変化をかけないでください。**
- **カメラの消費電力は、使用条件などにより大きく異なります。**
  以下の条件では撮影をしなくても電力を多く消費するため、電池の消費が早くなります。
  - 撮影モードでシャッターボタンを半押しして、オートフォーカス動作を繰り返す。
  - 長時間、モニターで画像を表示する。
  - パソコンとの接続時（USB 給電中以外）。
  - 無線 LAN/**Bluetooth**®機能を有効にする。
- **消耗した電池をお使いのときは、電池残量警告が表示されずにカメラの電源が切れることがあります。**
- **電池の端子は、常にきれいにしておいてください。汗や油で汚れていると、接触不良を起こす原因となります。**
  充電や使用する前に、乾いた布でよく拭いてください。
- **充電式電池をはじめてご使用になる場合、また長時間使用していなかった場合は、ご使用の前に必ず充電してください。**
- **一般に電池は低温になるに従って一時的に性能が低下することがあります。寒冷地で使用するときは、カメラを防寒具や衣服の内側に入れるなど保温しながら使用してください。低温のために性能の低下した電池は、常温に戻ると性能が回復します。**
- **海外では地域によって電池の入手が困難な場合があります。長期間の旅行などには、予備の電池を用意されることをおすすめします。**
- **使用済みの充電式電池は貴重な資源です。充電式電池を捨てる際には、端子をテープなどで絶縁してから最寄の充電式電池の排出協力店・排出協力自治体にお持ちください。**
- **詳しくは一般社団法人 JBRC ホームページ（https://www.jbrc.com）をご覧ください。**

- **モニターは強く押さないでください。**
  画面上ににじみが残り、画像が正しく再生されなくなったり、モニターが割れたりするおそれがあります。万一破損した場合は中の液晶を口に入れないでください。液晶が手足や衣類に付着した場合は、直ちにせっけんで洗い流してください。
- **モニターの画面上下に光が帯状に見えることがありますが、故障ではありません。**
- **被写体が斜めのとき、モニターにギザギザが見えることがありますが、故障ではありません。**
  記録される画像には影響ありません。
- **一般に低温になるに従ってモニターは点灯に時間がかかったり、一時的に変色したりする場合があります。寒冷地で使用するときは、保温しながら使用してください。低温のために性能の低下したモニターは、常温に戻ると回復します。**
- **本製品のモニターは、精密度の高い技術でつくられていますが、一部に常時点灯あるいは常時点灯しない画素が存在することがあります。これらの画素は、記録される画像に影響はありません。また、見る角度により、特性上、色や明るさにむらが生じることがありますが、モニターの構造によるもので故障ではありません。ご了承ください。**

その他のご注意

- **本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。商品名、型番等、最新の情報については当社カスタマーサポートセンターにご連絡ください。**
- **本書の内容の一部または全部を無断で複写することは、個人としてご利用になる場合を除き、禁止します。また、無断転載は固くお断りします。**
- **本製品の不適当な使用による万一の損害、逸失利益、または第三者からのいかなる請求に関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。**
- **本製品の故障、当社指定外の第三者による修理、その他の理由により生じた画像データの消失による、損害および逸失利益などに関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。**
- **本書の内容については、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点、誤り、記載もれなどお気づきの点がございましたら当社カスタマーサポートセンターにご連絡ください。**

機器認定について

本製品には、電波法に基づく認証を受けた無線設備が内蔵されています。認証ラベルは無線設備に添付されています。次の事項を行った場合、法律で罰せられることがあります。

- 本製品を分解、または改造すること
- 本製品の証明ラベルをはがすこと

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業、科学、医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定省電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くでこれらの無線局が運営されてないことを確認してください。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに場所を変更するか、または電波の使用を停止してください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定省電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことがおきたときは、当社カスタマーサポートセンターにご連絡ください。

無線 LAN 機能

本機は、2.4GHz 周波数帯を使用する DSSS/OFDM 変調方式を採用しており、与干渉距離は、40 m 以下です。

Bluetooth®機能

本機は、2.4GHz 周波数帯を使用するその他変調方式を採用しており、与干渉距離は、10 m 以下です。

無線 LAN/Bluetooth®機能の使用について

本製品を購入した地域以外での無線 LAN/**Bluetooth**®機能の使用については、その国の電波管理規則に違反する場合がありますので、当社では一切の責任は負えません。

電波障害自主規制について

この装置は、クラス B 機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。本装置は、VCCI 協会の運用規程に基づく技術基準に適合した文言、又はマークを画面に電子的に表示しています。表示の操作方法は、取扱説明書の「各種認証マークを表示する（認証マーク表示）」（P.395）に記載しております。

VCCI-B

接続ケーブル、USB-AC アダプター（USB-AC アダプター対応機種のみ）は、必ず、当製品指定のものをお使いください。
指定品以外では、VCCI 協会の技術基準を超えることが考えられます。

商標について

SDXC ロゴは、SD-3C,LLC の商標です。

Apical ロゴは Apical Limited の登録商標です。

Micro Four Thirds／Four Thirds および Micro Four Thirds／Four Thirds ロゴマークは OM デジタルソリューションズ株式会社の日本・米国・EU・その他各国の商標または登録商標です。
Wi-Fi は、Wi-Fi Alliance の登録商標です。
Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、OM デジタルソリューションズ株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
QR コードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

その他本説明書に記載されているすべてのブランド名または商品名は、それらの所有者の商標または登録商標です。なお、本文中には TM、®マークは明記していない場合があります。

カメラファイルシステム規格について

カメラファイルシステム規格とは、電子情報技術産業協会（JEITA）で制定された規格「Design rule for Camera File system/DCF」です。

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NONCOMMERCIAL USE OF A CONSUMER TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE AVC STANDARD ("AVC VIDEO") AND/OR (ii) DECODE AVC VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE AVC VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE HTTP://WWW.MPEGLA.COM

このカメラの内部のソフトウェアは第三者作成のソフトウェアを含んでいます。第三者作成のソフトウェアは、その所有者または著作権者により所定の条件が課せられており、その条件に基づいてあなたに配布されています。この条件の中であなたに告知するものがある場合には、以下の URL のウェブサイトに必要に応じて準備された software notice PDF ファイル内に見出すことができます。
https://support.jp.omsystem.com/en/support/imsg/digicamera/download/notice/notice.html

発行日 **2026.09**

OM Digital Solutions

OMデジタルソリューションズ株式会社

インターネットでの情報入手

https://jp.omsystem.com

「OM デジタル」でインターネット検索するか、上記 URL または QR コードよりご確認ください。

最新サポート情報

https://support.jp.omsystem.com/jp/support/cs/dslr/index.html

アクセサリー対応情報やよくあるご質問（Q&A）、各種最新情報は QR コードよりご確認ください。

※記載内容は変更されることがあります。

© 2026 OM Digital Solutions Corporation

WG071200